日本刀剣電脳倶楽部

一陽来復クロニクル
平成14年（2002年）編

あの頃、みんな若かった！

始めに

日本刀剣電脳倶楽部の過去ログは、参加された皆様の経験と知識が集約されたデータ集であり、ビギナーからベテランまで幅広い方々が参加した有益な情報源です。

今回、参加された皆様の経験と知識を「同好の士」に提供するため、閲覧や印刷に適した形に編集を行いました。
これらは、少なからず皆様のお役にたてるものと信じますが、ご利用に際して次のことにご注意ください。

1. 掲載されている情報は投稿当時のものであり、また、個人の意見であるため正確さを保証するものではありません。

2. 情報を利用することによって、何らかの不利益・不都合が生じた場合も利用された方の自己責任とし、投稿者および電脳倶楽部は一切の責任を負いません。

3. 一切の商業利用を禁じます。

4. 二次利用を希望される場合は、必ずご一報ください。

[1] 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！ 8
[13] NHK スペシャル 11
[15] ご迷惑をお掛け致しております。M(__)M。 12
[24] こんにちは 13
[33] ★お知らせ★ 14
[35] 安東貿易展示即売会 15
[44] 提案します！(~O~)デジカメを持って出かけよう！ 20
[47] 江戸新刀の横綱の帋徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方が正反対な印象を受けました 22
[59] すっごい、太刀が出てまっせ～～～。＼(◎O◎)／！ 24
[63] リニューアルおめでとうございます 24
[69] 柳生烈堂 25
[70] 正宗展 26
[71] 吉岡一文字 27
[76] 鑑定書。 28
[83] 鞘書 30
[90] 村正 31
[95] 鑑賞会、研究会のお知らせ 34
[108] 竹刈り会(タテトリエ) 35
[112] 銀座刀剣感謝祭。 37
[119] 展示会速報 39
[121] 驚きました！ 39
[124] さようなら正宗。 40
[134] 通販誌の到着！ウレシ～～～。 42
[144] 行ってきました！ 45
[147] 水心子正秀の思い出 48
[157] 現代刀・昭和刀について 50
[161] 軍刀の鍔について 54
[171] ビッダーズ 55
[174] 行ってきました・２ 56
[190] すてき 57
[194] NAVI 58

[195] 大阪城 61
[196] ＮＨＫ大河ドラマ。 61
[198] ○存の優品 64
[228] 鐔 70
[241] 続　兜割り 71
[244] 日本刀の古式鍛錬研究会 72
[247] カタログ。 73
[255] 無題 75
[264] YOSOZAEMON SUKESADA 77
[266] 再刃なのに…？ 80
[282] 刀箪笥 82
[290] 昭和の名品 84
[298] 無題 85
[300] ああっ、素晴らしい企画だ 85
[305] めちゃくちゃ早い『銀座情報』 87
[308] 悪代官 88
[314] 日本刀柴田展示会。 89
[281] 11 90
[327] SWORDS MADE BY HELMET AND ARMOUR. 92
[341] と言うわけでもう寄贈されました。 94
[344] 麗 95
[350] うーん 96
[353] 最近の刀剣市況 97
[359] 海軍刀について 99
[360] 来ましたね～。刀和。!(^^)!。 99
[362] 日刀保の鑑定について 100
[373] はじめまして 104
[378] はじめまして 110
[397] 無題 111
[418] 三本杉の靖国刀 112
[408] 伝説の刀剣 114

[405] 凄い話題がでましたので、こちらにお越し頂きました。M(__)M。 115
[440] 丁子油 121
[457] 出ました 130
[460] 墓地清掃奉仕 130
[475] 刀剣界の巨星逝く 132
[492] 不思議な現象 135
[493] 質問 136
[510] 無題 138
[504] お聞かせください。M(__)M。 140
[530] とうとう中国語 147
[542] 教えてください 149
[543] 「関の孫六」盗難事件 149
[551] 現代刀 150
[558] 刀とがたな、この似て非なるもの 152
[566] 鉄鉱石 157
[583] 刀がぬけなくなってしまいました 158
[548] 生まれて初めての阿波踊り 160
[570] 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会 162
[602] 正式サイトが発足しました！ 165
[610] 刀剣書アンケート 167
[616] 高山刀や郡水刀について 172
[580] 殉国清夷 173
[627] 火うち石について（質問） 174
[635] 復活！　「子連れ狼」 176
[645] 刀剣鑑賞ツアー(?_?) 180
[664] 討論掲示板から移行 183
[666] 鍔・小道具のアンケート 185
[678] 角　偉三郎師 189
[679] 三回目の刀剣鑑賞 189
[686] 槍 194
[701] 「義人」と言う名の二人の匠 195

[706] 関の刃物まつり。 197
[709] GO GO GO! 198
[718] 静型と巴型 200
[719] 奇峰とは・・・ 201
[703] これはどこの刀工？ 202
[726] 刀剣の再登録 204
[728] 拭い用の布 206
[729] 白鞘について 209
[731] 小刀ですが 210
[743] 渡辺登幾雄氏 211
[763] 刀剣の本について 212
[778] 鍔の手入れについて 214
[759] 鉄の展示館 215
[785] なんと！ 217
[786] 長州屋展示会。 218
[790] 真昼の決闘 218
[795] 鍔の本について 219
[798] 国定忠治　赤城山 220
[793] 展示即売会 222
[817] 土浦藩士屋家 223
[823] 鑑刀日々抄 225
[827] 復活！「子連れ狼」その２ 226
[829] 所謂『歳長地鉄』とは？ 227
[856] なぜ、近江大掾忠広だったのか。 236
[862] 所在不明・・・慶喜の太刀発見 238
[863] 誰の作品？ 241
[874] 刀＝剣？ 242
[888] 三笠砲鋼 245
[907] 時代劇マガジン。 251
[911] 研ぎ師さんの不思議 252
[942] 八代目浅右衛門 252

[915] 子連れ狼はじまる 253
[952] 菊池千本槍 259
[946] 辛抱ができない！ 260
[959] 刀剣鑑定について 262
[975] またまた士学です・・・ 266
[983] 無銘新刀画像ＵＰ！ 268
[997] 刀剣界の巨匠逝く（続） 271
[999] 埼玉県伝統武術演舞大会 271
[1001] 朧月夜 272
[1002] 点呼 277
[1029] 東京時代祭り。 280
[1040] 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした 281
[1049] 鍔の材質について 288
[1057] 猛ダ～～～ッシュ！２ 288
[1068] 教えてください 292
[1079] 追加の心 294
[1085] あれ？ 295
[1086] あ～～～！！ 297
[1081] 裁断銘への疑問 297
[1105] 真のダマスカス鋼とは 302
[1108] 大連の刀 303
[1118] カウンター 304
[1111] ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆ 304
[1137] 現代刀の旗手たち 308
[1117] 東京新聞の記事 309
[1143] 荒波拝見ドライブ 313
[1148] 来年のおはなし 315
[1151] 復活しました。 317
[1162] 徳島刀剣事情 320
[1165] 特別鑑賞会 321
[1173] ゼロ 325

[1179] 12 月 14 日 327
[1193] 浪士は何人？ 331
[1198] 今月号 332
[1205] 刀剣 335
[1212] 阿蘭陀情報通信 338
[1213] 忠臣蔵３００年 338
[1220] 平成１４年に思うこと。 340
[1235] おー！新撰組 345
[1238] 平成１４年に思うこと。 346

[1] 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：管理人代表　真改 2001　投稿日：2002/06/07(Fri) 23:11

いらっしゃいませ！m(__)m。
ようこそ。
こちらは新電脳倶楽部でございます。

皆様で造っていくという初志を今一度ここに掲げ、参加型のサイトとしてこれまで以上にあらゆる方向の愛好家の皆様の参集を御願いする次第でございます。

煩わしい枠組み無しの『楽しい』『嬉しい』『気持ちの良い』を合言葉に今後ともよろしく御願い申し上げます。

さあ！あらゆる面で強化改善した『新電脳倶楽部』を皆さんと御一緒に楽しみましょう！

では、スタート！！

[1 へのレス] 独立ドメインおめでとうございます。

投稿者：HOTSUMA.NET　投稿日：2002/06/07(Fri) 23:38

当初の念願でもありました。日本刀剣電脳倶楽部の成人式ですね。おめでとうございます。

STAFF 皆様のお陰様を持ちましてシステムも、持つべき機能、あるべき形が備わって参りました。
皆様で創る皆様の為の皆様の、このサイト。媚びず、怯まず、拘らず、行雲流水の如く力みも無く。
良いときには奢らずに、悪いときにも、外界や他人様のせいにせず、ただ自らを省みつつ、常に純粋な
刀友として共に歩む姿勢と至誠を貫徹して頂きたいと願ってやみません。

真改代表の仰いますように、刀剣界の一角に開いた「嬉しい」「楽しい」そして「気持ちの良い」スペースでありつづけて参りましょう。

今後とも宜しくお願い申し上げます。m(__)m

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/08(Sat) 00:03

電脳倶楽部も念願であった独立ドメインを取得し、新たなるスタートを切ることができました。
これも参加者・閲覧者の皆様のご愛顧のお陰と、スタッフの端くれとしてお礼申し上げます。
常に「学ぶ者」としての姿勢を忘れず、他の諸先輩方々のご意見・価値観を尊重し、謙虚な姿勢を貫きたいと思っております。

「礼儀・廉恥」この言葉を座右の銘として皆様と共にあることを願いながら、これからもよろしくお願い申し上げます。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：久　投稿日：2002/06/08(Sat) 00:21

刀剣電脳倶楽部の独立ドメイン取得、そして新たなるホームページのスタートおめでとうございます。ライムサワーよりフレシュで、ビールよりキレがあり、梅干焼酎お湯割りより温かくそしてコクのあるホームページを応援させて頂きます。
これからも宜敷くお願いいたします。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：乾雲　投稿日：2002/06/08(Sat) 01:08

新規開店おめでとうございます！
今後ますます、刀剣ファンが明るく集い、楽しく交流できる場となります
よう、貴サイトのご発展をお祈り申し上げます。

[1 へのレス] Re: 「新規開店」おめでとうございます。

投稿者：菊久　投稿日：2002/06/08(Sat) 07:08

トップページも新たに、新装した電脳倶楽部に益々の期待とご発展を祈念するところです。

スタッフの皆様方にはページ運営など、ご苦労が多々あると思いますが、頑張って頂きたいと思っています。
私も微力ではありますが、陰ながら応援させて頂きたく存じます。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/06/08(Sat) 08:41<HOME>

念願の新天地へようやく辿り着きましたね。おめでとうございます。　これからも刀剣界の永世中立サイトとして刀剣愛好家の一助となるよう、更なる飛躍発展をお祈り申し上げます。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：羅府守　投稿日：2002/06/08(Sat) 09:51

ドメイン取得＆新しいホームページ開設おめでとうございます。今後とも万里の波濤を越えたロスより楽しませてもらいます。今後の更なる発展を期待しています。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/08(Sat) 09:53

新規開店おめでとうございます。
今後ともよろしくお願い致します。

表紙の仏像いいですねー画像の切れが違います。
弓手は武器で馬手は仏灯でしょうか、なにか貴サイトの心意気を見るようです。

ちなみに独立ドメインとはなんなのでしょう？
コンピューター関係はうといものでお教え頂ければ幸いです。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：鬼丸　投稿日：2002/06/08(Sat) 10:34

新装開店おめでとうございます。
こらからの益々のご発展を祈念いたします。
開店祝いに新着情報を！！
平成１５年1月5日（日）から2月3日（月）まで佐野美術館で
特別展「草創期の日本刀」が開催されます。
渡辺妙子先生によるギャラリートーク　1月１１日（土）と2月1日（土）の2回
講演会1月１２日（月祝）　入場料大人８００円

安綱くんや古備前の仲間たちに会えるかも？

その前にやっぱり１１月の東京での「大刀剣市」ですね！！

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：管理人代表　真改 2001　投稿日：2002/06/08(Sat) 11:46

独立ドメインとはなんなのでしょう？
＞
まあ、固有の住所っていうことでよろしいのでしょうか？
皆様。^_^;。

今まではアパートにいたわけで、一戸建ての新居を構えたわけです。

平成１５年1月5日（日）から2月3日（月）まで佐野美術館で
特別展「草創期の日本刀」が開催されます。
渡辺妙子先生によるギャラリートーク　1月１１日（土）と2月1日（土）の2回
講演会1月１２日（月祝）　入場料大人８００円
＞＞＞
早くも来年の話題騒然ですね！
全国各地の情報をよろしく御願い致します。
m(__)m。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/08(Sat) 23:31

新規開店おめでとうございます。
ＰＣ音痴の僕には新規ドメインが何かすら分かりませんが、
これからもちょくちょく寄らせていただきたいと思います。

他の刀剣関連ＨＰには無い「バランスの良さ」がこちらには有ると思います。
従って居心地も良い…。
これからも発展し続けますよう期待しております。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：古賀あらため酔仙　投稿日：2002/06/09(Sun) 09:06

つるぎにしか興味の無いいびつな愛剣家ですが、今後とも寄らせてください。
新しい URL とともに「直刀の時代」が始まるものと楽しみにしていました。いまも楽しみにしています。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：保存会スタッフ　投稿日：2002/06/09(Sun) 19:37

独自ドメイン取得おめでとう御座います。
当会の掲示板の間借りを長々とさせていただきありがとう御座いました。
これからの日本刀剣電脳倶楽部のますますの発展をお祈りしております。

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：神無月　投稿日：2002/06/09(Sun) 20:53

新規開店おめでとうございます。
若輩者ではありますが、これからもどうぞよろしくお願いしますm（__）m

[1 へのレス] Re: 毎度お騒がせしております。新規開店でございます！！
投稿者：純井　投稿日：2002/06/10(Mon) 14:01

新装開店おめでとう御座います。神無月さん同様若輩の身では御座いますが、こちらは様々なしがらみの無い書きこみが出来るところと解釈させていただいておりますので、今後のますますの繁栄を期待しております。
先ずは新装開店のご挨拶まで、今後ともよろしくお願い申し上げます。

---

[13] NHK スペシャル

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/08(Sat) 23:01

『日本の伝統が未来を変える。』というタイトルで、先ほど放送がありました。

その中に日本刀の技術あるいは鍛錬技術を紹介する部分もあったりと、紙すきから陶芸・漆塗りなどなど、美しい日本の伝統技術を垣間見るものでした。

漆って乾燥して固まるのではなくて、湿気を与えることによって自らが固まるのですね。
知らなかった。
目から鱗ものです。

昔の人は経験と技術で今の時代以上の素晴らしい作品を世に送り出していたのですね。
感激しました。
創意工夫は必要から生まれるのです。（って偉そうにすいません）
m(__)m。

[13 へのレス] Re: NHK スペシャル

投稿者：空爺　投稿日：2002/06/08(Sat) 23:18

しまった！

その番組に、ムーミン谷仙人とその御弟子が出た筈。
あいたたたたたたたたた。見そびれました。(T.T)

[13 へのレス] Re: NHK スペシャル

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/09(Sun) 17:52

え～～～っ？
私見てましたけど、仙人様のお顔はしっかり拝見しましたが、御弟子様ご出演されていらっしゃいましたか？

[13 へのレス] Re: NHK スペシャル

投稿者：久　投稿日：2002/06/09(Sun) 17:58

BS 番では出ていましたが今回放送されたのはダイジェスト版でカットされていました。(T_T)

[13 へのレス] Re: NHK スペシャル

投稿者：空爺　投稿日：2002/06/09(Sun) 21:27

へっへっへっ今日、代表が大魔神様と共に録画 VTR をお持ち下さいました。
え？ムーミン谷のクマさんカットされてしまったんですか？
映倫ですか(ボカ☆！いててててて...)

[13 へのレス] Re: NHK スペシャル

投稿者：久　投稿日：2002/06/09(Sun) 21:52

ボカ☆！ではなく、斬、ザク、ブスッ、グサッ！
が正しいです。空爺さん

---

[15] ご迷惑をお掛け致しております。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/08(Sat) 23:19

この度の新ドメイン取得とデータの移行等で大変ご迷惑をお掛けしております。

例えば『iternet surver error』が表示されるだけとか、画面が真っ暗だったとか・・・、です。
多数のメールを頂戴致しました。

ご心配なく！
あなただけではありません。(^_^;)

安定するまで多々ご迷惑と不自由をお掛けすると存知ますが､素人の趣味のページでございます｡なにとぞ､ご容赦下さいますよう御願い申し上げます。

なにせ私も討論掲示板に行ったら、iternet surver error で
『えっ！』
って思いましたから。(*^_^*)。

[15 へのレス] Re: ご迷惑をお掛け致しております。m(__)m。

投稿者：黒鞘組システム班　投稿日：2002/06/09(Sun) 09:38

ドメイン取得に伴って、以前のコンテンツを引き継ぐと共に、さらなる新機能・新機軸を打ち出すべく鋭意努力しております。
その間、一時的にシステムが不安定な時もままあり、皆様方にはご迷惑をお掛けしております m(__)m
速やかなシステム安定を心がけますので、暫らくの間不具合・トラブル等大目に見ていただけるようお願いいたします m(__)m

[15 へのレス] FLASH の TOP がご覧に成れない皆様へ

投稿者：黒鞘組システム班　投稿日：2002/06/09(Sun) 14:45

HTML-TOP へ同画像を JPEG 形式にて組み込んだものを新設いたしました。多少重くなりましたが、ショックウエーブフラッシュに対応されておられない方、また、なんらかの理由でご覧になれない方には SWF 画面の雰囲気を楽しんでいただけるかとぞんじます。

不自由をおかけいたしておりますが、めげずにご投稿を（*^_^*)。

[15 へのレス] 遅ればせながら

投稿者：沼六屋　投稿日：2002/06/09(Sun) 19:36

この度は新装開店（パチンコ屋さんみたいですね（＾＾））おめでとうございます。
真改代表はじめスタッフ皆さんのご活躍と、当サイトの益々のご発展を祈念致しております。
此れからも何の柵も無い、愛好家の味方で有り続けるサイトで居て下さいね。

---

[24] こんにちは

投稿者：寿　銃兵　投稿日：2002/06/09(Sun) 18:11

初めてお便りします。インターネットは初心者なので、ずっと前から見ていましたが、
ひとことご挨拶をと思い投稿しました。いいＨＰですね。また来ます。

[24 へのレス] Re: こんにちは

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/09(Sun) 18:21

寿　銑兵さん、初めまして。花散里と申します m(__)m
電脳倶楽部も心機一転、新たなスタートを切ったばかりですのでご訪問歓迎いたします(^.^)
これからもご訪問並びにご発言、お気軽にお願いします m(__)m

[24 へのレス] Re: こんにちは

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/09(Sun) 22:29

はじめまして。
真改 2001 と申します。よろしく御願い致します。

何度もお越し頂き、何度も書き込みして下さい。
どんな話題でも結構です。

ちなみに私の得意分野はフィギュアとイチローが好きということです。
刀剣もなにもかも楽しくやりたいと思っています。

[24 へのレス] Re: こんにちは

投稿者：空爺　投稿日：2002/06/09(Sun) 22:52

ここの門前小僧見習いの空爺と申します。この度はよくおこしくださいました。
私も経験がありますが、インターネットの初めというものはちょっとのカキコでも
かなりな勇気が要ったりしますよね。でも、一旦慣れてしまえばあとは野となれレンゲ草！
ここは、同じ趣味を持つ同士、人と人の普通のお付き合いさえしていただれば何の遠慮も
いりません。どうぞ、ご意見等もございましたらどしどしお寄せくださいませね。

皆様と共に創ってきたサイトです。今後とも宜しくお願い申し上げます。m(__)m

[33] ★お知らせ★

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/09(Sun) 23:02

当ホームページでは、掲示板が数箇所存在します。

それぞれ特色を持った掲示板ですので、訪れてみて下さい。

よろしく御願い致します。m(__)m。

[33 へのレス] Re: ★お知らせ★

投稿者：鎬　投稿日：2002/06/14(Fri) 18:08

そうですよね
複数あるんですよね

[35] 安東貿易展示即売会

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/10(Mon) 19:25

今週の金～来週の月まで安東貿易が徳島のアスティー徳島という会場に展示即売会にやって来ます。

私は、正直言って今まではあまり内容が充実していなかったというのが実感でしたが、今回は安東貿易のホームページを見て、重要刀剣をはじめとする刀の充実振りが目立ち、おっ！これは行ってみたいな！と思わせる展示品目録の内容でした。

刀剣購買に関して言わせていただければ、刀剣だけは実際に手にとって見ないと画像だけではいかんとも言いがたい面があると思っておりますので、私は実際に見に行くとか送ってもらって吟味した後に買うという形態を好む者です。

特に徳島のような刀剣商の少ないあるいは、展示即売会など皆無に等しい地域では、数少ないこうした展示即売会に足を運び、手にする絶好の機会となるはずです。

お金を送って、刀剣を待つことができない方でも、展示即売会に出向けば気軽に拝見することが可能です。手にとることが恐ろしくても(^.^)、展示してあるのはガラス越しではないので、実際に近い感覚で拝見することが可能です。

刀剣趣味を始め、その後に刀剣を持とうとする時に、親しい刀剣商がいることは自分の収集の力になることです。

初心者には初心者の、数年趣味を経たものにはそれなりの感じ方やその変遷が自分の中で感じ、そして確信となっていくはずです。

楽しい刀剣ライフを送る一歩として、地方に在住のものにとってはこのような展示即売会は非常にありがたいものです。

特に今回の安東貿易の徳島展示会は、なかなかのラインナップとお見受け致しました。
行こうか、どうしようか、考え中の私のような皆さん。
今回は特に行ってみませんか？
私も、前回はパスしましたが、今回はお邪魔しようと思っております。

あと、買う買わないは別として、拝見時の礼儀は大事ですね。
拝見するほうは『見せていただく』
刀剣商は『見ていただく』
という心があれば上手くいくのですが、そうとばかりは限らないのが世の中ですけどね・・・。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：空爺　投稿日：2002/06/10(Mon) 21:58

私も御案内頂戴いたしております。

ちなみに思い出しましたが、社長はもう例の資格お取りに成ったのでしょうか。
意地と面子がかかって居るようでしたね。今回は会心の展示会かな。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/10(Mon) 22:41

空爺さん。
行ってみませんか？

今回は安東貿易さんのホームページをみても、なかなかのラインナップです。
もっとも、すでに徳島に来る前に売れたなんていうのは無しですよ。
社長！！(^○^)。

ちなみに、ほとんど初日にめぼしいものは売れているのが、いままでのパターンですので、少なくとも土曜日には行きたいところです。
ぜひ、ご一緒しましょう！！

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：純井　投稿日：2002/06/10(Mon) 22:51

刀剣即売会>
東京に居ると言う関係上、良くあちこちの即売会に出かけます。拝見させていただくと言う気持ち・礼儀は持っているつもりではありますが、拝見させていただきたいと言う事が中々言えないんですよね。
自身が買ったことのある店舗なんかですと非常に言い易いんですが、始めて行ったところなどは見たいものがあったら言ってくださいガラスケースから出しますのでって言ってくれるんですが、これが中々に言い出し難いんですね、言えば良いとは分かってはいるんですが。
安東貿易さんの徳島展示内容は確認させていただきましたが、代表のＨＮの井上和泉守國貞銘の真改の刀が出ておりますね。拝見してみたいものですが、何分にもちょっと自分には遠い場所となりますので行けないのが残念です。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/10(Mon) 23:11

東京在住ですか。
うらやましい環境ですね。
私がもし在京なら、ほとんど毎日時間を作っては刀剣店巡りあるいは、特定の刀剣商へ入り浸っていることでしょう。(~o~)。

確かに、ガラスケースから出して下さいっていうのは抵抗がありますね。
私も買いもしない身上で、申し訳ないな～と思いながら、価格を伺ったり、拝見したりすると恐縮の嵐です。
懇意の刀剣商だとまったくそんなことは気にもとめず、逆にずうずうしすぎて、またまた、あとか

ら恐縮する次第という繰り返しなのですが・・・。

でも、安東貿易さんは剥き身(~o~)なんですよ！
見たことはございませんでしょうか？
勇気ありますよね～。結構、会話で唾が飛んでますからね。

真改につきましては、私もここの名前にしているくらいですから、重点的に拝見するようにしておりますが、狙い目は『井上真改』銘よりも『国貞』銘の一口でございますね。

先般、東京にてさる御仁の『井上和泉守国貞　寛文元年期　菊紋入り』を拝見しましたが、外装も大層珍しく保存状態も抜群で、刀身も真改銘よりも覇気が感じられました。
真改改名前の国貞銘時代の覇気ある一刀が私のもっとも好む『真改スタイル』でございます。
(^o^)丿。

今回の安東貿易さんの展示即売会のリストの中で、ずばり私の注目は『延寿』の重要刀剣です。
穴狙いで)^o^(、天正祐定でしょうか。

週末にはレポートができそうです。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/10(Mon) 23:24

＞真改代表、恐縮です。
レポートお願いしますね～。

さて、東京でも展示会がありますよ。
「刀剣美術」誌上にも紹介されていますが

６月２０日～６月２３日まで
中央区銀座７－４－１２　銀座ぎょうせいビル１階
「アートミュージアムギンザ」

「銀座刀剣感謝祭」と言って幾つかの刀剣商が一緒になっての展示会です。
意外な掘り出し物があるかも…？
なんていうのは業者さんの常套句ですね。
本当に「掘り出し物」だとしても目の利く刀屋さんなら最初からそれなりの値段になってます。
そう言いながら見に行っちゃうんだな～。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：純井　投稿日：2002/06/10(Mon) 23:49

実は自分も若輩の身ながら、真改國貞の脇差が愛刀だったりするので、真改や和泉守國貞と見ると目の色を変えて拝見する事が多かったりします。
確かに國貞銘のものでも刃縁の沸や肌がとてつもなく綺麗なんですよね。私のは最初期銘の五字銘

の國貞ですが、これも刃縁の沸は若打ちとはいえ綺麗ですね。
安東貿易さんの真改以外で目に付いたのは個人的にはですが、重要刀剣の長巻直しっぽい法城寺の刀ですね。なんか姿が豪壮でこういうのも好きなんですよね。
そう言えば確かにもう少しで銀座刀剣感謝祭が在りますね。最近自転車で動くことに喜びを見出しつつあるので、自転車で行ってこようかな～って思ってたりします。前回は仕事の都合で行けなかったんですが、今回は行ってこようと思っております。何があるかな～って今から非常に楽しみであります。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/11(Tue) 01:17

では、そう言うことで m(__)m
こてつさん、純井さん、「銀座刀剣感謝祭」のレポートをよろしくお願いします(^o^)丿

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/11(Tue) 04:39

「銀座刀剣感謝祭」もよく葉書を頂戴致します。
葵美術さんとかよく参加しておりませんか？
一度昨年だったか、訪れたことがあります。その時の印象に残った刀剣は『村正』脇差・清麿の小柄でした。
これには驚きました！

それにもまして、驚いたのは純井さんが真改ファンであったことです。
良いですよね～。真改は。(~o~)。
私はもし大坂新刀でこんなものができればお願いしたいな～と思うのが､『親国貞の地鉄で真改の焼き刃』なのです。
こればっかりは、タイムマシ～ンがないと無理ですけどね。^^;。

重要刀剣の長巻直しっぽい法城寺の刀
＞ですが、同じ安東貿易さんで一度、別のものかもしれませんが拝見したことがあります。
地鉄の迫力が凄かったです。
とにかく圧倒的な押し迫って来る迫力は、見るからに古刀の魅力がプンプンして、見るものを惹きつけてなりませんでした。
今回の刀も大切先でそれと同等あるいはそれ以上の迫力を感じますね。
これはレポートが楽しみです。
頑張ります。

真改ついでに・・・、
昨年のクリスティーズに出されていた『真改』刀は第６回重要指定で重要刀剣の中でももっとも長く、しかもすばらしい出来でした。
昨年末の大刀剣市にすでに売品として出ておりましたが、あっと言う間に売れました。

ご覧になられましたでしょうか？

こうした、海外主催のメジャーなオークションも見逃せない情報の一つです。

さらに、今、四国は香川県丸亀市で開催されている『刀剣展』では、真改国貞刀・真改脇差の両者重要刀剣指定が展示されているはずです。

これも、四国の方は必見です！！

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：純井　投稿日：2002/06/11(Tue) 13:35

『親国貞の地鉄で真改の焼き刃』＞
う〜む…単純に考えると親国貞が鍛えて、土置きから先は真改ですか…面白い感じの刀になりそうですねそれは。代作代銘期の物を探せば出てくるかもしれないですね、ひょっとしたら…ですが。
いや〜でも真改良いですよね〜刃縁の沸がびっしりと均等にはばき元から切っ先まで破綻無く焼き上げているところなんか素晴らしいの一言です。私のは焼き幅がそれほど広くないものなので地も良く見えるんですが、地沸が凄いんですよね。江戸新刀の横綱の馬徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方が正反対な印象を受けました。地鉄の詰み方一つ取っても色々在るところが面白いと感じた次第です。
去年の大刀剣市は終わってからその存在に気が付いたので、拝見して居なかったりします。そのように出来の良い真改ならば是非拝見仕りたかってですね…這ってでも。
しかし海外のオークションは盲点でした。チェックしてなかったんですねこれが。国内のオークションサイトもあまり見ないので。もっぱらお店のＨＰを覗いて楽しんでます（自転車で行ける距離であれば簡単に見に行けるので）。今回の銀座刀剣感謝祭も葵美術さんのＨＰで知りましたので、実は楽しみにしていたりするイベントの一つです。

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/11(Tue) 21:15

僕も東京に住んでいるので「銀座刀剣感謝祭」行ってみたいですねぇ。

あ〜でもこれからの時期、北国出身の僕にはつらい季節、正直なるべく出歩きたくありません。でも行ってみたいんですよねぇ。「銀座刀剣感謝祭」の間、少しでも涼しくあることを願っています。

成蹊堂様での勉強会にいらっしゃていたお２人のうち、どちらが純井さんなのかなぁと思っていたんですが、なるほど真改国貞をご持参された方でしたか。なんかつまっていた鼻の通りが良くなった感じです（＾＾）

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/11(Tue) 22:26

では、そう言うことで m(__)m

神無月さん、「銀座刀剣感謝祭」のレポートをよろしくお願いします(^o^)丿

こればっかり(^_^;)

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：純井　投稿日：2002/06/11(Tue) 22:36

神無月さん>
ふっふっふ…さぁて如何でしょうねぇ（爆）
ちなみに銀座刀剣感謝祭ですが、建物の中はクーラーが効いているでしょうから行くのが得策ですよ。まぁ……有楽町駅からそこまでは熱いですけども（激爆）

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：空爺　投稿日：2002/06/12(Wed) 01:02

阿州では久しぶりに社長のお顔も見たいですね。相変わらず精力的ですかねぇ。
居合いの諸先生にもお会いできるかも知れません。代表の「例の行動」も見られるかな(^^)

[35 へのレス] Re: 安東貿易展示即売会

投稿者：鎬　投稿日：2002/06/14(Fri) 18:06

徳島には、月曜日に行く予定なので
拝見時の礼儀：
①拝見するほうは『見せていただく』
②刀剣商は『見ていただく』
を肝に銘じて鑑賞させていただこうと思います。

東京銀座にもたぶん期間中に
行くと思いますので
おじゃましたいですね。

写真撮らせてとは、言えないかも。。。

---

[44] 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/06/11(Tue) 07:47

とうとう、ドコモも他社の人気に押されてデジカメ付き形態の発売に踏み切りましたね。

美術館や博物館では撮影の禁止は声高々に叫ばれておりますが、展示即売会に関しては、開催者の了解さえいただくことができますれば、案外と撮影は許されるものです。

また、美術館等の撮影でも入り口や概観は撮影が可能です。

先般の上京に際しましては、ソニー製の重たいデジカメを持参する機にはなれず、見て楽しむ画像をご提供することが出来ませんでした。

文頭にありますとように、これからはますますデジカメも身近になって来るでしょう。
ちなみにドコモは３１万画素だったかな。

デジカメ専用機でも小型化低価格化で、持ち運びや購入も楽になりました。
今後ますます、この傾向は進んでくるはずです。

掲示板での投稿も楽しいですが、画像の力はまた違った魅力をもっております。
週末の安東貿易展示会では許されるなら、撮影をさせていただいて会場での雰囲気等をお伝えしたいとおもっております。

デジカメ付きの携帯＆デジカメ専用機をお持ちの皆様。
ぜひ、文章は苦手だが写すだけなら、という楽な気持ちで画像掲示板にご投稿下さい。

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！
投稿者：真改２００１　投稿日：2002/06/11(Tue) 07:48

訂正
デジカメ付き形態→デジカメ付き携帯
m(__)m。

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！
投稿者：神無月　投稿日：2002/06/11(Tue) 21:27

デジカメ欲しいです。
デジカメは撮ってすぐに、上手く撮れたかどうか確認できるところが魅力ですね。
一眼レフカメラだと現像するまで判らないので、デジカメを持っていれば、いいなぁと思った物や景色などを保険として撮ることができます。
現在はデジタル一眼レフで６００万画素なんていうのも出ているみたいですね。

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！
投稿者：純井　投稿日：2002/06/11(Tue) 22:09

キャノンのＥＯＳＤ６０ですね。だんだんスチルカメラに近い画素の物になってきましたね。きっと再来年あたりには一千万画素を超えるに違いなさそうです。
……値段も凄まじそうですけどね（爆）

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！
投稿者：空爺　投稿日：2002/06/12(Wed) 01:07

NIKON NIKKOR 党はこちら
http://www.nikon-image.com

●2/3 型ＣＣＤを採用し、有効画素数 5.0 メガピクセルの高解像度を実現

撮像素子には 2/3 型 CCD（総画素数 5.24 メガピクセル）を採用。

有効画素数は 5.0 メガピクセル。１画素のサイズが大きく広ダイナミックレンジ 、
高 S/N を確保しています。高性能レンズの描写力を存分に活かして、
2,560×1,920 ピクセルの極めて高解像度な画像を提供します。
だそうです。

空爺@元 NIKON 党今お手軽デジカメ党(^^;

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！

投稿者：純井　投稿日：2002/06/12(Wed) 21:23

ニコンのクールピクスではなく、Ｄ１シリーズだと確かニッコールレンズが使えましたね。今までＦシリーズを使っていた人というかプロ用なんでしょうが…しかしこれは値段が凄まじいですね。

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！

投稿者：旅人　投稿日：2002/06/12(Wed) 22:30

実は私はニコンのクールピクスを使っております。このような新しい物が出るとついつい欲しくなってしまいますね
D1 だといろいろなレンズを付けれるんですよね。
あ～どーしよう！

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/13(Thu) 21:18

デジタルカメラのレンズ交換は気をつけなくてはいけないそうです。
アナログカメラと違い、カメラ内部にゴミが入るとお終いだそうです。そうなるとメーカーでも直せないと聞きました。

[44 へのレス] Re: 提案します！(~o~)デジカメを持って出かけよう！

投稿者：純井　投稿日：2002/06/14(Fri) 15:31

Ｄ１シリーズでソレやったら泣くに泣けないですね。だって凄まじいお値段ですから…。

---

[47] 江戸新刀の横綱の帋徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方が正反対な印象を受けました

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/11(Tue) 21:00

江戸新刀の横綱の帋徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方が正反対な印象を受けました。
＞＞＞＞＞＞＞＞＞

下記レスに純井さんが上記の内容を書かれていましたが、随分と下になってしまったので、勝手に上に持ってきました。
ご了承ください。

以下、私の随感です。
随感って随意に感じるってことでいいのですかね？間違っていたらごめんなさい。
かっこいいから、つい使ってしまいました。(^^ゞ。

そうですね～。
私は逆の印象を持っているのですよ。
日刀保の徳島支部で特別鑑賞会がありまして（数年前のこと)、その時に帋徹の刀を拝見したのですが、あまりにもの美しい地鉄に『大坂新刀』の印象を受けました。
詳細に観察して、横手の焼き込む特徴から『帋徹』と入札した次第ですが、地鉄だけではとても帋徹（江戸新刀）と思うことができませんでした。
キラキラと光る地沸厚く付く様は国貞・真改を思い浮かべずにはいられませんでした。

帋徹特有のはばき元の『鍛え』も見られず、むしろ私は真改にこのような『てこ鉄』というのでしょうか？それを見たことがあったので、？？？？という状態でした。

新刀以降、鉄の流通は全国にくまなくいきわたっていたと想像すると、高名な刀匠である帋徹や真改や助広のような人達には最高級の鉄が行き渡ったことでしょうから、よく似た鉄に仕上がるのは納得がいくな～と自分で思ったのでした。

同じ新刀でも肥前刀などは家伝の作刀の継承で、肥前刀らしさを受け継いでおり、入札鑑定でも比較的わかりやすいと思うのですが、
上記の帋徹は本当に分からなかったな～というのが実感なのです。
(^_^;)。

ちなみに生まれてはじめて買った美術刀剣は『肥前国住近江大掾藤原忠広』刀で二尺四寸五分のあの当時は完璧と思えた名刀でした。

以上が私の随感ですが、思うがままの感想ですので、聞き流してください。
そう思った奴もいる！というくらいにお聞きいただければ、楽にお話もできそうですから・・・。
(^0_0^)

[47 へのレス] Re: 江戸新刀の横綱の帋徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方...

投稿者：純井　投稿日：2002/06/11(Tue) 22:03

う～ん…ひょっとしたら私が見たのが古研ぎだったせいかもしれないですね。ちなみにこれははばき元に「てこ鉄」が在るものでしたが。
考えてみれば日本刀は一振り一振りが全部違う作品ですし、人によっては違うイメージを持ったという事はおかしい事ではないと思います。帋徹なんかは卸し金をしていたって本では良く見るんですが、逆にそのような記述は真改などには見ません。このあたり結局はタイムマシンで見てこない限り分からないものなんですけど。(^ _ ^ ゞ

[47 へのレス] Re: 江戸新刀の横綱の馬徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方...

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/12(Wed) 06:14

追伸

生まれて初めて日刀保の特別鑑賞会で入札鑑定に参加し、5口の内、1口しか分からずにあとは『刀』だよな～ということでしか見ることができなかったその時に、当たった鑑定刀も何を隠そう
『肥前国住近江大掾藤原忠広』
でありました。
(^0_0^)。

[47 へのレス] Re: 江戸新刀の横綱の馬徹もつい最近見たんですが、地鉄の詰み方...

投稿者：純井　投稿日：2002/06/12(Wed) 21:29

自分自身で持っているものであれば、子細に鑑賞できますから当たりやすくなりそうですね。鑑定会自体に参加したことは無いので、私では参加したとしても全部これって『刀』だよな～になりそうです（爆）。

[59] すっごい、太刀が出てまっせ～～～。＼(◎o◎)／！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/12(Wed) 22:06

太刀　銘　延次（古青江）

-織田信長献上・正親町天皇御物-

＜特別文化資料刀剣認定済（日本刀装具美術館）＞

上記、刀剣は『甲刀クラブ』さん主宰のオークションで出ている刀剣ですが、伝来もすごいが、鞘書きがまたまたすごい。
沢山書いてますわ！

刀装具美術館という懐かしい響きもあいまって、非常に興味深い一刀でございます。
m(__)m。

[59 へのレス] Re: すっごい、太刀が出てまっせ～～～。＼(◎o◎)／！

投稿者：純井　投稿日：2002/06/12(Wed) 23:04

拝見しました…なんか鞘が鞘書きで耳無し芳一状態ですね、凄まじい。

[63] リニューアルおめでとうございます

投稿者：ＪＳＡ日本刀オークション　投稿日：2002/06/13(Thu) 22:19<HOME>

随分とご無沙汰しております。以前にもまして、手の込んだ構成ですね。新・日本刀剣電脳倶楽部のますますのご発展お祈り申し上げます。

[63 へのレス] Re: リニューアルおめでとうございます

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/13(Thu) 22:42

ありがとうございます。
展示即売会やネット上のオークションなどでの情報交換が飛び交うと思いますが、それだけ興味があるということでご了承下さいせ。

また、ＪＳＡ日本刀オークション様はすでにメジャーな刀剣専門のオークションサイトですから特に関係はないでしょうが、当サイトは営利目的の宣伝はご遠慮願っておりますので、過度な宣伝だけはご容赦下さいますよう御願い致します。

とは言っておりますが、ほとんど毎日チェックしておりますので、
中でも素晴らしい目を惹く刀剣に出会いますれば、私はもちろんですが他の方も投稿され楽しい会話に発展するでしょう。

その時にひょっとしたら、文章表現のちょっとした行き違いで誤解が生じる恐れもあろうかとは存知ますが、大目に見ていただければと存じます。

最後になりましたが、ＪＳＡ日本刀オークション 様の益々の素晴らしい刀剣の出品と御発展を御祈念申し上げます。

ありがとうございました。m(__)m。

[63 へのレス] Re: リニューアルおめでとうございます

投稿者：鎬　投稿日：2002/06/14(Fri) 15:35

ほんと、リニューアルよかったですよね。
真改代表すごいよね。

天満 OMM で仕事してたら、あら！刀剣市やってるじゃありませんか？
チェック不足で知らなかったものですから
２０分ほどの鑑賞で、お時間となりました。
ナイフコーナーに来たところで
呼び出しの携帯電話で、はいそれまでよでした。。。
デジカメを今日に限って持ってなかったんです。。。
ごめんなさい。「一億円の村正」撮影したかったですよ。

[69] 柳生烈堂

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/15(Sat) 19:58

子連れ狼では、「非情の統率者」として徹底的に拝一刀の敵役となる柳生烈堂。もっとも子連れ狼を全巻読破すると、その一途な理念などに共鳴を覚えることも多く、私は密かなファンになってしまいました(^^ゞ
この柳生烈堂が「**実在の人物**」だということは、あまり知られていないのではないでしょうか？

柳生但馬守宗矩の四男として寛永 13 年(1636)に生まれ、11 歳のとき父宗矩の遺言により柳生芳徳寺の住職になるため、京都大徳寺に修行に出された。晩年は大徳時の第 238 世住持となり、元禄 15 年(1702)に没しています。

この柳生烈堂を主人公とした小説が、祥伝社文庫から発売されています。(火坂雅志著)
「十兵衛を越えた非情剣」「血風録　宿敵・連也斎の巻」「対決・服部半蔵」「秘剣狩り」と４巻が発売されているようで、私の読んだ「血風録　宿敵・連也斎の巻」では２６歳の青年剣士として描かれています。
荒木又右衛門を剣の師匠とし、寺を飛び出し放蕩無頼な生活を送る。兄である飛騨守宗冬に憎まれ、「切り捨てにせよ！」とまで言われる烈堂。

いかがですか？「子連れ狼」とは、一味違った柳生烈堂が楽しめますよ(^o^)

[69 へのレス] Re: 柳生烈堂

投稿者：純井　投稿日：2002/06/15(Sat) 20:54

主人公ではありませんけども、隆慶一郎氏の吉原御免状・かくれ里苦界行にも出てきますね。こちらは宗冬が良い味を出しているものになっていますが。

[69 へのレス] Re: 柳生烈堂

投稿者：乾雲　投稿日：2002/06/16(Sun) 02:35

烈堂は漫画の『柳生連也武芸帳』でも、かなり陰湿な悪役で登場していますね。
それにしても第３巻、なかなか出ないなぁ・・・。

---

[70] 正宗展

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/15(Sat) 20:01

本日遅ればせながら正宗展いってきました。盛況、盛況

お目当ては佐野美渡辺館長の座談会
１：３０整理券配布なのに１：１５に並んだときにはすでに６７番目(８０人定員)結局整理券配布前に定員いっぱいとなりました。
危ないとこだった。

渡辺館長はテレビでみたときにはやさしそうだったが実際は女傑っぽかったです。(席が一番前でしたので 1.5m 位しか離れていなかった)

なにか慶応でも講座を持っているそうで２時間しゃべりっぱなし、しゃべるときには立ちあがって元気いっぱいでござんす。

館長名言
質問者「良い刀の条件とは？」
館長「いいものだからいいんです！」
けだし名言

展示刀のなかでは清麿の為打ちが光ってたと思います。

[70 へのレス] Re: 正宗展

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/15(Sat) 21:28

根津美術館で買った『正宗』のビデオも佐野美術館の製作であったと思いますが、館長の講演はぜひとも聞きたかったですね。

---

[71] 吉岡一文字

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/15(Sat) 20:03

こんなのもネットで売りに出るようになったんですねー
値段も....
宣伝になるといやなのでどこかは書きませーん

[71 へのレス] Re: 吉岡一文字

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/15(Sat) 21:25

在銘にこだわらなければ、名品が非常に近くなりましたよね。

今日の安東貿易さんの展示会即売会も、延寿が 350 万くらい。
末左も同等。
忠広は 700 万くらいだったと記憶しております。

新刀の重要は高値で推移しておりますが、無名古刀重要がこの値段で買えるようになっては、古刀に目が行かざるを得ません。
綺麗な肌の新刀肥前の重要も見事でしたが、傷ではないが、やや肌立つ野趣にあふれた古刀の地鉄は、やはり魅力あるものです。

新刀の地鉄を見ていると、現代刀の地鉄は対等以上の仕上がりになっていると感じました。
新々刀の展示品を見ていると明らかに現代刀は進んでいると実感しました。

[71 へのレス] Re: 吉岡一文字

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/15(Sat) 22:13

画像掲示板に、安東貿易展示即売会の画像とコメントを掲載しました。

[71 へのレス] Re: 吉岡一文字

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/17(Mon) 23:42

ど、どこのオークションに出ているのでしょう？
色々捜したんですが…見当たりません～。
ヒント若しくは解答を…（涙）。

[71 へのレス] Re: 吉岡一文字

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/17(Mon) 23:45

ネットオークションではなくて、ネット販売ですね！(^0_0^)。

葵美術さんの委託販売に出ています。
手数料を引くと一体、売主にはいくら入るのでしょうか？
それが今の相場ということでしょうか？

[71 へのレス] Re: 吉岡一文字

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/18(Tue) 00:03

なるほど！
あーりーまーしーた～♪
ありがとうございました～。

[76] 鑑定書。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/16(Sun) 00:03

僕がよく行く現代刀を中心に扱っている刀屋さんがあります。展示即売会中なので行ってきたんですが…。

ここに今回ある有名刀匠（故人）の刀が出ていました。
この刀、春の保存の審査に出したのですが結局鑑定書は出ませんでした。な～んでか？
それはね、「為銘」を消した痕が茎に認められたから…なのだそうです。
実見したところ確かに刀匠銘が茎の鎬筋よりやや右側に寄り、鎬筋の左側にはやや荒れた鑢目がありました。
「昭和丙午年」の作刀で、ある銀座の刀屋さんの情報誌（２月号）に同じ刀匠の全く同じ年季の刀が載っていましたっけ。

上身の出来も申し分無く、昭和４１年頃の同刀匠の作刀に間違い無いのですが、茎の「為銘」を消してしまったため鑑定書が出ない…。何か不思議ですね～。
例えば古刀～新々刀で明らかな偽銘でも、茎の銘を消して「無銘」として審査に出すと「極め」が付いて保存が下りてきたりしますね。
現代刀は疑う余地が無いのに茎をいじっただけで審査を通らない…。
現代刀の悲しいところでしょうか…？

ま、最後はお持ちになる方の心の持ち方一つなんでしょうけど…。

ネタがネタなのであえてお店の名前は伏せました。
それでも問題あるようでしたら削除してください。

今月末にかけて東京は展示会が多いです。
霜○堂もまたやるようですね。
日本刀柴田さんも行って来ま～す。

[76 へのレス] Re: 鑑定書。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/16(Sun) 07:23

現代刀でも物故作家のものは鑑定書が付くはずですよね。
でも、為名を消しただけで鑑定書が付かないというのは時代の刀のことを思えば、納得がいきませんね。

私が仮に為銘の刀を所持するとすれば、やはり為銘は消したいところです。
時代の刀はそれも歴史として受け入れることはできますが、現代刀の為銘は私的にはちょっと遠慮したいところです。
これも、為銘は念入り作の証だから大変良いという考え方も一方にあるのは事実ですから、買う人の気持ち一つでしょう。
どちらが、良いとは決めるけることはできません。
しかし、今後現代刀で為銘を消したら鑑定書が付かないという事実が明らかになれば、買い手にとっては再考になり、店頭販売でも同じ刀匠の作品でもかなり価格の面で差が出るのは明らかですね。

鑑定書云々よりも刀自体のことを思えば、なんてことはないのですが、だったら為銘も置いておけばよいし・・・。
いじくったらやはり健全性を失い、評価が下がるということなのでしょうか？

しかし、重要刀剣の大擦り上げ古刀も値段が下がりましたね～。
これから買う人にとっては喜ばしい限りです。

[76 へのレス] Re: 鑑定書。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/16(Sun) 08:45

どちらが、良いとは決めるける→決めつける
に訂正。

[76 へのレス] Re: 鑑定書。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/16(Sun) 12:43

ネットオークションでも無銘重刀が珍しくなくなりました。
考えて見れば毎年毎年何十口と重刀が認定されるんだから、多少安くなっても…不思議ではないのかも？
買える買えないは別ですが（涙）。
ところで「日本刀柴田」さんの展示会は７月でした。
失礼しました～。

[76 へのレス] Re: 鑑定書。

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/16(Sun) 20:22

重要刀剣は重要刀装具とあわせて平成 13 年だけで２８４点指定されています。半分が刀としても

１４２振り増えてます。

[76 へのレス] Re: 鑑定書。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/16(Sun) 21:17

大擦り上げ古刀だと特保と重要の価格差はあまりないように思います。
だったら、重要の方が良いに決まってます。

今日の重要までの審査合格に掛かる日数と費用を換算すれば、重要を選択したほうがお得な気がしますね。

---

[83] 鞘書

投稿者：浮き草　投稿日：2002/06/17(Mon) 19:36

初めてお邪魔します。

電脳討論掲示板の方で、鞘書きの書き換えの話がありますが、逆に、擦れなどで消えかけている鞘書きを、今以上に消えなくするにはどうすればよいのでしょうか？。鞘に蝋でも塗ればいいのですか？。お知恵拝借、宜しく。

[83 へのレス] Re: 鞘書

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/17(Mon) 20:07

もともと、墨書きのものは非常に強いと思います。
木簡等の発掘品や表札は風雨に耐えて、その部分が盛り上がったかのごとく残った様を見受けます。

これを保存するコーティングの存在はあるのでしょうか？
私は知りません。
閲覧の皆様。
良いお知恵がありましたら、よろしくお願い致します。m(__)m。

ニスはダメ？

[83 へのレス] Re: 鞘書

投稿者：旅人　投稿日：2002/06/17(Mon) 21:21

コーティングの存在ですが鞘書の上にロウを塗って下さい。
ロウソクのロウです、解かさずに軽く擦りつけて柔らかい布で拭き取ればコーティングされます。

[83 へのレス] Re: 鞘書

投稿者：浮き草　投稿日：2002/06/18(Tue) 23:26

＞真改代表様

確かに木簡等の発掘品に墨跡が残っているのを見ると、よく残ったものだと驚きます。が、案外擦

れには弱いかも？。話し変わりますが､某ベテラン演歌歌手に似ていると言われた事ありませんか？。

＞旅人様

蝋でよいのですね。早速実行します。鞘袋の上からよく握る部分が擦れている様で、結構薄くなっていて気になってました。

これからもたびたび訪れると思いますので、皆様、よろしくお願い致します。m(__)m。

[83 へのレス] Re: 鞘書

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/20(Thu) 12:44

特に誰に似ているとは言われたことはありません。

誰でしょう？某ベテラン歌手って？(~_~;)

---

[90] 村正

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/19(Wed) 19:47

今日、東京国立博物館へ行って「村正」をみてきました。
真改２００１さんがおしゃった通り刀身の印象より、中子の印象のほうが強い刀でしたね。まさに村正中子って感じでした。
でもちゃんと姿と刃紋も目に焼き付けてきましたよ。できれば裏の刃紋も観てみたかったですね。

この掲示板に書き込みをするようになってから２度村正を拝見する機会に恵まれ、しかもそのうち一度は直に手に取って観られるという幸運！すごい幸せです！
実際に自分の目で直に観て、ますます村正が好きになりました。
鎬さんが拝見されたという一億の村正僕も観てみたかったです。

東京国立博物館では、まぁ写真を撮るのはだめだろうなぁとは思っていましたが、絵に描くのもダメみたいですね。時間の許す限りスケッチしてやろうと思ってたんですけど。でも目に焼き付けて、休憩室で描きました。

今日は時間があまりなくて村正を観るだけで（３０分居座っていました）終わってしまいましたが、長光展なんかもやっていたので近いうちに、ちゃんと時間を作って観に行きたいと思っています。

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/19(Wed) 22:20

確かに代表や神無月さんのおっしゃるとおり、中心の印象を強く感じる村正ですね(^.^)
高松宮家寄贈品ですから、そんじょそこらの（？）村正より出来は抜群に良いはずなんですが・・(^_^;)
私の目が節穴なのかと思っていましたが、やはり皆さんそう感じられましたか(^^ゞ
確かに素晴らしい刀ばかりですが、私は最近小道具に目が行っていまして、中でも銘「なつを(花押)鍛清人」の鐔の前からは足が動きませんでした(^^ゞ

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/19(Wed) 23:21

学生時代ですが（２２年も前)、東京国立博物館にスケッチに行ったことがあります。
勿論まだ刀剣趣味には染まっていない頃です。
館内で色々スケッチした記憶があります。確か警備の方に「インクを使う筆記具」は使わないよう言われましたが…。
今は鉛筆でさえ禁止なのでしょうか…？何か寂しいですね。
ところで神無月さんの御覧になったもう一口の村正は、ひょっとして「成蹊堂」さんの…？
だとしたら御一緒していたかも知れませんね～。

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：純井　投稿日：2002/06/20(Thu) 00:09

う～む…国立博物館の村正…見てみたい気がしますね。見てこようかなぁ…でも最近軍資金がつき始めているからなぁ…考えておこうっと。
おや？こてつさんもあの場にいらっしゃったのですね。私自身村正を直接拝見したのは成蹊堂さんの村正だけですね。もう少し速ければ日本刀○田さんの村正も拝見できたみたいなんですが、残念ながら拝見できませんでした。
小道具と言えば銀座○報に載っている後藤の十六代揃い小柄は圧巻ですね。そう言えばまだ硝子越しにも拝見してないなぁ…今度硝子越しに拝見させてもらいに行こうっと。

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/20(Thu) 00:35

＞純井さま。
覚えておられませんか？
僕は「和泉守国貞」の脇差、拝見していますよ。
日曜日の午後の観賞会で遅刻して入って来たヤツです。
また何処かでお会いすることと思います。
ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんがまた色々準備なさっているようです。
「元重」の重刀が拝めるかも…！？
半分リクエストしてますが…

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：純井　投稿日：2002/06/20(Thu) 01:12

こてつさま>
あ…あ～～～～～～～～思い出しました。失礼しました…そう言えばアレを買ったお店をご存知の方でしたね。勉強会といえば上に記事が出ておりますが、次の成蹊堂さんの勉強会には参加される

んですか？私は参加させていただくつもりではありますが。

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/20(Thu) 19:14

こてつさん、僕が参加したのは水曜日？の会でしたので、残念ながらお会いしたことはありません。ですが、お互い東京で暮らしているのですから、そのうちお会いする機会もあるかもしれませんね。

おそらく鉛筆ならＯＫなのではないでしょうか、僕はスケッチするときは筆ペンやピグマを使っているので注意されましたが、次行く際は鉛筆を持っていくことにします。

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/20(Thu) 22:34

真改国貞繋がりってやつですか！？!(^^)!。

村正の短刀はたまに見かけますが、刀はそうはありませんよね。
まして、手に取れずとも生茎の村正は非常に珍しいですね。

個人的にもっと見たことがないのが、村正極めの刀（大擦り上げ）です。
この極めの村正ならお手ごろかな～と期待しているのですが、見かけませんね。
実際、あるんですか？
見たことあります？

真改も真改国貞菊紋入りってのも、ありそうであまり見かけない部類ですね。
現代刀の無鑑査刀匠の作品も売品では珍しいですね～。
これもないか！(^0_0^)。

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：久　投稿日：2002/06/20(Thu) 23:54

記憶が正しければですがその村正は差し込み研ぎだったような気
がします。それに加えあの照明なので良く見えなかったのではな
いでしょうか？差し込みとぎの場合蛍光灯やそれに近いような照
明ですと名刀鈍刀に見えたりしませんでしょうか？

[90 へのレス] Re: 村正

投稿者：純井　投稿日：2002/06/21(Fri) 01:03

真改国貞繋がり＞
確かにそうなのかもしれないですね。ちなみに自分のは菊紋が無い五字銘の真改国貞ですね。五字忠吉ならぬ五字（真改）国貞は四年間位しか切ってない銘ですから、物品的にはこっちのほうが少ないはずなんですけどね。でも何故か見ないんだよなぁ…。

[95] 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/06/20(Thu) 00:49<HOME>

恒例（？）となりつつある成蹊堂主宰の鑑賞会、研究会をふと思い出したので行います。堅苦しい集まりではありません。刀好きな人が集まって、いい刀を手に取って観ちゃおう！程度のサークル的な鑑賞会です。「ついでに分らないことも聞いちゃおう」と言うのも大歓迎です。同時に行う研究会も難しいものではありません。偽物の見分け方、傷欠点の見抜き方など本にはなかなか載っていないことを実物を前に勉強していきましょう。全く刀を知らない女性にも分るように噛み砕いて勉強する集まりですので刀を触ったことのない人でも遠慮なくご参加下さい。前回同様ワイワイガヤガヤと楽しくいきたいと思っております。会場は阿佐ヶ谷の成蹊堂です。日時は 6 月 27 日（木）午後 13 時及び 6 月 30 日（日）10 時、13 時 30 分を予定しております。参加人数によっては時間の変更があるかもしれませんが、悪しからずご了承下さい。参加費は無料ですが、参加者多数の場合は会場を用意しなければいけませんので、コーヒー代くらいの額をご負担いただく場合があります。参加ご希望の方はなるべく早めに（できれば二三日くらい前までには）成蹊堂にご連絡下さい。

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：菊久　投稿日：2002/06/20(Thu) 06:24

東京がもう少し近ければ・・・
前回の鑑賞会の時もそう思ったなぁ～。

偽物・疵欠点の見抜き方などは、確かに本の文字からではなく、実物を前に勉強したほうが絶～対に判りやすいですもんネ。
それも、sword smith さんが直に講師してくれるのだから、これほど確かなものはないでしょうネ。

もう少し東京が近ければ・・・(悔残)

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/20(Thu) 12:45

参加したいですね～。
東京が近ければ・・・。(-_-)。

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：久　投稿日：2002/06/20(Thu) 23:50

ホント近いようで遠い東京、、、。指を加えるノミ、、、。

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/21(Fri) 00:32

すみません…。
都内なのに平気で遅刻するワシ…。

みなさんの分もシッカリ拝見してきます。
いつ行こうかな♪

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/21(Fri) 00:39

都内じゃありませんけど、隣県なので(^^ゞ
6 月 30 日（日）に参加します(^.^)　（時間は Swordsmith さんにお任せ）
前回の講習会は仕事で参加できませんでしたし、先日のＯＦＦ会は急用でドタキャンでした m(__)m
今度こそ、何が何でも(^^ゞ　できれば、かみさんと一緒に m(__)m

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：純井　投稿日：2002/06/21(Fri) 00:58

都内なので２回目も参加させていただきます。ひょっとしたら花散里さんと一緒になるかもしれません。其の時にはどうぞよろしくお願い致します。

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/21(Fri) 19:56

純井さん
こちらこそ、よろしくお願いします m(__)m

[95 へのレス] Re: 鑑賞会、研究会のお知らせ

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/21(Fri) 21:03

今回も参加させていただきたいと思っております。
まだ分かりませんが、できれば木曜日がいいなぁと思っています。
こてつさん同様、僕も前回遅刻してしまったので(-_-；)今回はそうならないようがんばります。

---

[108] 竹刈り会(タテトリエ)

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/21(Fri) 06:30

おはようございます。
先ほどテレビでどこかのお寺で竹刈り会という催しが紹介されていました。
山伏姿の人が４５ｃｍくらいの大段平で１５ｃｎくらいの生竹をバシバシ切るイベントで、竹を脇に抱えての片手切り！
それがけっこうスッパンスッパン切れていました。
刀ってやっぱり切れるのね。

[108 へのレス] Re: 竹刈り会(タテトリエ)

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/21(Fri) 08:46

新聞の記事を転載しますね(^.^)

「僧兵姿の法師らが大蛇に見立てた青竹を切る速さを競う「竹伐（き）り会（え）式」が二十日、京都市左京区の鞍馬寺で行われた。竹伐り会式は九世紀末、鞍馬寺中興の祖、峯延（ぶえん）上人が修行中に大蛇を刀で退治したという故事にちなむ行事。午後二時すぎ、ほら貝が鳴り響くと、本殿前に黒装束に袈裟をまとった法師八人が登場。梅雨空を吹き飛ばすように豪快に山刀を青竹（長さ約五メートル）にたたき付けた。」

[108 へのレス] Re: 竹刈り会(タテトリエ)

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/21(Fri) 21:19

記憶がいいかげんで住みません(汗)
でもすごい迫力でしたよ。はっきりいってやってみたくなりました。

[108 へのレス] Re: 竹刈り会(タテトリエ)

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/23(Sun) 05:55

その山刀は片切り刃になっているのでしょうか。

海部刀などはそのようになっていて、実用にはもってこいだったようです。
戦闘中の研磨においても、片切り刃だと研磨も簡便であるとか。
桃山期から江戸初期の戦闘において阿波軍団が活躍したのも、この海部刀の実用本位の作りこみのおかげとも聞いています。

そろそろ職場でも七夕さんの竹を切ってくる頃なのですが、いつも私の係りで、要らぬ竹をそのときに鉈で切るときに非常に気持ちがいいですね。
スパッと行った時には、なんとも言えぬ感じです。
別に刀じゃなくても試斬の雰囲気と味わいはなんとなく感じることができますね。
でも、あまりやってしまうと、河川敷だから建設省から叱られそう。
事実、堤防上ではパトロールの車が巡回していましたから。
びっくりしたな～。もうっ・・・。

[108 へのレス] Re: 竹刈り会(タテトリエ)

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/24(Mon) 00:51

余談ですみません。
「鉈」と言えば…義理の叔父さんが「宮入昭平作」の鉈を持っていると言ってました。僕はまだ未見ですが…。
調べてみたら確かに宮入昭平は「野鍛冶」をやっている時期があります。
鉈には「地名」が切ってあるそうです。刀匠銘は無し。

でも…使い勝手は悪いそうです。う〜ん…。正真か？

---

[112] 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/21(Fri) 21:06

行って参りました。大変良い天気で暑かったです。
お客さんの入りも良かったです。今日は二日目。
前回より会場が狭く感じられるほど出品数は多かったです。
重刀もけっこう並んでいるのですが…なかなか言い出せず、手にして拝見することは出来ませんでした。
「慶応四年正月日　栗原筑前守信秀」の刀が良かったです。
二尺四寸（だったか…？）身幅もたっぷりあり健全でした。
第三十一回の重刀で９００。
そういった一千万近い重刀がある半面、窓明けした「錆び身」の刀身も新聞紙に包んだ状態で大量に並んでいました。
だいたいいくら位で売られているのか見てくれば良かった…。しかし何れにせよ、目が利かない僕にはどうも難しくって手が出せないです。
…明日は確か「オークション」があるのでは…？

銀座はキレイなお姉ちゃんがイッパイ歩いていて好きな街です。ギャラリーや刀剣以外の骨董屋さんも多いですし。

[112 へのレス] Re: 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/21(Fri) 21:21

はやいっすねー

[112 へのレス] Re: 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：純井　投稿日：2002/06/21(Fri) 22:05

まだ行って居なかったりします。こてつさんは私が何処に居たかはご存知だとは思いますが……。
銀座のほうには明後日当たりに行ってまいります。栗原信秀それまであるといいなー。

[112 へのレス] Re: 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/22(Sat) 19:51

感謝祭行ってきました。毎年出品点数も増え隆盛の感があります。

今回は噂のオークションを見学してみました。
ネットで見る限り値が上がってしまっているので
期待していなかったのですがゲリラ的に出品された刀が入札者が少なかった
こともあってめちゃ安！

特にどこから見つけてきたのか市原長光が大量に出品されていてモゾートー

並の値で落札されていました。

冷やかしのつもりだったので入札者の登録をしてなかったので指をくわえてみていることしか出来ませんでしたが昭和刀を押さえて置く良いチャンスだったと後悔しきりです。
刀装具も発句が思ったより安く結局Ｙ！オクの相場より安かったです。
I SHALL RETURN！　来年は準備して参加します。

葵さんのカタログ、どんどんきれいになってなんか少女漫画みたいです。

[112 へのレス] Re: 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/23(Sun) 06:10

慶応四年正月日　栗原筑前守信秀」の刀が良かったです。
二尺四寸（だったか…？）身幅もたっぷりあり健全でした。
第三十一回の重刀で９００。

こういうのを聞きますと、現代刀もきっと１００年後は高い評価を受けていると信じることができます。
事実、いまでも宮入昭平刀匠の作品は非常に高い評価と売買価格で推移し、その作品が市場に出ることも非常に稀で、現代刀を好む私も非常に好ましく感じている次第です。

市原長光が大量に出品
＞葵美術さんは、市原長光とか江とか普段から入荷販売を得意にされているようです。
解説では岡山刑務所の看守で、戦中に収容者を指導して作刀していたようですね。
実際にこの刀匠達の刀を見たことがないので、見る機会があれば是非、拝見してみたいです。

カタログ販売も、ネット販売も、そしてビデオ・ＣＤ販売と、どんどん刀剣を販売する上でのカタログも推移しておりますが、光ファイバーなどが浸透していったならば、昔屋のビデオカタログのようなものが、ネット上で見ることができるように期待したいものです。
一部の写真ではなくて、裏から表まで見ることができ、あるいはオンラインで刀剣商からの説明を受けることができたり・・・。
テレビ電話の販売版といった感じでしょうか。

バーチャルショップとその映像が早く、刀剣売買の世界にも登場すればいいな～と思います。

５ヶ月もすれば、大刀剣市です。
限られた時間での刀剣店巡りも楽しいですが、このお祭りはやはり地方からの上京者にとっては欠かせません。
ここでも、オークションをやればいいのにな。

[112 へのレス] Re: 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/23(Sun) 19:05

僕は結局都合がつかず行けませんでした。残念です(；_；)

[112 へのレス] Re: 銀座刀剣感謝祭。

投稿者：純井　投稿日：2002/06/23(Sun) 20:13

うに～行けなかったのです…。行こうとおもっていた日が丁度試験日だったので…。

[119] 展示会速報

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/06/23(Sun) 17:30

「日本刀柴田」さんの展示会情報
平成１４年7月１８日（木）から7月２４日（水）
１０時から２０時（最終日は１６時閉場）
場所：渋谷・東急本店８階工芸ギャラリー

ところで日本刀柴田さんホームページを立ち上げたようです。
電脳倶楽部にリンクされている伊藤三平さんのホームページからお邪魔できます。

京橋「泰文堂」の静岡支店「川島美術刀剣」では
平成１４年7月5日（金）から9日（火）まで展示会を予定だそうです。
重要刀剣３～５振りを含めて、展示販売されるそうです。

これで２週間刀剣三昧の時間を過ごせます。

[119 へのレス] Re: 展示会速報

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/23(Sun) 21:52

来月号には何か宣伝の葉書が同封されているでしょうから、少しは出品刀もわかりますね。

日本刀柴田さんのサイトは店の紹介だけのようです。
ここは通販誌が充実しているから、そちらで楽しめるようになっています。

[121] 驚きました！

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/23(Sun) 19:18

今月の銀○情報に「長曽祢虎徹」が載っていて驚きました。５月号に「兼定」が載っていて驚いたばかりなのに・・・。
正直こういった刀が市場に出てくるとは思っていませんでした。
僕が虎徹だとか兼定なんかを手に入れたら、これを売らなければ生きていけないくらいの状態にでもならなければ手放さないと思います。
こういった刀を手放された方はどういう理由でなんでしょうね。
それにしても、値段が１千４百万とか１千５百万ていうのはもう、生涯自分には縁のない刀だなぁと感じます。

[121 へのレス] Re: 驚きました！

投稿者：純井　投稿日：2002/06/23(Sun) 20:14

ぬう…まだ来てないですなぁ銀座情報。これは拝見しに行かなければなりませんな～。

[121 へのレス] Re: 驚きました！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/23(Sun) 21:50

当然、四国も来ていませんわな～。(T_T)。

[121 へのレス] Re: 驚きました！

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/24(Mon) 00:44

豊島区も来ていません。アレェ～？

[121 へのレス] Re: 驚きました！

投稿者：numarokuya　投稿日：2002/06/24(Mon) 18:41

『麗』と一緒に本日届きました。

[121 へのレス] Re: 驚きました！

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/25(Tue) 20:59

同じ東京都内でも配送日ってちがうんですね。
僕は練馬区ですけど、金曜日に来ましたよ。

[124] さようなら正宗。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/23(Sun) 20:56

「正宗展」の最終日、見納めに行ってきました。
最終日で日曜日ということもあってか、大変混雑していました。見れば見るほど見飽きない（変な日本語)、不思議な魅力に溢れた刀達でした。
正宗を始め、国光も行光も郷も…おそらく手にとって拝見できる機会は一度も来ないでしょう。
たとえガラス越しでもあれだけの量の名刀を一度に拝見できる機会もおそらく少ないでしょう。
心に残るいい刀剣展でした。
改めて「郷」の美しさも再認識してしまいました。

帰りに霜剣堂さんの展示会も覗いてきました。
開店時にも展示会やってましたが…ま、これはいいかナ？

[124 へのレス] Re: さようなら正宗。

投稿者：純井　投稿日：2002/06/23(Sun) 22:43

あれ？霜剣堂さんでも即売会やっていたんですか？家には葉書が来ていないなぁ…葉書止めちゃっ

たのかな？

[124 へのレス] Re: さようなら正宗。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/23(Sun) 22:47

正宗展は本当に良かったですよね～。
実は私も今日、丸亀市で行われた『刀の美　兜の美』という展示会の最終日に行って参りました。
そこで、解説をしていただきました某氏も正宗展はベタ褒めで、日帰りで強行鑑賞してきたようです。!(^^)!。

さてさて、私のレポートはこちら丸亀の展示会になるわけですが、
概略は画像掲示板にありますので、大事なことを一つ・・・。

展示刀はすべて重要刀剣以上の刀ばかりであったのですが、中に『助宗』という太刀がありました。
当初は偽名と判断されたそうですが、所持者はめげずに日刀保に研究を依頼し、その後に古一文字の助宗ではなく、鎌倉中期の福岡一文字の助宗として重要刀剣に指定されたということです。

銘の真偽を鵜呑みにしていれば、銘を消すなどの最悪な事態に陥っていたかもしれません。
しかし、それを良しとせず、自信をもってこの刀を守った所持者の勝利がここにあります。

すべての偽名の判断がこれに通じるという訳ではありませんが、
古刀ではこのようなことも有り得る訳です。
偽名も製作当初から入っていたもの、後世に偽名を入れたもの。
などさまざまの銘切りの可能性が有り得ます。
よって、私はこう考えます。
偽名は銘の判断ということで鑑定していただきたい。
刀それ自身の鑑定は別のものであるはずですから、偽名の場合でも刀身からどこの誰という鑑定も出来るはずです。
偽名の場合は茎と刀身を分けて鑑定して欲しいですね。

後世に研究が進んでから『正真』となっても、手遅れになる可能性もあるのですから。
そんな理由から、偽名刀の場合は茎と刀身を分けての鑑定に賛成します。

取り返しのつかないようなことのないように、鑑定のあるべき姿とその影響力を考えてみてはいかがでしょうか？

[124 へのレス] Re: さようなら正宗。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/24(Mon) 00:41

そうですね、僕もそう思います。
協会の「二重指定」が取り沙汰されたことがありましたが、研究は結局人間のする仕事。その時代によって考え方や鑑定内容が異なっても仕方のないこと。むしろ研究が進んだことで違う鑑定がされるのは自然なことと思います。

勿論、出す度にコロコロ変わりでもしたら困りますが…。
代表ご紹介の例は、御持ち主がシッカリ自分の刀を研究していたからこその「重刀」なんでしょうね。
しかし「重刀以上」ばかりの展示ってのもすごいですね…。

霜剣堂さまの展示会は今回は新聞紙上のみの広告であったようです。葉書は確認しましたが「出してない」そうです。

[124 へのレス] Re: さようなら正宗。

投稿者：千手院義弘　投稿日：2002/06/24(Mon) 16:07

とうとう終ったのですね正宗展。
とても寂しいような気がします。
次の正宗展は何年後でしょうか？１０年,２０年・・・・・
ぜひとも次回は全部正宗だけで、国宝から自称正宗まで何振りになるか分からないけどやってほしいと思います。
この企画どうでしょうか？ついでに正宗大鑑などもできるのではないでしょうか。
夢みたいなことを簡単に書いてしまいましたが御許しください。

[124 へのレス] Re: さようなら正宗。

投稿者：越中国住人　投稿日：2002/06/24(Mon) 22:09

大変素晴らしい展覧会でした。今回の展覧会は、相州伝の作品の勉強になりましたし、富山での新聞記事の原稿を書いたり、水墨美術館での解説したことなど思い出の深い展覧会となりました。
今後は、展示品の一部を日刀保の鑑賞会で見ることは出来るでしょう。ちなみにあの中では、細川正宗、国広、などが昨年、富山支部の鑑賞会で出品されていましたので他の支部でも、そのうち見られるのではないかと思います。他には、協会本部に押し形の勉強に行った時に南紀重国を見せてもらったと記憶しています。
　未確認情報ですが、日刀保（刀剣博物館）でも正宗の展覧会を企画しようという動きはあるようです。

---

[134] 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/24(Mon) 21:08

本日、麗・刀和・銀座情報が配達されて来ました。
毎月この時期は待ち遠しいんですよね。

特に今月号は偶然にも同じ日に配達され、そえぞれ名品が価格に関係なく目に留まり、久しぶりに欲しい病が再燃しました。(^^ゞ。

まずは、麗ですが、
今回は現代刀特集ということで、これも私の趣味にハマりました。
特に気になったのは、『帝展入選　濃州兼明作』と『倣吉房　大野義光作』の二口です。

兼明作は一回限りの日本刀帝展受賞作であり、後者は大野義光の新作刀展覧会の初出品作で奨励賞受賞作。
さらに、大野義光重花丁子の世界という本にも所載され、昭和５０年においてこの一口のみしか製作されていないという逸品で、大野刀匠がもっとも思い出深いものであると述べておられる名品です。
将来、大野義光大鑑なるものが仮にできたなら、必ず所載されるものであろうし、大野刀匠の展示会があればこれまた必ず展示される太刀であろうと思われます。
また、麗の柴田は以前にも大野刀匠の高松宮賞受賞作の山鳥毛を出されていたことがあるようで、大野ファンにとっては目の離せぬ刀剣商です。

次に刀和ですが、表紙の初代忠吉の薙刀は文句の言いようがない名品で、しかも珍品。
他人と同じ物が嫌な向きには最適かと思います。しかも、重要刀剣であるにもかかわらず、薙刀ということで比較的抑えめの価格。
さらに、重ねは三分一厘もあるという豪刀です。よだれ物、垂涎といった方が品がおよろしいでしょうか？(^_^;)。
でも、最も気に入ったのが、宗勉の『粟田口国吉』写しの短刀。
沸映りも出て、寒山氏の鞘書きが褒め、解説でも絶賛の名短刀のようで、これ欲しいな～。

最後に銀座情報では、私的には『虎徹』よりも『正真』刀がなんともいえません。
初代村正の弟子にして本田平八郎忠勝愛用の蜻蛉切りの槍の作者。
槍の穂先にとまった蜻蛉が真っ二つになったほどの斬れ味を誇った刀匠。
村正の刀は数も値段でも手に入りませんが、これなら１０年ローンで買えそうな？えっ？買えないか・・・。(T_T)。
わずかに区送りされたのみの地刃完存の逸品とか！(@_@;)。

とりあえず、３０００万ほどちょう～～～だいっ！！

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/24(Mon) 23:53

「麗」の現代刀特集は嬉しいですね。
「長光」に代表されるあの時代の刀が「昭和刀」の一言で片付けられるのは何か心痛い思いがします。
「靖国刀」も含め再評価されてるとしたら、これも嬉しいことです。柴田さんのこういうセンスがいいです。

長州屋さんの「虎徹」、特保なんでしょうね多分。
でも重刀「正真」より高い…。人気ありますなぁ…。これで「裏年期」入ったり「試し銘」入ったりしたらいったい…ハウマッチ！？
「左行秀」も良いなぁ。直刃じゃないともっといいんだけど…。しかし重ねも相当ありそうです。
陰陽師も良かったっす（笑）。

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/25(Tue) 21:16

「正真」いいですよね～。
「村正」ファンの僕としては気になるどころではない一振りです。
また、刃文が「妙法村正」を思わせるところがありすごくいいです。実物を観てみたいなぁ。
銀座長州屋さんにはまだ行ったことがないのですが、行けば観られるんでしょうか？

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：純井　投稿日：2002/06/25(Tue) 22:09

如何でしょうか？でも硝子越しでも行ってみる価値はあると思いますよ。

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/25(Tue) 23:48

仕事が終ったので明日銀座へ見に行ってきます。
…まだ売れてませんように。

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/26(Wed) 19:18

麗の現代刀特集いいですねー
見ているうちに現代刀もいいなーと思えるようになりました。
なんといっても偽銘に悩まされなくていい！

陰陽師には度肝抜かれました...

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/26(Wed) 23:10

銀座に行ってきました。
帋徹の出来も良いのですが「左行秀」の重さもすごかったです。重ねが８ミリ以上…！
こんな重くて長い刀をどうやって腰に差したんでしょ…？
ところで同じ銀座情報に掲載されていた「水心子正秀」は刀剣美術５４３号の鑑定刀でした。
入札講評が今出ている刀剣美術に載っています。
帰りに柴田さんで油を売って…いや油を買って帰りました。

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：鈴ちゃん　投稿日：2002/06/27(Thu) 01:05

こてつさん、うまい、座布団一枚！。（油）

[134 へのレス] Re: 通販誌の到着！ウレシ～～～。

投稿者：わり　投稿日：2002/06/30(Sun) 08:42

池袋の杉田という刀剣やでも、
正真を見ました。
少し研ぎ減りがあったようですが、
うぶなかごの在銘で、倶利迦羅の彫りが入って
しかも、そんなに高くはない（といっても２００以上だったかも
しれませんが、何せ、私には高すぎて記憶にない）
ものでした。実際に手に取られてくれました。

銀座だけではなく、池袋にもいらっしゃっては。

わり

---

[144] 行ってきました！

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/27(Thu) 17:48

今日、成蹊堂さんの勉強会兼観賞会へ行ってまいりました。
一時は木曜日の参加希望者が僕一人で、中止になるかもと言われていましたが、無事予定通りに開かれました。
前回の勉強会ではふくれと埋鉄（こう書くんでしたっけ？）の見方でしたが、今回は刃切れと本物と偽物の違いについて学ばせていただきました。
僕にはまだまだ刀剣屋さんの敷居は高くてなかなか入れません。
ですからこういう気軽にいろいろな刀を見せていただける機会は貴重で勉強になります。
ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさん、今日は本当にありがとうがざいましたｍ（__）ｍ
次回もかならず時間を作って参加させていただきたいと思います。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/28(Fri) 00:11

サラリーマンの私にとって、さすがに平日はお邪魔できません(^^ゞ
日曜日の回にお邪魔します m(__)m
成蹊堂さんに伺うと、普段でもいろいろと勉強させていただけますので、今回はどのような勉強会をしていただけるか楽しみです(^_^)v

あっ、決してプレッシャーを掛けているのではありませんので、ご安心を(^^ゞ　　＞swordsmithさん

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/06/28(Fri) 01:17<HOME>

今日は雨の中ご参加いただきありがとうございました。楽しんで頂いたようでホッとしております。日本刀には二つの楽しみ方があると思っています。それは鑑定と鑑賞です。どちらも決して敷居の高いものではありません。鑑賞はありのままを感じればよく、難しい言葉を並べる必要はありません。鑑定も高度な推理ゲームと思えばもっと身近に感じられるようになるでしょう。一部の人だけが享受している刀剣の楽しみ方を多くの人と分かち合えればと思っています。日曜日の勉強会もワイワイガヤガヤと楽しくやりましょう。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/28(Fri) 21:48

日曜日の午後に参加予定です。
何か、午前の部はかなり大勢来られるみたいですが…。
花散里さんも午前中でしょうか？
午後の部の参加は僕一人みたいで、ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんの個人授業になるかも？
長野のお土産を持って伺います～。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：純井　投稿日：2002/06/29(Sat) 00:44

アレ？午後の部って多いんじゃないんですか？私は午後の部が多いから午前の部になったものかと…。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：神無月　投稿日：2002/06/29(Sat) 17:35

日本刀には二つの楽しみ方があると思っています。それは鑑定と観賞です。＞
そうですね。僕も今回参加して鑑定の面白さを知りました。
ただ僕は推理する為の材料が少なすぎてボロボロでしたが(^^ゞ
次回までに少しでもその材料を増やせるよう努力します。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/06/29(Sat) 21:05<HOME>

神無月さん、無知を恥じることはありませんよ。人より知る喜びが多く残されている証です。羨ましいですよ。それにウチに来る方で無知を笑う方はいません。みんなで楽しく鑑定、鑑賞していきましょう。次回も趣向を凝らしたワナをご用意してお待ちしております。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/29(Sat) 22:04

こてつさん、お会いできると思いますよ(^_^)
天気は悪そうですが、楽しみましょうね(^_^)/~

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：太刀ひろし　投稿日：2002/06/29(Sat) 22:25

成蹊堂さんで海軍軍刀を買いました。
現代に最も近い太刀拵えという意味も含めて安価な物をと思って買いましたが、これが意外と重くてずっしりと迫力がある。
陸軍軍刀も物色中なのですが、金具の仕上がりを見るとこの海軍軍刀はなかなかの掘り出しものではなかったか！と思うのです。
写真は成蹊堂さんのホームページにありますからごらんいただければと思います。
馬上や激しい動きにも鞘から落ちることのないように見た目もすっきりとしたストッパーが付属しています。
昔の太刀はこのようなストッパーの働きを持つ金具の考案はなかったのでしょうか？
刀掛けに飾って毎日ながめています。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/06/30(Sun) 00:20

>>太刀ひろし さん

私も海軍刀拵えが好きでいいものがあればぜひ購入しようと思っております。相場的にいっていくらぐらいするものなのですか？

勿論、拵えの状態・本身の状況によって大きく変わると重い思いますが。。。
掘り出し物ってことは結構安く買えたのですか？

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/30(Sun) 01:17

＞花散里さま
できるだけ遅刻しないように行きまーす…（笑）。
何か面白い物も持っていくかも…。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：太刀ひろし　投稿日：2002/06/30(Sun) 07:15

よくある海軍軍刀拵えならいつでも求めることができそうですが、成蹊堂さんで求めたものはあまり見かけたことがなくて、しかも保存状態がたいへんよかったのです。

買値はホームページにある値段でしたが、それでもなかなか手に入るものではないことを思えば、掘り出し物に出会えたのではないかと思ってのことです。
戦地に持っていった軍刀拵えはやはり最後の実戦拵えと思いますので、軍刀拵えが好きな上に太刀拵えも好きなものですから手に入れることができて喜んでいます。
これらの相場は私はまったく存じませんが、一般の刀に比較してもお求め安い価格であることはその他の刀を見ても感じることです。
初めての軍刀がこのようなすばらしいものであったことが、これからの軍刀コレクションの基準になると思います。

[144 へのレス] Re: 行ってきました！

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/06/30(Sun) 09:04

大変すばらしい海軍刀拵えのようだったようですね。おめでとうございます。
私も軍刀拵えを探します。

---

[147] 水心子正秀の思い出

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/28(Fri) 13:21

ところで同じ銀座情報に掲載されていた「水心子正秀」は刀剣美術５４３号の鑑定刀でした。
入札講評が今出ている刀剣美術に載っています。

という、こてつさんの投稿がありましたが、「水心子正秀」といえば次のような思い出があります。
刀剣美術誌にもありますが、「水心子正秀」は初期の大坂新刀写しから後期の地鉄が無地風に詰む作風に大別されるようですが、「水心子正秀」に限らず、新新刀といえば無地鉄風によく詰むというのが頭に入っており、鑑定の基準になっていると思い込んでいるので、数年前に支部の特別鑑賞会があったときに、恥ずかしい失敗をしてしまいました。

それは、鑑定刀の中に二口の涛乱の刀が出たのです。
しかし、私はそれをまったく逆に入札してしまいました。
というも、「水心子正秀」を「二代包貞」に。「二代包貞」を「水心子正秀」に入札してしまったのです。
どうみても、「水心子正秀」は私が思っている新新刀の範疇にはいるような地鉄には見えず、むしろ「二代包貞」のほうが無地風の地鉄に見え、まったく時代の違った見方をしてしまったのです。

どうみても新刀だろう～～？って感じでしたね。
今回の銀座情報の水心子正秀の出来は正に真改に見紛うばかりの仕上がりであろうことは想像が出来ます。
拝見したいですね！

最後に、水心子正秀という人物は最後には無地風の鉄が良いということで行き着いたと考えてよいのでしょうか？
あれだけの地鉄を鍛えることが可能な人物が最後に行き着いた地鉄。
そう考えると、無地風の地鉄の奥にあるものは何か？を考えますと鑑賞・実用のことなどなど、様々なことに思いを馳せるのです。

[147 へのレス] Re: 水心子正秀の思い出

投稿者：藤次郎　投稿日：2002/06/29(Sat) 17:02

はじめまして、藤次郎と申します。
刀剣が趣味で、前々からこのサイトを拝見しておりました。

正秀の件ですが、一般的には良い鉄が手に入らなくなった、
若しくは鉄質が変わったためと言われています。

実用論や復古論を唱え、その作風を変えたと言われておりますが、
その実は、作刀初期には作れた助広や真改風の鉄が無くなり、
後から理由付けのために論を唱えたとの事です。

ホントは正秀も可能なら、大好きな助広や真改を
追いかけたかったに違いありません・・・

[147 へのレス] Re: 水心子正秀の思い出

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/29(Sat) 21:03

閲覧そしてご参加ありがとうございます。
これからもどんどん投稿して下さい。

さて、『正秀の件ですが、一般的には良い鉄が手に入らなくなった、若しくは鉄質が変わったためと言われています。』
とのことですが、そういう理由も考えられるわけですね。
一般に新々刀の鉄は鉄としては最高の素材であると聞いたこともありますが、刀に仕上がった時の地鉄の『味』に問題があるのかもしれません。
鉄としての純度が高いゆえの問題・・・。

討論掲示板にもありましたが、新作刀展覧会の二席の文化庁長官賞は大坂新刀を狙った濤乱刃だったと聞いておりますが、地鉄の出来は現代刀の場合『助広』よりも二代包貞のような精緻な鉄に非常に近いように思うのは私だけでしょうか。

新作刀で新刀写しが上位に食い込むのは濤乱刃のような見るからに
それが何を狙ったかが判るものに限られているように思いますが、
いずれは濤乱刃を再現した地鉄と刃紋の沸匂深い上手い作刀技術で、真改のような直刃の作品を世に問うて欲しいと思います。

大好きな真改や助広を追いかけているのは現代の刀匠にも愛好家にも沢山いらっしゃると思いますので・・・。(^^) _U~~。

[147 へのレス] Re: 水心子正秀の思い出

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/29(Sat) 22:06

藤次郎さん、ようこそ(^_^)
これからも積極的な投稿でこの掲示板を盛り上げ、またいろいろとご教授お願いします m(__)m

[147 へのレス] Re: 水心子正秀の思い出

投稿者：藤次郎　投稿日：2002/06/30(Sun) 10:42

こちらこそよろしくお願い致します。
大好きな刀剣の話で、いっぱい盛り上がりたいですね。

[157] 現代刀・昭和刀について

投稿者：奈菜氏　投稿日：2002/06/29(Sat) 23:19

最近、日本刀に目覚めたものです。金銭的に高価なものには縁がないので、現代刀（昭和刀といわれているものを含む）に目が向いております。

さて、今までのスレッドの中には「長光」や「江村」といった刀匠の名前が出てきておりますが、これらの刀は厳密にいって現代刀といえるのでしょうか？それとも昭和刀として安物言う評価なのでしょうか？私は最近、長光の研ぎ上げをみて結構気に入っているのですが、やはり質はよくはないということなのでしょうか？
また、これらに限らず、石堂やそのたの陸軍等の受命刀匠の刀も昭和刀なのでしょうか？？

私の理解だと、ステンレスやばね板や半鍛錬ものを昭和刀といっていると理解していたのですがこの辺の線引きが刀屋さんによっても違ってよくわかりません。どなたかお詳しい方かいらっしゃればご教授ください。長くなりましたがよろしくお願いいたします。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/29(Sat) 23:37

日本刀とは何か。ということを定義付けるには非常に難しい要素があるようです。
素材の鉄の産地や炭の産地まで和製でなくてはならないのか？とか色んな理由が考えられるようです。
しかし、単純に思うには古来からの日本刀の鍛錬方法に則り、製作された物が日本刀ということではないでしょうか。
ある刀が何回鍛錬（折り返し鍛錬）されたかなんて、私には見たってぜんぜんわかりません。

また、昭和刀という言葉は蔑んだ印象を受けますが、そうではなくて戦前の刀全般をそう呼ぶのが正しいのではないでしょうか？
ステンレスやばね板や半鍛錬ものとは区別し、それは日本刀でないし、刀という言葉を使うべきではないでしょう。

日本刀の形をした刃物か？

刀は日本刀を指し、日本刀は古来の制作方法に則り行っているものを指すということだと私は思うからです。
便宜上の使い分けはどうしているのかは分かりませんけれど、靖国刀が見直され、それに伴って多くの戦前の刀が見直されています。
長光や江や江村などはむしろメジャーな刀工となっていると私は思います。

まあ、登録証が付いて信用ある刀剣商が扱って、説明を聞いた上で購入すれば、それが気に入っているならグッドなことではないのでしょうか。!(^^)!。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：奈菜氏　投稿日：2002/06/30(Sun) 00:17

真改 2001 さん

アドバイスありがとうございます。
昭和刀という名匠の定義自体は必ずしも明確なものではないのですね。きっと、おっしゃるとおり、靖国刀をはじめ長光や江村などがみなおされ、それでもあまってしまうものが昭和刀となるのですね。じつは砥ぎ上がりの長光が売りに出ているのを見つけたのですが、昭和刀という呼称（そういう風に呼んでいる刀屋もいる）が気になってしまっておりました。ありがとうございました。
またご教授お願いいたします。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/30(Sun) 08:52

現代刀が好きな私は靖国刀の本を見て、こんな刀剣が存在していたのか！と驚きました。

浮世絵と一緒で、価値観の逆輸入ということでしょうね。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/06/30(Sun) 09:23

そうですね、海外のほうが軍刀ものの研究が盛んらしいですよ。
http://www.japaneseswordindex.com/nihonto.htm

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/30(Sun) 10:19

この「Japanese Sword Index」は電脳倶楽部とも相互リンクしていますが、これだけ詳細に日本刀を扱ったホームページは日本にもありませんね。
まさに、日本刀データベースといった感じです(^_^)

私としては、東条英機の所持していた短刀「村正」が偽銘であった、という記事が興味深かったですね(^_^)

http://www.japaneseswordindex.com/tojo.htm

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/30(Sun) 17:14

昔から刀の評価は後の世の人によって定められてきました。
戦後も遠くなりいわゆる昭和刀の評価も、今を生きる我々戦争を知らない子供達がやるべきなのだと思います。

私は刀を評価するには
１．生まれた時代が反映されていること
２．作者の作柄が明確であり、他刀工と区別できること
３．ある程度数が残っていること
の条件が必要だと思います。これらがないと特定できないから評価のしようがないからです。

昭和刀はこれらの条件を満たしており評価に値すると思います。
材料うんぬんは南蛮鉄を使ってた康継の例もありますし、(でもステンレスやスプリングはまずいわなー)、古法を遵守というなら機械ハンマーを使ってる現代刀工はどうなんだ？
という言い方も可能ではないでしょうか。

だいたい日本刀という言葉自体、明治に出来たもので有名な廃刀令
が発布されたときには日本刀の言葉自体なく、いまでも銃刀法には
日本刀という言葉はでてきません。

あまり言葉にこだわりすぎるのもかえって本質を見誤ることになるかもしれません。

考えるに昭和刀(軍刀)は今より安くなることはないのではないでしょうか？

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/06/30(Sun) 18:21

やっぱりそうですよね。なんか勇気付けられたきがします。
気いった長光があるので買い求めようかな。

下のスレッドで大刀剣市があるとのことですが今までまったく知りませんでした。また、長光が大量にしかもモゾートーと同じような値段で。。。

相場がわかりませんので誰か相場に詳しい方、昭和の軍刀である程度健全なものの価格っていくらぐらいなのでしょう？３０－４０くらいですか？

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/30(Sun) 21:09

高くてもそのくらいで販売されているようです。
ネット上では葵美術さんが結構扱っていますので、価格の参考になります。

軍刀拵えと一緒となるとこれまた少々価格は高くなりますね。
でも、平均して５０万円を超えることはめったにないでしょう。
靖国刀は軍刀という意味では別格に高い評価がありますね。
それだけ、吟味された刀ということでしょう。

大刀剣市は毎年１１月に開催されます。３日間ありますが、昨年は活気というものが感じられませんでした。
それでも、５０件近くの刀剣商が全国から参加出品しますので、地方の人にとりましては、一度にこれだけの数の刀剣商を巡ることが一つの会場でできるのですから、年に一度の上京で数回分の上京したことと同じ内容が味わえ、比較検討できるのですから、楽しいお祭りです。
ぜひ一度は行って下さい。
東京美術倶楽部です。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/07/01(Mon) 01:20

なるほど、靖国刀ですか。よく聞く名前ですが実際にお目にかかったことは一回もありません。

靖国神社で作成されたもので銘に「靖」とつくものというのは聞いたことがありますが、その他の特徴ってあるのですか？
ご存知の方がいたら教えてください。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/01(Mon) 23:39

靖国刀か靖国というタイトルで本があったと思います。
刀剣柴田さんに問い合わせると教えてくださると思います。

靖国刀も制作上の掟があったようですよ。
しかも斬れ味も試したようです。鉄板とかで。
現代の刀は最初から美術刀剣として生まれてきた刀が圧倒的に多いですが、戦前のこれらの刀はやはり実戦刀であったようです。

靖国刀はもはや長船という呼称のように一門のような集団を指す『グループ』あるいは『ブランド』的呼称となっているように感じます。
クオリティーの高い刀剣ということでは、同じ戦前の『昭○』のように『昭』の文字が付く刀工もその切れ味と造りの良さは、靖国刀に勝るとも劣らぬと聞き及んでおります。

長光や江村のようにあまり知られていない『昭○』といった刀工を掘り下げて行くというのも戦前の刀工を発掘し楽しむ方法の一つと思います。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/07/02(Tue) 00:43

なるほどお、貴重なアドバイスありがとうございます。これから注意してみていくようにして見ます。

[157 へのレス] Re: 現代刀・昭和刀について

投稿者：守重　投稿日：2002/07/02(Tue) 07:32

以下のような本も参考になります。
軍刀の研究が進んだ米国の本です。私の愛用の書です。
二つ目の本なんて、日本ヤフーで 10000-15000 円位で落札されていますが、現地価格はたつたの＄30 位なのですね。
MILITARY SWORDS OF JAPAN: 1868-1945
SWORDS OF IMPERIAL JAPAN: 1868-1945
An Oshigata Book of Modern Japanese　Swordsmiths:1868-1945
以下のサイトでカード支払いで注文できますよ!!
http://www.satcho.com/

[161] 軍刀の鍔について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/06/30(Sun) 00:50

皆様

陸軍刀には透かしのある鍔と無い鍔がありますが、どういう違いがあるのですか？９８式は鍔の無い物が多いように思うのですが。。。透かし有りのものは９８式より以前のものなのでしょうか？

ご存知の方がいればお教えください。

よろしくお願いいたします。

[161 へのレス] Re: 軍刀の鍔について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/30(Sun) 08:54

どなたかご存知でしょうか？
軍刀サイトのご紹介とか・・・。m(__)m。

私も軍刀を求めてみたくなってきました。
ヤフオクでも覗いてきます。(^^ゞ。

[161 へのレス] Re: 軍刀の鍔について

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/30(Sun) 22:53

このホームページは、いかがでしょうか？(^_^)　お役に立つでしょうか？

大日本帝國陸海軍資料館

[161 へのレス] Re: 軍刀の鍔について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/07/01(Mon) 01:16

こんなサイトがあったのですね。勉強してみます。
情報ありがとうございました。

[161 へのレス] 宮家の軍刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/01(Mon) 13:16

『刀剣はたや』さんという刀剣商さんがありますが、そこのホームページに貴重な軍刀が載っています。

どのぞの宮家の軍刀であるらしく、目抜きは菊紋で刀緒は将官用さらに刀身は擦り上げではあるが、在銘裏年期の室町期の高田物。
保存状態も大変よろしい様子です。

軍刀は結構ありますが、宮家の軍刀ともなりますとそうそう見ることはありませんね。
貴重な資料であると共に軍刀の中でも自慢の外装になるのではないでしょうか？

[161 へのレス] Re: 軍刀の鍔について

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/07/01(Mon) 21:01

70 マンですかああ、うーんつらいなあ。。。
いいものというのはわかるのだけど。。

[161 へのレス] Re: 宮家の軍刀

投稿者：太刀ひろし　投稿日：2002/07/01(Mon) 23:43

韋駄天様。

泣か～ないで～～～♪
泣か～ないで～～～～～♪

[161 へのレス] Re: 軍刀の鍔について

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/02(Tue) 00:00

はっはっはっ、
山田君、座布団持っといで～っ。
…いつかやると思ってましたよ♪

[171] ビッダーズ

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/06/30(Sun) 16:50

ビッダーズがやってくれました。

https://www.bidders.co.jp/

Ｙ！の刀狩で偽造テレホンカードと同列に扱われて悔しい思いをしていましたが
ビッダーズはちゃんとカテゴリーをつくってくれました！

ネットオークションの是非をうんぬんする方もいらっしゃるとは思いますが
商品、特に美術品は人の目に触れていなければいつかは忘れられてしまうものです。

２１世紀にも刀が生きつづけるためにはこういう場は必要だと思っております。

ビッダーズばんざい！

でもぜんぜん売れてない...

[171 へのレス] Re: ビッダーズ

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/06/30(Sun) 21:17

高い買い物ですからね～。
まずは鑑定書でもあれば信用ができますが、小銭では買えませんから・・・。

しかし、ちゃんと認識されてカテゴリを作ってもらえたのは良かったですね。
ネットオークションも刀専用のサイトが急増し、そちらの方がおもしろいということもあるのでしょう。

しかし、オークションでの発句値付けが私にはようわからんのですよ。
やはり、その店で付けた値段で買うのが最も安心して求めることができるように思います。

---

[174] 行ってきました・２

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/06/30(Sun) 19:00

Ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんの勉強会に行ってきました。
花散里さま、奥様…大変お若いですね…。鑑賞させていただきました。最上作とお見受けしました。(…失礼しました)
さて、今回も面白い刀が目白押し。
いやぁ、あの出来で偽物とは…。興正もさすがにあのクラスの出来だと重刀にいくんですね。うちのは…無理だな（トホホ)。
実際、色々な時代・作風の刀を目の前にしてしまうと、自分では「見るポイント」を絞っているつもりでも後になって考えてみるとなおざりにしている事が多いんですね。
粟田口の反りの深さに気づいていたはずなのに、何故か無視していましたっけ。
また勉強させていただきたいと思います。
今日はありがとうございました。お疲れ様でした♪

[174 へのレス] Re: 行ってきました・2

投稿者：純井　投稿日：2002/06/30(Sun) 20:05

私も本日行ってまいりました。いや～興正良かったですね、身幅広く見所一杯でしたね。確かに見比べないと上の出来は良いものでしたから、判らないですね。
いや～生ぶにある程度近い太刀姿ってあそこまで反りが深いものなんですね～。改めてみると判ることですが、きっと太刀掛けなんかに掛けたらもっと良い姿に見えるんだろうな～。
また今度もこのような機会が御座いましたら、参加させていただきたいと思います。swoedsmithさん本日は誠にありがとう御座いました。

[174 へのレス] Re: 行ってきました・2

投稿者：花散里　投稿日：2002/06/30(Sun) 21:04

あっはっは(^o^)／
こてつさん、どうもありがとうございます m(__)m　でも「時代違」じゃないですかね～(^_^)v

Swordsmith さん、今日も楽しませていただきました m(__)m
「重要当てクイズ」も楽しかったですね(^_^)　答えを出すまでは緊張し、また何とか、赤っ恥はかかずに済みましたが・・・(^^ゞ
目の保養にもなり、いろいろな知識も身につき、また次回もぜひ参加させていただきたいと思います m(__)m
あの内容ならば、正式に場所を借りて参加費を取っても価値はありますよ。
準備などで Swordsmith さんはお手数だと思いますが、ぜひ恒例としていただきたいものです(^_^)

最後になりましたがこてつさん、大変珍しいものを拝見させていただきました。びっくりでした(@_@)

[174 へのレス] Re: 行ってきました・2

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/07/01(Mon) 17:44<HOME>

みなさま、ご参加いただき誠に有難うございました。おかげさまで前回同様ワイワイガヤガヤと楽しいひと時を過ごすことができました。ご参加いただいた皆様に楽しかったと言われホッとしております。二度あることは三度あると言いますので、またこのような催し物を計画したいと思います。
でも名刀を集めるのはたやすくても、勉強になる刀がなかなか手に入りません。頑張って探してこないと。

[190] すてき

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/03(Wed) 17:39

毎月送ってもらってる情報誌に
なんともすてきな脇差が掲載されていました。
二代忠綱　宝永五年の作　でして

当然　彫同作ですね。
もう気になって気になって今朝８時３０分に
電話したら、売り切れ。。。
まあとても手がでる価格では無かったですけど
写真で一目ぼれしたのに「縁」が無かったんですね。
朝早くから親切に説明いただきましてありがとうございました。

[190 へのレス] Re: すてき

投稿者：純井　投稿日：2002/07/03(Wed) 20:59

ああ～昨日届いたんですよね、私のところにも。気にはなっていたんですが…そうですか、足が速いですね。

[190 へのレス] Re: すてき

投稿者：通りすがり　投稿日：2002/07/03(Wed) 21:46

キャンセル待ちを持ち掛けられませんでした？

[190 へのレス] Re: すてき

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/04(Thu) 11:29

キャンセル待ちをお願いできるお値段では
無かったんです。
お値段お問い合わせ価格になってましたので
見とれてつい、問い合わせしてしまったしだいです；

---

[194] Navi

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/07/04(Thu) 22:59

Navi　８月号に自動車評論家の舘内端氏が
「日本刀で自動車的身体を斬る」というレポートをのせています。

黒澤雄太氏の日本武徳院で試し斬りを体験するという内容です。
はっきりいって舘内氏がやってみたかっただけじゃないの？
という内容でしたがまあ高額所得者が多いと思われる Navi の読者に
日本刀をアピールできたと思いますので良しとしましょう。

日本武徳院のＨＰみましたが黒澤氏がお若いだけあってなかなかの
サイトだと思います。
http://butokuin.jp/

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/05(Fri) 20:35

もうかれこれ１５年も、あるいはそれ以上になりますでしょうか。
刀匠は記憶では吉原義人刀匠で、兜割りを行うというテレビの番組を見た記憶があります。

それは、鑑賞の刀剣趣味に入るはるか以前に刀が好きという漠然とした広い意味で刀が好きだった頃の出来事で、ワクワクしながら見入っていました。

兜割りの前には日本刀がいかに切れるかを披露するために、バイクのタンクに斬りつけるということもしました。
鍛錬をしていない日本刀の形をした刃物は見事に曲がり、タンクは凹むだけ。
それに対して、日本刀は見事にタンクを斬り割ったのです。

兜割りに用意した刀は『直刃』。
それに付けた柄も白鞘師かあるいはそれに類する専門家の作。
やはり、強靭なものを用意する必要があったのでしょう。

斬り手は刀匠自身。
兜は桃山か江戸のものであったと思います。

兜割りは見事に成功しました。
割るというと真っ二つにという感じがしますが、切り込んだといったものであったという気がします。

兜を割る刀の存在は、私の中に強烈な印象を与えたのです。

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：旅人　投稿日：2002/07/05(Fri) 22:22

なつかしですね兜割り、兜割りの前にバイクのタンクや椅子のパイプなど吉原国家刀匠が斬っておりましたね

兜割りの刀は今ある神社にあるようです
あの刀は荒研ぎで丁字刃でした
斬手は河端照孝さんです。

あの番組のビデオを久しぶりに見ました。

[194 へのレス] Re: Navi そうだったんだ・・・

投稿者：菊久　投稿日：2002/07/06(Sat) 06:00

私もあの「兜割」の番組を見ていました。
あの鉄パイプの椅子を斬ったシーンなどは鮮烈に覚えていますヨ。綺麗に斬れていましたものネ。

でも、場面々々は頭の中に出てくるのですが、刀匠が誰であったのか今まで思い出せず、ずぅ～と気になっていたのです。
お陰様で今まで気になっていたあの番組の刀匠名がわかりました。なんか喉に詰っていたものが取れた感じです。
真改代表・旅人さん「ありがとう」m(_ _)m。

しかし、もう一度あの番組を見たいなぁー。
ビデオに録画してある旅人さんが羨ましいです。

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：旅人　投稿日：2002/07/06(Sat) 06:55

菊久さんよかったらダビング致しましょうか？

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：菊久　投稿日：2002/07/06(Sat) 07:29

旅人さんへ
「ウワォー!(^^)!、ホッ、ホントーに！！」
「ありがとうございます」m(_ _)m

ただいま昨夜からの当直中で、職場から繋いでいるものですから、メールを出しづらいんですよネ。(^^;)
帰宅したら再度連絡させていただきます。(^^)/

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/06(Sat) 07:39

旅人様。
私も、よろしければ御願い致します。m(__)m。

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：韋駄天　投稿日：2002/07/07(Sun) 00:51

うーん、ビデオ。
私もぜひよろしくお願いいたしますです。

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/07(Sun) 14:26

ぼ、僕も欲しくなってしまいました。
どうしたら良いでしょうか？

[194 へのレス] Re: Navi

投稿者：旅人　投稿日：2002/07/07(Sun) 17:03

希望の方はメール頂けますでしょうか。

[195] 大阪城

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/05(Fri) 13:53

明日６日土曜日は、大阪城にてＯＦＦ会もどきがあるかも
河内国平刀匠が当番で、くわしい解説していただけますよ。
そう言う私は、残念。。。行けないんですけど。
参加決定の皆様、楽しんで来て下さいませ。

[195 へのレス] Re: 大阪城

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/05(Fri) 20:47

大坂城の展示会は一度も行ったことがありません。
なぜか、東京の方が馴染んでいるので、どうしてもそちらに足が向きます。
刀剣商も沢山ありますし・・・。

私は今年も横浜そごうの展示会を狙っております。

[195 へのレス] Re: 大阪城

投稿者：菊久　投稿日：2002/07/07(Sun) 06:57

「大阪城」行ってきましたよ～。

鎬さんの友人の長身Ｍ氏にも会ってきました。
とても爽やかな好青年でした。

刀剣を拝見するのも好きですが、こうやって人の輪が広がるのが私は大好きです。

[195 へのレス] Re: 大阪城

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/08(Mon) 23:34

横浜の中華街には美味しいお店は勿論、面白いお土産屋さんが多いです。布製のヌンチャクとか、セクシーなチャイナドレス、カンフー道着、怪しいお香…。
時間がアッという間です。楽しいですよ。

[196] ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/05(Fri) 20:12

「宮本武蔵」の佐々木小次郎役がＴＯＫＩＯの松岡君に決まりましたね。あややに小次郎演って欲しかったっす。

…か、かわいーじゃないですか…。
脇役は全部モー娘で固めて欲しいです。
…堕ちる所まで堕ちてくれ、ＮＨＫ…。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/05(Fri) 20:50

小次郎といえば、ヤフオクで長大な木刀が出ていたので買いました。
確かに長い！
通常の剣道用木刀に比較しても３０センチは長いと思われます。
赤樫でできています。

木刀も振ったらそれこそ武器ですよね！

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：代表監督　投稿日：2002/07/06(Sat) 14:17

確かにあややのほうがいい。脇役をモー娘なんて安っぽいこと言わないで、出演者を全てハロプロにして、プロデューサーをつんくにしてしまえば・・・　（それじゃぁ、テレビ東京っすね）
…堕ちる所まで堕ちてくれ、ＮＨＫ…。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/07(Sun) 00:20

「あやや」？(-_-;)
「ハロプロ」？(^_^;)
「モー娘」は、わかる(^^ゞ

刀剣用語より難しい・・・(..)φメモメモ
な、何を言っているのか、私には理解できない・・・(-_-;)
年代の相違？(^^ゞ

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/07(Sun) 06:25

およよ・・・、なら知っておりますが・・・。
もはや、おっさんの域に達しております。(T_T)。

「あやや」？(-_-;)
「ハロプロ」？(^_^;)

ってな～～～～～～～～～～～～に？？？？？？？？？

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/07(Sun) 14:30

「あやや」とは「松浦亜弥」のことです。
「ハロプロ」とは…すみません、僕も分かりません（笑）。
やはりオッサンでした。若ぶっても所詮付け焼刃でした。
…代表監督、お願いします。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/07(Sun) 14:38

…分かりました。
「ハロー！プロジェクト」のことでした。
「モー娘」「カントリー」「メロン」等のつんくファミリーの何と言うか…そういう企画モノです。
…情けねー説明で済みません。これが私の精一杯（涙）。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：代表監督　投稿日：2002/07/07(Sun) 22:26

その通りです。つんくプロデュースのアイドル集団です。刀からあややまでまで何でもござれ。カッ、カッ、カッ。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/07(Sun) 23:08

な、なるほど～(^_^;)
それにしても、こてつさんも代表監督さんも、守備範囲が広い、広すぎる～(^^ゞ
まぁ、私はおっさんですから知らなくても無理はない(-_-;)
今更、そっちの勉強するのもな～（｀´）
と言うか、「モーニング娘。」のメンバーの顔の区別がつきませ～ん(T_T)　情けない・・・(^_^;)

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：純井　投稿日：2002/07/07(Sun) 23:31

う～む二十代だけど判らない…って言うか、そんなこと覚えるなら刀の事覚えたほうがマシと考えてしまう辺り、合理的何だか何なんだか…。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/08(Mon) 12:54

私の１０代のころは『オニャンコくらぶ』でした。
工藤静香が参加したころはもう見ていませんでしたから、相当初期の頃ですが・・・。(~_~;)。

オニャンコもモー娘も時代は繰り返すっていう気がしますね。

いまだに頑張っている松田聖子に私はエールを送ります。
私の青春時代のアイドルでいまだに活躍しているのは彼女だけですから。＼(~o~)／。
マッチや俊ちゃんはどこに行ってしまったのか？
いわんや、ヨっちゃんは何処へ・・・。(T_T)。

[196 へのレス] Re: ＮＨＫ大河ドラマ。

投稿者：代表監督　投稿日：2002/07/08(Mon) 15:20

マッチはレーサーとしてまずまずの成績を残しています。俊ちゃんはラジオ出演やコンサート活動で細々と。よっちゃんは家業のバイク屋「野村モータース」をついでいると思いきや一流のスタジオミュージシャンとして引っ張りだこです。

---

[198] ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/05(Fri) 20:38

が本日届きました。皆様におかれましては如何で御座いましたでしょうか。正に優品ぞろいで、彫りの無い一竿子が出ておりましたが値段にビックリ致しました。後は…矢張り真改国貞の初期銘の物が出ていたので、拝見する為にも十日からの即売会に行ってまいります。楽しみだなぁ…。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/05(Fri) 20:52

相変わらず、到着が早いですね！(@_@;)。

彫りの無い一竿子とは珍品ですね。一竿子銘を切る時は大抵は彫があると聞いております。
今回もさぞや盛況でしょうね！

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/05(Fri) 21:16

一竿子銘ではないんです。粟田口近江守忠綱銘なんですね。一竿子と書いたほうが判りやすいかな～って考えてしまったのでそのまま書きこみました。申し訳ありません…m(__)m

---

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/05(Fri) 23:38

「行光（と銘あり）」の短刀が気に入りました。…買えませんが。果たしてどれ位減っているのか…。
見てみたいですね。「真改国貞」の「寛文二二年」も良さそうです。あとは「栗原信秀」、最近よく見かけるなぁ。「買え」って天の思し召しか…？
「宮入昭平」も出てますよ。少しずつ市場に出始めてますね。値段もかなりいいですが…。
また純井さんとバッティングしてしまうかも知れませんね。
いつ行こうかな…。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：久　投稿日：2002/07/06(Sat) 10:05

彫のない一竿子粟田口忠綱銘の刀は稀に出ます。この場合何故で
しょうか少し定寸より短かめ～定寸位の寸法のような気がします。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/06(Sat) 11:06

小耳に挟んだんですが、刀の出来自体が良いのは何故か彫り無いものの方が多いって聞いたことあるんですけど…本当かな？
寸が短いのは何故なんだろう？添え差用なんだろうとは思いますが。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：よしみつ　投稿日：2002/07/06(Sat) 19:06

わー、いいな、いいな。姫路にはまだ届いてません。ああ、御挨拶が、遅れました。久しぶりに書き込みします。管理人様よろしく！純井さん、こちらでもよろしくお願いいたします。
「優品」みたいな立派なカタログには、載ってないですが、
某所で、靖国刀を買っちゃいました。でも、直刃じゃないんです。三本杉なんです。「靖徳」さんなんですが、＊＊岸田さん
が、３０００部限定で出した本に拠りますと、得意なんだそうです、三本杉が・・・居合いに使ってた無銘の軍刀と地金を比べると、なんと、まるで別物ですよ。平成十二年の新作刀と比べても、地金が違います。靖国鋼は凄いですね。その点比べると＊＊保の玉鋼は、なんか腹に入らない。枕に並べて比べると
うーん・・・＊＊保の会員のくせに、あまり言いたくないですが、靖国鋼には勝てない！もっとも、千種鋼の丸一鋼には勝てないですけど、靖国鋼も・・・忘れるとこでした。メルアド
変わりました。an352547#iris.eonet.ne.jp が新メルアドです。これからも、ちょくちょく来ると思いますが、皆様いじめないでくださいね。宜しくお願いいたします。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/06(Sat) 19:32

現存の優品。
やっと届きました。
今回は前回以上に気合が入ってます！
意気込みを感じます。（若輩者が偉そうにすみません。m(__)m）

やはり、気になるのが『行光（と銘あり）』の短刀か！
時代を考え、手に入れることができる可能な上限を考えれば、喉から手が出るほどでございます。
(^^ゞ。

他は、同田貫の槍。
傷なんか全然気にしません。
あと、二代忠広の脇差。
これって、完璧！？

とりあえず、行光一本（一口）いっとく！？!(^^)!

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：藤次郎　投稿日：2002/07/07(Sun) 01:11

たしかに、この忠広は最高かもしれませんね。
実物を拝見していませんが、写真だけからも
美しさがただよってきますね。
行光も特重の国吉のようになるのでしょうか？
可能性を秘めたロマンある短刀ですね。
他に欲しい出物があるので、手を出せませんが
本来なら借金をしてでも手に入れたい一振ですね。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/07/07(Sun) 22:57

はじめましてズブの素人です。皆様のおはなし大変おもしろく拝見させていただいております。
ところで本日ははじめてずくしです。生まれて初めて刀をてにしました。刀屋さんで本物の刀を手に持ちました。購入したわけではありません。しかしスゴイ感激でした。ちなみに来国光でした。お値段も９００万となかなかです。静岡の川○美術刀剣さんありがとうございました。いまだに興奮いたしております。
次回は○存の優品を東京に見に行こうと思います。はやく初めてのヒトフリをもちたくなりました。
もうひとつの初めては掲示板に参加させていただくことです。
ここまで書くのに３０分以上かかりました。刀剣とワープロ両方勉強します。失礼しました。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/07(Sun) 23:33

始めまして刀士郎様さん、純井と申します。来国光ですか～羨ましいですね、是非とも拝見してみたい衝動に駆られます。まぁ明々後日には東京で始まりますからそれを拝見しに行こうかとは思っておりますが。
始めての一振り…早く手に入ると宜しいですね。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/08(Mon) 13:08

刀士郎様。

はじめまして。
これからも、どんどんご参加下さいませ。m(__)m。

ついでにキーボードのスピードの上達あるいはブラインドタッチの修得にはチャットがよろしいですよ。
おそろしく上達いたします。
このサイトの表紙の夜通し生談義にもお越しください。
毎日お越しになれば２週間もあれば見違えるほどになると思います。

ところで、最初の刀剣は大事に慎重になって下さい。お願いします。
これは何度も失敗した経験からのものですから、この言葉は重いです。(T_T)。
最初はお手ごろなところから行こうと思いますが、好きな道はずるずるとはまっていきます。
やはり、出来れば最初からいいものを、とお勧めいたします。
とっても、９００万の来国光を買ってくださいとは言いませんが・・・(~_~;)。

実物をたくさん拝見してしっかりと収集のスタイルを確立してください。
刀は全部好きだけど、収集のジャンルとはおのずと異なってくるものと思うからです。

といっても､収集のジャンル自体も変わってくるという場合もあります｡私がそうですから｡(~o~)。

では、これからもすばらしい刀剣ライフを送ろうではありませんか！＼(~o~)／。
よろしくお願いします。
m(__)m。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/07/08(Mon) 19:39

純井様　真改２００１様　貴重なアドバイスありがとうございます。今後の指針として胸にきざんでおきます。
さて　早速矛盾しますが　じつはーーーほんじつーーー
大丸に電話して、予約してしまいました。吉光をはじめ三口ほど候補があっつたのですが、すでに予約済みとのこと｡ガッカリでした｡されど気を取り直して今一度電話｡忠綱に決定いたしました。
ホントは古刀と思っておりましたが。
早く手に入れたく気がせいておったかと真改２００１様のお言葉ズッキときました。でも、綺麗そうな刀なので楽しみにしております。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/08(Mon) 20:39

刀士郎様。

!(^^)!やりましたね！おめでとうございます。
渋く『同田貫槍』なんて言われたら、どうしようかと思っておりました。

大坂新刀のすばらしいところを押さえられたわけですね。
真改 2001 のネームが示すとおり、私は古刀ファンなんです。って違う〜〜〜。(^^ゞ。
大坂新刀のファンです。ハイ。

これからはきっと他の忠綱を見聞きするたびに気になりますよ〜。
長い刀よりも脇差の方が鑑賞しやすい。

もっと突き詰めれば、定寸を切る刀は鑑賞しやすいサイズであり、サイズ的に中途半端が購入者には幸いして、出来がすばらしいにも関わらず、、お求め安い価格設定、しかも脇差ではなく刀であるという自己満足、これらの満足度が高位で達成されているということを考えますと、私は狙い目は今後、こういったところにあるような気がします。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/08(Mon) 21:46

おお忠綱ですか！始めての一刀としては申し分の無い刀と言えますね。個人的には脇差スキーな人なので親近感を覚えます。ちなみに〜私の持っているのも脇差の和泉守国貞。製作期間自体は今回出ている真改国貞よりちょっと前のもので、裏年期が無いやつですね。載っているのよりは長いですけども。そんなわけで代表と同じく、一大阪新刀ファンとして今回の忠綱は拝見させていただきに上がります。水曜日に見に行く予定ですので、ひょっとしたらお会いする事になるかもしれないですね。
でも今回お求めの忠綱…本当に出物ですよね〜大阪新刀の中でも３人しか居ない最上作工ですからね。良いものをお求めになられたものです。
……実は江戸新刀ファンでもあったりするんですが(爆)
さてタイピングですが、私はネットゲーのチャットの影響で速くなりました。実際問題として、気が付いたらブラインドタッチでしたね。ネットゲームって基本的に、コミュニケーションを取らないと行けないので嫌でもおぼえるって言う事ですね。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/08(Mon) 23:29

はじめまして刀士郎さま。こてつです。宜しくお願いします。
いやぁ、写真だけで御購入されましたか、勇気ありますね！
僕は実物を拝見してからでないとどうも…それでもけっこう迷って迷って買う方です。
単に人間が優柔不断なだけですが（笑）。
大阪新刀は大阪という土地柄、裕福な商人が手挟んだであろう上作の脇差が多いです。確かに狙い目ですね。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/07/09(Tue) 23:09

こてつさま　はじめまして
今後ともヨロシクご指導ください。じつを申せばかなりワタクシ優柔不断な

んですがこんかいは！！！

純井さま
お会いできれば光栄です。しかし明日のアラシは少々心配です。新幹線が止まらなければと思っております。幸運にもお会いできれば　是非、忠綱のご感想をお聞かせください。
あした天気になーれ～。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/10(Wed) 19:16

…と言うわけで残念ながら雨でした(爆)
刀士郎さん、梱包していたのをわざわざ空けていただきましてありがとう御座いました。あの後、家に帰ったらなんか東海道新幹線が止まってるってニュースが流れていたので、少し心配だったりします。
何に致しましても私は今だ二十代の若造に過ぎませんので、さま付けは止めて下さいお願い致します。m(__)m

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/07/11(Thu) 15:05

停まってました。帰れませんでした。一泊して今日帰りました。マイッタ

純井さん　昨日はお世話になりました。お陰様ですごく勉強になりました。
次回も是非、いろいろと教えてください。お願いします。
ネルの布ありがとうございました。今洗って干してあります。今夜使わせていただきます。忠綱は帰宅してから一時間おきに磨いております。
とてもシアワセな気分です。

[198 へのレス] Re: ○存の優品

投稿者：純井　投稿日：2002/07/11(Thu) 18:33

矢張りお帰りになれなかったのですね。案じてはおりましたが、矢張り難しかったようですね。
ただ本日は昨日の台風が嘘のような雲一つ無いピーカンでした。外が暑い事暑い事、帰ってきてニュースを見たらどうやら今日は今年の最高気温…道理で暑いわけですね。
刀に関しては私もマダマダ入り口に差し掛かった程度です。一緒に勉強していきましょう。私の言った事も飽くまで参考程度だと思っていただいたほうがよろしいと思います。でもお渡し致しましたネルがお役に立っているようで安心致しました。今後とも宜しゅうお願い申し上げます。
m(__)m

[228] 鐔

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/07(Sun) 23:53

実は私、最近は刀装具（特に鐔）に目が向いております。
その材質やデザインの豊富さに、刀とはまた違った美しさを感じています。
勉強不足のため焦点は未だ技巧に留まり、刀匠鐔などの「素朴な美」はまだまだ理解することができませんが、鐔を眺めながらあれこれ想像するのは無常の喜びです。
古くからの材質や画題に囚われず、新しいものを積極的に取り入れ、それでも文化として・実用品として・さらには美術品にまで昇華させて来た伝統の技には驚きと感心を覚えます。

さて、目を現代に向けるとどうなるか？
私は「新作鐔」というと、何となく「イミテーション的」なものを感じていましたが、まったく根拠が無く「認識不足」でした。
いらっしゃるんですね～(^_^)v　このような方が(^o^)／
「椎谷雄一氏　鍔」
私は、これを拝見して「目から鱗」でした m(__)m

皆さんは、いかが思われるでしょうか？

[228 へのレス] Re: 鐔

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/08(Mon) 13:21

私は偶然か否か、現代鍔を二枚持っております。
いずれも、林又七の写しかあるいはそれから派生したデザインの透かし鍔で、桜と九曜紋の例の有名な鍔の写しです。

現代のものとはいえ、その技術の精巧さと象嵌の美しさに圧倒されて求めたのですが、以外に明るい方にかざして文字通りに透かして見れば、美しい透かしの文様がなんともいえない味を醸し出しております。

現存の優品にも平成４年の新作刀展覧会の鍔の部出品作で第３席を取った透かし鍔が出ていますが、時代の同じような鍔なら大変な値段を付けていたでしょう。
鍔の製作は年に何枚も出来るものではないと、完成品を見て感じるのですが、その労力に比べてなんとも価格はお安く設定されているように感じるのは私だけでしょうか。

現代刀だけではなく、現代の鍔にも非常に関心があり、これからもその鑑賞と収集の対象として、拝見していこうと思っております。

花散里さんご推薦の鍔も素晴らしいですね。
現代の鍔には現代のセンスがあって然るべきと思います。
インターネットが普及して本当に良かったと感じています。

[228 へのレス] Re: 鐔

投稿者：正弘　投稿日：2002/07/08(Mon) 23:30

鍔の地金の良否は原料で８割決まってしまう、といわれています。時代鍔でも決して良い地鉄ばかりでなく、鍛錬でカバーしたようです。

そこへ行くとチタンというのは究極の地鉄ですね。ちょっと度肝を抜かれました。かつては戦略物資でしたが、冷戦崩壊で民需に廻ってきたのはつい最近です。

それにしても、椎谷師の鍔はなんとも斬新ですね。櫃孔の構図など伝統から「突き抜けて」います。

鍔はあくまでも拵えの一部です。椎谷師の鍔はどのような拵えに懸かると似合うでしようか。

[228 へのレス] Re: 鐔

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/09(Tue) 00:22

花散里さまの影響か、僕も鍔に興味を持つようになりました。まだまだナ～ンも分からない赤子のような状態ですが。で、せんだってのｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんのお店で物色していましたら「簡単に買わない方がいいですよ」と心の中を見透かされたような御注意を受けました。
ジックリ選んで、目が肥えたところで買いたいと思います。僕自身はすでに肥え始めてるんですが…。自虐的やな～。

[228 へのレス] Re: 鐔

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/09(Tue) 01:16

真鍮なども、最初は渡来した金属であり値段も高価だったと聞いています。
私が持っている鐔にも、日本にはいなかった象がデザインされたものがあります。
南蛮鉄もそうですが、日本人は昔から渡来した文化や材料を上手く取り入れて自分たちの文化を発展させてきたんですね(^_^)
その意味から言えば、伝統的には使われてこなかったチタンなどの金属を使うのも不思議ではないのかも知れません。
刀身は伝統的な材料・作法でなければ登録もできないようですが、拵えや刀装具は工夫の余地が大いにあると思います。

現代的な拵えにも、関心がありそうですね(^_^)　＞代表
実際に手にしたら、悩んでしまうでしょうね(^^ゞ　＞正弘さん
「さま」は勘弁してください(^_^;)　＞こてつさん

[241] 続　兜割り

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/09(Tue) 19:37

旅人さん。
兜割りのビデオをありがとうございました。m(__)m。

本日、届きましてたった今、鑑賞を終わったところです。
記憶違いの箇所が多々あり、記憶のいい加減さを自分で納得していた次第です。(^^ゞ。

１０年以上経過して改めてビデオを見て一番面白かったのが、粘土を使って折り返し鍛錬を再現したところでした。
刀の形に伸ばしていたので、特に粘土が美しく層を成していたのが、非常に興味深いものでした。

今、この時代に多くの人にこのビデオを見ていただき、現代刀のすばらしさと刀とは本来何かを是非議論討論投稿してもらいたいですね。
いろんな思いが出てきて楽しい面白い貴重な談義ができそうです。

旅人さん。
本当にありがとうございました。

ちょっとナイフでパイプを切ってみたくなりました。

[241 へのレス] Re: 続　兜割り

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/09(Tue) 22:41

私の記憶は定かではないのですが、確かパイプ椅子を斬る時に「日本刀」と「日本刀以外？」で２回斬ったような・・・(^^ゞ
「日本刀」で斬る時は、その前に両手で顔の前に捧げ持ち礼をしたような記憶がありますが、違いましたか？

[241 へのレス] Re: 続　兜割り

投稿者：菊久　投稿日：2002/07/11(Thu) 07:00

台風６号による「職場待機」が無くなったので、昨夜『兜割り』のビデオを見ました。

一回目を見終わり、巻き戻してまた見ました。
十数年を経て、再度見ても新鮮な感を受けます。

手持ちの脇差をパイプ椅子斬りの試し斬りにおろしたくなる衝動に駆られます。

旅人さん、貴重な映像を「ありがとうございました」m(_ _)m

---

[244] 日本刀の古式鍛錬研究会

投稿者：田中　投稿日：2002/07/10(Wed) 05:01

日本刀の古式鍛錬研究会が２０、２１両日、美星町三山の歴史公園「中世夢が原」で開かれる。一般に公開される。

http://mytown.asahi.com/okayama/news02.asp?kiji=2090

場所等の明細はわかりません。

[244 へのレス] Re: 日本刀の古式鍛錬研究会

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/10(Wed) 08:14

岡山県ですか(^_^)
公式ホームページは、こちらですね(^_^)
「中世夢が原」

[247] カタログ。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/11(Thu) 00:25

東京駅近くの「紀伊国屋」さんのカタログが最近届かなくなりました。
単にウチだけ届かなくなったのか、お店が出さなくなったのか…？
御覧になっていた方はどの位いらっしゃるでしょうか？
確か真改代表もここのカタログ、御覧になってましたよね？
…最近、届いてますか？

[247 へのレス] Re: カタログ。

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/11(Thu) 06:22

「紀伊国屋」さんのカタログは年４回位の季刊誌ではなかったでしょうか。

もっとも、最初にカタログを依頼して、１年以内に何も購入しなかった場合はその後のカタログ配送はないようです。
もう一度、カタログの配送を依頼するか、甲冑を購入しましょう！(^o^)丿。

床の間にはザクでははく、甲冑。そして、槍。
もう少しで私の趣味の部屋が完成しますので、フィギュアから甲冑からイチローものまで、思う存分展示して、一人悦に入りたいと思います。
子供からは『お父さん、追い出されるの？』といわれる始末。(T_T)。

不気味。
フィギュアに囲まれ、甲冑を背にし、刀を抜き手入れし、イチローのサインボールを眺めながらニタニタする図。(-_-;)。

部屋といっても倉庫を単に改良しただけの、夏は大変暑く、冬はごく寒く・・・。
その室内温度の異常な高さにフィギュアはフニャフニャになり、サウナ状態の中での鑑賞は忍耐強くさせる『大リーグ養成ギブス』の如く也。

そういうことで(^^ゞ、再度、紀伊国屋さんにカタログの配送以来をお願いすることが最善かと思われます。

[247 へのレス] Re: カタログ。

投稿者：久　投稿日：2002/07/11(Thu) 22:23

　何故でしょうか？新潟県内で加工された鞘類は関東や西日本に持っていきますと木が緩むのでしょうか乾燥するのでしょうか？白鞘はゆるくなり鑿の柄は外れやすくなり、鉋の台は反る事が多いと思うのは私だけでしょうか？
　代表、例のあれ気付け下さいませ。

[247 へのレス] Re: カタログ。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/11(Thu) 23:19

＞真改代表。
そうか。やはり買わないからこないのか～。ちゃんとチェックしてるんですねぇ、お店も。前々から「面頬」が欲しくて色々物色してたんですが、このお店に行ってみたらその数の多さにビックリ。あまりの多さに目移りするやら気圧されるやら。結局買わずに帰ってきてしまいました。鞘袋などもありました。
東京大丸に行くついでに寄ってきたいと思います。

[247 へのレス] Re: カタログ。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/12(Fri) 01:56

こてつさん。
そう～～～なんです。
紀伊国屋さんは特にカタログの代金を取っていないから、特にチェックしているのかもしれませんね。

私も数年前に一度だけお邪魔したことがありますが、本当に多すぎて何をどうしたらいいのかまったくウロウロするばかりで、圧倒されて帰ってきました。

いつかは時代の甲冑を求めたいです。

久さん。
そうなんですよね。
例のお品も徳島入りした時から鞘がスカスカで、鞘が締まるはずの冬季においてもそんな具合でしたから、当然の如く今でもスカスカで、鞘走りするくらいです。
非常に気を使っております。
今のところ、鞘当たりなどの悪い影響はまったく見られませんが、新潟と徳島ではこうもちがってくるのでしょうか？

白鞘加工では九州・岡山・関東・岐阜といろいろな所で製作された物を持っていましたが、これだけ緩んだ鞘は初めてです。

うっかりすると怪我をしそうなくらいです。
充分に気をつけたいと思います。

[247 へのレス] Re: カタログ。

投稿者：沼六屋　投稿日：2002/07/12(Fri) 20:19

先日久し振りにカタログが届きました。
私は一番最初に兜立てを買ったきりです。

---

[255] 無題

投稿者：あずみ　投稿日：2002/07/12(Fri) 10:51

小山ゆう氏（54）原作のマンガ「あずみ」が実写で映画化されることになった。単行本の総発行部数が 800 万部を超える人気マンガで、注目の美少女剣士あずみ役には映画初主演となる女優の上戸彩（16）を大抜てき。製作費約６億円、シリーズ化も検討されているビッグプロジェクトで、“上戸あずみ”の活躍にファンの注目が集まりそうだ。来年初夏公開。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/12(Fri) 11:16

楽しみです。
あずみって日本人なの？混血なの？
最初しか読んでなくてよくわかってないんです。

昨日「大阪城」行きました。
河内刀匠の作風が変化したように、感じたのは僕だけでしょうか。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/12(Fri) 12:52

『あずみ』は、私も愛読しております。

テンポ・絵・ストーリー共に大変面白く、私の中ではバガボンドと併せて最も楽しい漫画となっております。
映画になって原作の人気が上昇することとあわせて、刀剣に対する関心も高まると有難いな～と思うのです。

イチローのルーキーイヤーの時にも提案しましたが、来年はバガボンドの人気にあやかって宮本武蔵が大河ドラマで放映されますし、こんどはあずみでしょ。
主役の俳優そして監督に刀一口をプレゼントしていただけますと、話題性が大なのですけど。

タイガーウッズが来日したときに刀をプレゼントして、イチローなど世界にアピールする絶好の機会・人物にはしないなんて、不・思・議！です。

一部の金持ち相手に商売するのではなく、将来の購買層の獲得、あるいは居合・剣道人口の増加のためにも、刀剣商と限定するのではなくてもいいから、ひろく各権威ある有名団体から文字通り『贈刀』されることを希望します。

ブーム再燃といきたいところです。

現代刀匠に双頭の刀が発注された！なんてニュースが駆け巡ると面白な～。(^○^)。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：神無月　投稿日：2002/07/12(Fri) 19:56

最近は漫画の映画化が目立ちますね。
アメリカでは「ドラゴンボール」が実写化されますし、最近では「スパイダーマン」が大ヒット、今月には松本大洋氏の「ピンポン」が公開されますしね。

制作費６億円というとすごいお金をかけているように思えますが、最近の映画は一本作るのに少なくとも１０億円はかかると言われているそうなので、６億円というのは低予算とも言えますね。まぁ、でもこれはアメリカの話なので日本ではお金をかけているほうなのかもしれませんが。

まぁ、とにかくどんな映画になるのか楽しみです。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/13(Sat) 13:32

う～ん、僕は漫画の映画化（ＴＶドラマ化、アニメ化等含め）には否定的に考えてしまいます。うまくいった例が少ないような…。
だいたい原作の雰囲気や方向性を結果的に損なうケースが多いように感じられます。今回の「あずみ」も主演女優も全くの未知数。
脇役にまたジャニーズ系が揃ったらどうしましょう！？
６億という予算も安すぎます。これで時代大作なんて出来るわけが無い…と色々マイナス方向に考えるのはシニカルすぎましょうか？
みなさんの期待を裏切らないような作品になって欲しいものです。

小学館はとてもグッズ関連の商売がお上手な出版社です。
あずみモデルの模擬刀…そろそろ作ってもいい頃だけどな～？
￥１９８００位だったらけっこう売れると思いますけど。

余談ですが知り合いの編集者から「バガボンド」の先生の原稿料がいくらか…聞きました。…ぶっとんでしまいました。…おしょろしい額です…。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/13(Sat) 13:35

＞鎬さん。

あずみはハーフです。でもまだ細かい情報は出てきていません。
いずれ出生の秘密を語る回が出てくるんでしょうね。
…いったいパパは誰～！？

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：神無月　投稿日：2002/07/13(Sat) 16:52

最近は漫画に限らず、小説や TV ゲームを映画化するケースが増えているようです。そういった映画を観る人達というのは、原作なりゲームなりを読んだりプレイしたことのある人達が中心だと思うんです。
そして、そういう人達はオリジナルの持つ世界観を壊されることを嫌うんじゃないかと思います。
少なくとも僕は嫌ですね。
でも僕は原作をただなぞっただけの映画を観ると、別に映画化しなくてもいいじゃんと思います。
原作の世界観を壊すことなく、それでいて原作をただなぞらず、映画として原作とは切り離して作っている。そいうのが望ましいです。
まぁ、難しいとは思うんですけどね。
せっかく映画化するんですから、映画として独立していて尚且つ面白いものを期待したいです。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/13(Sat) 18:00

そうですね…頭っから否定したのは失敗失敗。
良い部分もきっとありますね。
小説の映画化も大失敗するケースがありますが、
「雨あがる」なんて僕は原作と同じ位好きな出来です。

[255 へのレス] Re: 無題

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/16(Tue) 10:53

こてつさん。ありがとうございます。
ハーフですか。やはり
なんとなく、そんな気がしたんです。
鎬@新潟．出張中

---

[264] Yosozaemon Sukesada

投稿者：darcy　投稿日：2002/07/14(Sun) 14:08

Hello! Pardon me for butting in with my english question, I hope someone can help me.

I have been looking at a sword to purchase, and the mei is supposed to be the famous Yosozaemon Sukesada of Sue Bizen.

A picture of the mei is here:

http://www.hasc.com/~samurai.suk.jpg

I read this as:

Bizen no Kuni Osafune ju Yosozaemon no Jo Sukesada saku.
Eisho 8

I have read that the famous Yosozaemon signed with "Kuni ju Osafune" not the way this mei shows. Some people say that a mei like this must be a fake, and I have also seen a copy of one like this in a book, with the lecturer saying it was an example of his best work.

Here are more pictures of the sword:

http://www.hasc.com/~samurai/sukesada.jpg

I do not have very good knowledge in this field yet, and hope to learn more. I am hoping that people would be willing to share their knowledge and opinions about this sword, and the mei.

Specifically I would like to know if Shodai Yosozaemon Sukesada signed any swords in the way shown above.

Thank you very much for your help and knowledge, and helping me learn!

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/15(Mon) 07:15

Translate to Japanese:
「備前国長船住与三左衛門尉祐定作・永正八年二月日」銘刀について調べている。
この銘は「備前国住長船・・」とあるべきで偽銘であるという人も、同様の銘の作品を祐定の代表作としている人もいる。画像を公開するので皆様の意見をお伺いしたい。

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/16(Tue) 05:29

素人の意見はあまり当てにしないで下さいね。
画像だけで鑑定してくれるところがあります。

葵美術さんは確か画像でも銘の鑑定をしていただけるはずです。
海外在住なら大変ありがたいシステムではないでしょうか？

http://www.aoi-art.ab.psiweb.com/index.html

英語にも堪能で、英語のページも充実しております。
一度、そこでお尋ねになることをお勧めいたします。

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/16(Tue) 06:02

Translate from Shinkai 2001 San:
"Please do not trust amateur opinions. May we suggest you to cotact following adress:

http://www.aoi-art.ab.psiweb.com/index.html

This adress is a trustworthy swordshop "Aoi Art".
Thank you for your E-mail."

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/16(Tue) 06:23

笠地蔵様。
英訳ありがとうございます。m(__)m。

こういった海外からのご質問には英語に堪能な皆様のお助けが必要ですので、なにとぞ、ご協力をお願い申し上げます。

海外にいる友達の質問に答えてあげたいという気持ちで返信してあげれば、双方の交流も深まると思います。

しかし、英語はわからんな～。
日本語訳を見てから英語を見ると『なんとなく』わっかるかな～。
いや～、わかんね～だろうな～～。

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：darcy　投稿日：2002/07/16(Tue) 09:16

Konnichi wa!

I have contacted experts that I could, and most agree that the sword is likely gimei so far. I wanted to cast the question far and wide to get as many opinions as I could, especially from others who may collect swords too.

Thank you much for your help! Arigato gozaimasu! ^_^

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/17(Wed) 05:48

Translate to the Japanese:訳文　どうも私の刀は贋作のようです。可能な限りの刀剣蒐集家の意見を聞いて納得のいく説明がほしかったので。ご協力感謝します。

Added to this a little:
The "Kan-tei" does the figure of the sword, the pattern of the blade, the trace of the remake and so on totally. It is very dangerous to judge by the signature sentence, because, it is the place where easy to make fake mostly. It will be useful if there is a picture to understand the whole sword.
Thank you.

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/17(Wed) 13:34

偽物でしたか。
残念でしたね。(>_<)。

実は私もここの管理人の南北さんも同じ『与三左衛門尉祐定』で痛い目にあっております。
未備前は憧れますよね。

末備前に始まり末備前に終わる。
ある先輩が言っておられました。

でも、なんで？
その理由を聞けばよかったな～。(>_<)。

[264 へのレス] Re: Yosozaemon Sukesada

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/17(Wed) 20:53

Translate from Mr. Shinkai:

To say the truth, we (Shinkai and Nanboku) have bought the false sword of "Bizen ju Yoso-zaemon-no-jo Sukesada", too. Because, Sue-bizen swords are one of the maximum admirations for the people which loves a Japanese sword.
Thank you for your kind E-mail.

---

[266] 再刃なのに…？

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/15(Mon) 23:37

遅ればせながら「刀剣柴田」さんの展示会に行ってきました。
もう明日は最終日のせいか。客もまばら、店員さんもまばら。
「現存の優品」でチェックした刀剣もまばら…。殆ど売れているようでした。
ちょっと気になったのは天皇家から将軍家に伝来した「備前長船近景」の太刀。
立派な太刀拵えと本阿弥の折り紙と刀箱に寒山箱書き付きなんですが、ハッキリ「再刃」と記されています。で５５０。う～ん、これは安いのか高いのか…？この値段の殆どは伝来に付けられてる…ってことでしょうか？

その後寄った「紀伊国屋」さん。やはり一年間お取引きの無いお客さんには自動的にカタログの送付はストップなのだそうです。

東京の夏の展示会巡りは暑さとの戦いです。
殆どガマン比べ。汗だくで帰ってまいりました…が、何故か痩せない。

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：純井　投稿日：2002/07/15(Mon) 23:43

そう言えば今度は１８日から日本刀柴田さんの展示即売会が在りますね。これも言ってくるつもりでは在りますが…気になっている刀が一振りあります。と言って諸般の事情で買えるわけではないのですが…親国貞なんですが、写真の沸の着き方を見ていると、何とも為しに真改っぽいような気がするんですよ。気のせいかもしれませんが。まぁ見てこようと思っております。

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/15(Mon) 23:59

純井さんの秘密のアルバイトは口が裂けても喋りませんから安心してください…！！
…って一人だけ教えてしまいました～っっ！ご、ごめんなさ～い！！

この口がっ、この口がぁ…っっ（涙）！！

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：守重　投稿日：2002/07/16(Tue) 06:31

私も日曜日にいってきました。
結構混んでいましたが、私にとにはあまり興味があるものは少なかった反面、やっぱ天皇家から将軍家に伝来した「備前長船近景」の太刀はとても見入ってしまいました。
再刃でもあの拵えは良いですよ。菊のご紋が輝いていた!!
また津軽一文字も凄い箱が付いていました。
あと「現存の優品」に載っていた葵紋の太刀拵えは無かったですね。
この拵え、珍しいとか書いてありましたが、実際は明治の海外へのお土産用の拵え。
海外じゃザラに見かけます。実は私も同様の脇差拵えを持っています。

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：純井　投稿日：2002/07/16(Tue) 11:18

あうっちょ…誰に話されたんですか？オフレコって言ったのに〜〜〜〜〜〜〜〜〜。

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：神無月　投稿日：2002/07/16(Tue) 20:23

な、何スかその秘密のアルバイトって！（？_？）
スッゴク気になっちゃいます！
まさか○○☆★★△☆■▼□♪♪♭・・・・・、みたいなことですか！？

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：純井　投稿日：2002/07/16(Tue) 22:03

ふっふっふ…秘密ですよ神無月さん。まぁそれは冗談として、今日の何でも鑑定団に久しぶりに刀が出てまいりましたね。これも再刃の物で真恒だったかな？古備前の在銘品でした。それにしても再刃って値段が下がりますね。
ってことは矢張り近景は伝来と拵の値段なんでしょうか。

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/16(Tue) 23:11

何回か前の『借金の形』シリーズに、宮入昭平刀匠の弟の清○（思い出せない）、清宗？刀匠の最近の作品が出ていましたね。
評価は忘れましたが、これがもし宮入昭平刀匠の作品なら『８００万円』と言っていたように記憶しておりますが、間違っていたらごめんなさい。

ついでに宮入昭平刀匠は『アキヒラ』と発音するのかと思っておりましたら、番組中では『ショウヘイ』先生と言っていたようにこれまた記憶しておりますが、間違っていたらごめんなさい。m(__)m。

現代刀もなかなか高い評価を頂戴しており、現代刀ファンとしては大変うれしい限りです。
仮に８００万の売価なら、新刀の重要刀と肩を並べている訳で、その作品の評価がいかに上がってきているかを示すものであると思います。

さあ、現代刀の重要指定第一号は誰になるのでしょう？
第二の清麿となりますか！

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/17(Wed) 23:25

「宮入清宗」の刀（太刀だったかも？）、「鑑定団」のＨＰで調べても何故か出てきません。ホワ～イ？確か２～３００位の鑑定でしたかね？
やはり刀匠の存命中は値段が上がらない、旨の説明だったと思います。

「昭平」は「あきひら」です。でも何故か「しょうへい」と呼ぶケースがありますね。長野の地元の刀屋さんも「しょうへい」で呼んでいるお店がありました。「あきひら」で呼ぶお店もあるし。
息子さんの恵氏は「小左衛門行平」（こざえもんゆきひら）です。
「こうへい」とは今のところ呼ばれていませんね。

[266 へのレス] Re: 再刃なのに…？

投稿者：萬蒐集癖　投稿日：2002/07/18(Thu) 19:52

「やまとあんてい」の例もありますし…

---

[282] 刀箪笥

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/17(Wed) 13:28

以前、刀箪笥のお話しが出ましたが、私も購入致しました。
なかなかきれいな新作の箪笥ですが、非常に良い感じです。

鍵もかかりますし、刀や小道具・手入れ具がたくさん入ります。
内側は桐材でできていますから、保存にもよろしいでしょう。
耐火金庫も保全の面で重宝しますが、デザイン的にも価格的にも刀箪笥の購入は良かったと思います。

耐火金庫はそのままで、通常はこの刀箪笥を利用したいと思っております。

[282 へのレス] Re: 刀箪笥

投稿者：旅人　投稿日：2002/07/17(Wed) 18:39

真改さんいいな～　我が家は刀掛け+箪笥です（しかも普通の）
購入されたのは以前ここで紹介された箪笥でしょうか？

私のお知り合いの方は棺桶を購入されてその中に刀を入れてます
来る日が来た時にはご自分が入るそうです。

[282 へのレス] Re: 刀箪笥

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/17(Wed) 19:25

棺桶とは！(@_@;)。
棺桶って桐材で出来ているのですか？
知らんかったな～。

でも、箪笥よりもでかそう～。
旅人さん。普通の箪笥の方が価格的には高いのではないでしょうか？
違った？

今回、購入した箪笥はきっちり作られています。
大変満足しております。!(^^)!。

[282 へのレス] Re: 刀箪笥

投稿者：純井　投稿日：2002/07/17(Wed) 22:04

おお！刀箪笥ですか。良いですねぇ…家に置けたなら家に置くんですが…さすがに無理ですからあきらめているんですけども。でもいいなぁ刀箪笥。

[282 へのレス] Re: 刀箪笥

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/17(Wed) 22:56

刀箪笥、実は僕も今秋の引越しに備え、あるメーカーに見積もりをお願いしていました。が、出てきた見積もりを見てビックリ！
すっげ～っ、たっけ～！！刀が買える位の値段です！！
…結局見積もりを頂いたまま箪笥計画は頓挫しております。
真改代表の刀箪笥はどちらの業者さんでしょうか？大体おいくら位しました…？答えにくいことを伺ってます、すみません。
実名が出しにくいようでしたら、イニシャルか業者さんの大体の所在地など教えていただけると有りがたいです。金額も大体でけっこうです。
因みに僕が見積もりをお願いしていたのは岩手県のＩ谷堂さんです。
中が桐で外は欅（けやき）の箪笥です。
何とか刀箪笥作りたいんですが…。教えてください～。

[282 へのレス] Re: 刀箪笥

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/17(Wed) 23:14

表面：天然ケヤキ杢
引出し内部：桐無垢材
が、材質です。

ヤフオクで『刀箪笥』で検索して下さい。

新品は一点しか出ていないので、直にわかります。

きっちり造られているのは、引き出しを入れると違うところの引き出しが押し出されるので、本当にびっくりしました。
家の中の家具で一番出来がよいかもしれません。(^_^;)。

妻も刀剣趣味のある知人も、『ちょっと触ってもいい？』なんて言って、刀箪笥というよりも、箪笥としての機能とそのデザインの雰囲気の良さに『ええな～。』を連発しておりました。

結構大きいし、存在感がありますね。
『いまなら、もう一竿セットでお付け致します。』
なんて、テレビショッピングでもしてほしいですわ！(^0_0^)。

中の刀置きを取れば普通の民芸箪笥に早代わりしますから、将来、刀がなくなっても(ーー;)、オッケー。
(*^^)v。

[282 へのレス] Re: 刀箪笥

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/17(Wed) 23:17

あ、分かりました。あそこでしたか。
参考にします。ありがとうございました～。

---

[290] 昭和の名品

投稿者：八幡　投稿日：2002/07/17(Wed) 22:26

靖国刀をはじめ昭和の名品ってどれくらいの相場なのでしょう？
まだ、刀の相場観（時代ごと）が分からないのでご存知の方、教えてください。

[290 へのレス] Re: 昭和の名品

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/17(Wed) 23:29

あくまで私の意見ですので、参考までに・・・。

靖国刀と一口で言っても、沢山の刀匠がいることはご存知と思いますが、大体の販売価格を通販誌やネット上で見ておりますと、上限が７０万位。
研磨済みで白鞘入り。

また、長光や江村等のよく見かける刀匠の刀は上限が３５万位で推移しているように感じます。

あと、時代ごとの相場とおっしゃいますが、新作刀でも１３００万の値段がついているものもございますし、新刀の重要刀剣でも５００万くらいのも見ることがあります。
つまり、刀は刀匠のランクで大体は相場が決まっていても、最終的には一口一口の出来ということなのでしょう。

通販誌を取っていなくても、ネット上で販売されている刀剣商さんをまめにのぞいてみて下さい。
きっと、今の売価がどれくらいで推移しているかが、なんとなくわかってくると思います。
クリスティーズやサザビーズの海外オークションの結果なども参考にされると良いでしょう。

---

[298] 無題

投稿者：八幡　投稿日：2002/07/18(Thu) 01:10

真改様

アドバイスありがとうございます。参考にさせていただきます。
時代ごといっても予算の関係上、昭和の名品をこれから詳しく見ていきたいと思っていたのでこの価格情報はとても役にたちます。ありがとうございます。

靖国刀というのは非常に人気が高くめったに出てこないとうかがっていたのでいくらぐらいか知りたかったのです。長光は良く見ますね。35 万は本当に上限のようですね。私が見かけた長光も 35 万でした。長光あたりの評価は最近上がってきているのですか？

[298 へのレス] Re: 無題

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/18(Thu) 12:41

評価のことはその作品の出来自体の評価もありますでしょうし、よく売れるから刀剣商が盛んに扱うようになり、結果、広く知れ渡るようになるということもあるでしょう。

私は長光は拝見したことがありませんが、低価格で楽しめることと、昭和という激動の時代を生きた刀剣であるということを考えれば、魂のあり方を考える精神的なことも含めて戦前の刀を一口は所持したいと思います。

よく売れること、人気があることが必ずしも全ての評価につながるとは思えませんが、いかがでしょうか？

ある刀を求めようとしたときに、それをなぜ求めるのかという意味合いを自分自身に持たせることが大切だと私は考えております。

[298 へのレス] Re: 無題

投稿者：八幡　投稿日：2002/07/18(Thu) 13:59

なるほど確かにそうですね。
私も刀を買うときは今一度、そういったことを考えてみます。

---

[300] ああっ、素晴らしい企画だ

投稿者：守重　投稿日：2002/07/18(Thu) 06:19

群馬県太田市が人間国宝の大隅氏の美術館の建設を企画しているとの新聞記事がありました。（7 月 17 日付け）太田市長は結構刀には理解があって、大隅氏と仲が良いようです。是非とも企画倒れにならずに完成さ

せて欲しい素晴らしい企画です。
以下記事の画像です。（頭に h を付けてください）
ttp://www.bestlot.com/members/momonga/katana.jpeg

[300 へのレス] Re: ああっ、素晴らしい企画だ

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/18(Thu) 12:35

拝見しました。

なかなか粋な企画ですね。
それに応えた大隈刀匠も素晴らしいです。
感激しました。
郷土の偉人をたたえることはこれからの人の励みにもなると思います。

それにしても、大隈刀匠の作品を一堂に拝見できることが可能な場所ができることは、とてもうらやましいことです。

[300 へのレス] Re: ああっ、素晴らしい企画だ

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/19(Fri) 00:43

長野県にも「宮入昭平記念館（だったか？）」が計画されていますよ。
もう工事に入っているのか？詳細は知らないんですけど…。
場所は宮入刀匠の地元の坂城町だったと思います。
意外と地元の人も知らないかも知れません…。

[300 へのレス] Re: ああっ、素晴らしい企画だ

投稿者：守重　投稿日：2002/07/19(Fri) 06:33

「一家に一振り,,,,,,,」ならぬ「一県に一館、刀剣美術館」となれば各県を旅する楽しみが増えますねえ。
今回のは官設であることが頼もしいです。

[300 へのレス] Re: ああっ、素晴らしい企画だ

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/19(Fri) 11:37

「一県に一館、刀剣美術館」
という意味では、徳島県も『海部刀博物館』がありますから、地方においては先駆者的存在ですね。

しかし、海部刀博物館も人間国宝刀匠の美術館もそうですが、寄贈していただける方がいらっしゃってこそ成り立つものであって、官民一体となったタイミングが大事であるということがよくわかります。

昨今の不況で刀装具美術館のようになってしまう私立美術館もあるわけで・・・。
国公立も独自の経営を強いられる方向であると聞き及んでおりますので、特色ある展示と経営が大事になってくるのでしょうね。

相互の貸し出しや人材交流を活発にして、どこにいてもある時期には多くの刀剣が拝見できるといった企画もお願いしたいですね。
そのさいたる見本が、数年前に開催された東京国立博物館の『日本のかたな展』ではなかったでしょうか。
これが地方巡業のような形で全国を回ったならと、思いを馳せるのです。

[300 へのレス] Re: ああっ、素晴らしい企画だ

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/19(Fri) 18:10

＞寄贈していただける方がいらっしゃってこそ

そうなんですよね…。以前「清麿記念館」みたいな計画が清麿の出生地、小県郡（ちいさがたぐん）東部町であったらしいです。
まだバブルの頃ではなかったでしょうか？
でも肝心の清麿の刀が展示できない…ってことで計画は立ち消えたそうです。そりゃまぁ確かに…寄付する人はいないでしょうなぁ…。
「貸し出し」ってアイディアは有りですよね。三ヶ月ごとに違う刀剣類を貸し出していただけたら、年四回違った展示が楽しめる…。
誰か「清麿」貸したって〜っ！！

---

[305] めちゃくちゃ早い『銀座情報』

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/18(Thu) 20:53

家に帰ってびっくり！
銀座情報が来ている〜。
まだ７月の中旬ですけど〜。

早いのはうれしいです！!(^^)!。

個人的に注目は『速報１４の尻懸』でしょうか。
また、『失敗しない最初の一振り』というコラムは、副題にもありますが『勉強で泣きたくない』人は必読・必見です。

[305 へのレス] Re: めちゃくちゃ早い『銀座情報』

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/19(Fri) 08:38

『失敗しない最初の一振り』

このような企画が以前からあれば、私も泣かないで済んだのに・・・(^_^;)
私の場合、いつまでたっても目は肥えませんが、特に最初の一振りは難しいですね(^_^)
失敗すると、トラウマになってしまったりします(^^ゞ

[308] 悪代官

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/19(Fri) 08:32

ＰＳ２用ゲームの紹介です(^_^)

「悪代官・・プレーヤーは、性根の腐った悪代官になり、悪事を働きながら悪徳商人・大黒屋からの賄賂を使って自分の屋敷に用心棒やチンピラをかこって罠を仕掛けて待つ。そして成敗しようとやってきた正義の味方を倒すのがゲームの目的だ。屋敷内で悪代官を探す水戸黄門や金さんを、罠や用心棒の攻撃で弱らした後でとどめを刺すという卑怯な戦法は、さすが「おぬしもなかなかの悪よのう」という感じ。悪代官としての悪事も、江戸城松の廊下で重臣を斬り捨てていく「ザ・乱心斬り」や天井裏に潜む曲者をヤリで突き刺す「ザ・天井突き」、「ザ・帯回し」など男のロマンを刺激するものばかり。」（テレパル　ゲームの試食王　より）

グローバル・Ａ・エンタテインメント　５，９８０円　８月８日発売

買ってしまうかも、知れません(^_^)v

[308 へのレス] Re: 悪代官

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/19(Fri) 22:41

プレステを持っていない者としては、まずはプレステから購入ということでしょうね。(>_<)。

先だってパソコンショップに行ったときに、たしか『信長の野望』の新作が出ていたような・・・？

[308 へのレス] Re: 悪代官

投稿者：純井　投稿日：2002/07/20(Sat) 01:18

そう言えば新しいものが出ておりましたね。でも相変わらず高い…金欠病に懸かっている人間にはつらい出費です。ですから見送る事に致しますが…悲しいなぁ。

[308 へのレス] Re: 悪代官

投稿者：神無月　投稿日：2002/07/20(Sat) 21:52

ＰＳ２のゲームといえば、僕が現在ハマっているのは「剣豪２」という剣術ゲームです。
内容は、護衛や人質の救出、賊退治、暗殺などの依頼を受けたり、武芸大会や御前試合に出場したり、実在した剣豪との手合わせや真剣での勝負をしたりしながらキャラクターを成長させていくといった内容です。
小野派一刀流や立身流、神道無念流の全面協力を受けて、リアルな剣術の駆け引きを満喫できるゲームに仕上がっています。
他にも、銘刀集めも楽しいです。村正や孫六兼元、井上真改など全３４種類あります。
ちなみに自身のキャラクターには好きな名前が付けられます。僕は「鬼豹馬（きさらぎひょうま）」と名付けました。

[314] 日本刀柴田展示会。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/19(Fri) 18:19

暑い日が続いてるせいでしょうか？お客の入りはあまり善くなかったな…？
朱銘「国重（長谷部）」の短刀が出ていました。前回の重刀審査に通ったばかり。しかも何と２４０！安いと思うんですが…？
長谷部らしい薄い作りこみ。何か変わった形の樋が掻いてありました。
指し裏に鍛え割れが見えるんですが…これでも重刀になってしまうんだなぁ…。お値段は交渉次第で更に安くなりそうです。
延文兼光の短刀も並んで出ていました。さすがに年季入り、５８０。もちろん重刀。
親国の脇差。直調で沸えの締まったでき。肌も立ち気味であったような…。
「刀和」で買うとデパート価格よりかなり安くなるようです。
やはりデパートにも幾らか落ちてるんですね。

しかし暑かった…。

[314 へのレス] Re: 日本刀柴田展示会。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/19(Fri) 22:44

デパート経由で３割くらいはデパートの取り分ではないのでしょうか？

次号の刀和を楽しみにしております。
しかし、重刀もお手頃になりましたな～。

[314 へのレス] Re: 日本刀柴田展示会。

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/07/19(Fri) 23:27

当麻の重要が２５０万だっせ....
当麻だっせ。

[314 へのレス] Re: 日本刀柴田展示会。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/19(Fri) 23:47

長さはどれくらいあったのですか？
まだ、売れていませんか？

ドキドキ。(@_@)

[314 へのレス] Re: 日本刀柴田展示会。

投稿者：純井　投稿日：2002/07/20(Sat) 01:29

私も行って見てまいりました、長谷部国重と延文兼光。延文兼光はサイズがギリギリ短刀の長さで沸出来の良い短刀でしたね。実に重要の貫禄を見せ付ける素晴らしい短刀でした。長谷部国重の彫

りは面白いものでしたね…よ～くみると素剣が中央に彫られていてビックリしました。
ああ言った種類の彫りもあるんだなぁ…と思った次第です。

---

[281] 11

投稿者：11　投稿日：2002/07/17(Wed) 12:15

hi
I am a fan of japanese sword and I have 1 katana(60.5cutting edge)signed 芝州 aki 住大江玉龙京弘高
orther side is 缸早乙女*铠锻之
hope you can read it
I only know he is a geidaito swordsmith
hope I can get more infor from you
thank you very much

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/17(Wed) 13:30

笠地蔵様。
お助けを・・・。(>_<)。

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/17(Wed) 19:52

Translate to Japanese:
　私は刃渡り６０．５ｃｍの刀を所持しており、銘には
芸州住　大江玉■　京弘高　　（裏面）缶早乙女■■■之
　とあります。私が知っているのはこれが現代刀だと言う事ですが、この銘はどう読めばいいのでしょうか？

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/17(Wed) 23:16

どう読めば、よろしいのでしょうか？

皆様、お知恵をお貸し下さいませ。
m(__)m。

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/18(Thu) 00:09

こ、これは、そのまま読むべきなのでしょうか・・・(^_^;)
文字化けが、たまたま読めるような配置になっているだけとか(^^ゞ
写真があると良いんですけどね(^_^)

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/18(Thu) 05:20

真改さんと花散里さんの投稿英訳

Mrs. Shinkai 2001 and Hana-chiru-sato are saying that they have never seen such a signature in the field of the Gendai-To. If the letter of your mail could not be changed because of your PC? They said "Could you show a picture of the sword? Then, it may be possible to read."
Thank you.

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：11　投稿日：2002/07/19(Fri) 12:09

I will send a picture later--It is a nice grass writing
thanks any way
It is very strange that I think the blade was made of baking helmet and armor just from the sign---
is that possible?
have a nice day

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：11　投稿日：2002/07/19(Fri) 12:54

the smith name
芸州住大江玉竜京弘高
hope this time is OK
thanks

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/19(Fri) 21:02

Translate to Japanese:
　銘はきれいな草書で「芸州住大江玉龍京弘高」とありました。これで読めるでしょうか。あとで画像を送ってみます。
　私は焼けた兜から刀を造るというのが信じられません。本当でしょうか？

[281 へのレス] Re: 11

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/19(Fri) 22:39

『gei shyu jyu ohe gyokuryusai kyou hirotaka』
かと思います。

刀匠全集という本によりますと、
『広島　大江性　大江玉龍斎と称す。大江日本刀鍛錬所主宰　国工院会員名誉宗匠』
ということですが、この内容がどういったことを示すのかはわかりません。
戦前の昭和の刀工の一人ということでしょうが、高名ではないようです。

現代と違って、刀工は無数に存在したと考えてもいいでしょうから、いまだに知られていない刀工もいるくらいです。

この程度しかわかりませんでした。

[281 へのレス] Mr. Shinkai said...

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/19(Fri) 23:41

Answer of Mr. Shinkai:

I red this Mei as follows:
"Geishu ju Oh-e Gyokuryu-sai Kyo Hirotaka"

Some records of swordsmithes before the World War 2 said that he was a swordsmith, Oh-e family, lived in Hiroshima, honoraly member of the National Union of Swordsmith. I think he was one of the member of Gunto(Military sword) makers of early Showa Period.

Thank you.

[281 へのレス] 感謝致します。笠地蔵様。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/19(Fri) 23:43

いつもいつもお手数をお掛け致します。
ありがとうございます。

あつかましいお願いではございますが、今後ともお助け下さいますよう・・・。
m(__)m。

---

[327] Swords made by helmet and armour.

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/20(Sat) 06:55

Dear Mr. Eleven:
Famous Shinto Maker Nagasone Yori-Nyudo Kotetsu was armourmaker, but he changed his business later in swordsmith and he made many splendid swords.
After 17th Century, matchlock guns imported and manufactured in Japan, so, Japanese armour was heavier and harder. Some armour was made by high carbon steel. I thought that he made his swords by those good welded armour and helmet steel.

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：笠地蔵　投稿日：2002/07/21(Sun) 21:50

　虎徹のように甲冑師から刀匠になった人もいますし、安土桃山以後の甲冑は高炭素鋼を使うようになりますから、古い兜や鎧で刀を作ることは可能です。
　とご回答しました。電脳刀剣ＢＢＳが英語だけになってしまった訳ではございません。

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/21(Sun) 23:23

焼けた兜の鉄を使って・・・というのはどうでしょうか？

この辺りは、久さんがお詳しいと思いますのでよろしくお願い致します。
m(__)m。

大坂城が落城し、多くの名刀が焼き身になりながらも、新たに焼き入れしたものが現存しますが、
焼けた兜の鉄？
も可能かも。
もう一回鉄として再生すれば。
う～ん、私は全然わかりません。

よろしくお願い致します。

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：久　投稿日：2002/07/22(Mon) 23:10

御指名が、、、。（＾ｏ＾）

　玉鋼＝和鉄ですが昔の鉄は基本的に和鉄ですのでこれを使えば刀、剃刀、包丁、鑿など全ての和刃物の製造が可能です。（古い南蛮鉄でも可能です。）
　　焼き身であれば割るなりして小さくして卸せば炭素鋼になりなんとでもなります。炭素の量はある程度鍛練の時にコントロール出来ますしその後でも炭
素を含ませる事は可能です。
　当時は鉄は貴重だったしとぎ減って鋼が無くなり使えなくなった刃物が皆無と言ってよい程残っていませんので卸し鉄としてリサイクルされたと考えられ
ています。

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/23(Tue) 00:12

＞久さん。
一度「焼け身」になると含まれていた炭素が無くなるわけですよね？
それに再び炭素を与える…「浸炭」って言うんでしたっけ？
具体的にどうやるんですか？教えてちょんまげ♪

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/23(Tue) 20:18

Translation:
Mr.Shinkai:Can a swordsmith make a carburized steel from burnt armour or helmet and make a sword?
Someone tell us!

Mr. Hisashi (Swordmaker): We can make a carburized steel from wrought iron, and also make a decarburized iron from pig iron. It is easy!

Mr.Kotetsu: I know that swordsmith could make a malleable iron from pig iron, but I do not know how could make a carburized iron from low carbon steel. Please let us know your know-how.

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：久　投稿日：2002/07/23(Tue) 23:09

Mr.Kasa Jizo
I am not a swordmaker. I am makihg japanese traditional edgrd tool.
I can make a sword only under a my master. Because I don`t have a
swordmaking licence.
and,,,my name is Hisa. (^^)

[327 へのレス] Re: Swords made by helmet and armour.

投稿者：Kasa Jizo　投稿日：2002/07/24(Wed) 03:59

Oh, so sorry, Mr. Hisa.

[341] と言うわけでもう寄贈されました。

投稿者：守重　投稿日：2002/07/24(Wed) 06:33

No.300 の続きです。
もう大隅氏の作品は太田市に寄贈されたようです。なんと素早い。お互い息が合っているのですね。でも美術館完成まで誰が手入れするのだろうでしょうか。私が市長だったら市長室に置いておいて自分でしますね。でも確かに太田だけに飾っていないで全国の美術館等に貸し出しできたら良いです。もちろん他の作品も借入れも歓迎です。
http://www.bestlot.com/members/momonga/katana.jpeg
http://www.bestlot.com/members/momonga/oosumi.jpeg

[341 へのレス] Re: と言うわけでもう寄贈されました。

投稿者：純井　投稿日：2002/07/25(Thu) 02:35

は…早いですね、もう寄贈されたとは…思いきりが良いですね。一つ思ったのですが、写しを展示する場合には本科を借りてこられると面白いかもしれないですね。隣同士にして如何言う違いが在るのかを拝見するのも一つの楽しみ方かもしれません。

[341 へのレス] Re: と言うわけでもう寄贈されました。

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/25(Thu) 19:45

お互いの呼吸がぴったりといった感じですね！

また、寄贈されたのが『市』ということで、県単位ではないので是非とも将来的には全国的に相互の貸し出しを実現して欲しいです。
国宝とはまさに国の宝ですので、全国展開するにふさわしい事業ではないでしょうか。
市単位というのはまさにうってつけの自治体の単位と思います。
昨今の町村合併の急速な展開も、こういった催しを開催するによろしい傾向ではないでしょうか。

大隈刀匠の作品はいまだかつて市場に出たのを見たことがありません。
もちろん、その道のプロの間ではあるかもしれませんが、少なくともここ数年のネット上や通販誌

上では見かけたことはありません。
私は昨年の新作刀展覧会の出品作を横浜そごうでガラス越しに拝見することができましたが、わずかそれくらいです。

是非とも全国展開を希望するものです。m(__)m。

[341 へのレス] Re: と言うわけでもう寄贈されました。

投稿者：守重　投稿日：2002/07/25(Thu) 20:46

ほんまに早い!!　多分長い間市長と刀匠との信頼関係が築き上げられてきた結果だったのでしょうね。「写しを展示する場合には本科を借りてこられると...」これって大賛成!!　これほど楽しめる（刀匠には失礼だが）ことはありません。貸し出しと借入れをどんどんして、ひと月に一回とは言わないけど、一季に一度は訪れたい美術館を造って欲しいです。

[341 へのレス] Re: と言うわけでもう寄贈されました。

投稿者：太刀ひろし　投稿日：2002/07/25(Thu) 21:10

過去に東博で開催された「日本のかたな」展では長義と国広の山姥斬り刀の写しが並んで展示されていた。
やっぱり本歌がよかったな。うん。

---

[344] 麗

投稿者：太刀ひろし　投稿日：2002/07/25(Thu) 20:26

麗が着きました。
「俺・太刀・ひろし」としては脇差「加州無名信長」がよかった。
軍刀サーベル拵え入りで宮内省高等官用のものらしい。
菊花紋がよろしゅうおすえ。
残念ながらもう売れておしまいになったどすえ。
最近は軍刀の良い物が出るようになりました。

[344 へのレス] Re: 麗

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/07/26(Fri) 06:39

私は波平吉行がいいですねー
頑丈そうな体配で細直刃のしっとりとしたたずまいはいかにも古武士っぽくてイケてます。
波平の太刀で在銘は、はじめて見ました
ほっしー

[344 へのレス] Re: 麗

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/26(Fri) 07:15

俺たちカルタスって、懐かしいフレーズですね。

スズキのカルタスってまだ絶版車になってなかったですか？あるのかな～。

え～え～、私も麗が来ましたよ。
なんかここんところ、今進行中の現代刀もそうですが、軍刀関連の売品が増えましたね。
安くて楽しめるそんなところから始めるのもいいでしょう。
波平太刀もいいですね。
古刀の在銘太刀や刀もお手頃になってきた感がございます。

欲しい刀ばかりで困ります。(>_<)

さあ、あとは刀和の到着を待つのみですね。

[344 へのレス] Re: 麗

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/26(Fri) 17:05

「土州住秀弘鍛之」の長寸の刀が良いですね。
ちょっと前に師である「左行秀」の長～いのを見ていただけに、
師匠と弟子ってのはやはり似ているものだなぁと思ってしまいました。
しかしこれも…重そう…。よく腰に差せたものですね…。

[344 へのレス] Re: 麗

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/27(Sat) 08:12

私は土州住秀弘作の槍を持っております。
もうかれこれ７年くらい前に長州屋さんから買いました。
青貝螺鈿の外装が大変美しく、綺麗なものです。

もともと、銀座情報に欲しかった槍があったのですが、抽選で漏れ(T_T)、親切に長州屋さんが他の槍をご紹介くださったというわけです。
柾目混じりの地鉄に砂流しあり、飾ってよし、鑑賞してよし、お値段もお手頃でよしの槍です。
その後、同じ土州住秀弘の刀もなんどが色んなところで見かけることもありましたが、今回の刀が一番姿もよろしいと思います。

土州住秀弘刀は実際には今まで見たことはありませんが､師に迫るあるいは非常に似た作風ならば､お買い得ではないでしょうか。

しっかし、本当に長い重ね厚い、重たい！腰砕けそう～～～～。

---

[350] うーん

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/07/26(Fri) 19:11

某店で大名登録の在銘の興正の脇差しが特保ついて１９２万（白鞘、拵えつき)、
興正って２代目の虎徹ですよね？安すぎと思うのは私だけでしょうか？

[350 へのレス] Re: うーん

投稿者：阿波刀　投稿日：2002/07/26(Fri) 19:59

四国の聚楽さんのホームページですね。伊藤三平さんのリンク特集から入ることができますね。伊藤さんのところは刀剣関係のホームページのリンクがすごいので楽しむことができます。軍刀という販売ジャンルを特別に設けたホームページもありますね。みなさんで探してみるとおもしろいでしょうね。
刀の値段については普通の刀屋さんなら適正価格を表示しているでしょうからその値段のついた評価のある刀ということなのとちがいますか。重要刀剣でこの値段なら安すぎということばはピッタリときますね。

[350 へのレス] Re: うーん

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/07/27(Sat) 18:38

うぶだしで今年５月に特保ということはまだ重要の審査に出したことはないでしょう。

合格するかどうかはわかりませんが買って重要に出すのも面白いかもしれません。

ここは更新は遅いですが面白い刀が出ます。
前も三池がでたとき迷ったんだよなー

[350 へのレス] Re: うーん

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/27(Sat) 21:45

聚楽さんも随分とご無沙汰しております。m(__)m。
四国といっても広うござんすから、なかなか気楽には行けません。(>_<)。

最近は重要刀剣の審査料と指定料はお幾らなんでしょうか？
時間と費用とそれを上乗せし、重要刀剣としての販売価格を乗せて利を算出するよりも、現状で販売した方が良いということもあるでしょう。

その刀剣に重要の力があると踏んでいても、そのまま販売する場合もあるようです。
上記内容には当てはまらないでしょうが、刀和さんでは私の記憶の悪いところでも三口は販売後に重要指定を受けているものがあります。

気をつけたいのは『虎徹だから重要になるだろう。真改だから助広だから・・・。』という思いは禁物ですね。

---

[353] 最近の刀剣市況

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/27(Sat) 11:39

葵美術の『**刀剣市況（2002/07/26 更新)**』の中にベンジンなどを用いての手入れの浸透状況や、重要刀剣の市場でのことなどが記載されております。

刀剣商のこういった情報が拝見できることは愛好家にとっても大変ありがたいものです。
御覧下さい。

[353 へのレス] Re: 最近の刀剣市況

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/07/27(Sat) 18:34

現役の刀剣商の方がここまではっきりと書いてくれるとは驚きです。
刀剣界がもうハッタリやごまかしが通じる世界ではなくなった証拠ではないでしょうか？

実際刀剣の世界はインターネットに非常に影響を受けたのではないでしょうか。
昔は一部の人に情報や知識が偏在していたように思いますがインターネットで各種の情報が手軽に得られ、希少な刀剣関係の本も検索機能をつかえば一発 GET です。

特に実際の体験談や顧客の生の声がダイレクトに他の顧客に届く現状はプロの方にとっては恐ろしくもあるのではないでしょうか。

不況もあいまって戦国時代さながらのように思います。
老舗だからとか伝統とか掟とかにしがみつくのは戦国時代に滅びていった血統の良さのみを誇った名家を連想させます。

流れを見極める洞察力と決断力、行動力を持った一部の刀剣商さんはいちはやく対応しています。

正直いって刀剣界の今の動きはすごく面白いです。

[353 へのレス] Re: 最近の刀剣市況

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/27(Sat) 21:34

実際のところ、私がインターネットを始めたのも『葵美術』さんのホームページが見たかったらで、それからこの電脳倶楽部の発想も浮かんだ訳です。

それまでは通販誌での全国展開が中心で、地方にわざわざ出向いてくる刀剣商さんも少なく、来たという噂は聞いてもそれは大口の取引にこられる常連さん回りで、初心者などは本当に敷居の高いものだったと思います。

☆特に実際の体験談や顧客の生の声がダイレクトに他の顧客に届く現状はプロの方にとっては恐ろしくもあるのではないでしょうか。☆
これまた、実際、私が電脳倶楽部をやっているというので『何を言うか判らない。』などという声も人伝に聞いたことがあります。(^_^;)。
気に入らないことがあったからといって、実名報道をしたことはないのですけどね。
楽しい部分をここではお届けするように頑張っていますし、嫌な噂はそれこそ私がうんたらかんたら言うよりネット上を即駆け巡るでしょう。

今までネット販売に消極的であった刀剣店？も、昨今のヤフオクや他のネット販売店の知名度や実績の上昇を感じるにつけ、ぞくぞくとネットの世界にも進出しております。

そのおもしろい情報をこちらで消費者サイドの立場で楽しく語っていく場を提供したいというのが、一陽来復の一つの目的でもありますし、売り手の会話だけではなく買い手の会話もこちらからの刀剣商サイドへの消費者発信として効力を発揮していると思います。

ヤフオクで誰もが売り買いを簡単にできるようになり、情報が交錯する中、私たちは正味の会話で時には激突させて、自分の欲しい情報をゲットしていきたいものです。
買ったり売ったりする情報だけが情報ではないことは、すでに皆さんはご存知のはずですよね。
それも一つの楽しみですが、刀に関することは ALL OK！というのがこちらですので・・・。!(^^)!。

これからも楽しい刀剣ライフのために、多くの楽しい情報を交換したいですね。

---

[359] 海軍刀について

投稿者：八幡　投稿日：2002/07/27(Sat) 22:42

最近、近所の刀剣屋で海軍刀をみつけました。その鞘はよく HP などで見る鮫側ばりではなく、黒塗りでした。質感は漆のような「プラスチック」のようななんか変な感じでした。当然、その当時はプラスチックなどは無いし。。。。お店の方に聞いても分かりませんでした。
どなたかご存知の方がいればご教授ください。ちなみに鞘は木製で黒塗りでした。

[359 へのレス] Re: 海軍刀について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/27(Sat) 22:59

刀剣はたやさんの『商品番号：103』をごらん下さい。
決して、鮫革鞘ばかりが海軍鞘ではないようです。

詳細はお問い合わせになってみてはいかがでしょうか？
ちなみに陸軍軍刀鞘も鉄鞘ばかりではないようで、木製もあるようです。

[359 へのレス] Re: 海軍刀について

投稿者：八幡　投稿日：2002/07/29(Mon) 01:35

アドバイス、ありがとうございます。
ものの本によると、鮫皮だけでなく、黒蝋塗り、黒漆塗りがあるようですね。
後者 2 つの違いはわかりませんが。。。

---

[360] 来ましたね～。刀和。!(^^)!。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/27(Sat) 22:50

銀座情報、麗、そして刀和。
月刊通販誌の揃い踏みです。!(^^)!。

刀和の目玉は下の記事の展示即売会の話にもありましたが、**『延文兼光　短刀』重要刀剣**ですか！
やはりデパートよりは安かった。(^^ゞ。

私的には孫六兼元の刀。
庄内酒井家伝来の兼元が今回の売品で、**孫六を代表する三刀が『青木兼元　柳生兼元　湯浅兼元**』らしいのですが、そのうちの湯浅兼元が今回の刀です。

山形県の重要文化財でもあるそうで、お金のことばかりで恐縮ですが、たしかにこの価格でこの伝来と拵え、そして酒井家当主の特別貴重刀剣認定書付き。
よろしいですな～。

[360 へのレス] Re: 来ましたね～。刀和。!(^^)!。

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/28(Sun) 12:31

「延文兼光」良いですね～(^_^)
それぞれの時代の姿の中で、南北朝は私が最も好むものです。
また言葉だけでも南北朝または吉野朝と聞くと、なぜか「遠い目」になってしまいます(^^ゞ

[360 へのレス] Re: 来ましたね～。刀和。!(^^)!。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/28(Sun) 16:00

「延文兼光」良いでしょう～？
台付き金無垢ハバキでしたね。
南北朝期の短刀って何か良いんですよね～♪

[360 へのレス] Re: 来ましたね～。刀和。!(^^)!。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/28(Sun) 22:06

兼光の実物って拝見したことがありません。(T_T)。

皆さん持っている人は、売りに出すことは少ないのでしょう。
最高ですね！
この兼光。

---

[362] 日刀保の鑑定について

投稿者：クマ　投稿日：2002/07/28(Sun) 10:43

本身をてにして１年位で今勉強中です。

重要刀剣などの鑑定ランクの事ですがなんとなく分かっているようで全然基準と言うか中身が分かりません。

ある程度の大雑把な分類方法を教えていただきたいと思います。細かいとこまでは難しいと思いますが、６～７割位の範囲でお願いします。

[362 へのレス] Re: 日刀保の鑑定について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/28(Sun) 22:02

刀剣美術誌を見ても、保存・特別保存の審査がありますということと、金額や審査を受ける資格のある刀剣の基準（現在無鑑定とか保存だけとか）の記載はありますが、保存というのはこれこれ、特別保存というのはこれこれ・・・、という審査基準についてはまったく不明です。

何を持って保存なのか特別保存なのか、という感じは昔からあると思います。
以前、刀剣美術誌の地方記事で実際に保存とか特別保存とか重要を並べて、これこれだからこれは保存である、というのをある支部で勉強したというのが載っていたように記憶しております。

でも、保存だからといってバカにはできません。重要審査を受けるのに特別保存は不要ですので、中には保存だけを取得して重要を受ける場合もありますから・・・。
逆に重要が通らないから特別保存止まりという可能性もあるわけです。
もっとも、それぞれの審査ランクの違いは私には感覚しかありません。
あくまで協会という一個の審査機関の審査の結果の範囲ということですから、審査基準を公表する必要はないのかもしれません。
他の刀剣団体は審査基準があるのでしょうか？
あまり聞きません。
もしご存知の方がありましたらお教えください。m(__)m。

私は、在銘の場合においては保存審査さえ通れば銘が正真ということなので、あとはその刀剣自身がいかに健全で出来が良いかということと、それが自分の好みに合いその結果買う、というのでよろしいのではないかと思います。
惚れて買った刀を出世させたい、自分の眼を試したいということで上位の鑑定審査を受けることもあるでしょう。
かくいうわたしも、骨董屋のうぶだしで挑戦したことがありました。
見事に敗れ去りました・・・。(>_<)。

鑑定審査の利用の仕方としては、私はその真贋の審査のために利用するのがいいかな～と最近は思っております。
毎度お金のことで恐縮ですが、価格評価なんてものは刀工の人気に左右されますので、ある重要刀剣よりも清麿や帋徹の保存や特別保存の方がはるかに高いというのは当たり前なんですよね。

ですので、銘の真贋を判断するための機関としてあるいは、同じ刀工でもこの作品はこの刀工ではどのくらいの出来なのか、というのを知るために鑑定に出すというのが良いのかなと思います。

古刀の大擦り上げで重要刀剣で２００万円台って近頃結構見ませんか？

[362 へのレス] Re: 日刀保の鑑定について

投稿者：クマ　投稿日：2002/07/28(Sun) 22:44

真改 2001 様　有難う御座いました。

私の持っているのは２０万円台の刀が一番高い物と言うレベルですが本を見たり展示会に行って高価な名刀を見たりしても、どこが良いのか余り良く分からないのです。

古刀は、多少のキズ、研ぎ減りは許されるし、鍛え方やスタイルが楽しめると本で読み古刀を買いました。

高い物はキズが無いとか銘が確かと言った事は理解できますが、値段が余りに違いすぎるのでとりあえず今の自分のでも良いのかと満足してしまっています。

此方のホームページはお願いしている研ぎ師さんのリンクから探してきました、ほとんど毎日見ています。

しっかり勉強して見る目を付けたいと思います、今後も色々教えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

[362 へのレス] Re: 日刀保の鑑定について

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/28(Sun) 23:10

クマさん・・・ちょっと、呼びかけにくいですね(^^ゞ・・・ようこそいらっしゃいました。花散里と申します、以後お見知りおきを m(__)m
古刀は、私も大好きです(^_^)　地鉄や刃中の働きなどに、なんとも言えない味がありますし、一世代３０年として何人の侍たちが手にしてきたかと想像すると、それだけでゾクゾクします(^^ゞ
真改 2001 代表を始めとして、参加者の皆さんは気さくな方々ばかりですので、いつでもお気軽に(^_^)
もちろん勉強も大事ですが、縁あって知り合ったわけですから思いっきり楽しみましょうね(^_^)v

[362 へのレス] Re: 日刀保の鑑定について

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/28(Sun) 23:11

こちらこそ、よろしくお願いします。m(__)m。

ここは『何のしがらみもない』情報交換基地のようなものですから、相互に楽しい話を持ち寄って会話をしませんか。
私は鑑定や刀の勉強もまともにしていなくて、展示即売会で刀を見るのを唯一の楽しみにしております。
支部の活動も低調すぎて・・・。(>_<)。
刀を拝見するのが一番楽しいですね。
売買工作に携わるプロではないのである意味自分本位で楽しめますから。
それは、欲しいか欲しくないかの単純な基準で刀を見ることで楽しめるからです。

欲しい刀だったら､通販誌上だろうがネット上だろうが､悶々とした日々をのた打ち回って過ごし、消化されるまで苦労します。(^0_0^)。

さて、古刀の話が出ましたので古刀に関しての鑑定のことでは、無名の場合は特にどの国のどの刀工に極まるかが楽しみでもあり、鑑定の主たる意味でもあると思います。
自分の思っていたのとズバリ同じかもしれないし、そうでないかもしれない。
楽しいですよ。

[362 へのレス] 地道に行くのが一番かと思います。

投稿者：越中国住人　投稿日：2002/07/28(Sun) 23:49

　この刀は、何時、どのような人が制作したのか、どれくらい上手なのか、見所はどこか？など基本的なことを識別できるようになることが大切だと思います。
　はじめは確かに国宝指定の作品も出来の良くない刀も同じに見えると思いますが、時代による姿の変遷、流派による作域の違い、刀工のよる技量の違い、保存状態の違いなど特徴を実物鑑定と書物による学習を繰り返すことによって作品によって大変な違いがあることが解ってくると思います。
　重要刀剣などの審査基準や価格の高い、安いなどは、かなり勉強が進まないと聞いても理解できないと思います。
　それよりは、基本からしっかりと勉強して一つ一つの作品の制作された時代、特徴や見所を見つけられるようになる方が先決だと思います。素晴らしい作品には、感動する見所が多いこと、それなりの作品にも、どこかに作者の苦心の跡が見所となって表れていることなどが見えてくるはずです。感動できる見所が多い作品が名刀と言うことではないでしょうか？
　一朝一夕にはいかないものです。地道に、真面目に継続的に学ぶ人にしか名刀は、その素晴らしさの真髄を見せてはくれないと私は思っています。
　生意気なことを言いましたが、お互いに真髄に触れられる人になれるよう勉強していければと思います。

[362 へのレス] Re: 日刀保の鑑定について

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/29(Mon) 22:57

こんにちは、クマさん。こてつといいます。
宜しくお願いします。
僕も色々と学んでいるつもりなんですけど、なかなか…
成果が現れにくいんですよね～。
…気長にいきまっしょい。

[362 へのレス] Re: 日刀保の鑑定について

投稿者：純井　投稿日：2002/07/31(Wed) 19:37

始めまして純井と申します。時々お邪魔させて頂いているものですが…以後宜しゅうお願い申し上げます。
刀の勉強は難しいですよね。勉強している実物を常に見られるわけではないですから。自分の持っ

ている刀だけであればある程度は勉強できますけども、持っていない刀は即売会場でもない限りは手にとって拝見する機会など無いですからね。
って本に書いてある事すらマダマダ覚えきれてないんですが。

---

[373] はじめまして

投稿者：やせ隠居　投稿日：2002/07/29(Mon) 10:16

出島屋さんの紹介でこのサイトを知りました。拝見するところ、皆さんまじめな刀好きの様子で、うれしくなりました。老生刀歴は長いのですが二三年から退役、隠居の身です。年金を貰っていて刀を買うのは若い方に申し訳ないので、原則買いません。ただ「これぐらいの金額なら許されるかな」という範囲で、安くて魅力あるものには手を出してしまいます。この「病い」はいくつになっても治りませんね。
以後よろしくお願い申し上げます。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：やせ隠居　投稿日：2002/07/29(Mon) 10:19

すんません。「二三年から退役」→「二三年前に退役」でした。

[373 へのレス] よろしくお願い致します。

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/29(Mon) 12:51

はじめまして。
管理人の一人の真改２００１と申します。
出島屋さんには大変お世話になっております。
以後、よろしくお願い致します。

日本刀剣電脳倶楽部は『刀が好き』というキーワードの元に参加されている皆さんばかりと思いますので、議論討論は熱くなりますけれど前向きに考えているホームページでございます。
幅広い年齢層、経験年数、職業、感じ方など・・・、思い思いの刀に対する気持ちをお聞かせ願えればと存じます。

さてさて私も病は重いようで、のた打ち回って完治するまでが大変です。
今も、延文兼光の病が・・・。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/29(Mon) 12:53

システム担当スタッフの端くれ、花散里と申します。
やせ隠居様、ようこそお越しいただきました。

年金をお受け取りになっていらっしゃると言うことは、今私たちが生きているところの基盤を、ご苦労・ご努力をされて作られたと言うこと。
それに報いるための年金で趣味を持つことに、遠慮は必要ないのではないかと思います。

ここにあつまる方々は、真改 2001 代表をはじめとして「しがらみや利害」とは無縁の「刀友・刀兄」、「同好の士」ばかりです。
どうかこれからも、私たち若輩者に叱咤・ご教授をよろしくお願いいたします。

それと、謙遜されてのハンドル名とは思いますが、先達・大先輩に対し「やせ隠居」などとは若輩の身からはいささか呼び難いものがございます。
いきなりで大変失礼とは思いますが、ハンドル名をご一考いただけないでしょうか？
どうか、これからもよろしくお願いいたします。

[373 へのレス] ご無沙汰しています。

投稿者：蘭国住出島屋那太郎　投稿日：2002/07/29(Mon) 15:35<HOME>

代表、花さん、ご無沙汰しています。
那太郎、相変わらず蘭国にて草の根運動を展開しています。
海外のコレクターの間では、日本国内での先達のお話は中々聞けないものです。日本刀を所有することは、他の美術品と違い「もののふの心」を所有することでもある訳ですが、「やせ隠居？先生」には愛刀家としての心構え等、大切な教えをいただき海外刀剣生活の活力となっています。まだ未完成の出島屋 HP ですが「DejimayaClub」のコーナーに一部先生のお話を掲載しています。こう言ったことを英訳し広く世界中の愛方家の皆様とも共有していきたいと考えています。ご参照ください。
又、先日ゾリンゲン博物館にて来国次短刀（特別重要刀剣）等の展示品の写真を撮らせていただきましたので、BBS に掲載しました。
HP 現在構築中です。皆様のご意見をお待ちしています。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/29(Mon) 16:56

真改２００１さん、花散里さん、早速のご応対おおきに。年寄に対して呼びにくいＨＭだから一考されたい、とのこと。なるほど、では「隠居」のみにさせてください。
それから過去ログの中に「海部美術館」とありましたが、海部刀に力点をおいた美術館ですか？

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/29(Mon) 17:51

出島屋那太郎さん、あなたの縁でここへお邪魔しました。皆さんの刀に対する熱気を感じています。
ザックラバンにお願いしたいので、先生はやめてください。誤解されます。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/29(Mon) 19:04

海部刀の常設展示をしているところが徳島県にあります。
それが海南町立博物館で、ここに展示してある海部刀は岡田氏という海部刀のコレクターの方が寄贈されたものと伺っております。

詳細は私も知りませんのですみません。
ここに来ると、日本刀は鎬造りのものだけではなく、様々なスタイルの物が必要から来る製作であったと考えさせられます。
海部刀は実用本位の戦国実戦刀であったと聞いておりますので、戦国の風を感じることができそうです。

[373 へのレス] 出島屋様。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/29(Mon) 19:12

掲示板を拝見しました。

掲載の刀見る刀全部が『ゴリゴリ』っとした、健全そうなものばかりで驚きです。
私が見るところの刀はほとんどが研ぎ減ったものが多いので、古刀の本来の健全な姿を見ると『うっそー！』と驚きを感じずにはいられません。

現代刀匠の刀がごっつい（凄い）物ばかりと驚いていた頃もありましたが、本来追い求める鎌倉期の刀が健全であったなら、現代刀の如くであったのでしょうね。
奉納刀などを写真で拝見しますと『こういう刀剣も残っているのか！』と思いますもの。
海外にいてもこのような積極的な活動と積極的な研究・鑑賞・勉強・収集をされている現状を拝見しまして、本当にこれぞ驚きです。
田舎にいるからといって嘆いていてはいけませんね。
頑張ります。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/29(Mon) 19:41

＞ご隠居様
いきなり、「ハンドル名を変えて欲しい」などと不躾なお願い、失礼いたしました。
でも、本当にお呼びし難かったものですから・・・お察しください。

＞出島屋さん
ごぶさたしています。相変わらず、ご活躍のようで何よりです。
一陽来復にはご無沙汰のようでしたが、これからもよろしくお願いします。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：出島屋　投稿日：2002/07/29(Mon) 20:47

＞真改代表、
このようなお刀が遠く（１００００Km 位）離れた欧州の地で日本同等またはそれ以上に大切に扱われている姿を見て日本人として誇らしく感じました。
この博物館には１０００年前からの西洋の鉄剣が展示してありますが、やはり歴史とともに移り変わり命を掛けて受け伝えられてきたものである事が伝わってきます。
騎士道にもとずく歴史のあるお国柄だからこそ、刀剣の慈しみ方が伝わり易いのかも？と考え改め

て武士道と騎士道について調べたくなりました。
＞花さん、
なんとか独学自力で HP を進めていますので、もたもたしています。
名刀に目と頭が眩みカメラをガチャンと落してしまったので現在撮影不能です。
とほほ、、、

[373 へのレス] Re: 海部刀

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/29(Mon) 21:25

真改２００１さん、早速海部刀についてお答えおおきに。京都のさる著名な数寄者が海部刀このみで、その中三口拝見いたしました。私の感じとしては同田貫か岩捲に似たがっしりした造り込みに匂出来で変化に富む刃文でした。同田貫好みの人が案外多いことから、この海部はもっと有名になってもいい筈なんですが・・・。肝心の四国の刀剣人の間ではどうなんでしょう。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/29(Mon) 22:59

はじめまして、隠居さん。こてつといいます。
まだまだな～んにも分かっていないんですが、
本人は愛刀家の端くれ…のつもりでおります。
色々とご指導頂けましたらありがたいです。
どうぞ宜しくお願いします。

[373 へのレス] 御隠居様。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/29(Mon) 23:19

肝心の四国の刀剣人の間ではどうなんでしょう。
＞に付きましてですが・・・。
徳島県でははっきり言って、相手にしていない愛好家が多いと思います。
実際、海部刀なんか見てもしゃ～ないで～と非難する古参も多いと聞いております。あくまでそのようだということで・・・。(^_^;)断定すると問題あるかもしれませんから・・・。(^_^;)。

で、私も徳島県人の端くれとして郷土刀をと思い、地元の刀剣商に阿波の刀ありますか？と聞いて回ったのですが、『ありません。』(T_T)のお答えでした。
各時代の阿波刀すらないのが郷土の刀剣商の現状のようです。
海部刀に関しては、コレクターがほとんど良いものを集められたようですので、市場でもあまり見かけなくなりましたし、あったとしてもあまり美術刀剣としては美しくないので低価格ですし、欲しいとは思う人は少ないようです。

有名なところでは、小野光敬師に研磨してもらったという重要刀剣指定の『海部氏吉』であったと思いますが、それが徳島にあるという話を聞きました。
また、海部刀で有名な『名物　岩切海部』は福岡県の重要文化財指定を受けていてこれも現在重要刀剣ということだそうです。

海部刀常設展示の博物館開設時には貸し出しで一時期展示されていたようです。
私は見る機会を損ないました。残念です。

こういった現状ですが、幸いにも９月にこの町立博物館で海部刀を直に手にとって見る機会に恵まれそうです。
素晴らしい機会だと思っております。

本当に古刀の海部刀は若い世代の私たちにとっては、清麿や帋徹よりも見かけない存在になっております。
過日、東京の静嘉堂（字が間違っていたらごめんなさい）美術館で海部刀の在銘脇差で明智光秀の家臣の所持名が入ったものが、別格の単身でケースに展示して合ったのを見て、感動致しました。

話が前後飛び回って判りにくくて恐縮ですが、現状はこんなところです。

[373 へのレス] 出島屋さん。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/29(Mon) 23:36

「DejimayaClub」＞拝見しました。

是非、外国の方にも読んでいただきたいですね！

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：久　投稿日：2002/07/29(Mon) 23:58

隠居様

　初めまして。久（ひさ）です。
自分はしがない鍛冶屋の身分ですが
色々とご指導宜敷くお願いいたします。

[373 へのレス] Re: 海部刀

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 05:15

真改２００１さん。めぼしい海部刀の所在、たちどころにお答えになるところをみると、かなり意識しておられますね。当然のことです、阿波の郷土〝刀ですから・・・。
榊原健吉が兜割りに使用した刀が同田貫であることは、ご承知の方も多いと思います。それが市中に広まって武道家を中心に同田貫フアンが今も絶えません。この同田貫も海部同様、「あんなもの刀やない」という人もいます。
豊後物、美濃刀、下原物、すべて同様ですが、一くくりして侮蔑するのは如何なものでしょう。
それから「御隠居様」はよして下さい。あご髯が生えているようですから・・・

こてつさん、久さん、以後よろしく。もし四国のお方なら、郷土刀はもちろんですが、戦後初登録が四国でなされた刀も、大いに注目してください。すばらしい刀ばかりです。

[373 へのレス] Re: 四国の刀

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 06:30

私の知る四国の刀で、讃州住長国も一度見ると忘れられない名刀です。
この長国は平造りの大脇差で、身幅とくに広く棒樋に連れ樋があり、地に二行にわたって文字が彫刻されていました。仏典の文言だったように思います。地鉄よく詰まって麗質で、肥前忠吉と相弟子だったことが首肯できる見事な出来でした。このとき備前倫光の太刀もすばらしく、長国がこれとほぼ同価格でした。この長国なども何口か現存している筈です。
思い出しついでに一言いたしました。

[373 へのレス] Re: 長国

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 08:40

長国は讃岐でなく伊豫でした。たしか「豫州松山住」でしたか。１時間ほどして間違いに気付く耄碌ぶり、ごめん。

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/30(Tue) 12:29

表に出てこない郷土の名刀ってあるもんですね！

徳島でも阿波藩お抱えの金工『堀江興成』が殿様から拝領した脇差に自ら龍と卍の彫を入れた脇差が現存します。
刀工名は忘れましたが、たしか水心子正秀門の石川正守辺りではなかったかと思います。
支部発行の『阿波の刀剣』を見て確認してみます。m(__)m。

しかし、やはり四国一有名な刀工は『左行秀』で決まりでしょうか・・・。

[373 へのレス] Re: 四国の鍛冶色々

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 15:01

真改さん、誰が聞いても文句のない有名鍛冶はやっぱり左行秀ですか。しかし行秀も出回っているものに偽銘が多いようで、ともかく無茶苦茶たくさん偽銘が切られているようですね。もっとも上の出来が昭和刀かそこらへんですから、とんでもなく違いますから実害はないかも・・・。

久さん、徳島の刀鍛冶で徳島大工学部の藤原晴夫先生に協力して焼入れの写真をとり、「日本刀における残留応力の応用」を国際学会で発表されたことがありましたね。あの鍛冶とご関係はおありで？

[373 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：純井　投稿日：2002/07/31(Wed) 20:54

始めまして隠居様、私純井と申します。ここにはたまにお邪魔させて頂いているものです。今後とも宜しゅうお願い申し上げます。
そう言えば左行秀は弟子が戦前迄生き残っていた為に、精巧な偽物も有るとお聞きした事も有りま

す。本歌も時代が若いですから錆び具合とかでも判断し難いのでしょうね。でも左行秀…一振りたりとも見たことが無かったりしますが。

[373 へのレス] Re: 純井さん

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/01(Thu) 16:36

純井さん、返事がおそくなってご免なさい。
左行秀は著名な割に実刀を見る機会が少ないでしょう。とくに土佐へ来てのちはすぐ明治ですから。あったにしても偽銘が多いですから、要注意。
ところで純井さん、私のメールアドレスへ刀剣の写真データーベース送ってこられませんでしたか？実はそのファイルをあけたとたん、なんと消えてしまいました？？？
もしあなたでしたら、もう一度お願いいたします。

---

[378] はじめまして

投稿者：右行劣　投稿日：2002/07/29(Mon) 15:43

ずっと前から大変興味深くみさてていただいています。いろいろと為になる事柄が多く、実に勉強になります。皆様宜しくご指導下さい。

[378 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/29(Mon) 19:17

はじめまして。
真改 2001 と申します。
よろしくお願い致します。

ここは参加してもっと楽しくなるホームページを目指しております。
例えば文章が苦手でも画像掲示板がございますし、議論討論の題材がちょっと言いにくいな～と思えば討論掲示板がございます。
これからはもっともっと興味深くご参加下さいませ。(^0_0^)
一同お待ち致しております。m(__)m。

[378 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/29(Mon) 19:37

右行劣さん、いらっしゃいませ(^.^)
なんとお読みするのかと思いましたが、「左行秀」のもじりですね(^.^)
「右陸奥」、「左陸奥」のような関係でしょうか？(^_^)v

以前からお出でになっていたようですが、これからはどんどん投稿して一緒に盛り上げていただけると、幸いです。
ここでのご縁を大切に、よろしくお願いします。

[378 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/29(Mon) 20:23

「左行秀」のもじりですね(^.^)
＞そうだったのですね！
気がつきませんでした。m(__)m　&　(@_@;)。

[378 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/29(Mon) 23:03

はじめまして、右行劣さん。こてつといいます。
宜しくお願いします。
な～んか急にＢＢＳが賑やかになりました。
嬉しいですね。これからが楽しみです。
盛り上がりましょ～っ。

[378 へのレス] Re: はじめまして

投稿者：純井　投稿日：2002/07/31(Wed) 19:31

始めまして純井と申します。今後とも宜しゅうお願いもうしげます。
でも面白いＨＮですね。そう言ったＨＮのつけ方もあるんだなぁと感じ入った次第です。

[397] 無題

投稿者：右行劣　投稿日：2002/07/30(Tue) 08:22

そうです。もじりです。真改さま、もしかしたら一度　某刀剣商（レＯン）の展示会後の懇親会で徳島市のＯ水苑という料亭でお会いしたかも知れません。間違っていたらごめんなさい。

[397 へのレス] Re: 無題

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/07/30(Tue) 12:23

そうでしたか。
では、その節はお世話になりました。m(__)m。

これからもよろしくお願い致します。

[397 へのレス] Re: 無題

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/30(Tue) 15:32

「隠居さま」「右行劣さま」鎬と申します。
たまに書き込みする勉強中のふりしている３５才です。
よろしくお願いします。
昨日も勉強会でいろいろ教えてもらい

めっちゃ解かったような気がしたのですが
気のせいみたいです。
大学で分析したお話、徳島県美馬町の藤沢刀匠から
説明受けた事があるんですが、
なさけない。。。書き込みできるほど
明確に覚えてないんです。
あらら、お話になりませんでしたね。

[397 へのレス] Re: 徳島大教授の世界的研究

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 16:32

鎬さん、無理もありません、相当古い話です。
古い話ですが、トム岸田という刀をテーマにされている写真家が撮影され、富士通発行の雑誌飛翔、サンデー毎日ＴＶその他、かなり大きく伝えられました。(不肖私もさる刀剣誌に寄稿いたしました)
藤原博士は子供の頃、おじいさんが鉄砲で撃ってきた猪をさばいていた刃物が南北朝期にさかのぼる名短刀だったことをきっかけに日刀保徳島支部に入門し刀剣鑑定の勉強をされ、それをきっかけに日本刀の反りに着目、残留応力を発見、世界の金属材料学者が徳島に集まった席で発表されました。内容を話しますと長くなりますので後日に譲りますが、これは日本刀の秘奥にせまる一大発見です。そういうことが徳島であった、ということだけでもぜひこの機会にご記憶ください。

[397 へのレス] Re: 無題

投稿者：鎬　投稿日：2002/07/30(Tue) 17:18

うぅ～すんごい
まさに刀剣界に精通されてらっしゃる。
ご隠居、付いていきます。
「だんご」は、書き込みでお願いしま～す。

[397 へのレス] 鎬さんへ。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/30(Tue) 22:40

昨日も勉強会でいろいろ教えてもらい
＞って、
御隠居様とお知りあいですか？
鎬さんも大阪に行ってから、ますます行動派になりましたね～～。
刀剣界にも顔が広くなられたようですし・・・。(^0_0^)。

ところで『「だんご」は、書き込みでお願いしま～す。』って何ですか～？？

---

[418] 三本杉の靖国刀

投稿者：よしみつ　投稿日：2002/07/31(Wed) 00:44

「靖徳」を入手しました。この刀工は、まま、三本杉を好んで焼いたことが、トム岸田さんの初版本に載っ

ております。１４年製なので、弟子の代うちと、区別するため、なかごが、特殊な形をしてます。興味深いのは
「贈日本刀鍛錬会」と切銘されてることです。どなたに贈ったのやら判りませんが、「靖徳謹作」とはないですから、そう、すごい方でもなさそうです。しかし、同時期の軍刀に比べてやはり、地金が違います。＊＊保たたらの鋼などとは話になりません。某現代刀と比べましたが、やはりちがいます。かといって、南北朝のと比べると話になりませんが・・・

[418 へのレス] Re: 三本杉の靖国刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/31(Wed) 01:04

真改 2001 です。
私も靖国刀が好きです。
直刃が多い中で三本杉とは珍しいですね。

私もトム岸田氏の『靖国刀』を持っていますので、再読したいと思います。
今、戦前の刀で一番有名なのは靖国刀ですからね。

その靖国鋼が近年、四国で大量に発見されたという話はご存知でしょうか？

[418 へのレス] Re: 三本杉の靖国刀

投稿者：純井　投稿日：2002/07/31(Wed) 19:32

四国で大量に発見された靖国鋼>
現代刀匠で取り合いになっていたりして…それを使って仕上げたものがあれば拝見してみたいものですね。

[418 へのレス] Re: 三本杉の靖国刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/02(Fri) 20:56

ヤフオクで久しぶりに靖国刀が出ていましたね！

靖憲だったかな～。
４２万円くらい？軍装拵え付き。
直刃でした。m(__)m。

[418 へのレス] Re: 三本杉の靖国刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/03(Sat) 18:22

現代刀匠で取り合いになっていたりして…それを使って仕上げたものがあれば拝見してみたいものですね。

私が知った時は、ある刀匠さんはすでに手に入れていました。
もう随分前の話ですので、当然これらの鋼を用いた（使用量は？）刀剣は存在するでしょう。かれこれ１０年近くなりますが・・・。

[408] 伝説の刀剣

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/30(Tue) 20:50

阿州伝説の刀剣達

日本美術刀剣保存協会徳島県支部発行の『阿波の刀剣』の中に
阿州の伝説の刀剣と称して抜粋してみました。

一、名物岩切海部『海部氏吉作』。享保名物帳記載。第三十一回重要刀剣指定。
　　長さ６３．１ｃｍ。一見江義弘を思わせる出来とある。三好長慶所持。

二、『阿州泰吉作　□□二年二月日』第二十四回重要刀剣指定。６８．１ｃｍ。
　　おそらく、これが小野光敬師が研磨したと言われるものと思います。
　　押し型を見ると、ものすごい派手な出来です。

三、『石川正直作　金象嵌銘　堀江興成（花押)』４０．ｃｍ。
　　表に真の玉追い龍、中央に卍の家紋。十代徳島藩主蜂須賀重喜に献上後、
　　金工師堀江興成が拝領。所持者銘として金象嵌を施したと伝える。
　　無冠のようですが、重要指定は間違いないかなと思うのですが・・・。

番外編
一、助広刀『阿波水軍森家伝来品』の噂を聞く。人伝に聞いた話ですが、
　　その刀身は黄金砂を蒔いたように光り輝いて見えるという。

二、幕末の１００人斬り刀。徳島県吉野町史にあるのですが、幕末に
　　大勢の人とたった一人で斬りあったという記録とその刀が残って
　　いるそうですが・・・。見てみたい。

ぜ～～～～～んぶ、一度も見たことがありません。(T_T)。

[408 へのレス] Re: 伝説の刀剣

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/30(Tue) 20:57

『日本美術刀剣保存協会徳島県支部発行の『阿波の刀剣』の中に』を
→『日本美術刀剣保存協会徳島県支部発行の『阿波の刀剣』の中から』
に訂正します。m(__)m。

[408 へのレス] Re: 伝説の刀剣

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 21:09

享保名物帳に海部ですか、知りませんでした。大したものですね。たしか末古刀は入っていない筈ですよ、時代が上がる海部ですか。

[408 へのレス] Re: 伝説の刀剣

投稿者：出島屋　投稿日：2002/07/30(Tue) 21:15

代表>
もう、地元のことになるとウルサイですねえ！！！

[408 へのレス] Re: 伝説の刀剣

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/30(Tue) 22:27

名物岩切海部は明応・永正ごろの氏吉とあります。
また、黒田家伝来（だから福岡にあるのかも）、享保名物長追記というのが正確なところのようです。

さらに、三好一族は大変な名刀収集家でもあったらしく、
簡単に抜粋してみますと、
三好正宗、三好江、実休光忠、安宅貞宗、安宅志津、十河正宗、大般若長光、
宗左文字（義元左文字）、不動国行、骨喰藤四郎吉光短刀
などなど。
があると、阿波の刀剣にありました。
m(__)m。

[408 へのレス] Re: 伝説の刀剣

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/31(Wed) 00:57

もう、地元のことになるとウルサイですねえ！！！
＞＞
ちょっと、知ったかぶりをしたかったんですよ～～。(^0_0^)。

[408 へのレス] Re: 伝説の刀剣

投稿者：純井　投稿日：2002/07/31(Wed) 19:28

驚きました、名物に海部刀があったとは。どう言う刀なのかが非常に気になりますね。１度拝見してみたいものです。

---

[405] 凄い話題がでましたので、こちらにお越し頂きました。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/30(Tue) 18:04

徳島大教授の世界的研究

投稿者：隠居 - 2002/07/30(Tue) 16:32 [No.403]　New！

古い話ですが、トム岸田という刀をテーマにされている写真家が撮影され、富士通発行の雑誌飛翔、サンデー毎日ＴＶその他、かなり大きく伝えられました。（不肖私もさる刀剣誌に寄稿いたしました）藤原博士は子供の頃、おじいさんが鉄砲で撃ってきた猪をさばいていた刃物が南北朝期にさかのぼる名短刀だったことを

きっかけに日刀保徳島支部に入門し刀剣鑑定の勉強をされ、それをきっかけに日本刀の反りに着目、残留応力を発見、世界の金属材料学者が徳島に集まった席で発表されました。内容を話しますと長くなりますので後日に譲りますが、これは日本刀の秘奥にせまる一大発見です。そういうことが徳島であった、ということだけでもぜひこの機会にご記憶ください。

[405 へのレス] Re: 凄い話題

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/30(Tue) 19:23

事実は小説より奇なり、なんて云いますが面白いでしょう。藤原晴夫教授は大阪の出身、阪大を出て徳島に来ました。阪大工学部教授の本命コースが外れただけに、ユニークユニーク。私は先生のことを富士通の雑誌で知りました。その論文は「日本刀の反りは焼入れの瞬間逆に反り、その後またその逆に反る。これによって残留応力が刀身にのこり、これが少々のことでは曲がらず折れずという強さを自生する。」という趣旨のもので、焼入れの際の水中写真が添えてありました。「逆に反る」ホンマかいな、これには私も半信半疑でした。当時はメールなんて便利なものがありませんから、手紙を出しましたところ、沢山の資料とともにガラス水槽で撮影した画像も送られて来ました。
先生は徳島大工学部精密工学科教授です。
先生の説を私なりに受け売りしますと、二尺四寸反り八分の刀をつくる場合、最後の鍛造で反り四分くらいにわざと浅反りに作っておきます。これを焼入れすると一瞬逆反りになります。逆反りだからマイナス二三分くらいになるのです。そして次の一瞬、ぐっとプラス方向に反り直して八分の反りになるわけです。
なぜこうマイナスとプラス方向に反るかと言いますと、刀は刃の側が肉薄ですから棟側よりも早く冷却され、大きく収縮を起こします。それにより逆反りになります。しかし次の瞬間、肉の厚い棟側が冷却によってより強い収縮を起こし、ぐっと大きな力でプラス方向に反ります。こうして八分の反りが出来るのです。
ところがここに「残留応力」という秘密兵器が反りの奥に生まれているわけです。つまり、鍛造して作られたのは「四分の反り」です。それが収縮反動で八分になったにすぎない。これは「仮りの姿」です。ですからこの刀は生まれたままの姿である「反り四分」に戻ろう戻ろうとします。この鉄の中にひそむ「力」のことを「残留応力」と呼ぶのです。そしてこれこそが藤原教授の一大発見なのです。
残留応力を利用しますと、たとえば魚の釣り針でも細くてつよいものが出来ることになり、機械部品から建築鉄材、自動車用鋼材等々、その応用は無限大に広がります。
皆さん、この素晴らしい原理が、刀に反りをつけるということに、実は平安の昔から生かされてきたのです。曲がらず折れない日本刀の優秀性の秘密、お分かりでしょうか。そしてこれが解き明かされたところが徳島です。徳島の好き者の方々、ぜひ覚えていてくださいね。

[405 へのレス] 残留応力。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/07/30(Tue) 20:18

刀は焼きいれの瞬間、一度逆に反る…というお話は以前どこかで聞いたことがあります。その時は「そういう説もある…」程度に考えていたのですが…「残留応力」ですか、初めて聞く名前です。勉強になります。資料画像も可能であるならば是非拝見してみたいです。

[405 へのレス] 自慢話にします。!(^^)!。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/30(Tue) 20:55

徳島県人なのに、こんな大事なことも知りませんでした。

ありがとうございました。m(__)m。

[405 へのレス] 凄過ぎる！

投稿者：dejimaya　投稿日：2002/07/30(Tue) 21:13

なるほど、と納得しますが、考えれば考える程、凄過ぎます。
真に日本刀の生命力が宿っている部分の御話ですね！感激しました。

[405 へのレス] 何故に墨流し？

投稿者：久　投稿日：2002/07/31(Wed) 00:13

柳刃、蛸引き系の包丁は長年使っていると鋼の方向へ曲ってきます。
ですが地鉄の方を例の墨流しにすると互いに同じ力で引っ張りあい
曲らなくなります。

[405 へのレス] 残留応力

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/31(Wed) 01:00

地鉄の方を例の墨流しにすると互いに同じ力で引っ張りあい
曲らなくなります。

>
この辺りの詳細は野崎先生のお話がお聞きしたいですね。
さらには、残留応力についても野崎先生のお話が伺いたいです。m(__)m。

[405 へのレス] Re：昔読んだ記憶が？

投稿者：野﨑　投稿日：2002/07/31(Wed) 05:03

　芯に軟鉄、表面に高炭素鋼をつけた刃物を高温結晶（ロバート＝オーステンという金属学者にちなんでオーステナイトという）状態から急に水冷すると、まず薄い刃先が冷えて縮むので内反りになる。
　次にこの刃先が鉄の結晶格子内部に炭素原子を含んだままの硬い結晶、焼入れ組織（ルドルフ＝マルテンスにちなみマルテンサイト）の結晶になると体積は大きくなるので刀全体は逆に棟の側に反り返る。
　第 3 段階では棟の肉厚の部分が刃先より遅れて炭化鉄と低炭素鉄の結晶が層状に重なって、金属顕微鏡下で真珠のように輝いて見えるパーライト結晶と、純鉄の結晶フェライトとに別れ、その過程では一時的に体積が増えるのでまた内反りになる。
　そして最後に棟の結晶が安定すると、その体積は刃先のマルテンサイト結晶よりは小さいので反りがもどって、結局熱処理前の姿より反りの大きな刀が完成する。

・・・というシュミレーションが１９９０年代に京都大学で研究されておりました（井上達雄・『まてりあ』35-2,1996 他）。

その状態で刀の内部にはストレス、つまり結晶が無理に変形され、元に戻ろうという力、が残ったままの部分が生じ、これが「残留応力」です。
残留応力は鋼材にはあまりいい結果を与えないので従来は焼きなましで除去していたのですが、最近はそれを逆手に取って性能改良にも応用しています。多分それを刀剣の性能に結び付けられたのでしょう。

元の論文を見ていないので、ご投稿の内容から私の乏しい知識で理解できましたことはこの位です。

[405 へのレス] Re: 残留応力のまとめ

投稿者：隠居　投稿日：2002/07/31(Wed) 08:13

かたい話で恐縮ですが、ここへ出てしまった残留応力の話は、中途半端ですと藤原先生にご迷惑です。興味のあるお方だけお読みください。

残留応力とは野崎さんが云われているように、鉄を焼入れるとヒズミという形で出てくる悪者なんです。このヒズミ現象を逆に利用できないかというのが、近年の金属材料学の一つのテーマでした。そしてこの残留応力の測定法も色々と開発され備わっていたようです。
こういう状況のときに、藤原先生が何気なくご祖父様の使っておられた短刀を測定してみたところ、ナントこの残留応力の存在が確認されました。えー、というわけで次に刀を測る、これからも出た。それで徳島の刀匠を頼み、実際に焼き入れ実験をして確かめることになったわけなんです。
ところで日本刀発達史の中で、直刀から反りのある刀になったのは「馬上で片手打ちするのに便利で有効なためであろう」などと説明されたものが多いのですが、私はどうもその説はおかしい、と考えます。理由の第一は、直刀が反りのあるものに一挙に変っていることで、これは反りのあるものが抜群に強度がつよく、両者並存する余地がなかったことをあらわしています。第二の理由は「長刀の出現」です。長刀は太刀に三尺以上長い柄をつけたもので、平安鎌倉の戦乱絵巻に数多く描かれています。この長い柄のついた武器を振り回して馬の足でも狙われてはたまりません。この長刀こそ、刀身にかなりの丈夫さ、つまり折れず曲がらないという強靭さがなければ、とうてい使用に耐えません。この先重（さきおも）の武器は相当な腕力の者でないと使えない欠点があり、ついには槍にとって代わることになりますが、一時代には相当の働きをした武器だったと考えます。そしてこれは「残留応力を利用した反りの付与」があってはじめて使用可能となった日本刀の形態であるわけです。
これらの諸点を考えますと、反りは日本刀発達史の中で一つの技術革新というべき画期的技術であり、発明なのです。
皆さん、日本刀の反りについては、この残留応力の活用という昔の知恵のふかさに注目いたしましょう。

[405 へのレス] 湾刀異聞

投稿者：花散里　投稿日：2002/07/31(Wed) 23:41

実はこのレスを付けようか止めようか、だいぶ悩みました。
せっかくの、ご隠居さんと野崎先生の投稿に対し失礼かも知れないと、思いました。
しかし小説とはいえ、以下のような説を堂々と書いているものもあるのです。

「帯および裏表紙より」
日本刀剣史上最大の謎に迫る！
奥州安倍氏の強靭な湾刀の技術を盗み出せ！
前九年の役が膠着していた天喜四年(1056)暮れ、陸奥国主源頼義の嫡男義家は若き刀工に密命を下した。朝廷軍が蝦夷に惨敗したのは、無類の切れ味を誇る湾刀に、大和の直刀が太刀打ちできなかったからである。
日本刀剣史上の空白とされる湾刀の誕生に、大胆な推理の光を当てた長編歴史小説。
「本文より」
軟らかい心鉄を硬い鋼で包む。それを延ばして刀身にする。心鉄は峰のほうに厚く包み込む。軟らかい鉄は伸縮性が大きく、焼き入れのさいの急冷によって鋼より縮む度合いが大きい。したがって、刀身は峰のほうに反ることになる。

この作者、事前に何も調べなかったのでしょうか？

[405 へのレス] Re: 残留応力のまとめ

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/07/31(Wed) 23:48

昔の知恵のふかさに注目

まさしくその通りと、お話を伺いながら思いました。
必要から来る技術と経験が日本刀の反りを生んだのですね。
直刀から湾刀への変遷の経緯もこのような理由を考えることによって、
推測することができそうです。

まことに楽しくてためになるお話を伺えました。
空爺さんに頼んでまたまたコンテンツ化していただきましょう。
よろしくお願い致します。m(__)m。

[405 へのレス] Re:藤原先生と徳島支部

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/01(Thu) 05:08

花散里さん、その小説は藤原先生の発表をヒントに書かれたかも知れないですよ。案外、的を射た推理ですね。感心しました。

真改代表さん、藤原先生は徳島に長い間おられたので、退官後も徳島に住まわれている可能性があります。日刀保徳島支部で問い合わせてください。もしそうなら、反りが出来るプロセスの写真な

ど資料はおもちです。また先生がおられなくても徳島にはこの研究に協力された方々が複数おられる筈です。

[405 へのレス] んー・・・と。

投稿者：野﨑　投稿日：2002/08/01(Thu) 06:13

お楽しみのところ余計な事は言いませんが

藤原晴夫・英　崇夫　徳島大学工学部研究報告 38（1993）

を見た限りでは反りは従来の定説通りマルテンサイト変態による刃部の体積増大によるもので、その結果として残留応力が生じている、と言われていたと思います。この研究を継承した京都大学の報告でもそうなっておりました。

[405 へのレス] Re: 凄い話題 m(__)m。

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/01(Thu) 08:35

>日本刀発達史の中で、直刀から反りのある刀になったのは「馬上で片手打ちするのに>便利で有効なためであろう」などと説明されたものが多いのですが、私はどうもその>説はおかしい、と考えます。
そうですよね。実は口にするのは初めてなんですけど
蒙古の皮鎧を切るために日本刀が変化したと言う説も
おかしいと思いませんか？？

[405 へのレス] Re: 日本刀の秘奥

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/01(Thu) 11:08

私は金属学にはまったくのド素人です。鉄やたたらの歴史は一通り知っているだけですし、日本刀の工学的研究書などはほんの二三冊読んだのみです。その中で一番すごいなぁと思えたのが東京帝国大学俵国一教授の「日本刀の科学的研究」でした。これは日本刀の優秀性を炭素量の分析や切断試験などで探ろうとした労作ですが、なるほど刀の成立ちや性質はよく分かったにしても、それじゃ今どこの製鉄会社でも同じ物が作れるのか、どこの鍛冶屋でも作れるのか、となりますと結論めいたものはなく、何のことやらよく分かりません。日本刀の折れず曲がらない秘密、切れ味が抜群にいい理由など、この答えが明確に示されておりません。
こういうとはに藤原先生の実験は、われわれ素人に実によく分かるのです。トム岸田さんも同様だったと思います。
ぜひ徳島の若い刀剣人がこの辺のことを再確認なさって、日本刀の秘奥をさぐる上で先生の研究が価値あるものかどうなのか、ご自分の頭でお考えください。

[405 へのレス] Re: 訂正

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/01(Thu) 12:59

こういうとはに藤原先生→こういう中で藤原先生

すんません。

[405 へのレス] 徳島の人として

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/08/02(Fri) 11:51

藤原先生は徳島に長い間おられたので、退官後も徳島に住まわれている可能性があります。日刀保徳島支部で問い合わせてください。もしそうなら、反りが出来るプロセスの写真など資料はおもちです。また先生がおられなくても徳島にはこの研究に協力された方々が複数おられる筈です。

＞

是非、９月の海部刀鑑賞会で古参の支部の会員の方に聞いてみます。
こういった話しを刀剣趣味新人の私たちが知ることは、鑑賞以外にも刀剣を好きになる一つのきっかけになります。
刀剣を趣味にしている同年代の人と接する機会があるたびに、この話題を話してみようと思います。

---

[440] 丁子油

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/02(Fri) 11:18

以前「討論掲示板」で、鬼丸さんから刀剣油についてのアンケートがありました。
鬼丸さんが使っている刀剣油は、大阪府堺市の「岡村平兵衛」製のものでしたが、電脳倶楽部参加者からは同じ刀剣油を使用している方からの投稿はありませんでした。
私自身も使用しているのは「銀座刀剣柴田」のものですが、「岡村平兵衛」の刀剣油が気になっていましたので少し調べてみると、以下の事がわかりました。

明治２１年(1888)、堺の岡村平兵衛、家業の丁字油製造を応用して大楓子油を精製し、わが国のらい治療に貢献した。同時に患者の救護にもつとめた。

残念ながら「大楓子油」は根治薬ではなかったようですが、ハンセン病患者は長期間にわたり誤解と迫害を受け、幾多の悲劇や悲しみに包まれながら暮らしてきました。
今日でさえ誤解や偏見が完全に解消されたかどうかは危ういと言うのに、医学や公衆衛生が未発達だったであろう１００年以上昔の明治時代に、刀剣関係者がこのような崇高とも言える行動を取っていた、私にとっては驚き以外の何ものでもありませんでした。

幼き日 イエスの使徒の君と見て 頭下りし 丈たかき人
（与謝野 晶子　　郷里の先覚岡村平兵衛翁を悼む）

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/02(Fri) 16:23

私らの年代では、丁子油といえば岡村平兵衛商店のものときめていましたが、ハンセン病の塗り薬の話は知りませんでした。与謝野晶子が詠んでいますか、いいお話を教えて頂きました。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/02(Fri) 23:37

花散里様、貴重なレポート有難うございました。「大楓子油」については、初めて知りました。私の住む町の近くにもハンセン氏病の患者さんを収容した国立の療養所があり、花散里様のレポートを読み刀剣愛好家としてではなく一人間として胸熱く感じいる次第です。
「岡村平兵衛」製の刀剣油ですが本阿彌光博著「日本刀鑑定法」に唯一商品名として掲載されております。
この油を塗った時というよりも塗った後の効果が素晴らしいのです。剣兄の所持している、長船近景などは映りと地鉄が鮮明になるし刃紋特に独特な逆足も良く
見て取れようになります。
また、私の所持する相州広正などは沸粒が金の砂を蒔いたような感じなり全体的に刀には大変よい感じの油ですが、若干油をはじくような感じは否めません。
ここでこの油の効能書きの一説を掲載します。
「丁子油ト打ち粉トヲ以テ手入レ二注意アラバ幾百年ヲ経過ストモ毛頭錆ヲ生ズル憂ヒナク地刃トモ冴工渡リ一見戦々競々タリ地金ハ実二深渕二臨ムガ如キ心地
ノ思イヲ生ズ・・中略・・丁子油ヲ皮膚二能々磨擦ナサバ雪中二テモ尚凍傷ノ憂ナク且ツ外部ヨリ来ル諸毒ヲ防グノ大効アリ」
というこで人間の皮膚にも良いと書かれております。尚この刀剣油は大量生産をしていないようで、私も年に一度剣兄から譲って頂いている次第です。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/02(Fri) 23:50

丁子油というのは、もともと最初は何の用途に用いるべく生まれてきたのでしょうか？
薬として最初は出発したのでしょうか。

植物油だから漢方の意味合いがあるのでしょうか。
考えると眠れなくなってしまいそう～。
私も、柴田さんの油を使っていますので、たしか一本小さなビンに入った丁子油を通販誌上鑑定の商品で頂いたのがあったような・・・。

ひょっとして、貴重な丁子油だったのかもしれません。
あげたのかな～。置いてあるかな～。
明日、探してみます。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/02(Fri) 23:58

＞ご隠居さん
この「大楓子油」というハンセン病の治療薬、「油」と言うからには当然「**塗り薬**」だと私も思っていました。

しかしよく調べてみたところ、「**注射薬**」だったようです。

以前ハンセン病療養所では、消毒や注射針を変えることなく次々と患者たちに射ち、それがため世間一般のＣ型肝炎の発症率０．７％に対し、実に３４倍にあたる２４％の発症率を数えるそうです。

岡村平兵衛氏は、おそらく博愛の精神で大楓子油の製造や患者の救護にあたったのでしょうに・・・不適切な治療行為による注射針からの感染によって、患者は重ねて苦しみを背負わされてしまった訳です。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/03(Sat) 00:22

＞真改さん
使われだしたのは鎌倉時代らしいですが、元々は何の目的で作られたのでしょうね？
香料・防腐・抗菌の作用があるようですが。

＞鬼丸さん
河口慧海（1866～1945、堺の在家仏教徒。探検家としても知られる。33 歳の時と 47 歳の時にチベットに入り、膨大なチベットの文献、植物標本、民族資料、サンスクリット写本を集めた。）の著『チベット旅行記』では、「身体に堺岡村製の丁字油を塗り、氷の川を渡った話」が記述されているそうです。
実践したんですね(^_^)

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/03(Sat) 08:21

今週木曜日ごろから都内銀座線沿線のとある刀剣店で展示即売会を
行っています。そのお店にひょっとしたら「岡村平兵衛」製「丁子油」
があるかもしれません。
ただし、お求めになりご使用なさる場合は同製の打ち粉とセットで
ご使用されることが望ましいかと思います。
あまりの効果に驚かれる方もいるはずと自負しております。
この打ち粉もまた優れもので説明書の能書きには
「光学レンズの仕上げに使用できる程度の超細粉で現在の技術では、
これ以上の細かい粉を採ることは不可能」と書かれています。
しかし、打ち粉は打ち粉、多用なされませんように・・・・・・・

丁子油ひとつから、刀剣以外の事柄が学べるとは「恐るべし」
「岡村平兵衛」及び「電脳倶楽部」ってとこかな。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/03(Sat) 18:15

丁子油・・・。
一所懸命探しましたが、結局、ありませんでした。(T_T)。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/03(Sat) 18:26

丁子油の主成分は椿油で、これに丁子を香料として漬け込んだものだと思っているんですが・・・。丁子は干物にした黒い香料で、大阪では北新地の一寸したクラブではウィスキーの湯割りに入れていましたよね。「丁子」という言葉が刀剣ファンとしては嬉しく「ママさん、ちょっと見せて」と見たことがありますが、干からびて真っ黒な漢方薬風のものでした。これを絞っても油にはならんように思いますがね・・・。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/03(Sat) 18:35

丁子油についてここ←をクリックして下さい。
やはり、薬だったのでしょうか・・・。

5.丁子油：
気分のふさぎ、あるいは胸、心あしき節、又は冷え症にて血の道おこる節あるいは月々のめくりあしきに用ゆ。二、三露を砂糖一さじにまぜ水にて用ゆ。舌こわり言葉出かねる節、舌に塗りてよし。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/03(Sat) 19:15

だんだん思い出しました。ホテルのバーで湯割りを注文すると「丁子をいれますか」と聞いてくる筈です。大分前からウィスキーは水割りというか氷割りになって、それもブランディにかわりましたから、丁子は「洋酒バー」くらいしか置いてないでしょうな。風邪を引いたとき、丁子入りの湯割り、よろしおまっせぇ。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/03(Sat) 19:53

「ここ」にも、丁子についての説明があります。
ご隠居さん仰るところの「干からびて真っ黒な漢方薬風」というのは左下の写真の状態でしょうか？
丁子入りのウィスキーのお湯割り、刀を好む者としてはぜひ飲んで見たいです(^_^)

さすが皆さん博識だけあって、話が広がりますね(^_^)v

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/03(Sat) 20:02

刀の油に用いていた理由は『芳香健胃薬』の芳香の部分だけってことでしょうか？(^_^;)。

今度は本体？の椿油について調べないといけませんか～？
(^0_0^)。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/03(Sat) 21:18

項目	椿油	オリーブ油	ごま油
乾性	不乾性	不乾性	半乾性
オレイン酸	７９～８５%	６５～８４%	３５～４６%
リノール酸	３～９%	４～１５%	３５～４８%
酸化	しにくい	ややしにくい	しやすい
安定性	安定	やや安定	不安定

椿油の使用がなぜ刀剣の保存に適していたのか？
日本で栽培製油されて、しかも酸化しにくく安定しているというのが理由ということでしょうか。
カメラ小僧をしていた頃に、雑誌に『カメラ本体とレンズを固定するマウントには少量のオリーブ油を用いれば動きが良くなる。』という記事を読み、２０年以上も前には私はオリーブ油なんてどこで買えばいいのかわからなくて、化粧品屋で買ったことがありました。

椿油の性質に丁子油の香りを加えて『刀剣油』として用いたのでしょうか？
丁子油だけでは椿油の酸化しにくく安定している性質には、劣るのでしょうか。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/03(Sat) 22:47

すっごい勢いで更新してます♪
楽しいのでつい書き込んでしまいます。
「お湯割り」、信州の寒い冬はコレに限ります。
ご隠居さん、相当イケる口とお見受けしました。
あ、丁子油がテーマでしたね…！

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/04(Sun) 06:45

そうです、４５４の写真が湯割りに入れる丁子ですが、これは見た感じ松茸の干物のようで大きく見えますが丁子はごく小さく１センチまでの長さです。また軸は乾燥されてずっと細いです。
これを「精油する」とありますが、そりゃ高価になるでしょう。バラの花からでも精油して香料が出来ますが、そんなものでしょう。

刀剣に椿油を使ったのは性質的に合うからだと思います。これにどのくらいの比率で丁子油を混ぜたのか分かりませんが、それが老舗の秘法ですかね。
岡村の丁子油は１瓶買っておけば２、３０年ありますから、十分値打ちはあります。なんと云っても丁子の匂いがいいですね。仏壇に線香が合うように、刀は丁子の香りで気分が引き締まります。
それから丁子油を刀に塗ったとき「はじく」というのは、塗り方の問題です。
古参の方か、プロに習ってください。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:17

clove oil（丁子油）の主成分（82%～87%）で，1g の dry clove buds から 120mg～130mg の eugenol がとれる 3)．その他の芳香油にも含まれる 1)．（pimenta，ベイ， cinnamon の主成分．ショウノウ，カラムス，ジャバ，シトロネラ，カナンガ，ナツメグ，サッサフラス，ミル，ローレル，ベージル，ヤブニッケイに，配糖体として含まれる）21)．

eugenol は,cinnamic aldehyde の delayed hypersensitivity 及び none-immune immidiate contac treaction（NIICR）を減弱させる．また安息香酸とソルビン酸の NIICR も阻害することも知られている．このことは，eugenol がアラキドン酸代謝の cyclo-oxygenase pathway を阻害し，prostaglandin の産生を抑制することと関連があると推測されている 6)．

用途は広く，香料，織物，インクの酸化防止剤，薬剤や香粧品殺菌防腐剤，医薬品（鎮痛剤，潰瘍治療剤，鼓腸の治療剤），食料品，嗜好品（菓子，そば，コーラ，ハッカ，マッシュルーム，ナツメグ，ブラックペパー，ペパーミント，トマト，ウィスキー，ブランデー），歯科用材料（セメント，固定糊）1)，タバコ 3)などに含まれる．よって，香粧品 7,8)や歯科領域 9,10)からの接触皮膚炎の報告が多い．シャンプーに含まれたライムより抽出された eugenol11)や，歯科用セメントに含まれた eugenol3)で contact urticaria を生じた報告も見られる．本邦では，化粧品による接触皮膚炎の原因の 0～ 2%を占める（1988 年～1991 年）12-18)．黒皮症を呈した報告も散見される 19-21)．
（日本接触皮膚炎学会：報告書より。）

ということで、芳香剤及び酸化防止剤としての成分があるようです。

刀剣に塗る際の油はじきについてですが、初めて使用する刀には若干のはじく感
がありますが、２度目から全くそういうことは感じません。
他社製品に比べるとかなりの粘性があり、とにかく油が良く伸びますのでご隠居
さんの仰せのとおり１ビンでかなりの期間ご使用できます。

ところでご隠居さん、おくれながら私、「鬼丸」と申します。以後宜しくお願いいたします。岡村の丁子油の使用感など気がつかれたことがありましたらお聞かせ下さい。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:35

鬼丸さん、こちらこそ宜しく。

私は「昔の日本人」の叡智を信じていますから、手入れ油や用具や手入れ方法などは自己流にせず、師匠や先輩を見習ってやってきました。昔から伝来の方法は、なんでもないようで、何か理由があると思います。
各地の刀剣会に出席されて、こういう「タテの関係」も習い事では必要ではないでしょうか。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:35

２・３年前になりますが、ある鍔師のお宅で５０ccにも満たなかったと思われるビンに入った液体を見せて貰ったことがあります。
「混ぜもの無しの丁子油だよ」、「これだけで１２万（２０万だったかも｛なにせ記憶力が弱い・悪い・でハッキリと覚えていません^^;｝）ぐらいかなぁー」と言っておられたことを思い出しました。
よく見かける刀剣油のビンぐらいの量なら、ほんの数滴しか入っていないとのお話を聞いたことがあります。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/04(Sun) 09:08

＞ご隠居さん
まさに「タテの関係」は、必要なこと、重要なことだと思います。
いろいろなやり方は取捨選択され、「ふさわしい」ものだけが今に残っているのだと思います。
この丁子油についての私の投稿の末尾が、「～だそうです」「～のようです」になっているのがお気づきでしょうか？
私は、長いこと仕事でコンピュータを使っていますので、「検索」は得意です。
「調べて、皆さんにお伝えする」ことはできますが、それはあくまで「伝聞」にすぎず、自らの経験ではありません。
ですから、ご隠居さんに「生きた知識」を教えていただくことは、私だけではなくここの参加者（発言せずに読んでいるだけの皆さんも含む）にとっても、大きな喜びだと思います。

＞菊久さん
「絶句！」な、お値段ですね(^_^;)
しかし、一滴一滴蒸留するようですから、まともにやると、そんな値段になってしまうんでしょうね。

[440 へのレス] Re: 便利・能率は刀の敵

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/04(Sun) 09:23

最近こういう刀剣関係の掲示板をみていますと、刀の油をとるのにベンジンが便利だとか、油は何番のスピンドル油にかぎるとか等の情報が飛び交って、大方の若い人はそれに同調されている状況です。われわれ年寄が少々申そうが多勢に無勢、沈黙せざるを得ません。
刀を鑑賞するのに一刻も早く脱脂しなければならぬ理由が分かりませんが、刀剣商の中にベンジンを使用する人もいて、「安全・公認」と錯覚しているようです。

刀の顕微鏡写真をごらん下さい。刀剣表面は鍛着部を中心に無数の「微細な割れ目」によって構成されています。大げさに云えば海綿状なんですから、この「割れ目」の奥には絶えず油の成分を付着させておきたいのです。
しかしながら、ベンジンの使用ではこの内部まで完全に脱脂されてしまい、水や水分に対する金属の「ぬれ性」が生れてしまいます。これでは丸で鉄を錆び付けする際の第一工程（脱脂＝プライマー処理）をしているのと同じです。刀にとって良かろう筈はありません。
一事が万事、能率的にする、現代的にする、ということにはこういう場合が多いと思います。刀屋さんが「一刻を争って油をとる」のはお客を逃がさないためでしょうか、私の知っている刀屋でこんな人はおりません。
みなさん、どうお考えですか。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/04(Sun) 10:05

なるほど、ベンジンにはそのような作用（性質）があったとは知りませんでした。
常石英明著の「日本刀の鑑定と鑑賞」という本に「ひどい油やゴミなどを取り除く為にはまず拭い紙、脱脂綿、アルコール、ベンジン等を用いてこれらを除去し
次に打ち粉を使用して油染み、軽い錆などを除きます。」とありましたのでこれ
を鵜呑みにし、数年前油焼けして刀身が虹のようなギラギラした刀をこの手法を
もちいて実践してみましたが、たしかに綺麗になりました。
その後、所持する刀全部をこの手法で手入れした結果、彫り物（梵字）などの中
まで綺麗になってしまいました。
その綺麗になった刀を自慢たらたらその刀を買った刀屋の社長に見せたらナント
怒られました。彫りの中の打ち粉のカスは防錆の役目を果たしているんだそうです。それを綺麗サッパリ取り除くことは刀を錆びさせる手助けをしているのと同じことだそうです。
大体江戸時代にベンジンなんか無かった。でもこうして平成の時代までその姿を
錆びもせず残しているのはやはり先人たちの知恵の賜物でしょう。
ふと、ご隠居さんの発言から刀屋の社長の言葉が思い起こされ良い教訓になりました。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/04(Sun) 12:42

昼食に出たついてに百貨店で岡村の丁子油を見てきました。大瓶で２，６００円、小瓶で１，２００円です。私はこの大瓶を２０年ほど前に使い始めて、それが今半分以上残っています。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/04(Sun) 13:49

常石英明氏の日本刀入門書は全国どこの書店でもおかれていることからベストセラーのようですが、彼の著作は「陶磁器の鑑定と鑑賞」などもあり、一体何の専門家か分かりません。どこの刀剣会に所属されてどういうポジションにいた方かも一切不明です。また刀工についても位列重視が著しく、脇物を不当に低く評価し過ぎです。まともな書物とは思えません。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：山浦環正行　投稿日：2002/08/04(Sun) 19:27

ご隠居様と同じく２５年以上使用しています。
故斉藤一郎(真清居)氏から「岡村平兵衛」の丁子油と打粉を勧められ長く愛用していますが、最近は箱とビンのラベルがかってと異なり、風情が無くなった紙筒とラベルになってしまい、残念ですが、中身は変わりありません。
また　刀剣博物館で維持刀剣の保管方法について相談した折に丁子油について尋ねましたら、保管重視の館蔵刀へは「岡村平兵衛」製を使用し、審査刀剣には「藤代」製を使っていると教えて頂きました。探されている方へ　ご参考までに　東京では中野の勝○堂が岡村平兵衛を扱っていますし、堺の岡村平兵衛商店へ FAX にて注文して入手出来ます。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/05(Mon) 12:50

私は丁子油が「椿油を主成分として丁子油を香りつけに加えたもの」とぐらいに認識しておりましたが、皆さんの精密なお調べにより刀の手入れ油に関する古来の知恵が一層ふかく理解できました。要するに、椿油は乾燥せず酸化せず、粘りがあってよく皮膜を作る性質があり、これに丁子油を加えることで、殺菌消毒と酸化防止、それに他の匂いを消してしまうほどのつよい芳香性をもたせる、いやーよく考えています。改めて丁子油ファンになります。みなさん、おおきに。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/05(Mon) 22:35

このような議題の発展が、参加の一番の楽しみです。
勉強になりました。ありがとうございました。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/06(Tue) 13:24

私勝手に思いました。
武士は丁子油を手入れのためにだけに所持・持ち歩いていたのではなく、緊急避難的に薬としても用いていたのかもしれない、などと想像を逞しくさせます。

いずれにしても、上等の丁子油を一度はぜひとも手にいれて使用させていただきたいと存じます。

このような話題発展は本当に参加者は無論のこと閲覧者にとっても、宝以外何ものでもありませんね。
どこかで、この丁子油の話が聞こえてきたら、『ちょっと自慢かな。(^^ゞ』って
思います。
楽しい話題でした。
ありがとうございます。

しかし、丁子油の話はこれからもきっと多くの情報と話題が交わされるでしょうし、それこそ『参加・発展型』サイトとして最も臨むところでございます。

皆様、これからもよろしくお願い申し上げます。m(__)m。

[440 へのレス] Re: 丁子油

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/06(Tue) 19:40

いや、本当に有益でした。昔の刀友間のだべりはヨコの関係でしたし、ＰＣ による検索というツールもない、だからここまで穿つことは出来なかった。
今回の「丁子油」にしても、現代は「丁子」という言葉自体が「死に体」なんです。江戸時代の刀剣書にある「丁子交じり」などという「丁子」は、昔の人にとってはこう表現するのが最も適切だったのでしょう。だからこそこう云った。それが今ではなんのことか分からず、単に「丁子」という言葉だけが生き残っている。これがこの間からのドリル的探索で一応の結論を得たわけですね。
たいへん良かったです。
こういうキーワードを見つけて、これからも探索しましょう。

---

[457] 出ました

投稿者：あずみ　投稿日：2002/08/03(Sat) 21:44

あずみの最新刊が出ました。
おもしろかった。

[457 へのレス] Re: 出ました

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:03

疲れたけれど、午前中になんとか頑張って本屋さんに言ってきます！
(>_<)。

[457 へのレス] Re: 出ました

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:05

言ってきます。→行ってきます。だった。m(__)m。

---

[460] 墓地清掃奉仕

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:02

只今、帰宅致しまして、シャワーを浴びました。
あ～、気持ちいい～。(^0_0^)。
でも、疲れた～。(>_<)。

毎年この時期に墓地清掃奉仕活動が地区であるのです。
約一町といいますから３０００坪の広さがあるでしょうか。江戸初期の墓石はすでにありますから、それよりもかなり前からここに墓地として成立していたのでしょう。

４時起きで６時まで無言で植木バサミの大きいの？を使って、イバラやはぜの木や桑の木をそこのけそこのけとばかりに切って突き進みます。
両前腕はもうパンパン。
握力はなし。

でも、都会から年に一度だけかもしれない帰省と墓参を気持ちよくしていただくために、あるいはご先祖様を地区で大切にという気持ちで皆さん行っているのだと思います。
自分のお墓だけきっちりしておけばいいのかもしれませんが、古い田舎の墓地はそうもいかないのですね～。

一年は早いな～と、このような行事があるたびに感じます。

[460 へのレス] Re: 墓地清掃奉仕

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/04(Sun) 07:19

ご苦労様でした。ありがたいことです。私が先祖代々の田舎の墓地へ年に３、４度帰る者です。幸い、丹波の奥も皆さんが奉仕で墓地掃除をしてくださっています。ただしここは若い方がおらず、平均年齢６０以上でやっておられます。ほんとに頭が下がります。

[460 へのレス] Re: 墓地清掃奉仕

投稿者：那太郎　投稿日：2002/08/04(Sun) 08:11

お疲れ様でした。自分も先祖の墓には２～３年に一度帰る者です。本当にありがたいことです。先祖を敬うことは最も大切なことですね。自分達が何処から来たか、という処ですから、、
こう言った事を気持ち良くされている代表だからこそ、刀も良く見えるのだと思いました。

[460 へのレス] Re: 墓地清掃奉仕

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/04(Sun) 09:14

代表、お疲れ様でした。
「気持ちの良い疲労感」、何かわかる気がします。
私は腰を痛めてしまったので、ここ３日ほど「自宅謹慎中」です。
パソコンに向かうのも、１回１５分くらいが限度かな～(>_<)
早く治さねば。

[460 へのレス] Re: 墓地清掃奉仕

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/04(Sun) 15:10

昨春、父が亡くなり今年の秋～冬には長野県人に戻る予定でいます。
夏の暑い盛り、墓の草むしりをすると何故か自分の心の中にある雑草もむしり取られていくような心地よさを感じます。
代表、良い功徳を詰まれていますね。
花散里さんも、お大事に～。

[460 へのレス] Re: 墓地清掃奉仕

投稿者：右行劣　投稿日：2002/08/05(Mon) 08:10

真改さま　大変お暑い中ご苦労さまでした。四国は今年は特に暑いように感じます。小生も四国霊場のあるお寺の檀家総代を務めさせて頂いてますが、生まれついての「バチ当たり」で、仏ほっとけと今年は今日までまだお寺のお墓や境内の清掃作務も行っていません。反省、反省、大反省今週の土曜日曜には必ずと、決意だけは充分にしていますが、さて・・・　　良いお話しありがとうございました。合掌

[460 へのレス] Re: 墓地清掃奉仕

投稿者：純井　投稿日：2002/08/07(Wed) 19:00

つい最近田舎にもどり、お墓参りは済ませてきました。しかし今年は暑いですね…今年初めて熱中症なる病気にかかりましたが、しんどかったなぁ。

[475] 刀剣界の巨星逝く

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/04(Sun) 19:02

昨日、刀剣春秋が届きました。
その記事の中に「得能一男氏逝去」の記事がありました。
刀剣を勉強する者にとって、とても寂しく悲しい記事でした。
私は、一度も面識はありませんが氏の著作の美濃大鑑などは穴が空くほど熟読しました。氏の刀剣界における多大の貢献に感謝するとともに心よりご冥福をお祈ります。

合掌

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：守重　投稿日：2002/08/04(Sun) 21:18

ええっ!!　まじですか？.....
昨年秋に鑑定してもらったり、2年前に税関で超錆錆の「河内守國英」がはじかれそうになつた時、隣から助言していただき助かったこともありました。私としては庶民的な感じだったので、かなり残念です。心より御冥福をお祈り申し上げます。

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/04(Sun) 22:08

この訃報の情報を得たのが 7 月の中旬終わりごろ、剣友からでした。

確たる証拠が無かったので電脳倶楽部に投稿を差し控えていたのですが「刀剣春秋」にご逝去の報が掲載されるにいたり、こうして電脳倶楽部に書き込みいたしました次第です。

それにしても、残念すぎます。　　再び　　合掌

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/08/04(Sun) 22:10

本当ですか...
先日の銀座刀剣感謝祭で愛刀をみてもらったばかりなのに...
その時はお元気そうでした。

氏の功績と実績に敬意を表し、衷心より哀悼の意をささげます。

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/05(Mon) 22:33

私も２冊ほど、氏の著書を所有しています。
今よりもっと初心者の頃に氏の書いた文章を読んで、「わかり易いな～」と感心した覚えがあります。
寂しいことではありますが、氏のご冥福をお祈りします。

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/08/06(Tue) 01:19<HOME>

氏には生前いろいろとお教え頂き、思い出は尽きません。初めて氏のお宅にお邪魔し、口頭鑑定を受けたときのことは特に心に残っています。ろくに刀を知らぬ若造を快く招き入れ、執筆活動でお忙しい中懇切丁寧に刀の説明をしていただきました。鑑定書は不要の口頭での説明をお願いし、一時間ほどお時間をお割き頂いたので、鑑定代として幾ばくかの金子を封筒に入れ差し出したところ、決して受け取ろうとせず、笑いながら部屋を見渡しこう仰りました。「私は今一人暮らしです。この狭い部屋に寝起きし、贅沢は無いが生活には困ってはいません。必要最低限のお金があれば十分です。」その言葉を裏付けるように部屋は狭く、そこに所狭しと書籍が積み上げられ、いったいどこに寝られているのだろうと思うほどで、贅沢とは無縁の質実な生活を送られているようにお見受けしました。刀剣の世界は残念なことに利権にまみれた面を持ち、公正であるべきものが歪曲されたりすることもあります。いかようにも歪曲することのできる立場において清廉な態度を保った氏を思うと、あらためて大きな損失と感じざるを得ません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/06(Tue) 08:48

偉い先生とは、存じていましたが
温かいお人柄の方なのですね。
swordsmith さんの書き込みで、氏のお人柄に触れさせて頂いたような気になりました。遅まきながら著書を読んで氏の冥福を祈ります。

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/06(Tue) 16:38

得能一男氏は故村上幸介先生の一番弟子であり、本阿弥流の鑑定法とは少し違った刀の見方を指導

されていたように伝え聞いておりました。
私は得能氏を直接存じ上げませんが、「美濃刀大鑑」を拝見する限りでは自らを武家目利きの系流たるべく心されていたように思われますので、氏の突然のご逝去がこの意味でも、ことのほか惜しまれます。

[475 へのレス] 得能氏と起正刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/06(Tue) 19:32

初めて買った刀剣の本は、柴田光男氏の日本刀入門で次に買ったのが得能氏の『日本刀辞典』でした。
普通の本屋さんで買うことのできる刀の本ではこの二冊が最も手に入れやすいもので、いまでも本屋さんの書棚には並んでいます。
日本刀辞典で最も印象にあるのは『茎・茎尻・鑢目』を図で示し、刀工別に分けていた箇所で、誌上鑑定には本当に重宝しました。

また、これまた結構手に入る一つである『入門　日本刀図鑑』では、例の徳島の海部刀としては最も有名なものの一つで『海部泰吉』の重要刀剣が掲載されています。
これは下記の記事で私が『小野光敬師研磨』の海部刀かも・・・、として記載しているものです。

そして、題名にも書きました『起正』の短刀。これは起正刀匠が得能氏のために製作した短刀で為銘があります。
この短刀はこれからどういう運命をたどっていくのでしょうか。
私が、起正刀匠の太刀を持っていたことがあったので、興味深くこの本の記載を覚えておりました。
昭和三十五年二月の記があるこの短刀は起正刀匠の亡くなるわずか三月前の作品で、この得能氏の日本刀図鑑に載っている戦後の刀としては『隅谷正峯』刀匠の正宗賞受賞作の押し型と共にたった二口しか掲載されていない刀で、氏の強い思いが感じられます。

どの本を見ても載っているような刀剣だけではなく、戦前戦後の短い期間に活躍された刀匠にも光を当てて私たちのような若い世代にもその魅力を紹介しているところが新鮮です。

特に、起正刀匠は雑誌『眼の目』で本阿弥日州氏らが対談しているなかにもありましたが、必ずや『人間国宝』になったであろう人物であったとのことです。

今は得能氏の『間違いだらけの日本刀選び』を読んでいるところですが、『入門　日本刀図鑑』も普通の本屋さんにもありますから、この機会に買ってみてはいかがでしょうか？

余談ですが、中に『与三左衛門尉佑定作　永正十八年八月日』の刀が掲載されていますが、永正十八年八月は大永年期に変わった年月でもあり、私が以前に持っていた偽名の佑定も同じ永正十八年八月で、この本とにらめっこして随分と悩んだり楽しんだ記憶があり、思い出の深い一冊です。

ついには得能氏には一度もお会いできる機会がなく過ぎてしまいましたが、その著書でこのように思い出あるお付き合いをさせていただきました。

最後になりましたが、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

[475 へのレス] Re: 刀剣界の巨星逝く

投稿者：純井　投稿日：2002/08/07(Wed) 19:13

氏の本は一冊も持っていないのですが、swordsmith さんの書きこみを拝見するに連れ、お会いする機会があったにもかかわらず、お会いしなかったのが残念でなりません。
謹んでご冥福をお祈りさせていただきます。

---

[492] 不思議な現象

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/08(Thu) 15:22

日本刀とはまったく関係のない話なんですが、電車に乗ると必ず疑問に思う事があります。
それは、電車が止まっている時、それも発車まで５分以上あるにも拘わらず立って乗っている人の殆どが吊革や手摺に掴まっているということです。
こんな事を言っている自分自身も以前は停車しているときに吊革や手摺に掴まっていました。
でもある時、そのことが変に思え、周りを見てみると立っている人はみんな手摺吊革に掴まっていました。
池袋から西武線の電車に乗るたびに見てみるんですが、やっぱりみんな発車までかなり時間があるにも拘わらず手摺吊革につかまってしました。
なぜなんでしょう？ミステリーです。

[492 へのレス] Re: 不思議な現象

投稿者：純井　投稿日：2002/08/08(Thu) 17:34

楽だからじゃないですかね？例えばただ立っているのでは無く、無意識によっかかっているんではないかと。個人的には思いっきりよっかかってますね、体重いんで（爆）
実際は判らないですけどね。

[492 へのレス] Re: 不思議な現象

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/08(Thu) 17:51

徳島では電車が無く、汽車（ディーゼル）しかないし、しかも一時間に一本くらいしかないし・・・。

車の無い生活は考えられない徳島では、そのような観察も容易ではありません。
(>_<)。

楽だからでしょうかね？

[492 へのレス] Re: 不思議な現象

投稿者：守重　投稿日：2002/08/08(Thu) 20:47

「其処に手すりがあるから」「其処に吊革があるから」でしょうね。私は腰骨が弱いので、立ったままの時は大抵何かに身体を接しています。汽車の中ならドアの近くの手摺に捉まります。楽だからです。私も汽車にのったら直ぐに捉まります。

[492 へのレス] Re: 不思議な現象

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/08/08(Thu) 23:07

腕が重いからじゃないでしょうか
人間の腕は結構重く、体の横に出っ張ってついているので
何もつかまないと重さがもろに肩と首にきます。
なにかをつかんだりなんとなく腕組みしてしまうのもこの
腕の重さを逃がすためだと思います。

[493] 質問

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/08(Thu) 15:42

連続投稿です。
柄巻に関しての質問です。
柄糸の種類には純綿、正絹、牛皮がありますが、どの素材が一番実用的なんでしょうか？
それから、柄糸の巻き方には捻り巻や、平巻、つまみ巻などいろいろありますが、日本武具辞典などの写真を見ると、江戸時代以前の柄巻はどれも平巻のように見えます。
平巻以外の巻方は江戸時代以降にできたものなんでしょうか？
それとも平巻が一番実用的だったから多く見かけるだけなんでしょうか？
そういえば宮本武蔵の刀の柄巻は平巻だったような気が・・・、違ったかな？
ご存知の方お教えください。

[493 へのレス] Re: 質問

投稿者：純井　投稿日：2002/08/08(Thu) 17:38

武蔵拵えは確か皮巻ですよね。でもなめし皮って滑るって聞いたんですが…握力が無いとすっぽ抜けるとか…実際は判らないのですが。
あと変わった柄巻で、紙に漆塗りって言うのを見た事があります。あれは何の為にそうしているんだろう…。

[493 へのレス] Re: 質問

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/08(Thu) 17:59

摩擦抵抗が多ければ多いほど食いついて滑らないのでしょうか？
よくわかりません。
柄巻きはデザインとか美術的要素もあるのではと考えたりします。

ナイフとか実用品でもストライダーナイフのように、柄巻きに似せた巻きをしているものもありますが、ナイフのハンドル（柄）は何も巻いていないのが多いように思います。
変わりに滑りにくい革手をはめたりしてすべりを予防しているように思いますが、いかがでしょうか？

素手で日本刀を握るのと、革手で握るのとではどちらが滑りにくいでしょうか？
革手といっても多種あるとは思いますが・・・。
野球の選手がバットを振るように革手に滑り止めをつけて後に、握るとがっちりと握ることができるかも・・・。

この辺りよくわかりません。
皆様のご意見、逞しいご想像をお待ち致しております。

[493 へのレス] Re: 質問

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/08(Thu) 19:29

私は拵に詳しくなく、まして柄巻について語る資格はありませんので、ちょっと違った角度からレスいたします。
幕末の名柄巻師「柄甚」こと森田甚之助師の若かりし頃、日本全国各地各藩の柄巻を学ばんと一念発起、諸侯出入りの刀剣商江戸下谷の伊勢竹の紹介状をもって修行の旅に出た。そしてこの甚之助師、東北は会津から西は九州薩摩まで、各藩各剣術流派の柄巻を学び、のちに名人柄甚と云われるようになったと言います。
この話は柄甚師の孫である森田作喜氏が昭和八年雄山閣発行の小雑誌「日本刀剣」の中に書いています。また柄に漆を塗った「漆柄」もこの柄甚の工夫で出来たものがそこそこあるようです。
このエピソートでお分かりのように、柄巻というのは地方色豊かな拵に合うように、また剣術の流派による好みによって様々工夫されていたものと思いますが、ご参考にしてください。

[493 へのレス] Re: 質問

投稿者：正弘　投稿日：2002/08/08(Thu) 20:22

柄巻きには色々な種類がありますね。梶原皇刀軒さんの本には２０種類以上載っていました。
美観の極は菱を大きく取って繊細な「蛇腹巻き」、もう一方武用の極みは手荒に扱っても崩れない「片手巻き」でしょうか。

未熟ながら居合を嗜む立場からいえば、柄そして柄巻きは我が身と剣の間をつなぐ重要な「インターフェイス」だと思います。私は手の内に滑り込むような皮巻き柄（つまみ巻き）が好きです。逆に凹凸があって手止まりのよい正絹の諸捻りを好む人もいます。

[493 へのレス] Re: 質問

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/08(Thu) 20:23

【柄甚その後】
名匠と云われたこの柄甚が全国の柄巻をマスターして江戸に立ち帰って間もなく廃刀令が発布、折角の腕も発揮しようがなくなってしまいます。私はこの話が実に好きで「職方逸話」の最たるものだと思っています。なぜかと云うと、当時は今と同じで時代の激変期です。明日がどうなるかという時代に、自分の仕事を唯一の天職と考えて、これをきわめることのみに全生命を賭けています。職人として、人間として、実に立派ではないでしょうか。

[493 へのレス] Re: 質問

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/09(Fri) 20:02

日本刀の柄巻は蛇の鱗に似せて作られたという話を聞いたことがあります。
なぜ蛇の鱗に似せたのかは判りませんが。

柄はたぶん滑らないのが第一なんでしょうね。
雨が降っている時などは柄に布を被せて濡れないようにしていたいいますし。
でもいざ雨の中で戦いになれば濡れてしまいますから、吸水性のイイものが望ましいんでしょうか？
織田信長は柄に荒縄を巻いて滑りにくくしていたいいますが、荒縄ってどうなんでしょう？
手と柄が完全に固定されてしまうのもなんか、刀が振りにくいような気もするんですが。

柄巻ってずいぶんたくさんあるんですね。興味があるので図書館へ行って捜してみます。

僕の先祖は武士だったそうですが、母の家系の先祖は刀鍛治だったそうです。これを聞いたとき先祖が武士より刀鍛治だったほうが良かったなと思いました。
武士は時代々々によって良くも悪くも変わってしまいますが、職人というのは腐食することのない金のような輝きがあって憧れますね。
自分にはないものなので。

---

[510] 無題

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/10(Sat) 22:09

銘：備前國住長船次郎兵衛尉治光為宇山弥四郎幸秀作　大永七年八月吉日

の末備前の刀が葵美術さんに出ていますが、戦国期の為銘の入った刀を見ると、ロマンを感じずにはいられません。
刀剣美術誌にも所持者銘の入った備前刀という題名であったと記憶しておりますが、そのような研究論文が掲載されていたことがあるように思われ､さらには単独の書籍も刀剣博物館で見たような見ないような･･･。
曖昧な記憶で申し訳ございません。m(__)m。

いずれにしても、このような刀が売りに出るのは珍しいと思います。
同じ備前で佑定にたしか『山中鹿之助』の所持名入りの刀があったようにも記憶しております。

短くても末備前の刀は人気がありますね！

[510 へのレス] Re: 無題

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/10(Sat) 22:49

薙刀直し刀　　（古刀）
銘　（金象嵌銘）荒浪一
光遜（花押）

福岡一文字

が成蹊堂さんに出ております。
福岡一文字は実物を一口しか見たことがありません。
備前を代表する刀なのに私が眼にすることはなかなかないようです。
売品としてもめったに出てきませんし・・・。

ちなみに成蹊堂さんの画像は、私の中では真鍋刀匠のホームページの画像と共に一押しの美しい画像です。
ごらん下さい。

[510 へのレス] Re: 無題

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/11(Sun) 02:20

備前刀好きの私としては、成蹊堂さんの「福岡一文字」垂涎物です(^_^)
確かに「一文字」は、有名な割りに目にすることが少ないですね。皆さん、秘蔵の品なのでしょうね。
姿かたちも良いけど、値段も良い(^_^;)
買えませんけどお邪魔して、せめて拝見させていただきましょう(^^ゞ

[510 へのレス] Re: 無題

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/11(Sun) 14:41

福岡一文字、僕もお盆明けにお邪魔する予定です。
信州土産付きです(笑)。

[510 へのレス] Re: 無題

投稿者：純井　投稿日：2002/08/11(Sun) 17:50

おお、福岡一文字だ……しかも薙刀直しだから豪壮ですね。刃紋も良いし姿も良い…正に垂涎の的としか言い様が無い逸品ですね。
拝見してみたいなぁ…。

[510 へのレス] 話題によく出る靖国刀情報

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/11(Sun) 23:42

話題によく出る靖国刀情報として、お送りします。

アップされたのがもう数日前だから、ご存知の方も多いと思いますが・・・。
靖国刀、軍刀が好きな方のために。
濃州居合堂さんで靖国刀『靖光謹作』の７０センチくらいの刀が出ています。

ここで、珍しいのが『謹作』という文字ですね。
詳細はトム岸田氏の『靖国刀』を見てもらうとして、要は普通の靖国刀とは違って入念策であり、

それなりの審査を経て後の特別な用途に用いられるための刀に
『謹作』と彫ったということらしいです。

いかがですか？
靖国刀。

最近は軍刀もヤフオクでは盛んのようです。
低価格で外装つきの楽しめる実戦刀ということで、人気があるのでしょうか。
それだけではなく、日本人の魂の拠り所としての人気もあるでしょう。

ちょっと情報でした。

[510 へのレス] Re: 無題

投稿者：dejimaya　投稿日：2002/08/12(Mon) 19:31

葵美術さんの、あの長い説明文を読んで頭は戦国時代にワープし、画像を見ると美しい片手打ちの姿に彫り物！これぞ末備前の名品と言う感じですね。日本刀は古来、実用を離れて精神的、宗教的に崇拝され特別に大切にされて来た歴史がありますが、この刀も戦国時代の匂いのぷんぷんするうぶの姿を保ち、長い間、特別に大切にされてきた品物であることが伺える挽品です。
実はもうすでにアメリカから問い合わせが来ているらしいです（> <）
こういったものこそ日本にあって欲しい、、、

---

[504] お聞かせください。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/10(Sat) 11:03

お尋ねします。m(__)m。

「武家目利き」「本阿弥流鑑定」「現代日刀保鑑定法」の違いについて教えてください。

dejimaya 様から討論掲示板へご質問がありましたが、こちらで広くお尋ねした方が良いのではないとか判断し、掲載致します。

よろしくお願い致します。

私は武家目利きというのは聞いたことがありますが、簡単に言うと斬れるか斬れないかを見ることでしょうか？
例えば、帋徹の金象嵌にあるような試斬をもってその斬れ味を鑑定するといったようなものを指すのでしょうか・・・。

[504 へのレス] Re: 武家目利きと本阿弥鑑定

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/10(Sat) 17:14

本阿弥は将軍家をはじめ大名家のお抱え鑑定家として権威があり、代金子○○枚などという折り紙を発行していましたが江戸中期以降は堕落し信用をなくしていきました。一方中川左平太（慶長）、

山野加右衛門（寛文）、山田浅右衛門（元文）など、試し切りによる実証的鑑定が流行し、また試し切りをしなくても「用に耐える地刃かどうか」を見分ける武家目利きが確立されてきました。鎌田魚妙や幕末の名工清麿を育てた窪田清音などがそれに属します。
この武家目利きの系流は明治になって今村長賀、別役成義、山岡重厚、神津伯、小泉久雄などが「中央刀剣会」を中心に活動しますが、一方の本阿弥も淋雅、光遜という偉才の出現を得て、「本阿弥会」が全国的に組織され大きな勢力となります。「五ヶ伝鑑定法」の分かりやすさと東京から地方へ出張して指導する講師先生の熱意が成功のもとでした。
戦後の武家目利き派は、「日本刀の本質美」「日本刀の禅的鑑賞」（必読の名著）の著者山田英が中央刀剣会を引き継ぎましたが、若くして病死されました。実に惜しいお方です。
「日刀保鑑定」については、差し障りがありますから、遠慮いたします。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/10(Sat) 18:20

本阿弥家以外の江戸時代の鑑定家

鎌田魚妙　山田浅右衛門　仰木伊織　柘植平助　神田白龍子　箕浦吉隆　水心子正秀　竹屋主人

近世及び現代の鑑定家

ご隠居さんの記述のとおり
今村長賀、別役成義、山岡重厚、神津伯、小泉久雄各氏のほかに
広田正郎　高瀬羽皐　竹中公鑿　杉原祥造　本阿弥天来（本家）
内田疎天　加島勲　　藤代義雄　川口　陟　本間薫山　佐藤寒山
本阿弥日洲　本阿弥光博　村上幸介　飯村嘉章　等の各氏がおります。

その中でも神津伯翁は我郷土出身ということでとても尊敬しております。

[504 へのレス] Re: 武家目利きと本阿弥

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/10(Sat) 18:42

【本阿弥鑑定と武家目利きの相違】
本阿弥鑑定はその立場上、当然ながら名物をはじめとして伝来を尊重します。具体的には国宝の相州正宗に最高の位列を与えますが、武家目利き派は「鉄質わるく混ぜ金による地景であり、とくに無銘正宗には正真性そのものに疑義がある」としています。従って、正宗、貞宗、江については、否定的であり、本阿弥の「位列尊重」に対しては「業物尊重」と云えます。詳しくは山田英著「日本刀その本質美」をお読みください。
また細かいことで云いますと、本阿弥は地鉄を杢目とみるケースが多く、助広、真改、一竿子など大阪新刀の肌を「小杢目肌詰む」と説明していますが、武家目利きは「小板目肌詰む」とします。
本阿弥光遜著「日本刀の掟と特徴」永山光幹著「刀剣鑑定読本」、小泉久雄著「日本刀の近代的研究」「犬塚徳太郎著「新解・刀剣鑑定法」各二冊を両派の代表として挙げておきます。
さらに本阿弥が美濃物の位列を低くみますが、武家目利きは「備前に比すべき真性の鉄質」と見て、高く賞揚します。

いずれを是とするかは、皆さん各自のお考え次第です。

[504 へのレス] Re:神津伯先生

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/10(Sat) 18:50

神津伯先生は、私の師匠の師匠です。

[504 へのレス] m(__)m。

投稿者：dejimaya　投稿日：2002/08/10(Sat) 21:20<HOME>

ご隠居さん、ありがとうございました。
なるほど、色々な書籍に出会った時、そう言った事を頭において読むと理解し易いですね。
「日刀保鑑定法」と言うと差し障りがあるようですか？済みません。
刀剣鑑定学は、今も日々、研究は進んでいる訳ですから、「現代」の最新の鑑定法に何か違いがあるのかどうか、気になっての質問でした。
こちら（西洋）では、また別の鑑定法（？）として「作品至上主義」と言うか、「銘」は全く気にせず、作品の出来、品質、デザインだけで価値を判断する。と言うもので、その為、幕末、明治期に金工類や刀装具類が西洋に沢山買われて行き、現在でも人気は高く日本には帰りそうもないです。

[504 へのレス] お盆休暇

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/10(Sat) 22:38

神津伯先生の墓所は　CAR レースでお馴染みの静岡県小山町富士スピードウェイの
隣の富士霊園というところにあります。
師にとってはトンテンカン、トンテンカンの槌音が聞こえる方が安らぎの音としてよかったかもしれませんが、現在、レースカーのエキゾーストノイズが富士の山麓に木霊しております。
明後日から２～３日盆休暇をもらいます。先生ご逝去後、編集された「刀影摘録
神津伯押型」とその書所載の刀を持ってお参りに行こうかと思います。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/10(Sat) 22:41

鬼丸様。

もしよかったら、神津伯先生についてお教えいただけませんでしょうか。
よろしくお願い致します。m(__)m。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：dejimaya　投稿日：2002/08/10(Sat) 23:28

鬼丸様。
よろしくお願い致します。m(__)m。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/10(Sat) 23:44

神津伯先生
明治維新を向かえ、慶喜さんとともに江戸を追われた旧幕臣たちが慶喜さんをたより
静岡の地に移住しました。

当地、静岡県沼津の地にも幕臣の江原素六、神津先生の父上などが移住しました。
江原素六先生は、沼津の地に兵学校を創立し「克己制欲」を校風のもと国防の
重要性を認識し、次世代の若き日本国の指導者の育成に尽力されました。
神津先生の父上というと当時全国的な算術の先生として幾多の著書も現存しております。
先生の母上の実家が、刀剣に造詣が深い武家の家柄ということで幼少の頃から刀剣については身近な存在だったらしいです。
明治政府に於いては今で言う「国土建設省」かなあ。　そこの水路部の技官として水路の図面書きを手がけていたように記憶します。(現在資料を貸し出し中の為細部はご勘弁願います。)

先生は、当時から押型は水路図を書く位の筆達者、其れにも増してカメラを使って写真による刀身及び中心の記録をとるという。現代刀剣学の先駆者的存在でもあります。
佐藤・本間両先生の恩師と各氏の著書の中でも紹介されています。
ちなみに、昭和２３年日刀保設立時の顧問として、お名前が列挙されております。
まだまだ、先生の偉業は数しれませんがこれが私の知るところの概略です。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/10(Sat) 23:49

ありがとうございます。m(__)m。

ところで、恥を忍んでご質問致します。
神津伯先生の文字はどのように読んだらよろしいのでしょうか？
無知で恐縮です。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/11(Sun) 02:13

私の意見として「日本刀の美」とは、必要とされる「折れず・曲がらず・よく斬れる」を徹底的に追求した結果の、謂わば「実用の美」が昇華したものと捉えています。
その意味から「武家目利き」、心情的に大いに是とするものです。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/11(Sun) 06:34

神津伯先生 仲間内では「こうずはく」先生と呼んでいますが人名の読みは
難しく、この読みが正しいか解りません。

号を堡光と言います。「ほうこう」で読みがいいのかなあ？
なにせ、本阿弥を「ほんあみ」或いは「ほんなみ」と二通りの読みがあるくらいなのでとにかく、人名は難しい。もっと勉強せねば・・・・

真改代表まともな回答でなくてすみません。m(_ _)m ゴメン
ご隠居さんお知恵をお貸しくださいませ。

[504 へのレス] Re: 神津伯先生

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/11(Sun) 08:21

鬼丸さん、神津先生のこと、私もよく知りませんでした。読み方は「こうづはく」と云っていますが、本当は違うのでしょうね。それから神津先生の弟子は吉川賢太郎、藤代松雄、犬塚徳太郎、小野光敬各氏ほかたくさんいますので、孫弟子は相当数いることになります。私は何千人の中の一人です。

[504 へのレス] Re:日刀保と日刀保鑑定

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/11(Sun) 09:38

【日刀保と日刀保流鑑定法】
日刀保についてコメントしないと却って誤解を生じますので、思うところを少し申し上げます。
日刀保は終戦後まもなく日本刀の保護を訴えるために各会派が大同団結してつくられたもので、刀剣人すべてが網羅されていたのですが、やがて内部の対立により分裂することになりました。
日刀保とたもとを分かった人達は、山田英、村上孝介、本阿弥光遜、本阿弥光博、宮形東雲、川口陟、吉川賢太郎、犬塚徳太郎、大藪良辰、その他であり、神津伯顧問はこの分裂までにすでに他界されていました。
当時独立した方々は、中央刀剣会、日本刀保存会、刀連、東雲会、日本春霞刀剣会などを設立してそれぞれ活動しますが、中央刀剣会、東雲会は設立後まもなく主宰者の物故という不幸によって閉会を余儀なくされます。
こうした他会の不振による結果、全国の愛刀家を吸収し組織できる団体として、日刀保の役割は相対的に大きくなってきたといえます。
さて次に、「日刀保流鑑定法」というのがあるのか、それは一体どういう内容か、という点についてですが、これは昭和３０年に協会から発行された「刀剣鑑定手帖」を見ればもっとも簡明に理解できます。ここには「五ヶ伝」の説明は一切なく、街道国別に刀工名が単に並記されており、刀剣の発達史順に各刀工の特徴が述べられています。いかにも「本阿弥流とはいささかも関係なく無縁」と云わんばかりで、執筆者佐藤貫一専務理事の当時の気負いをつよく感じます。と云って国宝重文には正宗貞宗江を残している以上、「本阿弥伝来の価値観」を排除できません。武家目利きのように業物主義、実物至上主義、というわけにいかないのでしょう。よく云えば「綜合的」判断です。結論として「日刀保流鑑定法」というはあるのか、といえば「あるにはあるが、平凡きわまるもので、教科書としてはもう一つ」と答えざるをえないのです。
また「日刀保鑑定の結果」については、過去に信用をなくした時期もありましたが、今は面目を一新すべくつとめておられ、徐々に信用が回復されつつあるようです。日刀保の良い点は、地方支部

にレベルの高いところがあることで、支部発行の刀剣書や図録に秀でたもののあることは皆さんご存知のとおりです。私はこの機会に千葉支部長館平吉著「日本刀鑑定要訣」を刀剣愛好者必携の書としてお勧めしておきます。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/11(Sun) 10:02

読み方は「こうづはく」先生でよかったのですね。
私は本を読んでいて時々間違った読み方をしていることに気づいて赤面することしばしばどころかしょっちゅうですので、ご質問をして良かったと思います。
ありがとうございました。m(__)m。

ところで、隠居様。千葉支部長館平吉著「日本刀鑑定要訣」は直接、千葉支部へ申し込んだらよろしいのでしょうか。
それとも、刀剣博物館へ尋ねる方がよろしいでしょうか。
よろしくお願い致します。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/11(Sun) 12:04

真改２００１さん、申し訳ありません。お勧めの館平吉著「日本刀鑑定要訣」は昭和 57 年雄山閣の出版です。もう古書の部類でした。
この本には 1 枚の写真も説明図もありませんが、何度読んでも飽きることがありません。一度探してみてください。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/11(Sun) 14:06

＞真改さん

「日本刀鑑定要訣」については、現在「絶版・重版未定」であり新本での入手はできませんでした。
思いつく限りの「古書検索」もしてみましたが、ヒットしませんでした。
古書店に入荷されるのを、気長に待ちましょう(^_^)

[504 へのレス] 「日本刀鑑定要訣」

投稿者：dejimaya　投稿日：2002/08/11(Sun) 20:06

早速、全力で探します！

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/11(Sun) 20:40

隠居様。皆様。
日本刀鑑定要訣はございませんでしたか～。(>_<)。

きっと、ここで話題になったので、以前話題になって大阪の本屋でまとめて買われていったという『刀工作風事典』のように数年は姿をみないかもしれませんね。

話題になることは良いこと。
しかし、物がなくなるのは困ること。
(>_<)。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：出島屋　投稿日：2002/08/11(Sun) 21:15

私、買い占めたりはしません。１冊で満足です。誰かお持ちでしたらご連絡お願いします。m(__)m

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/12(Mon) 02:17

そうですかー。この物余りの時代に古書だけは中々ありませんね。活字でなくコンピューター製版のものなら重版が簡単だと思うんですが、重版で売れる数が少ないんでしょうなぁ。大体「最低２，０００部」らしいんですが、これが無理らしいです。ペーパーレス時代だといいますが、図録や写真版は中々ペーパーレスいうわけに行きませんからねー。簡単に復刻できる「大発明」が要りますか・・・。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/12(Mon) 11:49

夜勤明けで眠い、しかし

真改代表　皆さん　今年２月号「刀和」に「日本刀鑑定要訣」（少汚）３．０００円がでていましたよ。　（でも今は８月、すでに売り切れているかも？）

以上、当てにならない速報でした。

[504 へのレス] Re: お聞かせください。m(__)m。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/12(Mon) 23:06

情報ありがとうございます。m(__)m。

刀和や麗はいつも東京辺りの人と比べると、どうしても到着が遅いらしく、書籍でめぼしい物は即問い合わせても大抵は『売却済みでございます。』です。
(T_T)。

気長に探します。(^.^)。

刀工作風事典も欲しいと思ったその日から何年後に手に入ったことでしょうか。
たぶん、５年以上はかかったのではないでしょうか。
いまだもって入手は困難な状態は変わりませんが・・・。

気持ちの熱いうちに買いたいのが正直なところです。
古書の探索は辛いですよ。(T_T)。

---

[530] とうとう中国語

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/11(Sun) 22:45

葵美術さんのホームページはネット販売の先駆者的・模範的・先進的な所といつも拝見しながら感じている次第なのですが・・・。

とうとう、中国語のページまで作られたようです。
ということは問い合わせや購入のお客さんが台湾や中国を含めてアジア周辺にいらっしゃるということでしょうね。

まったくもって、度肝を抜かされます。
個人的にアジアの各国に顧客を抱えている刀剣商さんはいらっしゃるでしょうけど、中国語のものまではどこも作ってないでしょうね。

いや、もっと凄いところもありまっせ～。ってのがあったら教えてください。
m(__)m。
どうせ、読めはしませんがね～～。(T_T)。

恐れ入りました。m(__)m。

[530 へのレス] Re: とうとう中国語

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/12(Mon) 01:09

あれ？代表、お忘れですか？
前回のオフ会でのこと、ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんが中華料理屋さんで何やら中国語を話してたじゃないですか～？
いや、たまげましたよ、アレには。
刀屋さんにとって中国語ってもはや必須外国語なんでしょうか？
どの程度の市場があるのか興味ありますね。

[530 へのレス] Re: とうとう中国語

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/12(Mon) 15:12

中国？？に日本刀を販売してるんですか？
なんとまぁ～グローバルなんでしょう。
中国の一部都市は、ドックイヤーが駆け足するぐらいで近代化してますよね
日本の歌手やファッションには、とても関心があるようでしたが
日本刀にも関心を示していただいて、
驚きと共に感謝。

中国の交通ルールは「勇気一番」知ってます？

[530 へのレス] Re: とうとう中国語

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/08/12(Mon) 20:36<HOME>

ありゃ、ありゃ、私の中国語は日本刀に関係する現場ではほとんど使わないですよ。最近は中華料理を食べるときにしか使いません。葵美術さんと比べられるとあまりにも次元が違うのでお恥ずかしい。中国語を話す刀剣商は私だけですが、刀剣界で最も必要とされる英語に精通しておられる方は以外にも多数おられます。(有名刀剣店の経営者の) なかにはアメリカの大学を卒業されている方もおられるんですよ。和骨董の世界もワールドワイドになったものです。

[530 へのレス] Re: とうとう中国語

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/08/12(Mon) 20:50<HOME>

ちなみに中国語圏の需要は意外にあるのかもしれません。私の所にも大陸、台湾、香港から月に数件の問い合わせがあります。大陸は北京、上海からの問い合わせがほとんどで、台湾の場合は警察関係者の多くが日本刀を収集しています。香港は日本刀、小道具ともに熱心なコレクターが多くおられるようです。私の勝手な所感ですので軽く聞き流してくださいね。　ちなみに中国のある軍部が某施設に大量の日本刀を保管しています。巨大な倉庫に数千ではきかない数が山積みになっているのです。錆びないうちに日本に戻してあげたいものです。

[530 へのレス] Re: とうとう中国語

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/12(Mon) 21:12

英語とスペイン語を話すスペシャリストもいらっしゃいましたね！
!(^^)!。

中国に大量に保管されているという刀剣類を、是非ともに輸出して欲しいですね。
外貨獲得には有効ではないでしょうか？
あるいは、最高の材料を用いて外装を中国の職人さんに教えて格安にて製作し、
輸出あるいは逆輸入ってのもいいのではないでしょうか？(^^ゞ。

欧米圏からの輸入から、中国圏からの製作した後の輸入へと変化していくのもおもしろいのではないでしょうか。
昨今の厳しい経済状況の中、欲しくても変えない刀剣の裾野を広げる意味でも、
中国の眠れる『刀』を揺り起こしたいではありませんか！

[530 へのレス] Re: とうとう中国語

投稿者：守重　投稿日：2002/08/12(Mon) 22:05

中国圏に残っている刀剣って、昭和刀や無鍛練刀が多い？みたいですね。でも残っている１割でも鍛練刀があるとしてもかなりの数です。米国では現在は掘り出し物はかなり数が減ってしまったようですが、これからは中国が掘り出しの地となるのでしょうか？

[542] 教えてください

投稿者：クマ　投稿日：2002/08/13(Tue) 11:06

昔の話で刀の実用性についてなんですが、古刀の研ぎ減りしたものは曲がりや折れやすく実用は難しいと言う意味の事が本に書かれていますが、実際どのくらいの身幅と厚みならば実用に成ったのでしょうか。

[542 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/14(Wed) 00:19

斬る対象物にもよると思いますが、難しい問題のような気がします。

『古刀の研ぎ減りしたもの』ということがまず難しい。
だったら新刀さらには現代刀でも研ぎ減りしたものではどうなのか・・・、とか。

個人的には身幅は狭くても重ねがあるほうがしっかりしていて、頼りがいのある感じがします。

これはちとわかりませんね～。
皆さんはいかが思われますか？

[542 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：クマ　投稿日：2002/08/14(Wed) 10:03

>『古刀の研ぎ減りしたもの』ということがまず難しい。

古刀は作られてから時間が長く実戦の機会も多いから研ぎ減りも多いと解釈しています。

古刀に限らず実戦で使い刃こぼれしたのを研いだ場合も同じです。

日本人は平均古い物の良さを見つけ、新しい物の評価を少し低くする国民性が昔から有ったのではないかとも思います。

今刀を勉強し始めて写真で見たり、展示会で見たりしても余りに寸法の違いが有り同じ舞台で戦うのは無理だと思え実用に成る寸法はどの位なのか興味がでました。

[543] 「関の孫六」盗難事件

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/13(Tue) 15:15

岐阜県関市・産業振興センターで盗難にあった「関の孫六事件」ですが、容疑者は逮捕され起訴されていたんですね。
今までシラナカッタ！

でも、あの三口の日本刀は何処に・・・。
「振興センター」に戻ったのでしょうか？

[543 へのレス] この記事ですね

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/13(Tue) 16:16

今年２月、岐阜県美濃加茂市の市立博物館「みのかも文化の森」から特別展示中の故東山魁夷画伯のスケッチや木版画が盗まれた事件で、愛知、岐阜両県警は１３日までに、窃盗の疑いで住所不定、元運転手河合捷容疑者（５６）ら２人＝いずれも別の窃盗事件で起訴＝を再逮捕した。
　河合容疑者は６月、岐阜県関市の産業振興センターから「関の孫六」作など室町時代の日本刀３振り（計約４６００万円相当）を盗んだとして逮捕、起訴されていた。　（時事通信）

[543 へのレス] Re: 「関の孫六」盗難事件

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/14(Wed) 00:23

書きっぱなしの記事ではなくて、盗難品の顛末も知りたいですよね。

容疑者逮捕の記事の中身としては、誰が盗んだかよりも物の行方の方が気がかりです。
日本刀３振り（計約４６００万円相当）でこの評価は大変な価値ですからね。

昔々、高知で純金の鰹が盗難にあったときも、行方が気になりました。^_^;。

[543 へのレス] Re: 「関の孫六」盗難事件

投稿者：純井　投稿日：2002/08/16(Fri) 00:13

そういえば本当に何処行ったんだろう？なんか取り調べ中って話ですが。
絶対にマタしても土の中だけは勘弁して欲しいですね。

[551] 現代刀

投稿者：千手院義弘　投稿日：2002/08/16(Fri) 18:32

今日、日本刀関係の本を整理していると「平成 11 年新作刀展覧会入賞作品集」が目に入りページを開いていくとなんとどうみても刃文が山鳥毛！しかも茎までそっくり！！作者を見ると真改代表さんの好きな大野義光刀匠でした。そんなに現代刀に興味のなかった私は目からウロコ状態、古刀の再現は自分の生きている間は無理とふんでいたので驚きました。本歌と並べてみると違いはあるのかもしれないけれど自分的にはもう現代刀で古刀の再現はできているのではないかと、もし鎌倉時代頃の刀作りが解明されたとしたら現代刀匠の目標はどこへむけられるのでしょうか。
そういう時代がいつか来るのだと思うと楽しみです。

[551 へのレス] Re: 現代刀

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/16(Fri) 20:34

そうですよね。
あの「山鳥毛写」は、背筋がゾクっとするぐらい
すばらしいですよね。
さあ「平成 11 年新作刀展覧会入賞作品集」を書棚から

探さなくちゃー気になって眠れなくなりそう。

[551 へのレス] Re: 現代刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/16(Fri) 21:25

山鳥毛は大野刀匠も言われていましたが、『ずぶ焼き』の可能性が非常に高いそうです。
土置きをしないで焼入れするので同じものは出来ないし、偶然の産物の賜物かもしれません。
それを推理する理由としては同じものあるいは同じようなものが存在しない、ということが挙げられます。

しかし、大野刀匠はそれを見事に再現しました。
未だこれを再現した刀匠は一人もいません。
独断場といってよろしいのではないでしょうか。
ゆえに人気も高く不動のものなのでしょう。

大野丁子は後世にまで高く評価されることは間違いないでしょう。

また機会があれば拝見したいのが、『松田次泰刀匠』の作品です。
地刃ともに古調であり、現代刀とは見えないということです。
手にとって拝見せずにはいられません。

現代刀の素晴らしさはこれからもっと進化するでしょうね！

[551 へのレス] Re: 現代刀

投稿者：千手院義弘　投稿日：2002/08/16(Fri) 22:49

800 年前に偶然にできたかもしれない刀をねらって忠実に再現するのはすごく大変だったでしょうね。大野義光刀匠の山鳥毛への情熱をこの刀を見るとすごく感じます。
（後世に残る仕事）「一度でいいからそういう仕事をやりとげたい」、なんて思わせてくれる日本刀には、新しいから、古いから、なんてのは関係ないすごい力があるのですね。

[551 へのレス] Re: 現代刀

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/17(Sat) 00:51

南北さんから聞いた話では、大野刀匠の今年の新作刀展出品作は山鳥毛ではなくて、『山姥斬り』写しのような体配であったとのこと。

たしか 2000 年か 1999 年に同様の出品作があったと思いますが・・・。

大野刀匠の写しは長さ重ね反りは無論ですが、茎の形状にいたるまで細部を採寸し検証を重ねたであろうと思われるほどの写し物です。
しかも、独自の刃紋を完成しておられるがゆえに、写し物というジャンルを超えた世界を形成しているように思います。

[558] 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/18(Sun) 14:01

盆休みで書棚の整理をしていたら、以前田舎の素封家で見た刀の目録というかメモが出てきた。その時はなんと２０数本の刀を見たのだが真面目な刀がわずかに１振だけだった。メモを見て思い出し、笑ってしまった。長光、兼氏、虎徹、井上真改、水心子正秀、左行秀等々、こんな刀が一本ずつ金襴の刀袋に入れられて紫の紐でくくられている。ご大層な紐をほどくと本拵のままで刀が入っている。ご存知のように、こんなものに正真物のある筈がない。しかしながら相手は地方の有力者で得意満面、「ご立派なものですなぁ」と褒めておきさえすればご馳走になって万事めでたしめでたしなのである。
でも私は人間がそこまでわるくないから、これらの刀をほめるだけ度量がなく、そのかわりに相手が一番あとから出してきたその土地の現代刀をほめそやしておいた。
「刀はどんな刀でも文化財」という純情論もあるが、これはいい加減な刀屋を喜ばせるだけの話だ。どうしようもないレベル以下の雑杷刀が世の中には驚くほどたくさんある。一説には刀が２００万本あれば１５０万本はこの雑杷刀だという。旧幕時代に足軽中間の指した「お借り道具」がそうだし、近くは昭和刀がそれである。私の主張は、愛刀家たるものどんなに安い刀であろうと真面目な「刀」をもつべきであり、いかに鞘書や証書が付こうが「がたな」はもつべきではないと思うのです。みなさんの中にはもちろん反論もありましょう。どうぞ仰ってください。
ここへおいでの皆さんはこういう「お借り道具」をお持ちになる筈はないが、初心者のお方はご用心ご用心。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：クマ　投稿日：2002/08/18(Sun) 16:49

持っている刀を見ていたのですが、焼きが無いのと中心の仕上げがまるで玩具と言うのはダメと分かりましたが他のは、真面目に作られていて大事にされていた様に見え判断できません。

本も数冊有りますが、又Ｙオークションに５冊ほど入札しています。予算も余り無いので全部は落札出来ないと思います。今までに本代で７万位使いました。

今自分の持っているのはＹオークションで買った最高が２５万で他は１０万位が３振りともっと安いのが３振りです。全部キズが有るから安かったと思っています。

こんなレベルですが、真面目な刀とダメ刀の分け方をどこを見ればよいか教えていただきたいと思います。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/18(Sun) 17:59

クマさん、こんにちは。本にお金を使うのはよいことです。一目で刀とダメ刀が区別できる鑑別法ですか、そこそこ刀を勉強した人に見せると、一目で分かります。
その見所はいくつもありますが、まずは姿体配、姿が凛としているか崩れた姿か、数打ち物の格好か、地鉄の鍛えが刀としての鍛えか無鍛錬刀か、刃文の焼きはまともか、もしくは油焼きのようなものか、また刃文は健全か、再刃か、中子は丁寧に作られているか数物風か、焼いたり錆びつけさ

れたりしていないか、等々です。
そしてあなたの刀ですが、１０万の刀３本、２５万が１本とのことですが、刀をゴルフのクラブと勘違いされていませんか？居合刀にしても１本あればいいでしょう。予算が少なければ、自分がこれと思うもの１本にされては如何でしょう。
「人切り包丁」は持っていても危ないだけです。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/08/18(Sun) 18:21

ご隠居さん。クマさん。なんだか寄席のようですが、はじめまして
ズブのド素人、超初心者の刀士郎ともうします。
皆様お久しぶりにおじゃまします。
はじめての一口　粟田口近江之守忠綱を手にして依頼、ますます熱が出てしまいました。つぎはもう古刀がほしくてほしくて。
しかしながら静岡県の田舎におりますとネットで刀は拝見できても実物を手にして目を肥やせません。
正宗展をみて突然の目覚めではじめた趣味ですので周りに仲間もおりません。
刀剣のことを話すと皆めずらしがりますが一人として趣味としておりません。
クマさんとまったく同感です。
どうすれば目を肥やせるのか　ご隠居さん
宜しくご指導ください。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：クマ　投稿日：2002/08/18(Sun) 18:47

隠居様

去年の６月なにげなくＹオークションを見ていて、刀を見つけ買い始めました。それまでは見た事も無い素人でした。

初め数万円のものを買い次に１０万円の物最後に２５万円と言う買い方をしました。

とりあえずこれ以上は買わずに勉強していくつもりです。

初めは「人切り包丁」としての興味でしたが、今は研ぎ師さんに頼み込んで少しずつ其れなりに仕上げてもらうようにしています。今も１振りお願いしています。

刀の作る苦労と研ぎ師さんの仕事は少し分かってきたつもりです。

良い刀とはどんな物か、ほんとに命をかけた人が持っていた物か勉強中です。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/18(Sun) 19:49

刀士郎さん、クマさん
刀は本来、武士の持つものであり、刀の格好をした刀（ダメ刀）は足軽中間の持つ刀です。足軽中間は「武士でない武士」で、俸禄は年三両一分、俗にいう「さんぴん」です。冬でも羽織は着用禁止、その代わりに蓑や紙子を着ました。雨が降っても傘や下駄は許されず、上士が来ると「土下座」と唱えて地面にひたいをすりつけます。江戸の庶民がこういう「武士でない武士」のことを「びしょ」と云ったのはこのびしょびしょに濡れた姿からです。このような足軽中間槍持ちの指す刀が「お借り道具」であり、もちろん主家のものです。
われわれ刀剣を趣味として学ぶ者が求めるのは、武士の指し料であった正真の「刀」であり、「びしょ」が主家から借りて指した「がたな」ではないのです。足軽が武士とは似て非なる武士であるのと同様に、ダメ刀も姿かたちは刀に似て、その実はまったく非なるものなのです。
また、研師は１０年修行してようやく独立できるほど高度な技術を要するもので、２年や３年で研げるものではありません。また研ぎ賃は脇差短刀で１０万円から１５万円、刀は２０万円です。居合刀は別ですが、これより安い研ぎなら研がないほうがましと云われています。高いんですよ、刀は・・・。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/08/18(Sun) 21:53

ご隠居さん
素人相手に、本当にありがとうございます。
私も「かたな」ではありませんが　「もの」を作る仕事ですので　研ぎをはじめ刀を創ってきた刀工の凄さは　多少なりとも理解できるようなきがします。
又、それだからこそ二口めは　慎重に選ぼうと簡単に買ってしまうのをこらえておりました。
やはり、正真の「かたな」は　エイヤーで買ってしまえませんね。
以前いただいた真改さんのアドバイスともども刀剣を趣味として学ぶうえで心にとどめておきたいとおもいます。

№５６１は№５６０に入るはずでしたがキーボードのタイプにてまどり№５６１となりました。
私の目も５０年程使用した古物ですが、ご隠居さんを見習いスムースに打てるようがんばります。
しかし、これから目利きになるのはたいへんですか？

[558 へのレス] 銀座情報から、抜粋

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/19(Mon) 23:07

長州屋さんの銀座情報九月号が参りました。
その中に、失敗しない最初の一振り②と題したコーナーがありました。
以下のような内容がありましたので、抜粋してご紹介致します。

『ただ、ご注意を申し上げておきたいのは、廉価であるからといって、研磨の施されていない刀は

お薦めできません。研磨の後にその錆びの下から如何なる状態が出現するか全く分からず、厚く深い錆が生じていればなおのこと、表面の錆が内部に侵行している可能性は極めて大であるとお考え下さい。つまり、いくら廉価であっても、研磨の不完全な作品は勉強にならないということ。因みに研磨代金は、三センチ当たり五千円から二万円ぐらいで、決して安価ではありません。
疵を発見してからでは遅いですし、誰も内部に隠れている疵についての責任は負えません。』

クマ様。刀士郎様。
銀座情報や麗・刀和といった一流の刀剣商が発行している通販誌にはこのような購入に関した指針も掲載されていることがあります。
ネット上のように頻繁な更新はありませんが、月に一度の通販誌が来るのを待つのも楽しいものです。

上記の文面は抜粋したものですので、前後のお話の流れや全体の内容をぜひ読んでみてください。
先月号から『失敗しない最初の一振り』というコーナーが銀座情報で開始されました。
年間の購買額もお安いので、先月号は見本でサービスしてもらって(^^ゞ、今月号からでも読んでみてはいかがでしょうか？
刀士郎様はすでに麗を購読されているようですので・・・。

私はネットがこれほど広がる前には通販誌も７種類くらい買っていました。
そうすると大体私が眼に手にすることが出来る可能性のある刀剣の相場が、なんとなく把握できるようになりました。

あそこにあったものが、こっちにも出てきた！
なんてこともあって、そんな楽しみもありました。(^_^;)。

振り返って、今、思うことは『こんなに買うのなら、最初から良いのを一口買っとけばよかったな～(T_T)。』です。
かといって、いきなり最初から重要刀剣も買う勇気はありませんしね。
難しい問題です。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/19(Mon) 23:22

＞クマさん、刀士郎さん
「投稿画像掲示板」の、「オークション、こりゃねーだろー」も是非ご覧下さい m(__)m

ご参加皆様の、涙と笑いの体験記が書かれております(^_^)v

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/20(Tue) 00:00

＞「刀はどんな刀でも文化財」という純情論もあるが、これはいい加減な刀屋を喜ばせるだけの話だ。

まさに、そのとおりだと思います。
武器と言う刀本来の用途を考えれば、有事の際「斬れさえすれば良い」似非刀が粗製濫造されたのは自明の理でしょうね。
戦場に於いては侍一騎に郎党などが３～４人付きますから、単純に考えれば「刀」一振りに対し「似非刀」３～４振りの計算もできます。
ましてや足軽などは、侍の何十倍～何百倍いたでしょうから・・・
似非刀は耐久性なども無いでしょうから「使い捨て」に近かったのかもしれませんが、その膨大な数から確率論的に言っても現代まで残っている可能性は高いと思います。

と言っても私などは、初心者の悲しさ。ご隠居さんの仰る「物を見分ける目」があるはずも無く・・・ではどうしたかと言うと、「長巻き直し」「目釘穴４つ」の宇多國清を求めました。
新しく刀を求めずにわざわざ長巻きを刀に直していることや、目釘穴の数から複数の拵えに納まってきたのではないかと想像し、つまり代々それなりの扱いを受けてきた刀だと判断しました。
生兵法でしょうか？(^^ゞ

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/20(Tue) 06:38

ネットのオークションで刀が出ているようですが、真面目なものならこういう売り方はしない筈です。実際にもひどいものが多いようですね。
これに比べて、真改代表か云われるように、銀座長州屋や柴田では写真や押し形で販売していますから勉強になりますし、まず水準以下のものは売りません。位列にこだわらなければ、数十万円で一生楽しめる筋のいい脇差なども見受けられます。
また、花散里さんが書かれているように、中子に穴が三つもあけられて長い間大事に使われてきた痕跡がはっきり残されているものを選ぶのは、格安であることと相まって、たいへん賢明な選び方です。
刀の勉強ですが、これは各地の刀剣趣味の会をさがして、電話され月例会に出て、実際に手にとって鑑賞する機会をつくることですね。どんな田舎にでも県庁の所在地ならどこかの会の支部はあります。真面目な入会者は、暖かく迎えられます。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/08/21(Wed) 00:15

真改さん
今回もありがとうございます。
麗をはじめ刀和、銀座情報、愛刀とさらに数件の刀屋さんのカタログを毎月手にしております。毎号ホントに楽しませていただいてます。

ご隠居さん
じつは私もいずこかの会に入会をお願いしようかと思いさがしています。早く見つかればよいのですが・・・。そしてご隠居さんのような先生が居られれば
最高なんですが。

花散里さん
中心の穴の数は角度が違った楽しい鑑定方法で感心しました。
ところで一鶴さんの　こりゃーねーだろー　笑っちゃいました。でも自分が買い手なら　なけちゃいます。
しかし、この拵えのつなぎはなつかしかったです。それというのも
私の子供の頃、我が家に小さめの拵えがありましてオモチャにして遊んでました。チャンバラごっこをしたつなぎには　一鶴さんのつなぎとおなじように墨で波紋を書いたりしました。流石にはばきまではてがまわりませんでしたが。
案外　あの拵えの売り手はある程度年配者かもしれない・・・。
それにしても近頃子供達のチャンバラごっこをみませんネ。赤胴鈴之助や鞍馬天狗はどこいったたんだろー！？
ながなが失礼しました。

[558 へのレス] Re: 刀とがたな、この似て非なるもの

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/21(Wed) 06:02

刀士郎さん、会に入れば一つ一つの物事について即刻教えて貰える指導者や先輩は複数いますよ。でも自分で求めなければダメです。「聞くは一っときの恥、知らぬは一生の恥」とか云いますからネ。

---

[566] 鉄鉱石

投稿者：久　投稿日：2002/08/19(Mon) 23:10

今月頭の事ですが家から車で１時間くらいの所で鉄鉱石の採取をしてきました。ここでは江戸時代の時から鉄鉱石を原料として鉄の生産が盛んな所でした。

それに１１代兼定が４年間この地で作刀をしており１１代作で中心に『以南部岩鉄造』とあるのは鉄色が微妙な黒さを醸し出しているのが多く、ここで採取された鉄鉱石を原料に造られた鋼を使用したのでは？と推測が出来ます。これを使えばあの淡い黒色の地鉄が再現出来るのでは！？！なんぞボカシかけられてしまいそうな位スケベ心たっぷり出して先輩の従兄弟鍛冶屋にあたる方と行ってまいりました。

（朝の６時くらいに「今、湯沢なんだけど今から行く！」と電話があったのでした。寝てたのに、、、。）

しかし虻が多くいて刺されまくりの中川底を磁石片手に健闘している中先輩鍛冶を見るとフライフィッシングの真っ最中！さすが私と大師匠が一緒なだけあってやる事が少しムーミン谷思考な先輩でした。（当事者が拾わんとは。）

結果は２０キロ近い塊、１０キロの塊、げんこつ半分くらいがぽろぽろっと採取出来ました。

ここいら辺の鉄鉱石は鉄の含有量が非常に高く赤めて割った後、卸しますと非常に粘りがありよい鋼になります。卸した時に出来た銑鉄なども交金しますと金筋の良く入る面白みのある地鉄になります。

後はこれを使って造るのみ、、、、。
何を造るのかって？　　そりゃ企業秘密です。

[566 へのレス] Re: 鉄鉱石

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/20(Tue) 16:34

鉄鉱石は、川の中で見つけるんですね。しかも、フライフィッシングのできるようなところで・・・(^.^)
「鉄鉱石の採取」と聞いて、私は思わず「つるはしを肩に担ぎ、ライトつきのヘルメットをかぶった久さんが、トロッコに乗っている図」を想像してしまいました(^^ゞ
１１代兼定が使用した材料と聞けば、素人考えでは同じような出来を期待してしまいますが、やはりそんな単純な話ではなさそうですね。
作品完成の暁には、私にもぜひ目の保養を m(__)m

[566 へのレス] Re: 鉄鉱石

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/20(Tue) 21:28

現代鉄透かし鍔製作で有名な『成木さん』は、全国を行脚して鉄を採取して、自家製鋼し、試行錯誤の積み重ねを経て今の境地に達したと、大筋でこのような内容の記事を読んだ記憶があります。

刀匠では『真鍋純平』刀匠が千種砂鉄を使用しての作刀で有名ですが、古来からそのような鉄の採取の場所は特に茎に刻んだりして、今の時代にも伝えられているようです。

物造りのこだわりが、作刀技法だけではなく、その原材料にまで及んでいくという姿勢をお聞きしますと、製作の苦労はもとより、研究・向上心のある心意気が伝わってくるようです。

鍔製作者の成木さんは鍛錬の方法においても『てこ棒』を使用せずに『火箸』で行う方法を『古い時代の鍛冶屋はてこ棒を使用せずに火箸を用いた。』という古老の話から実践され、研究されたようです。

刀も鉄鍔も古刀期の作域に挑戦しようとすると、多くのことを考えなければならないようです。

さて、久さんの企業秘密の完成品は一体なんなのでしょう。
これは楽しみですね！

[566 へのレス] Re: 鉄鉱石

投稿者：久　投稿日：2002/08/21(Wed) 01:23

墨流しの爪楊枝などとても言えなかったり、、。

[583] 刀がぬけなくなってしまいました

投稿者：初心者　投稿日：2002/08/21(Wed) 10:05

はじめまして、初心者です。
間抜けな質問で申し訳ないのですが、柄に収めた中子が抜けなくなってしまいました。
もともときつかったのですが、今回はびくともしません。
こういう場合ってどうしたらよいのでしょうか？

ご教授ください。

[583 へのレス] Re: 刀がぬけなくなってしまいました

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/21(Wed) 11:22

その刀が上研ぎのしてある名刀か、まあ大したものではないのか、それによって扱いが違います。名刀なら、刀屋さんへそのまま持って行きなさい。ちゃんとした道具がありますから、白鞘の鯉口を痛めないで簡単に抜けます。
サビ刀で白鞘もまあまあなら、左手で鞘を持ち、右手に本身をもって、えいやーと鞘の中へブチ込んでください。反動で抜けます。これもあわててやらないで、頭の中で一度予行演習し、危険のないよう、出来るだけ刀が痛まないよう、よく考えてやってください。

[583 へのレス] Re: 刀がぬけなくなってしまいました

投稿者：初心者　投稿日：2002/08/21(Wed) 12:09

なるほど、ありがとうございます。やはりそういう道具があるのですね。
名刀というほどでは有りませんが、念の為,刀屋に持っていきます。

ちなみに、抜けないのは刀身と鞘ではなく、「ナカゴ」と柄です。

情報、有難うございました。

[583 へのレス] Re: 刀がぬけなくなってしまいました

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/21(Wed) 12:33

もちろん、刀身が鞘から抜けなくなることはまずありません。茎が柄から抜けなくなるのは、ままあることです。鞘から刀身を１０センチほど抜いた状態から、鞘の中へ勢いよくぶち込むと、当った反動で茎が出るのです。しかしこれは乱暴なやり方ですから、おすすめ出来ません。サビ刀の場合です。
しかし、保存されているところは湿度があるのではないでしょうね。

[583 へのレス] Re: 刀がぬけなくなってしまいました

投稿者：初心者　投稿日：2002/08/21(Wed) 18:49

湿気のあるところでは有りません。また、現代刀ですのでナカゴにさびもございません。もともと柄の穴が狭かったにもかかわらず、ナカゴを差し込んだので（別に強引に入れたわけでもないのですが。。。）抜けなくなってしまったようです。今週末にでも刀屋に見てもらうことにいたします。

有難うございました。

[583 へのレス] Re: 刀がぬけなくなってしまいました

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/23(Fri) 08:13

初心者様（なんか、書きづらいなぁ^^;)、はじめまして。

私も白鞘を新調したときに同じ経験がありますので、自分で茎抜きを作りました。(市販のものもありますが)
木工ですので、不器用な私でも簡単に作れました。
今後のこともありますので、貴殿もお作りになったら如何でしょうか。
アドレスを頂けるなら、画像・寸法等送りますけど・・・。

---

[548] 生まれて初めての阿波踊り

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/15(Thu) 22:00

本日、徳島市阿波踊り最終日。
恥ずかしながら、生まれて初めて阿波踊りを踊りました。(^_^;)。

参加は二回目ですが、前回は大太鼓で参加しましたので、正味の阿波踊りは今回がお初ということになりました。
徳島県人だからといって全員が阿波踊りが上手いわけではなく、今夜踊ってみてその体力の凄まじい必要性と、見せる技の完成がものすごい鍛錬の上に成り立っているのだと肌で感じてきました。

演舞場に入りますと、恥ずかしかった気持ちも吹っ飛び、一所懸命に踊り、我を忘れて踊りました。

酒ばかり飲んで秩序の無い学生連のわけのわからん踊りは何年経っても同じですが(ーー;)、訓練された踊りと『にわか連』と称する飛込みの一般市民の参加型の阿波踊りは見ていても気持ち良いし、はじけて楽しそうです。

踊ってみて初めてわかった楽しさです。

刀を初めて持った嬉しさも楽しさも、数年前のことになりましたが、きっと今夜のような新鮮な気持ちであったことでしょう。
いつまでも初心を忘れることが無いようにとは昔の人の良い言葉ですが、なかなか一時を過ぎ去れば維持することは甚だ難しいようです。

心地よい疲れは心身ともに癒されますね！(^o^)丿。

[548 へのレス] Re: 生まれて初めての阿波踊り

投稿者：純井　投稿日：2002/08/16(Fri) 00:17

おお…阿波踊り。踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆ならおどらにゃ損損って言うアレですね。でも魅せられる様に見せるには苦労するんですね矢張り。
踊りってのは体力が要るって言うのは聞いてましたが、これは相当必要なようですね。恐らく今の私の体力では不可能に違いない。

[548 へのレス] Re: 生まれて初めての阿波踊り

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/16(Fri) 20:27

最終日「にわか連」で踊りましたよ。
私も長年、見学派でしたが
４５名の県外チームを引率し「にわか連」で踊りました。
青いハッピを着まして、「新町演舞場」「元町演舞場」「南内町演舞場」を
乱舞？？？いたしました。
真改さんの言われるとうり、すんごく体力が要ります。
でも一年のストレスは、吹き飛びますよ。
ぜひ一度は体験してくださいね。

[548 へのレス] Re: 生まれて初めての阿波踊り

投稿者：純井　投稿日：2002/08/17(Sat) 10:27

一年分のストレスが吹っ飛ぶんですか、そりゃー気持ち良さそうですね。
仕事との折り合いがつかないと如何にもなら無いとは思いますが、一度行って見たいところではあります。

[548 へのレス] Re: 生まれて初めての阿波踊り

投稿者：松永弾正　投稿日：2002/08/22(Thu) 07:54

皆様お久しぶりです。　踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損損…という有名な踊りですね。　てっきり、徳島県民はみんな阿波踊りが得意だと思ってしまいました。(爆死)　テレビで見る限りは楽しそうですが、実際に踊るとなると相当な体力がいるのですね…踊りは苦手で、ちょっと昔に流行ったパラパラですら踊ることができないのですが一度は体験してみたいと思います。

Ｐ．Ｓ．:勝瑞城跡の画像堪能させていただきました。　友人と共同管理で三好長慶をメインで扱った家頁も立ち上げましたので、勝瑞城跡も史跡レポートとして掲載するためにまた行くかもしれないです。

[548 へのレス] Re: 生まれて初めての阿波踊り

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/23(Fri) 01:44

勝瑞城で奉納あるいは供養の阿波踊りを舞うというのもよろしいのではないでしょうか？!(^^)!。

整備された城跡は『味』がなくなったように感じるのは私だけでしょうか？
墓石があるとことも、昔の廃れた感じがあった時の方がよかったです。
綺麗に整備されるのは良い事ですが、『味』や『雰囲気』は壊さないで欲しいですね。

レポートを楽しみにしております。

[570] 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/08/20(Tue) 09:42<HOME>

定例となりつつある成蹊堂刀剣鑑賞会を開催いたします。過去ご参加いただいた方はご存知でしょうが、難しい会ではありません。普段刀屋さんで「その刀を見せて下さい」と言いにくい物や、博物館などにあって手に取る機会がなかなかない物を手に取って観ちゃおうという企画です。堅苦しいことは何もありません。和気あいあいとした鑑賞会ですので初めて刀を触るという人でも大歓迎です。今回も前回同様、いや前回以上の大珍品、名刀を用意しています。日時は 9 月 1 日（日）午前 10 時 10 分です。会場の関係により参加費を若干（千円以内美味しいコーヒー付です。）頂くことになります。会場に入ることができる人数が限られるため、ご参加ご希望の方はなるべく早めにご連絡下さい。（参加者多数の場合は鑑賞会の回数を増やすことも検討します。）

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/20(Tue) 10:50

成蹊堂定例鑑賞会も第 3 回目を迎え、益々定着して来た御様子でなによりのこととお喜び申し上げます。

しっかし、なんだなぁ～。毎回同じことを書いてしまいますが、「もう少し、東京が近ければなぁ～」

あっ、それから。
薙刀直し「荒浪」！イイですね。
一度手に持って鑑賞したいですネ。
（前に見せて頂いた短刀も、あれから頭から離れてくれませんが・・・^^;）

再度！
「もう少し、東京が近ければぁぁぁ～」

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/20(Tue) 16:46

今回も、参加させていただきます m(__)m

今度はかみさんを連れずに、私一人で参加します。（でも、阿佐ヶ谷が気に入ったみたいなので、付いてくるかな？・・・(^_^;)

＞菊久さん
「荒波」良いですよね(^.^)
手にとって見せてもらっちゃいます(^_^)v
私が菊久さんの目の代わりになり、しっかり拝見してきますよ(^.^)
もっとも「脳みそ」はありませんので、菊久さんに説明することはできませんが(^^ゞ

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/20(Tue) 20:20

お～～っ！ついに第３回目開催ですね(^^)
でも９月１日は行けるか行けないか微妙・・・(-_-;)
しかし僕にとっては日本刀を手に取って観られる貴重な機会、こういう機会を逃したくないのでなんとか調整し参加したいです。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：守重　投稿日：2002/08/21(Wed) 00:10

薙刀直し「荒浪」、昨日、鑑賞させてもらっちゃいました。すごーーーくいい!!　宝くじ当たったら買っちゃいたい。ますます成蹊堂パワーアップしています。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：守重　投稿日：2002/08/21(Wed) 00:12

主題と関係ないけど以下のリンク集、結構役立ちます。えっ、もしかしたら既出？
http://www.hoops.ne.jp/~izayohi/bugei.html

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/08/21(Wed) 12:51

すっごいリンク集ですね～。(^○^)

まずはお気に入りに登録しまして、じっくり拝見致します。
世の中、すごい人がたくさんいるもんですね。(@_@)。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/21(Wed) 13:00

守重さんとご一緒させていただきました。
「荒浪」の他、真改・真雄・信秀・国広の短刀、
長光・助広の直刃・興正の脇差等々…。
色々見せていただきました。ありがとうございました。
信秀の短刀、小振りなんですが…何故か頭から離れません。
次回の勉強会はお金払ってでも見る価値ありです。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：守重　投稿日：2002/08/21(Wed) 13:42

こてつさん、やっぱ信秀ですね。いたくお気に入りで。３回夢に出てきたら買ったほうが良いかも？はっきり言って、凄い品ぞろえ。とっても勉強になりました、がっ、自分の知識の浅さというかまだまだ修業が足らないなあと思いました。これからも勉強させていただきたく思います。私はやは

り薙刀直し「荒浪」と真改が印象的でした。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/08/21(Wed) 16:13

成蹊堂さん、ホームページはいつも拝見させていただいてます。
とてもきれいな写真とセンスのいいレイアウトですね。

はじめまして、刀士郎です。名前のとうりの　トウシロウですがおもいきって参加させていただこうかと思っています。
ご隠居さんにも「聞くは　いっときの恥」と背中を押していただきました。

それにしても菊久さんではありませんが「東京に住んでいたらなー」って。
しかし、阿佐ヶ谷は青春時代５年ほど住んだ街。
もうかれこれ２５年になりますか。
なつかしいなーー。
ヤッパリ行こう！　新幹線２時間＋中央線３０分＝２時間３０分近いものだ。
どうぞ宜しくお願いします。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/21(Wed) 20:53

刀士郎さん、成蹊堂さんの鑑賞会はまったくの素人でも安心して参加できますよ(^^)
僕なんて超素人で、第一回目の鑑賞会の時に初めて日本刀を手に取ったというくらいですから。
初歩的なことからとても丁寧に教えていただき、参加して本当に良かったと思っています。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：純井　投稿日：2002/08/21(Wed) 22:00

参加したい…が、今回より参加しても良いか判らなくなりました。如何しよう…正直な所行きたいのですが…本当に如何しよう…困ったなぁ…。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/22(Thu) 20:38

＞刀士郎さん
成蹊堂さんの勉強会では、お会いできそうですね(^_^)
当日は、よろしくお願いします m(__)m

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/08/23(Fri) 09:57<HOME>

おぉっ！ちょっと出張に行っている間にレスが凄いことに！

　刀士郎さん、はじめまして。阿佐ヶ谷にお住まいだったのですか！奇遇ですね。阿佐ヶ谷はかつ

て刀剣が盛んだった地のようで、かつて東京で一番大きな刀剣会“阿佐ヶ谷刀剣会”があったと聞いております。銀座長州屋さんも銀座に移る前は阿佐ヶ谷にお店を構えていたんですよ。　遠路はるばるお越しいただき、たいしたおもてなしは出来そうもありませんが、今回も珍しい品をご用意しておりますのでガッカリさせることは無いかと思います。当日お会いできることを楽しみにしております。

　それとみなさ～ん！大変申し訳ないのですが、管理の関係でご参加ご希望の方はお手数をお掛けしますが、「参加希望！」と書いたメールをお送りくださ～い！お願いします。

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/23(Fri) 22:55

＞純井さん
そうですか、今回は参加見送りですか・・・残念ですね(^_^;)
私は仕事の都合で１回目に参加できませんでしたので、今後は全回参加したいと思っています。
備前刀好きの私としては、「荒波」はぜひとも拝見したい。
純井さんの分まで、堪能してきます(^_^)v

[570 へのレス] Re: 涙有り、笑い有りの刀剣鑑賞会

投稿者：純井　投稿日：2002/08/24(Sat) 01:11

花散里さん>
いや～行きたいのですよ私も。でも直前に仕事が入る可能性も否定できなくて何とも言えないのです。行けなかったら…感想お願い致します。

---

[602] 正式サイトが発足しました！

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/08/23(Fri) 13:18

このたび日本美術刀剣保存協会徳島県支部の正式なホームページができました。

支部長の東条英機支部長は阿波正阿弥鍔・金工師『野村一門』の研究と作品の収集で有名です。
このホームページでも阿波正阿弥鍔を画像で紹介しております。

ぜひ、ご覧下さいませ。

[602 へのレス] Re: 正式サイトが発足しました！

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/23(Fri) 20:20

拝見しました(^_^)
「幻の阿波献上鍔」どれも素晴らしいものですね。象嵌細工がとても美しく、見とれてしまいました。
そん所そこらの拵えでは、位負けしてしまいそうです。「献上」とあるだけあって、まさに大名物・・・＼(^o^)／
支部長さんのコレクションでしょうか？　羨ましい限りです(^_^)

[602 へのレス] Re: 正式サイトが発足しました！

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/23(Fri) 20:30

おめでとう御座います。
徳島支部の HP に万歳！！！
郷土刀が欲しくなりますね。
刀匠と金工の絵は、一枚物みたいですよね
絵があると、楽しいですね。

[602 へのレス] Re: 正式サイトが発足しました！

投稿者：沼六屋　投稿日：2002/08/23(Fri) 20:37

何れも傑作揃いの鐔ですね。
支部長さんは以前真改さんにお聞きした方ですね。
鐔のコレクションでは凄い方と聞いていましたが、実際画像で観てこれ程とは・・・、驚きました。
確か『何でも鑑定団』の、売りますコーナーに出演されていましたね。
コレクションを収集した書籍を自費出版されるとの事で轡を処分されたのを覚えています。(違っていましたら申し訳有りません)

[602 へのレス] Re: 正式サイトが発足しました！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/23(Fri) 22:07

刀装具の熱心な沼六屋さんから、きっとコメントがあると期待しておりました。
ありがとうございます。って、自分が褒められているのではないのに、妙に嬉しいです。(^^ゞ。

何でも鑑定団でもお馴染み？です。
野村金工一族と阿波正阿弥鍔の出版が夢のようですが、もちろん現在もまだまだ研究は続いています。

かつての何でも鑑定団で柴田光男氏に評価された阿波正阿弥鍔の金額は、５００万だったと思います。
私も一度だけ氏の自宅にお邪魔しまして、実物を拝見致しました。
刀剣でもそうですが、名品を拝見するとすぐに感化され、同じようなものを収集したくなります。
眩いばかりの素晴らしい鍔と野村の刀装具でした。

阿波正阿弥鍔は市場評価が低い割には、金象嵌の素晴らしいものが多いようです。
また、無名がほとんどなのでこれも低価格につながっているのでしょう。
数年前に確か『愛刀』という通販誌に『蜂須賀家伝来　帋徹　太刀拵え入り』が
出ていましたが、この太刀拵えの鍔が『阿波正阿弥鍔』であったことが強烈に印象に残っています。

海部刀が相州上工に紛れるとあるように、阿波正阿弥鍔も京都辺りの上工に紛れて極められたものが多いように思うのは私だけでしょうか。

郷土のあるいは地方の刀剣や刀装具の研究や収集に熱心な素晴らしい人が全国にはたくさんいることでしょう。
そのような方がいるからこそ、後に続く人も郷土の良さを見直して評価ができ、正しい伝承が出来ていくのだと思います。

地方の刀匠や金工師や刀装具の研究は、やはり地元ならではのものがありますよね！
早く、出版された本が見たいです。

---

[610] 刀剣書アンケート

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/24(Sat) 23:03

アンケート第２弾として、今回は皆さんが愛読・お勧めの刀剣書の発掘をしてみたいと思います。
このホームページは初心の方々からそれなりに経験を積んだ方々の訪問があります。
私を始めとして、経験の浅いものにとって良書を得ることは師を探すのと同じくらいむずかしいことです。

「この本は是非読んで貰いたい。」　「この本は入札鑑定に必要だ。」「初心者にはこの本を」などなど、いろいろの情報をお願いしたいと思います。
ちなみに私は、「長船町史刀剣図録・資料編」安くて内容が濃い。
さすが、地方自治体刊行本と思います。

どうぞ　宜しくお願いします。

「**鬼丸さん**」から「討論掲示板」にこの投稿がありましたが、有意義な内容ですのでメインのこちらに引越しさせていただきました。ご了承ください。「黒鞘組」

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/24(Sat) 23:10

追伸

お奨めの本が現在入手出来るか否か及び増版予定又は、絶版で
古本屋で見つけるしかない。などの情報も併せてお願いします。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/24(Sat) 23:21

「刀剣鑑定読本」永山光幹著
普段、美術館・博物館や刀剣店に出かける際、携帯しやすいので重宝しています。
電車の中でも普通に読めるサイズ。

鬼丸さん御推薦の「長船町史」もボリュームのわりには大変安価、
また内容も濃く僕も参考にしています。
しかし重い…ので持ち歩くのは辛いです。

その他、有名な大鑑類はみんな参考になりそうな…。
しかし入手困難なものが多いですね。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/24(Sat) 23:48

「日本刀の鑑賞基礎知識」小笠原信夫　至文堂　3,780 円 ISBN4-7843-0062-1
など、いかがでしょうか？

大きく分けて「鑑賞のための基礎知識」「製作に関する基礎知識」「鑑定と保存の基礎知識」「武将と名刀」「各時代の代表作品」で、さらに細かい内容にまで及んでいます。
対談の「鉄との格闘・刀匠の苦心　刀匠 吉原義人」「刀剣の持ち味をいかす研ぎとは　研師 藤代興里」「刀剣を飾る　鞘師 高山一之」「斬れ味を試す　作家 津本陽」など内容も盛り沢山です。

私にとっては新選組副長　土方歳三の愛刀が、「之定」ではなく「十一代会津兼定」だと知った、謂わば「単なる時代劇ファン」から「愛好家」への第一歩となった記念すべき（？）本です。

大手の刀剣店や書店、刀剣博物館、出版社の至文堂から入手可能です。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/24(Sat) 23:51

これから、始めて一振りお求めにと考えている方には
光芸出版刊の「刀剣価格事典」及び「ドキュメント日本刀の
買い方」をお奨めしますが、「ドキュメント・・・」の方は
少し、色々と辛口記事もありますので、その辺はお読みになった
方のご判断で・・・でもサラリーマンにも選べる刀の紹介も多彩
で、この本を読んで郷土の刀工の刀を一振り買ってしまった次第
です。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：純井　投稿日：2002/08/25(Sun) 13:05

常時持ち歩いて読むなら刀剣美術工芸社「刀剣要覧」ですね。刀工の系譜や作位位列、業物位列、価格表の項目にごく簡単な各刀工の説明書きがあります。金工に関しても載っており、最近重版されましたから入手も容易ですので。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/25(Sun) 18:05

「短刀」　鈴木嘉定著　光芸出版
短刀だけをまとめたものなので姿の変遷を知る絶好の教科書であり、写真を眺めているだけでも楽しい。ぜひ手許に置きたい一冊です。版を重ねているので、新本が切れていても古書では入手可能ではないでしょうか。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：久　投稿日：2002/08/25(Sun) 21:45

刀や刃物全般に科学のメスを取り入れた本でしたら「刃物の見方」岩崎航介著、馬場出版、がお勧めです。鋼が何故硬くなる、良い刃物の性質とは？が分かりやすく書かれています。（古書のみ）

上古刀から鎬作りの刀までの歴史、過程、文化、美術的要素等に興味があれば「蕨手刀」石井昌国著、雄山閣出版、などがお勧めです。（古書のみ）

あと刀剣には直接関係ありませんが日本の家紋を総べて調べるには「家紋大図鑑」アークシステム編、グラフィック社、があります。あいうえお順に日本に存在する家紋が載っています。￥３、２００ー

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：幹　投稿日：2002/08/25(Sun) 22:08

パソコン関係に強い人に鑑定会必須用なら、簡単です。諸先輩達から押型集を借りて
パソコンに取り込み時代、伝法ごとに区分けするのが一番です。自分の勉強にもなり
、また後進にも役立ちます。その資料はなにものにも換えがたい大事な財産になるとおもいますよ。
ただ、値段をつけるとなると案外割高かもしれません。諸先輩方に仁義を通すとなるとですよ。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/26(Mon) 06:12

幹さんの云われている「自作虎の巻」は良い方法ですね。こういう虎の巻自作は昔からやっていましたが、今はツールが揃っていますから有利です。先輩の押し形もいいですが、刀剣雑誌の押し形だけでも、数年分入れると一寸したデーターになりますよ。

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/26(Mon) 20:47

このスレッドを立ち上げた翌日、行き着けの刀剣店にて
光山押形を拝見する機会を得ました。
この本は、ある程度勉強を詰まれた方なら周知の書物で
あると思いますが、若輩ものの私など、タカをくくって
ページを読み漁っていましが、なんと現代の刀剣書に出て
いるお刀が目白押し、それに加えてこの本の押形に所載
されているお刀の中心を合わせるとピッタリではないですか。
ビックリ仰天でした。
そのお刀は所蔵されている方の好意で特別に見せて頂いた
ものなので銘の公表はご勘弁下さい。

一振り買うのを我慢して、本を買うのも目利きの第１歩かも？

そして、お金に余裕があればスキャナーも買いましょう。

幹さん（はじめまして鬼丸と申します。）が述べらているように
自分流押形を作りましょう。（ただし、既存のものは著作権が
ありますので、注意して下さい。）

[610 へのレス] Re: 刀剣書アンケート

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/26(Mon) 23:06

パソコン上のソフトとして、一昨年くらいに『鑑定ソフト』なるものが頒布されていました。便利なものが出たな～と思ったものです。

ところで、私は柴田光男氏の『刀剣ハンドブック』から入り、とても面白くて振り仮名も丁寧で、眼から鱗が落ちる様の感じがしたのが『寒山刀剣教室』です。
これは刀剣美術誌に連載されたものを編集したもので、支部の初心者勉強会などにも利用したそうです。
今でも、刀剣博物館に行きますとあります。
今後は再版の予定無しということですので、今のうちに一冊手に入れられてはいかがでしょうか。
私が刀に興味を持ち始めた頃は、すでにこのような連載記事はありませんでした。

多くの刀剣書は昭和５０年代に発刊されたように感じます。また、古書市場で高値が付いている刀剣書が多く出版されたのもこの頃ではないかと思います。

誌上鑑定に夢中になっていた頃、先輩に教えてもらったのが『片岡銀作著　日本刀随感　古刀編新刀編』（古書のみ。高価で入手困難。特に古刀編。新刀編は改訂版があるので注意）です。
膨大な押し型資料とともに国別時代別に整理されているので、『刀剣鑑定読本』（現在入手可）や『刀工作風事典』（古書のみ。非常に高価で入手も困難。人気古書。）などとともに誌上鑑定の良き資料となります。
片岡銀作氏は９０歳になられるとお聞きしましたが（間違っておりましたらご容赦下さいませ。）、昨年でしたか『左行秀と固山宗次』の押し型集も出版されました。
今なら何とか手に入るかもしれません。

また、一からじっくり時間をかけて基礎から勉強したいために読みたいのが『日本刀講座　全１０巻』です。刀から刀装具に至るまで、体系的に学べるようになっているようですが、恥を忍んで申しますが、全く読んでいません。いつか読めるように頑張ります。
(T_T)。

私のように持っているだけで『安心』派は駄目です。
刀剣書は読んで、めくって活用しないと・・・。
部屋を飾るインテリアではないので、どんどん吸収したいものです。

でも、高い本を扱うのって気を使います～～～～。(>_<)。

[610 へのレス] Re: 厚く御礼申し上げます。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/08/28(Wed) 21:18

刀剣書アンケートの結果について
多数の投稿、どうもありがとうございました。
私論ですが、ご紹介のあった書籍を次のようにまとめてみました。

１　刀剣の勉強を始めて日の浅い方々へお奨め
「刀剣ハンドブック」（入門書としては傑作本と思います。私は今でも愛読してます。）
「日本刀の鑑賞基礎知識」（刃文や地鉄の写真説明がすばらしい。）
「ドキュメント日本刀の買い方」（初めてほんものの刀を買おうと思っている方々へ）
「刀剣要覧」（刀工名も多彩でコンパクトな刀剣百科辞典ってとこかな。）

２　紙上鑑定への応募や地方の鑑賞会などに積極的に参加されている中堅どころの方々
「刀剣鑑定読本」（座右の書としては本の大きさ・内容ともによろしいとかとと。）
「刀工作風辞典」（読んだことないのでコメント出来ませんが私も欲しい本の一つです。）
「寒山刀剣教室」（古刀を系統だてて記述されております。）
「短刀」（昔から気になっていた一冊です。これも欲しいなあ。）
「日本刀随感　古刀編新刀編」（この書籍も未読です。）
「日本刀講座　全１０巻」（初学の人には少し難解かも？）

３　刀剣についてより深く多角的に勉強しようと精進されている方々
「蕨手刀」（読んだことがないのですが是非一度読んでみたい書籍のひとつです。）
「家紋大図鑑」（拵えの鞘などに蒔絵としてよく見かける家紋、種類や特徴などを調べることは刀剣学をさらに
深いものにしてくれるでしょう。）

４　鑑定会で判者及びその補助を出来る位の上級の方々
「光山押形」（自分の所蔵刀が載っていたらとてもうれしい。）

５　究極の書籍
それは自分流「押形集」を作ることですね。実は以前より、刀和や刀剣美術の紙上鑑定の問題と答えをスキ
ャナーで編集して、こっそりデータベースを作ってるんですが・・著作権の問題がありますのでとりあえずは個
人で楽しんでいます。

一つ大事なことは自分が欲しいと思う情報がたくさん記述されている書籍が一番で、いきなりむずかしい本を買っても途中で飽きたり、投げ出したりしてしまう可能性があります。このほかにも沢山の書物がありますが、自分流にあった、すてきな書籍に出会えることを祈念するとともに、新しい書籍の紹介などの新情報もお願いします。

[616] 高山刀や郡水刀について

投稿者：奈菜氏　投稿日：2002/08/25(Sun) 17:46

高山刀や郡水刀についてご存知の方、いらっしゃいますか？
それぞれどのような刀かおおしえください。

[616 へのレス] Re: 高山刀や郡水刀について

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/25(Sun) 21:48

例によって、伝聞で失礼します m(__)m

高山刀については捜せませんでしたが､群水刀に関しては以下のホームページに｢靖国刀と群水刀｣として、群馬県の方からの投稿が紹介されています。
詳しくはホームページをご覧いただくとして、
「群馬水電（株）では、千葉県鴨川海岸に堆積した砂鉄を、原町発電所において電気精錬して、日本刀の材料となる研究がされていました。この鋼の名前は、群馬水電（株）から取られ「群水鋼」と名付け、この鋼により作刀された日本刀は「群水刀」といいます。」
と言うことです。
初耳でした。まだまだ、知らなくてはいけないことが山ほど(^_^;)

「横山町奉仕会　電脳問屋街　読者投稿欄」

[616 へのレス] Re: 高山刀や郡水刀について

投稿者：奈菜氏　投稿日：2002/08/26(Mon) 00:14

なるほど、ありがとうございます。

[616 へのレス] Re: 高山刀や郡水刀について

投稿者：守重　投稿日：2002/08/27(Tue) 06:47

群水刀は「群馬の郷土刀」と言われたりしますが、実際は八分角の鋼材として製品化され、各刀匠に配られました。私も２振群水刀持っていますが、銘は｢群水兼國作（東京)｣｢群水服部鍛刀所（静岡)｣となっています。本鍛刀で、沸が強く足もしっかりは入っていますが、かなり硬い刃のようです。また当時の群馬の刀匠「今井兼継」等は群水刀刀匠だと誤解している日刀保の先生もいて、かなり刀剣界では誤解が多いものです。世間には表に出てこない軍刀ですが、私は個人的には好きな刀です。
高山刀は時々イーベイで見かけます。多分、登録はつかないと思いますが、資料がありましたらお知らせします。

[616 へのレス] Re: 高山刀や群水刀について

投稿者：奈菜氏　投稿日：2002/08/28(Wed) 01:21

情報、ありがとうございます。
群水刀を 2 本もお持ちでしたか。。。実際、群水刀であれば（本鍛であれば)、
登録はつくのですね？

[580] 殉国清夷

投稿者：よしみつ　投稿日：2002/08/21(Wed) 05:41

どこで見たか忘れましたが、幕末の御刀の中心に「殉国清夷」の四文字が
刻んでありました。当時の武士の漢籍のレベルは、現代人の比ではありません。この四文字、字面より深い意味か、由来があるような気がしてならんのですが、どなたかご存知の方、ご指南ください。

[580 へのレス] Re: 殉国清夷

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/21(Wed) 06:08

「国に殉じ、夷（夷敵）を清む」ですかね。この清が「征」の「殉国征夷」なら意味が通るのですが・・・・。
こういう文言は幕末期にたいへん多いですね。

[580 へのレス] Re:あのー・・・

投稿者：野崎　投稿日：2002/08/22(Thu) 20:54

上田万年博士の『大字典』で引きましたら「清夷（せいい)」とは
「天下泰平の意」とありました。国に殉じ天下を泰平にせん、の
意味でしょうか？
　当時の武士の漢籍のレベルは現代のわれわれの比ではありません。

[580 へのレス] Re: 出典は・・・

投稿者：野崎　投稿日：2002/08/23(Fri) 19:34

出典は文天祥『正気の歌』です。なるほど。

[580 へのレス] Re: 殉国清夷

投稿者：もの申す者　投稿日：2002/08/25(Sun) 20:35

　広く情報を求めるお願いをしてある程度時間が経過した後、
ほぼ何らかの結果が得られたのならば、礼儀として「ありが
とうございました。」の一言をおっしゃられてはいかがか。
　すべての投稿分に返信をする必要はないと小生は思うが、
少なくとも不特定多数であろうがなかろうが人にものを尋ね
たなら、一言御礼を申し上げるのが当り前ではないだろうか。

　こんなことを言うとすぐに古臭いとか判り切っていること
だとか言われるが、あえて苦言を呈するものである。
　多くを飾る言葉は不必要と思うが、最低限の礼を尽くすこと
がこの場を気持ち良くさせているのだと感じている。

[580 へのレス] もの申す者さま

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/25(Sun) 22:13

スタッフの一人、花散里と申します。
もの申す者さまのご意見、真にごもっともです m(__)m
ネット上と言えども人間同士のお付き合いには変わりなく、礼儀や感謝の気持ちは当然必要なことです。
むしろ、顔の見えないネット上だからこそ、いっそうの気配り・心配りが必要なのかもしれません。
私なども、無知のため剣兄・剣友のお世話になりっぱなしであり、ご意見を自らのことに置き換えて受け止めたいと思います。

ただ、この「日本刀剣電脳倶楽部」は真改 2001 代表を始めとして、スタッフ一同・ご参加皆様は、「利害やしがらみ」抜きの謂わば「同好の士」であり、よしみつさんにしても悪気がある訳では無いと思われます。
たまたま忙しくて、ここを閲覧できない状態かも知れませんので、もの申す者さまもどうか善意に取っていただけたらと思います。

ご意見ありがとうございました。これからも、叱咤・ご指導よろしくお願いします。

[580 へのレス] Re: 殉国清夷

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/26(Mon) 06:15

野崎さん、さすが「大字典」ですね。勉強になりました。

---

[627] 火うち石について（質問）

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/26(Mon) 08:45

昔の火うち石(なんか別の文字がありましたね)はその用途からして大変膨大な需要があったと思いますが、これは鉄の一種ではないでしょうか？
そしてこの火うち石はどうやって生産していたのでしょうか？
また、磁鉄鉱はこれと関係がありませんか？
どなたかご教示ください。

[627 へのレス] Re: 火うち石について（質問）

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/26(Mon) 09:18

https://yosiihonke-hiuchi.jimdo.com/
火打ち石を作って二百年のホームページを見ましたら

本当に石みたいなんですけど、皆さん見てみてください。

[627 へのレス] Re: 火うち石について（質問）

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/26(Mon) 10:37

鎬さん、えらいお早いご教示、有難うございました。火うち石を今日製造しているとは！、とうてい思いもしないことでした。よっく見付けましたね。
しかし、日本は中々面白い国ですなー、ええ国に生まれて良かったと、これ一つ見ても思います。
おおきに。

[627 へのレス] Re: 火打石と燧鉄です

投稿者：野崎　投稿日：2002/08/26(Mon) 19:20

　火打は石英やメノウのような硬い石を高炭素鋼で叩き、摩擦熱で鉄の剥片を発火させて燃えやすいもの（火口・ほくち）に燃えつかせます。
　石と石（黄鉄鉱とフリントなど）でも火花は出ますが、確実に発火できるのは鋼で、世界的には木をこすり合わせようにも一面の草原という北方遊牧騎馬民族が多く使いました。西洋では燧石にフリントを使い、燧鉄はスチールといいます。火口はティンダー。
　日本の火打ち石は京都鞍馬、肥後火川、水戸と津軽のメノウが最高だそうで、江戸では水戸、上方では鞍馬のものが売られていましたが、鉄より硬い石なら何でも使えました。
　危険な仕事に行く人に燧の火花をかける「切り火」にはまた別の歴史とルールがあります。昔の武士は「燧袋」を日本武尊以来持っていたのですが、江戸時代にはもう中身が分からなくなっています。

[627 へのレス] Re: 火うち石について（質問）

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/27(Tue) 06:47

マッチが使われるまでのずいぶん長い間、人間は燧石を使ったわけですから、発火の良いものが当然選ばれたのでしょうね。私の祖母が油屋から嫁に来ていまして「今はおちぶれたが昔は・・・」と、行燈時代を懐かしんでいたのを想い出します。案外、慣れると簡単に火が起こせるのでしょうか。
野崎さん、ありがとうございました。

[627 へのレス] Re: 火うち石について（質問）

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/08/27(Tue) 23:14

今でも芸人さんなんかは「切り火」の習慣があるのでしょうか。
爆笑王、林家三平師匠が仕事に出かける際、おかみさんが「切り火」する
シーンを映像で見た記憶があります。
三平師匠が元気な頃ですから、それでもけっこう昔のことですね。
何か…かっこいいですね。

[627 へのレス] Re: 火うち石について（質問）

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/28(Wed) 00:25

＞おかみさんが「切り火」するシーン
時代劇（銭形平次など）では、よく目にする光景ですね(^_^)
「鬢付け油に火がつかないんだろうか・・・？」
などと馬鹿なことを思いながら、子供の頃にテレビを見ていた記憶があります(^_^;)

[627 へのレス] Re: 火うち石について（質問）

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/28(Wed) 11:00

真改さんの御祖父さまの持っておられた火打石ですがかっこいいですね。マッチの流行る前のものにしては、デザインがモダンで、さぞご自慢のものだったのでしょう。袋もいいです。

[635] 復活！　「子連れ狼」

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/27(Tue) 08:49

【テレビ朝日は二十六日、十月番組改編の会見で、テレビドラマとしては約三十年ぶりとなる「子連れ狼」（月曜午後七時）を始めることを発表した。－中略－「子連れ狼」の主役で、かつて萬屋錦之介が演じて一世を風靡した拝一刀には北大路欣也、その息子の大五郎は小林翼（三つ）が演じる。小林は、百五十人のオーディションで大五郎役を射止め、北大路に「君は大五郎を演じるために生まれてきたようだ」と言わせる名演技をみせているとか。】８月２７日産経新聞より

映画・テレビともに時代劇が少なくなっている昨今、ましてや私が大ファンである子連れ狼が復活します(^_^)
でも、どうでしょうね～(^_^;)　拝一刀と言えば萬屋錦之介、萬屋錦之介と言えば拝一刀(^^ゞ　どうしても比べられてしまうので、北大路欣也もやり難いかも知れませんね。
それでも、見てしまうでしょうね～。楽しみなことには、間違いないです＼(^o^)／

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/27(Tue) 12:56

そうすると、同田貫を欲しがる人が出て来ますなー。神戸にあった３本、今どこでっしゃろか？

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/27(Tue) 19:02

ここ数ヶ月で長州屋、成蹊堂で同田貫の名品が売りに出ていました。
同田貫の重要刀剣では、慶長年期の刀が数年前の大刀剣市で出品されていました。

劇画の中に出てくる同田貫の茎は、いわゆる古刀期の同田貫ではなかったと思いますが、『刀を斬る刀』『戦場の太刀』などと称されると、どうしても古刀期の同田貫を彷彿とさせます。

そういえば、剣豪２がプレステーションで出ましたが、剣豪ひしめく戦いの中の話ですが、拝一刀

は出てくるのでしょうか？!(^^)!。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/27(Tue) 20:31

僕は「子連れ狼」を見たことがないのですが、拝一刀とはなんのことですか？

[635 へのレス] Re: そうかぁ・・

投稿者：酒地蔵　投稿日：2002/08/27(Tue) 21:14

　そうですか。もう読んだことの無い世代が・・・そういえば「うる星やつら」だって 30 年前の事ですしね。
　萬屋錦之助氏のほかに勝新太郎氏の兄の若山富三郎氏も当たり役でしたっけ。もう皆さん故人になりました。
　故小島剛夕氏原作の劇画。柳生一族の剣客、拝一刀（おがみ・いっとう）が、幼い子の大五郎を乳母車にのせ、剛刀「胴（同）田貫」を振るって「子を貸し、椀貸しつかまつる」と刺客商売の流浪の旅をする物語でした。
「拝むと刀を一振授かる神社があって・・・」などと世間を惑わせる事はいいますまい。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/27(Tue) 21:35

うる星やつらは２０年位前でしょうか。
ガンダムもそうですね。

水鴎流（誤字でしたらすみません）『波斬りの太刀』などなど、独特の世界観を醸し出し、男の世界に浸れます。
家族がいれば余計に泣けます。
まずは原作をお読みあれ！
涙なくしては読めません。

近年では田村正和が主演で映画がありました。
それも１０年くらいになるかな。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：藤次郎　投稿日：2002/08/27(Tue) 22:41

ご隠居様、はじめまして。
藤次郎と申します。
そうですか・・・神戸に同田貫が三振り・・・
さぞや名品だったのでしょうね。

萬屋錦之助さんも、かなりの同田貫コレクターだったとか。
彼の愛刀は今どうなっているのでしょうか？

真改代表！
>劇画の中に出てくる同田貫の茎は、
>いわゆる古刀期の同田貫ではなかったと思いますが～
との事。私、不勉強で申し訳ありませんが、
どのような茎だったのでしょうか？
お教えください。すっごく興味があります。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：守重　投稿日：2002/08/28(Wed) 07:16

画像投稿のページに子連れ狼第５巻（斬奸の章）に載っていた茎を掲載します。「清水甚の進信高　胴太貫」そして山田浅右衛門の「鬼包丁政勝好之」、うーーむ、分からん。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/28(Wed) 09:00

藤次郎さん、こんにちは。子連れ狼も考えると相当昔のことですね。「ひとひとぴっちゃん、ひとぴっちゃん」の主題歌が街角にあふれていましたね。私は仕事に夢中の時間帯で実はあんまり観ていませんが、家族は夢中でした。
三越で「拝一刀展」があり、これに同田貫が展示され、展示品の三振が神戸のさる有名数奇者さんの蔵刀でした。（昭和３０年代の刀剣美術誌によく名前の出ていた○○青山氏）
今でも同じですが、同田貫というと「愛刀家の持つべきものでない」と云われるのですが、このお方は長光や景光と共にこの同田貫を大事にされました。ただし、みんな出来のすばらしいものばかりです。どこへ行ったんでしょうね.

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/28(Wed) 12:50

「子連れ狼」見てたんですけど覚えてないんですよね。
「うる星やつら」「ガンダム」は、ハマッテました。
昨日８／２７の「プロジェクトＸ」に帝国ホテルの
元総料理長の部屋に、短刀の押し型らしきものが
飾られていたようなんですが、錯覚かな？
おきずきの方いらっしゃらないですか？

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/28(Wed) 13:59

鎬さん、帝国ホテル元総料理長村上信夫氏は刀の好き者（すきしゃ・超愛刀家）ですよ。短刀の押し形なら「村正三態」という、村正の直刃、箱乱れ、皆焼を描いたものでしょう。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：純井　投稿日：2002/08/28(Wed) 19:57

おお子連れ狼がドラマ化ですか、これは録画するしかないですね。実に楽しみな事です。
しかし村正三態…御自分で押し型を取られるというのは相当なものですね。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/28(Wed) 21:32

「拝一刀」とは人の名前だったのですか。
知りませんでした、ありがとうございます。

う～ん、僕は時代劇が好きなわりに、あまり時代劇小説を読んだ事がないんですよねぇ。
山田風太郎氏の忍法帖シリーズと、司馬遼太郎氏の燃えよ剣だけです。

何かみなさんがこの時代劇小説がオススメ！というのがありましたら教えてください。

剣豪２に拝一刀は出てきません。
登場する剣豪は実在した人物のみです。
誰もがしっている剣豪から、マニアックな剣豪まで総勢３０人近くが出てきます。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：藤次郎　投稿日：2002/08/28(Wed) 22:43

守重様、ありがとうございます。
胴太貫と同田貫のなぞが解けたような気がします。
伝言ゲームの様に少しずつ変わっていったのかも・・・

ご隠居様、やはり名品ばかりだったのですね。
きっと、それほど大事にされてた同田貫ですもの・・・
同じように大事にしてくださる愛刀家の方のもとへ、
嫁がれているとの信じたいですね。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/29(Thu) 08:58

「村正三態」ですか！！！
ご隠居！ありがとうございます。
短刀の押し型が、一枚の紙（額）に三つあったんです。
さすがでございます。
日本を代表するシェフ！やはり武士でしたね。

[635 へのレス] Re: 復活！　「子連れ狼」

投稿者：隠居　投稿日：2002/08/29(Thu) 09:02

鎬さん、しかしあのＴＶドキュメントの中の村上顧問の部屋に何気なく飾ってあった「短刀の押し形」を見つけるとは、さすが刀好きですねぇ。感心しました。
余談ですが、村上さんの刀歴は古く、パリで修行中から欧州の日本刀を買っていますから相当のものです。「欧州刀さがし」の草分け的存在ですね。

[645] 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/28(Wed) 07:01

２５・２６日の両日、刀友のＭ氏・Ｔ氏そしてわたしの３人で「長船博物館」→「岡山県立美術館」→「倉敷美観地区」→「大三島・大山祇神社国宝館」をまわって、四国愛媛から徳島・淡路島を経て居住地へ戻ってきました。
　展示物は勿論、名刀ばかりなのですが、その中で特に印象に残ったのは県立美術館の「正恒」・国宝館の「武蔵坊弁慶の薙刀」でした。

うーむ、しかし「正恒」は良かったなぁー。
あんなのが家に一口あって、いつでも手に持って鑑賞できれば最高に幸せぢゃろぉ～なぁー。

[645 へのレス] Re: 「でも・・・」

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/28(Wed) 09:16

でも、大山祇神社国宝館の照明はというと、うすぼんやりした老朽した蛍光灯がケースの中を照らしているだけだし、油は切っ先から垂れるほどベトベトで、折角の名刀の肌も刃の冴えも見えず残念でした。
それに、刀身も直に刀掛けに・・・。
刀剣を専門に扱っている係の方がいらっしゃるのか、疑わずにおれませんでした。

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：鎬　投稿日：2002/08/28(Wed) 12:43

楽しく名刀鑑賞された事、長身の刀友Ｍ氏からも聞いています。
参加出来なかった事が悔やまれます。
記念館や博物館に刀剣を専門に扱う方が居る所は少ないんじゃないでしょうか？
全国の刀剣所有する諸会館に、取扱作法書はあるんでしょうか？
心配になる会館ってありますよね。
どう「菊久さん」全国行脚して、取扱作法のご指南されては。

[645 へのレス] Re: 海のそばでは

投稿者：野崎　投稿日：2002/08/28(Wed) 19:15

さる海のそばの旧国幣大社の博物館の学芸員さんから「海の近くの博物館で刀を展示する時は油をたっぷり塗らないと危険なのです。潮風はトルースタイト（焼入組織の一つ）を激しく錆びさせるから。油を塗りすぎていると地肌も焼刃も見にくいのですが仕方ないと思ってください」といわれました。

神道系大学の大学院を出られて刀剣特別展の企画もされ、研ぎにもお詳しい方でしたから、神社の博物館では持ち送り条項になっているのかも。

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：久　投稿日：2002/08/28(Wed) 21:31

そう言えば新潟県の海沿い山手沿いにある弥彦宝物館も油ギトギトでした。しかし海の近くにある三島大社の宝物博物館はそのような事はありませんでした。

なんでだろう。（？＿？）

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：野崎　投稿日：2002/08/29(Thu) 05:35

瀬戸内海大三島の三島大社でしょうか？文化財がたくさんあるので完全空気調整をし、ケース内もフィルターで湿気と塩分を除去しているのか、毎日閉館後に油を引きなおして収納しているかでしょう。

普通の博物館などではそれができないから油をたっぷり塗っているので・・。

[645 へのレス] Re: そう云われれば「なるほど」

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/29(Thu) 05:50

野崎様へ、
わたしは、「肌が見たい、焼き刃の冴えを見たい」それだけが頭の中でいっぱいになっていて、潮風のことなど頭の片隅にもありませんでした。そういわれれば、なるほどと納得出来ますネ。

「ご教授、ありがとうございました」m(_ _)m

そうすると、久さんのお話の「三島大社・宝物博物館」では、頻度に手入れをする係の方がいらっしゃるということなのかなぁー。

[645 へのレス] Re: 私が行ったのは

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/29(Thu) 05:58

私が行ったのは、瀬戸内海の大三島なのですが・・・

そうすると、状況が変わっちゃったのでしょうか？

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：久　投稿日：2002/08/29(Thu) 17:36

　お話の三島大社は静岡県三島市にある三島大社のことです。海から車で８分位の所にありますが南風が一年中吹いていて洗濯物も塩臭くなるようなところなのです。その三島大社の近くに佐野美術館があります。（こっちはもう少し海より。）

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/30(Fri) 10:27

久さんへ

「佐野美術館」も近くにあるのですか。
静岡県三島市かぁー、家から車で約６時間ぐらいだろうか。
一度行ってみたい気になってきました。

ところで、三島大社・宝物博物館は刀剣類を常設展示しているのでしょうか？

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：久　投稿日：2002/08/30(Fri) 12:50

菊久様

　三島大社には刀剣好きなら誰でも写真では見たことのある北条太刀、上杉太刀のある大社です。しかしその２振りは明治天皇が持っていってしまったために三島大社にはありません。ですが刀を含め名品が数多くあります。
私は実家にかえると佐野美術館とセットコースで足を運びます。

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：菊久　投稿日：2002/08/30(Fri) 21:30

久さん、

情報、「ありがとう m(_ _)m」

次回、東へ走るようなことがあれば是非寄って見ることにします。

[645 へのレス] Re: 刀剣鑑賞ツアー(?_?)

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/02(Mon) 11:34

おぉ～
近い内に菊久殿は、東に走るな！これは。

[664] 討論掲示板から移行

投稿者：正弘氏代理投稿真改２００１　投稿日：2002/08/29(Thu) 10:07

鍔・小道具の参考書１
投稿者：正弘　投稿日：2002/08/26(Mon) 00:05 No.143
刀剣書のスレが表板に移ったので、例によって独断と偏見（？）で鍔・小道具編を勝手にアップします。
刀剣書よりさらにマイナーなので、版があっても書店では扱っていない可能性があります。

『刀装具の鑑賞』尚友会　定価 5000 円
『ルンドグレンコレクション刀装具・自在金具』大塚工藝社
定価 3000 円
『新版徳川美術館蔵品抄３　刀剣　刀装具』徳川美術館（名古屋市東区徳川町 1017　052-935-6262）
『青津保壽刀装具コレクション』須賀川市立博物館（福島県須賀川市池上町６　0248-75-3239）

刀装具、特に金工物は白黒写真では、なかなかわかりにくいものです。この４冊はカラー写真（一部白黒）で値段も手頃。まだ版があるはずです。

時代本歌の青金と現代のニセ金（赤金）の違い、上手の魚々子地と数物の差、など手元に置いてネットオクの画像と比べてみれば大体わかるようになります。

Re: 鍔・小道具の Q 考書２　正弘 - 2002/08/26(Mon) 00:23 No.144

鉄鍔の部です。
『透し鐔』光芸出版　古書で 1000 円～
『鐔小道具鑑定入門』光芸出版　定価 2000 円
『日本のデザイン鐔の美』　里文出版　定価 2000 円

いずれも入門書ですが、解説のレベルは高いです。光芸出版は総アートで写真も鮮明。

『鐔工　武州伊藤派』個人出版　定価 3500 円
『越前記内鐔』刀剣春秋新聞社　定価 13000 円

武州鍔と越前鍔は数が多いので、陶磁器でいえば「そば猪口」のように蒐集のスタートにふさわしい品だと思います。『越前記内鐔』はちょっとお高いですが、内容は濃いですね。

Re: 鍔・小道具の参考書３　正弘 - 2002/08/26(Mon) 00:46 No.145

次は大鑑本、講座本

『鍔大鑑』（復刻）刀剣春秋新聞社　定価 25000 円
『坐忘鐔撰』刀剣春秋新聞社 定価２７，３００円

改訂増補　『鐔観照記』 刀剣春秋新聞社　定価１９，９５０円
　『肥後金工大鑑』日刀保　非売品、古書で 50000 円前後
　『刀装小道具講座』雄山閣　揃いで 50000 円前後
　『刀装金工後藤家十七代』雄山閣　古書で 30000 円前後
（福士先生が日刀保から後藤家の大鑑本を出されたと聞いてますが、まだ見ていません。）

　これらの大鑑本はおいそれと買える物ではありません。入手困難なものもあります。しかし鍔蒐集に５万１０万つぎ込むようになったら備えておくべき本です。

　もちろん他にも良書があると思います。長文深謝。

Re: 鍔・小道具の参考書１　黒鞘組 - 2002/08/28(Wed) 00:14 No.146

「一陽来復」に移っていただいた「刀剣書談義」が落ち着きましたら、この「鍔・小道具参考書談義」もお移りいただきます m(__)m
---

Re: 鍔・小道具の参考書４　正弘 - 2002/08/28(Wed) 20:15 No.147

　え、表の掲示板に移動ですか。
　いや、別に「日陰の放置スレッド」でも構わないんですけど・・・。
　お任せいたします。

　さて、１～３でご紹介した「参考書」は主に鑑賞サイドの本でした。対して作り手側というか「メイキング・オブ・鍔・小道具」の立場から書かれた本です。

　『刀装金工鑑定必携』雄山閣　定価 3800 円
　『趣味の鐔・小刀作り』光芸出版　古書で 5000 円位

　『必携』は前にご紹介したかも。若山先生の名著ですが、残念ながら売れず、デッドが古書店に流れています。定価で買えるはずです。
　『趣味の・・・』は自家製鉄にまでこだわり、賞を総なめしている成木師が鍔の部を書かれてます。

　日本刀の工程は書物や映像で詳細に紹介されていますが、鍔の製作工程をここまで解説している本を他に知りません。
　おすすめです。

　小柄（穂先）の部も鍛錬から研磨まで実践的に記されているので、興味のある向きには好著でしょう。
　たまに古書で出ます。最近ネットオクにも出品されていました。

[664 へのレス] Re: 討論掲示板から移行

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/29(Thu) 22:28

『新版徳川美術館蔵品抄３　刀剣　刀装具』と、『鐔小道具鑑定入門』は私も持っています。

その他に所有しているのは、
「鐔の鑑定と鑑賞　常石英明　金園社」
「南蛮鐔　あこがれのデザイン　吉村滋太」　です。

「鐔の鑑定と鑑賞」の内容は、見方が「厳しい」ですね(^^ゞ　この作者は、刀についても同様のようですが・・・。
「南蛮鐔・・・」は、その題名どおり南蛮鐔だけの本ですが、その多彩なデザインは見ているだけで楽しいですよ(^_^)

『趣味の鐔・小刀作り』は、私もぜひ入手したい本です。
最近のオークションでは、逃しました(^^ゞ

[666] 鍔・小道具のアンケート

投稿者：正弘　投稿日：2002/08/29(Thu) 20:04

↓なにやら急に「明るいところ」に出てきて、目をぱちくりしています。

ところで、この掲示板へおいでの刀のお好きな方で「鍔、小道具も好き」という方はどれほどおられるのでしょうか？

刀剣春秋新聞社がおこなった昭和４２年頃（ブームの頃ですか）の全国アンケートでは、刀剣の愛好家１０人に対して鍔、小道具は４人ほどという割合だったそうです（回答者数は不明）。現在ではどうなんでしょうか？

私の身近では「鍔、小道具には全く興味がない」という刀剣愛好家もまま、いらっしゃいます。なかにはせっかく白鞘に拵え付きの刀剣を求めたのに、拵えを刀剣商に置いてきて「その分値引きしてもらった。」という人も実際にいます。

この場をお借りして、みなさんは如何でしょう？

あなたは鍔・小道具に興味がありますか？

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/29(Thu) 22:17

私は今、鐔に目が向いています。
中でもお気に入りは水戸金工透かし鐔と南蛮鐔で、両方とも画題は龍です。
当たり前の話ですが、龍は想像上の動物なので作者によってまったく雰囲気が違い、いろいろな龍を見比べるのも楽しいものです。

最近は刀剣店などへ行っても、刀よりさきに鐔に目が行くことが多くなりました。
金額的に刀より遥かに手頃ですし、刀とは違った美しさを感じています。

龍以外の画題だと、野晒しを手に入れてみたいですね。
昨年一度入手のチャンスがあったのですが、残念ながら逃してしまいました。
一度逃すと、なかなか出てこないんですよね(^^ゞ

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：正弘　投稿日：2002/08/29(Thu) 23:23

　水戸金工は幕末から明治にあまたの名工を輩出して、一気呵成の感がありますね。眼をひん剥いた竜虎など、どの角度から見てもこちらを睨んでいるようで迫力があります。

　龍の画題ですが、中国のドラゴンと日本のそれには違いがあります。中国では五つの爪をもつドラゴンは皇帝の象徴であり、平民が用いることは許されなかった時代があったようです。
　日本の龍は絵画でも刀装具でもよく見て下さい。五つの爪はありません。まず三爪です。なぜか。

　一説には「五爪」は「後詰（予備役）」に通じるので武士に嫌われたというのです。
　現代人からすればこじつけにも聞こえるのですが、なにせ「下原」＝「下腹（切腹）」、「下坂」＝「下り坂（家運が）」といって特定の刀剣を忌んだ、という江戸時代人ですから、あり得る話です。

　ところで、元々は輸入品といわれる南蛮鍔や広東鍔の龍も、実はほとんど三爪です。ということは・・・。

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：花散里　投稿日：2002/08/29(Thu) 23:47

「南蛮鐔　あこがれのデザイン」によれば、南蛮鐔といっても「漢東（広東）」「漢南（江南）」「長崎」「金屋町」「銀屋町」「肥前」「地南」「京南」「上方南蛮」「仕入南蛮」などの種類があり、「漢東・漢南」以外の鐔は製作地として平戸・長崎・博多・京・江戸・会津などがあげられるとありますので、多くは国内製なのでしょうね。
できれば、本来の南蛮鐔（中心穴が正方形の洋剣鐔を転用して、中心穴を日本刀用に改造したもの）を手に入れたいものです(^_^)

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：那太郎　投稿日：2002/08/30(Fri) 12:05

私も鍔は、大好きで、特に鉄透かし鍔が好きです。その鉄味や造り込み等から時代を推測したりどのような拵え、刀についていたか想像するのが楽しいです。
鉄味は、刀の茎に通じるものがあり、刀剣の勉強にも少しは約に立つようです。
また刀と違って素手で触りまくれる、テレビを見ながら手入れができる、角と布と根気だけで、砥ぎ代は掛からない、刀に比べると少ない金額で名品が所有できる、また刀に比べると研究が浅いようでまだまだ名品掘り出し物が入手できる、ポケットにいれて持ち歩ける、等良いことが沢山あり

ます。
尾張鍔の名品を手に入れたいです。
＞花さん、
洋剣の鍔ですか？幕末頃のでも良ければこちらで結構簡単に見つかると思います。あったら連絡入れます。

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：神無月　投稿日：2002/08/30(Fri) 19:23

中国では「龍」には二つの意味があると聞いたことがあります。
一つは、天に君臨する皇帝。
もう一つは、人民の中から現れる英雄。
という意味があるそうなのですが、これって本当なんですか？

博物館へ行きキレイな小道具や拵えを見ると、こんなきれいな拵えの付いた刀を一振りは欲しいなと思います。

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/08/30(Fri) 21:05

刀剣鑑賞・収集だけが趣味で、外装はいらないという人は多いようです。
実際、お話にもありますように外装だけをお店に残してその分を値引きしてもらえれば、その方が少しでもお安く買うことができるといった内容の発言も聞いたことがあります。

私は、外装も含めて所持したいとは思いますが、古い外装には研磨済みの刀剣を入れると錆や疵の原因となり、肝心の刀身がだいなしになっては困るので、古い金具を用いて鞘だけでも新規のものが欲しいと思います。

古い外装はそれだけでも高い価値と保存伝承の必要があるでしょうから、それらをばらすという事はしたくないですから、外装に入れて一度は自分の刀を正式な刀の姿として見てみたいと思う私には悩む問題なのです。

内外共に釣り合うものを求めようとするならば、外装も刀身と同じくらいの金額を必要とするのではないでしょうか？

ところで、私も最初は鍔も刀装具もまったく興味がない方でした。今でも刀に比べると興味の度合いはかなり低いことは否めません。
誌上鑑定でも刀装具の鑑定をやっているのは『麗』の柴田さんしか思い当たりませんし・・・。

しかし、とある現代鍔を手に入れてからはとたんに興味と鑑賞の熱が入り始めました。
無名の現代鍔ですが、象嵌が見事で一目ぼれで買いました。
九曜紋を題材にした『林又七』風の鍔ですが、以後、このような鍔をよくさがすようになりました。
夜遅くか、明日に画像掲示板にアップさせていただきます。

新作の鍔の評価は、新作の刀よりも時代のものと比較して、製作枚数と完成度と製作日数を考慮しても相当販売価格が低いように思います。
中には今月号の『麗』にあるように人間国宝の故『米光太平』さんという方の作品が特別保存で１２０万で出ているものもあるようです。

別に現代刀を愛好しているから鍔も現代物というわけではないのですが、林又七のような透かし鍔が、そうそう売りに出てくるわけでもないし、また出てきてもとても買えるような代物ではないことを承知しているから、といったところです。

こんなことを言っては愛好家失格と言われそうですが、実際のところ、鍔や刀装具の購入者（敢えてこう表現します）が増えない原因の一つに、市場の狭さ、もっと具体的に言えば『刀に比較して換金性が低い』ことが挙げられるのではないでしょうか。
世の中の刀剣刀装具を購入する人すべてが愛好するために求める人ばかりではないと思います。投機目的の人もいるはずです。財産保全やその他に目的もあるかもしれません。

以上、思うところを述べました。
投稿内容が言い過ぎであったり、誤りでありましたら申し訳なく思います。
また、管理人であっても内容に誤りがあれば削除訂正は当然行いますので、ご指摘、ご指導をよろしくお願い致します。

[666 へのレス] Re: 鍔・小道具のアンケート

投稿者：正弘　投稿日：2002/08/31(Sat) 00:41

忌憚のないご意見を拝聴でき、ありがたいです。
ご返答下さった皆様に御礼申し上げます。

鍔・小道具の場合、地域、売り手、買い手によって「相場」「評価」にかなりばらつきがある。それは実感されます。購買層は他の美術品に比べて薄く、価値観や知識も交換・共有されていないのでは・・・。
確かに鍔・小道具のリセールが厳しいというのは手放しつつ、また集めるスタイルの収集家にとって正直悩ましいものがありますね。

反面、途上であればこそ、自分なりに「美」の掘り起こしが出来る分野かとも思っております。たとえば南蛮鍔や真鍮象嵌鍔などは一部をのぞいて、かならずしも評価の高いジャンルではなかったのです。
もちろんこうした鍔も確固たる審美眼をもった収集家に選ばれ、『南蛮鐔　あこがれのデザイン』や『楽しい真鍮象嵌鐔』で見るように立派なコレクションになっています。現代作家の手になる鍔・小道具も伝統の継承だけでなく、独創の技術や現代ならではのセンスの中にもっと注目すべき「美」が息づいていると思います。
愛好家サイドから発信することによって育ってくる「評価」や「相場」もあるのではないでしょうか。

まとめのつもりが、まとまらなくなってしまいました。

ありがとうございました。

---

[678] 角　偉三郎師

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/01(Sun) 07:11

漆芸作家の角偉三郎師の特集を早朝やってました。
漆といえば愛刀家にはおなじみですが、なななななななななあんと

素手で塗ってました(オーマイガー)

漆にかぶれた経験のある方ならこれがどれだけ命知らずなことかお分かりでしょう

師の創作活動のなかで得られた結論は「生活の中に生きる作品」
知り合いのおそばやさんに自分の作品を「使ってくれ」ともっていったそうです。

今は作品に対して銘も箱書きも止めたとのこと。

過酷な時代背景のなかから生まれた正宗の刀にも無銘が多いと聞きます、
通じるものがあるような気がしてなりません。

師は輪島塗りの本場で創作活動をしておられテレビごしですがその作品は伝統を
きちんと踏まえた上で現代感覚を感じるものでした。

昔のものをそのまま受け継いでいくだけで本当に文化の伝承になるのか？
という私の前からの疑問に答えを見つけた気がします。

[678 へのレス] Re: 角　偉三郎師

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/02(Mon) 11:31

漆を素手で塗るのんは、素人にはできない職人の極みですね。
藍染職人さんの手は、手首から藍で染まっていますよ。
漆芸職人さんも漆で染まってんやろか？

---

[679] 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：神無月　投稿日：2002/09/01(Sun) 16:00

成蹊堂さんの第３回刀剣鑑賞会へ行ってきました。
勉強になる話しや、えっ！？と思うような話しを交えながらの鑑賞会はとても楽しかったです。
今日はありがとうございました。
次回も参加させていただきたいと思いますので、その際はよろしくお願致します。

鑑賞会のレポートに関してですが､僕はちゃんとしたものが書けないので(^^ゞどなたか他の方お願いします
m(__)m

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/01(Sun) 20:49

徳島はここ数日、台風の影響で大雨で、どこへ行くにも大変でした。明日にはなんとか落ち着くようですが、それでも次の台風がやってきているので、吉野川の堤防も揺らぐかの勢いの増水がどうなることやら、ヒヤヒヤしております。

徳島には『潜水橋』と呼ばれる、『増水時に水没する橋』がいくつも多くの川に掛かっていますが、これが水没する様は洪水時の恐ろしさを彷彿とさせます。
高知では、『沈下橋』と呼ばれているそうですね。

さて、東京の天候はいかがだったでしょうか？
さぞや楽しい鑑賞会であったでしょう。
楽しいレポートを期待します。(^o^)丿。

天候も荒れ気味の徳島でしたが、体調不良で体調荒れ気味の私の週末でございました。m(__)m。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/01(Sun) 23:03

今回もお邪魔して、楽しませていただきました m(__)m
swordsmith さんも仰っていましたが、今回は短刀が充実していましたね(^_^)
「長船守末」「与三左衛門尉祐定」「堀川国広」「井上真改」「栗原信秀」と、名品・珍しいものばかりでした。
個人的意見としては「長船守末」、これはやはり別格でしたね。よく詰んだ地鉄と気品が、さすが大名家伝来品。「末を守る」の銘からも、まさに嫁入り短刀に相応しいものでした。これを貰えるなら、「婿入り」してもいいかも知れません(^^ゞ
「堀川国広」も「来写し」だけあって、地鉄・姿共にとても新刀には見えず、「与三左衛門尉祐定」も重ねの厚さから古刀には見えませんでしたが、中心を見て二度びっくり(;O;)　あれでも十分研ぎ減っていましたから、鍛えられた時は「鎧通し」並みの重ねを持っていたのでしょうか？
数振りしか現存しない「井上真改」短刀と、「栗原信秀」も目の保養でした(^_^)
あの品揃えでは、「虎鉄」も霞んでしまったような気がします。
今回一番楽しみだったのは、成蹊堂さんのホームページにも掲載されている「福岡一文字」(^_^)
期待を裏切らず、素晴らしいの一言でした。姿も私の好みでしたし、手持ちも良く、まさに手に入れて「花散里家伝来品」にしたい逸品でした(^_^)

最後になりましたが swordsmith さん、今回もありがとうございました m(__)m　第４回の勉強会も期待しております(^_^)
勉強会の後の、鎬さんと刀士郎さんとの食事も大変楽しかったです。
本当はもう少し話をしたかったのですが、お二人とも遠方からのお越しですので我侭も言えず・・・

(^^ゞ
鎬さん・刀士郎さん、ぜひまたお会いしましょう(^_^)
神無月さん、今回はご挨拶できませんでした。次回は必ず m(__)m

大刀剣市も間近です。またお会いできると良いですね＼(^o^)／

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/02(Mon) 09:31

徳島は大雨で、正木ダムの放流が金曜１５０トン土曜１７０トン日曜５００トン
この放流量は、めちゃすごいですよ。だから川があふれそうになるんですね。
でも放流しないと、ダムがあふれちゃう～って事らしいです。
でも大分の耶馬溪ダムでは、渇水してるんですよ。上手くいきませんね。
東京は、標準的な夏日でして、阿佐ヶ谷の「欅並木」は順調に生長していると
「刀士郎さん」の分析でしたよ。
成蹊堂さん鑑賞会はめちゃ充実していました。
最近短刀が気になっている私にとっては、特に楽しかったです。
国広短刀、栗原信秀短刀、真改短刀、瞬きできませんでしたよ～
一番瞬きできなかったのは、刃切れ探しゲームでしたけどね（笑）
swordsmith さん　花散里さん　刀士郎さん　お世話になりました。
またお願いしますね～

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/09/02(Mon) 23:34

二十数年ぶりの阿佐ヶ谷は懐かしさイッパイでした。
『欅』の幹の太さに、時の移ろいのはやさを想い、ジーン。

私にとってはじめての刀剣鑑賞会は、メチャクチャ楽しく、感激の一日でした。
ただし、あまりの自分の無知さに呆然。あのわずか五ミリほどの、繭の糸が「刃切れ」とは、、、。
本のイラストで見るのとまったく違いショックでした。
そんなレベルですので、全てがヨサソナ刀にみえてしまいました。
目利きへの道は遥かに遠く、「欅並木」は大木の森になってしまうでしょう。

swordsmith さん　花散里さん　鎬さん　お陰様でとても楽しめました。
お世話様ですが今後とも是非宜しくお願いします。

徳島の「潜水橋」　高知は「沈下橋」
こちら遠州では　「もぐり橋」です。
真改さん　雨と風邪、週が明けて何処かに消えましたか？
おだいじに　お見舞い申し上げます。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/03(Tue) 14:43

中々の名品鑑賞会でしたね。ところで花散里さん、守末は長義の弟子長守系の鍛冶ですか？　とすると互の目ですか？　震災で銘鑑紛失のため・・・。ご教示お願いします。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：代表監督　投稿日：2002/09/03(Tue) 18:09

んんっ～、花散里さん!
是非ご教授お願い致します。m(__)m

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：神無月　投稿日：2002/09/03(Tue) 19:12

花散里さん、僕はなんとなくあの人が花散里さんではないかなぁというのはあったのですが、きっかけがつかめず挨拶できず終いでした。
次回お会いした際には必ずご挨拶させていただきたいと思います。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/03(Tue) 21:26

＞ご隠居さん
残念ながら、私の所有している本では系統までは載っていませんでした。
刃文は、おっしゃるとおりに小さな互の目だったと記憶しています。
どなたか、小反り派の系統が載っている本・銘鑑をお持ちの方、フォローをお願いします m(__)m
ちなみに、写真は「成蹊堂ホームページ」の「日本刀」からご覧下さい。

しかし、ご隠居さんに質問されると、授業中にいきなり先生に指された出来の悪い生徒になった気分です(^^ゞ

＞代表監督さん
意地悪、言わないよ～に(^_^;)
私が上の方で、素人丸出しの感想を投稿したからって、罰ゲームはないでしょう(T_T)
ってゆ～か・・・ここはやはり、代表監督さんがご隠居さんにお答えすべきでは？(^_^;)

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/09/04(Wed) 02:34<HOME>

鑑賞会にご参加の皆様、どうもお疲れさまでした。終わってからいつも思うのですが、あぁしたら良かった、こうした方が良かった、楽しんでいただけただろうかと不安と後悔ばかりがよぎります。特に今回は遠路お越しいただいた方も数名おられ、大変嬉しい反面、至らぬところも多々あったのでは無いかと冷や汗をかいております。回を重ねるごとに少しづつ内容を改善していきたいと思っ

ておりますので、どうぞ末永くお付き合い下さい。(と言いながらもそろそろネタが尽きてきました。笑)

ご隠居さん、はじめまして。守末は現存するものが極めて少なく、資料もほとんどありません。僅かに大名家の収蔵目録に名前を見るくらいです。作風は南北朝末期の小反一派の特徴をよく出しておりますので、やはり長船正系と切り離して観るべきかと思われます。長守に関してはあまり詳しくは無いのですが、長義の弟子、または兄とも言われ、現存する作の多くが短刀です。この時代、長船の正系は幅広の姿となり、長守もやはり身幅の広めの物が多いようです。刃文はご隠居さんが仰るように長守によく似た小互の目が連れた様子で、長守との関連を髣髴させるものです。派閥は違えど何らかの交流があったのかもしれませんね。考えてみれば小反一派自体がなんとも曖昧な存在です。フリーランス的な職人もいて、様々な工房に出入りしていたと考えるのも面白いかもしれません。あっ、単なる妄想ですので、皆さん軽く聞き流して下さい。(^^;

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/04(Wed) 05:24

花散里さん、ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさん、やはり長守の系類でしょうね。(長守は小反でなく長船長義系とされる鑑定家もおられます。)金蒔絵の塗りにしても刀箱にしても大名家のものらしい豪華なものですね。

しかし、他の鑑賞刀も名品揃いで、これだけのものを手にとって見れる機会は、たとえ大都市とはいえ、そうざらにありません。行けるお方は万難を排して参加されるべきですね。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/09/05(Thu) 20:26<HOME>

いや、あの・・・、その・・・、え～・・・、ご隠居さん、そんなに持ち上げられてしまうと次回何を揃えていいやら。(笑)今回はたまたまです。運が良ければよいものが観れるくらいのものです。確かにご指摘を受けて思ったのですが、刃文が長守によく似ています。系類と見るのが無理の無い考えでしょうね。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：純井　投稿日：2002/09/06(Fri) 20:46

手持ちの長船町史を開いて備州長船守末の係累をちょっと調べてみたのですが、この守末であっているのかが判りませんが、小反系の欄に守光子・應永とあり、係累を示す線が引っ張ってある守光の所には、應安・信守子・長光七代孫・後同名数人有とありました。参考になれば幸いです。

[679 へのレス] Re: 三回目の刀剣鑑賞

投稿者：代表監督　投稿日：2002/09/07(Sat) 14:48

あらら、一生懸命調べている間にいつの間にか答えが・・・　花散里さん、ということらしいです。(^^; しかし勉強になりますなぁ、ここは。恐れ入ります。m(__)m

[686] 槍

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/03(Tue) 08:43

通販雑誌が届いてびっくり
槍が、いっぱい！
めくってもめくっても槍槍槍
いきなり槍に意識が集中しましたよ。
これは、金曜日に仕事さぼって見に行くしかないよね。

[686 へのレス] Re: 槍

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/04(Wed) 18:39

槍も良いですが、現代の住宅事情では拵え付は難しそうですね(^.^)
家に置けるのは白鞘のものか、せいぜい手槍くらいまででしょうか？
三間柄の槍などは、いくら欲しくても物理的に・・・(^_^;)
佐々木小次郎ならぬ、奥さんの「物干し竿」になってしまいそうです(^^♪

私は磯釣りもやるんですが、釣り竿の長さは尺貫法が基準ですね。
もちろん例外もありますが、私の竿など２．７ｍ（一間半）と３．６ｍ（二間）が１本づつ、５．４ｍ（三間）の竿を３本持っています。
釣り場で竿を伸ばしながら、「三間柄の槍は、この長さか～」などと思ったりします(^.^)

トピずれ、失礼しました m(__)m

[686 へのレス] Re: 槍

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/04(Wed) 19:06

私の床には今日来ました。
びっくり

[686 へのレス] Re: 槍

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/04(Wed) 20:23

鎬さん、新刀一流刀工の槍でも、短刀に比べて値段がずいぶん格安なので値打ちがありますよね。
真改、助広の槍は千石取りでは手が出なかったそうですが、今では無銘物の脇差以下の値段、鎌田魚妙が聞いたら怒りまっせ。
しかし値段はたとえ安くても、金筋、ほつれ、食い違い刃、湯走り、短寸の中にありとあらゆる技法を見せていますから、一流鍛冶のものは違いますよ。ぜひこの機会にご覧になられては・・・。

[686 へのレス] Re: 槍

投稿者：出島屋　投稿日：2002/09/05(Thu) 07:30<HOME>

話は以前の討論掲示板と交差しますが、以前、ヤフオクで「水心子正秀槍（特保付き）」が出品され

たのご記憶でしょうか？２８万円で発句で誰も入札がなかったんです。それで自分だけが入札していてそのまま落札された時は一緒にいた城乃介さんと飛びあがって喜びました。そうやって自分の手元に来た訳ですが、その槍は、生在銘、秋元家臣、水心子正秀、天保年期入りのもので、正秀３７歳時の入念作です。秋元家の注文で１０本槍を製作したと言う記録もあり、刀身も小さいながら美しい柾目に強い黒い地沸、刃中には最上作の働き全てが含まれそれは見事な珍重品です。
結局､城乃介さんのものになりましたが､彼は多分一生手放さないでしょう｡こう言った刀工の｢刀｣はなかなか買えませんから､､､

[686 へのレス] Re: 槍

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/05(Thu) 08:56

良く鑑賞させてもらって来ますね。
技法が凝縮した手槍をターゲットとしま～す。
三間柄はマンションに入りませんよ。。。
珍重品のこってるかな～
お仕事さぼり隊は、有志が集まり？
現在三名。菊ちゃん松ちゃん楽しみだね。

[686 へのレス] Re: 槍・・・「あらぁ～」

投稿者：菊久　投稿日：2002/09/05(Thu) 13:19

「あらら～」
鎬さん、もうばらしちゃった・・・(^_^;)

でも、明日「楽しみだネ(^_-)」。
鎬さん、ご教授よろしくお願いしますヨ。

私は多分買えないだろうけど、大身槍が出ているか楽しみにしています。

---

[701] 「義人」と言う名の二人の匠

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/06(Fri) 21:22

「吉原義人氏」と言えばこのサイトに来られる方なら知らぬ人がいないほど有名な現代刀匠です。
吉原義人氏は、祖父吉原国家刀匠（笠間繁継門、旧陸軍受命刀工として有名）に師事し、備前伝を得意とし、リズミカルで華やかな刃文を焼くことで知られ、現在無鑑査の刀匠として活躍されています。

もう一人は「相田義人氏」あまり聞いたことがない方が多いと思いますが、日本のカスタムナイフメーカーの最高峰に位置する方で、ナイフ好きの方々ならば、彼の作品を一度は手にしたいと思う方も多いのではないでしょうか。
冒険家として有名なＣＷニコル氏は、「アイダナイフは形も、フィーリングもいいし、良い仕事をする。これこそ男のナイフであり、ナイフファッションとして装飾を除いたら、なにも付け加えるものはない。」と絶賛し、実際にニコル氏は、野兎や羊などの皮を剥いだり、肉を分けたり日常の身近な道具として使用しているとのことです。

まるで武士たちが自分の愛刀を自慢するかのような賛辞ですが、ひとつちがうところは、刀剣は武士の日常生活おいて、身近な存在ではありますが日常生活の道具の一つとして使用はしないということです。

相田氏は、カスタムナイフ界では世界的に有名な「女性のヌードマーク」を意匠とする、RW ラブレス氏や HJ シュナイダー氏に師事し、現在ではユーザーの人たちが納得いくように、入手可能な限りの高品質の材料を使用し、最高の加工技術と永年培ってきたノウハウを駆使し、機能性に富んだ美しいデザインのナイフを作り続けているとのことです。

相田氏の使用する鋼は、はじめの頃は、SK 鋼、SKS 鋼、SKD 鋼及び４４０－C 鋼
１５４CM 鋼を素材としていたそうですが、その後 ATS－３４鋼を使用して作品を制作しているとのことです。

技術革新の早い日本の国では､現在 ATS-３４鋼がカスタムナイフ作りの最高の素材かどうかは少し勉強不足でわかりませんが、鋼を選定する上で重要なことは、特に耐食性に優れ、刃持ち性、硬度、強靭性、加工性の順だと考えられているそうです。

なんとなく、日本刀の「折れず、曲がらず、良く切れる」に通ずるところがあるように思われますがいかがなものでしょうか。

今回は、二人の「義人氏」を焦点にスレッドを立ててみました。作品の姿や形に違いがありますが、金属を素材とし刃物を作ると言う点では同じであり、なにか共通点があるように感じます。お二方の作品は結構お値段も高いし、おそらく数打物ではなく、注文作品でしょう。オークションや転売品などを探せば手に入れることは出来ると思いますが、ウブ品を手にいれることは順番待ちなどの諸般の事情が重なり、大変難しいと思います。

数寄者にとっては、いずれの作品も垂涎の的であることは確かです。

[701 へのレス] Re: 「義人」と言う名の二人の匠

投稿者：純井　投稿日：2002/09/06(Fri) 21:59

これは凄い偶然と言うべきなのでしょうか。どちらも金属を加工して刃物を作るという一点で同じで、しかも同じく最高峰に有ると言う事は実に驚嘆の一言に尽きる事実です。

ナイフに関しては造詣がありませんので、始めてお聞きしましたが今度ナイフを見る機会があったならきっと探してしまう事でしょう。

このような面白い情報を書きこんでいただきまして、誠に有難う御座います鬼丸さん。

[701 へのレス] Re: 「義人」と言う名の二人の匠

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/07(Sat) 00:08

吉原義人刀匠はナイフメーカーとしても有名であったと思います。

ナイフマガジンでもお顔を拝見したことがあるような・・・。

あと、刀匠であり、ナイフメーカーとしても有名な方が『加藤兼国』刀匠ですね。ナイフマガジンでもお馴染みです。

ナイフは私も好きです。

ほとんどメンテフリーっていうのがまたいい。

[706] 関の刃物まつり。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/07(Sat) 02:23

関の模造刀メーカー「大澤刀剣」様から「刃物まつり」の御案内を頂きました。勝手に紹介してしまいますが…多分大丈夫…ですよね？

１０月１２日（土）、１３日（日）に行われます、
第３５回岐阜県関市刃物まつりのご紹介をします。

詳細（地図等）は来週早々、当トップページにてご案内致しますが、
当店も、もちろん出店致します。
出店番号１番ということで、会場の一番東側となります。
駐車場は、関市文化会館・関市役所となり、シャトルバスが
運行されております。
廉売市会場東口にてお降り下さい。当店まで徒歩３分です。
販売商品を少しだけご紹介致します。
・￥３０００ポッキリコーナー　（美術刀剣）
・￥１００００ポッキリコーナー　（居合練習刀）などなど
その他、復刻名刀シーリズ等刃物まつり価格にて販売予定です。
当日まで、お楽しみ！

その他たくさんの催し物がございます。一部をご紹介致しますと

・古式日本刀鍛錬一般公開
　場所：関鍛冶伝承館
　時間：１０：３０～　１３：００～　１５：００～　（１２、１３日　　両日）
・刀剣研磨外装技術一般公開（柄巻き師・研ぎ師・鞘師の実演）
　場所：関鍛冶伝承館
　時間：１１：００～　１４：００～　１５：３０～　（１２、１３日　　両日）
・刀剣展、現代新作刀剣展
　場所：関鍛冶伝承館
　時間：１０：００～１６：００　（１２、１３日両日）

…だそうです。
行ってみたいのですが…なかなか…。

[706 へのレス] Re: 関の刃物まつり。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/07(Sat) 21:46

ナイフが気になって、ちょくちょく購入しだしたのが二年前。
その頃、エマーソンのコマンダーというナイフが全盛で、その作者のエマーソンが突然来日し、刃物まつりに登場したのでよく覚えています。

有名なカスタムナイフだと、刀よりも相当高い金額が付いています。
機械で量産したものではなく、自作となるとこれは相当高くなりまして・・・、刀だと機械でなく自作というのは当たり前なのにね～。

でも、機械で量産されたものでも、機械の正確さから全く狂いのない精巧な物もありますから、実用ナイフのようなものの場合は、正確無比な方がいいかもしれません。

で、何を言いたかったかというと、関の刃物まつりは日本刀が好きな者からナイフが好きな者まで、刃物まつりというのですから、それ以外の刃物でもたくさん展示即売しているでしょう。
これは一度は行きたいですね！

---

[709] Go Go Go!

投稿者：代表監督　投稿日：2002/09/07(Sat) 14:58

みなさんのお知恵を拝借したく、投稿させていただきます。当然と思われることかもしれませんが、無知なもので・・・　　郷と江はどう使い分ければよいのでしょうか？重要刀剣の指定などを見ると伝江とあり、伝郷とは見かけません。(と思うのですが) 郷義弘は江義弘とは書いてはいけないのですよね？どなたかそのへんの違いや由来にお詳しい人が居られましたら、是非ご教授いただけないでしょうか。気になって気になって、刀の手入れも手につきません。どうか私の愛刀が錆びる前にお教え下さい。お願いします。

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/07(Sat) 15:44

「郷」と「江」、ですか・・・(^_^)
なるほど、言われてみれば確かにそうかも知れませんね。
ご隠居さんならば、そのあたりの事情をご存じないでしょうか？

ご隠居さん、どうかご教授いただけませんでしょうか？

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/07(Sat) 18:57

則重は『呉服郷』。
義弘は『松倉郷』。
ということは『江』は？？？

それぞれ、呉服・松倉という郷に住んでいたということでしょうか？

で、伝郷となると則重も義弘も指すようになるため、伝郷はない。
となると、江はやはり『義弘』の姓ということでしょうか。

あまり考えたこともなかったので、この際、とことん知りたいですね。

[709 へのレス] Re: ご隠居さんではなく鬼丸です。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/07(Sat) 19:04

《義弘は、「郷」といい「江」という。越中国松倉郷に居住したところから郷と記されていると言うのが一般の説明であるが、大和国の十津川郷とか越前国の大沼郷とか数村をあわせた郷は郡内にいくつもあって、松倉義弘とは、言っても郷義弘とは言わないのが普通であろう。
「往昔抄」に「江」と銘した押形があることは、「江右馬充」と称したということから勘案すれば、江は大江氏とみてよいだろう。清原氏の清少納言、菅原氏の菅公と同様である。
「享保名物帳」の本阿彌光徳金象銘の名物「稲葉江」、「北野江」には「江」とあり、「桑名江」には「義弘」とある。「郷」と銘したものは一口もない。
郷は江と音が通ずるところから後世になって当てられた言葉であろう。
また、郷にはふるさと故地の字義があり、京の吉光、鎌倉の正宗と並んで三作と言われたことになにか関連するところがあるのではなかろうか。』

（以上「高松市市制１１０周年記念事業：芦葉江と名刀展」図録中「小笠原信夫氏論文より、抜粋）

（註：三作とは、豊臣秀吉が粟田口吉光、五郎入道正宗とともに天下三匠と賛辞したことから、備前の三作帽子の三作と別です。）

なお、『古今銘図尽第七巻心形押形に「江は越中松倉郷住人義弘と打つ、為継濃州、江が子也』と掲載されております。

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/08(Sun) 04:45

義弘は江、郷と両方使いますね。根拠は鬼丸さんご解説のとおりでしょう。
よい機会ですから、武家目利き派？の義弘に対する扱いを紹介します。
◎ 小泉久雄著「日本刀の近代的研究」
「義弘は古来正宗十哲中の最上位に置かれ、正宗の優れたるものを見れば郷と鑑定せよと言われている位有名であるが、これまた先生の正宗同様在銘の確かなものは、未だ不幸にして見たことがない。」
として、一切の解説なし。
◎ 犬塚徳太郎著「新解刀剣鑑定法」
「無銘相州物、殊に「伝何某」と極められた物に対しては充分なる警戒心をもって接して戴きたいと云うことである。」「無銘「伝正宗」「伝貞宗」「伝義弘」等はすべて大山師の好材料であることを銘記して戴きたい。」
の二つを代表として挙げます。
中間派として
◎ 館平吉著「日本刀鑑定要訣」
「（信頼性があるとされる）桑名江と松井江とを比較するに各々地刃健全なれど、その作風を異にし共通点を見出すことは困難である。」

などされ、半信半疑的な解説をされている（ように思える）。
私がこれまで見た「伝江」は、どうも新刀のように感じました。「江と化け物は見たことがない」というのは、昔から云われていたようですからね。

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：代表監督　投稿日：2002/09/08(Sun) 06:51

おぉ、皆様有難うございます。　積年の疑問が氷解いたしました。これで我が家の愛刀の手入れに専念できそうです。しかしよい勉強になりました。刀剣関係の書籍もろくに持ち合わせてなく、周りに尋ねる人もいないので皆様のご教授が無ければ生涯知らぬで通したところでした。重ねて御礼申し上げます。m(--)m

---

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/08(Sun) 13:07

なるほど～(^_^)
鬼丸さん、ご隠居さん、打てば響くような明快なお答え、ありがとうございます m(__)m

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/09(Mon) 10:10

刀剣美術５２７号に稲葉江の解説で

1.松倉郷住義弘の略、江は音が同じなので使用
2.郷の草書体が江に似ているから使用
3.大江氏の略
4.本阿弥家の極めの場合、郷か義弘、江はない
5.極めものの作風を通観するにその存在は動かしがたい

といろいろ書いてありました。こういうミステリアスなとこがあるのが
刀の魅力だなー

[709 へのレス] Re: Go Go Go!

投稿者：久　投稿日：2002/09/09(Mon) 21:54

そして一般市民の私にはもっとも縁の無い刀だな～っ！

---

[718] 静型と巴型

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/08(Sun) 16:03

ある本に
「薙刀には古来、静（しずか）型と巴（ともえ）型の二種類に区別されている。静型は刀身の反りが少なく、元と刃先の差がほとんどない、いかにも華奢な外見をしている。対する巴型は反りが大きく、元幅は狭いものの、刃先に行くに従って幅広く、先重でガッシリした印象を与えられる。」

とありました。

名前の由来の「静」とは静御前、「巴」とは巴御前なのですが、「静型」の形状は「長巻き」、「巴型」の形状は「薙刀」に思えます。
戦国時代は僧兵か荒武者の得物だったのでしょうが、なんとも優雅な呼び方があるものです。
よくある時代劇では、「薙刀」は御殿女中の持ち物として登場しますが、いつごろから「静型・巴型」の呼び方がされるようになったのでしょうね？

[718 へのレス] Re: 静型と巴型

投稿者：野崎　投稿日：2002/09/09(Mon) 18:53

　巴御前は木曾義仲に従って戦場に現れ、敵兵の首をねじ切って捨てたというワルキューレのような武闘派少女でしたが、静御前は義経に従って逃げ、捕らえられて頼朝の前で
「賤やしづ　しづの苧環（おだまき）繰り返し　昔を今になすよしもがな」
と舞っただけで戦闘に参加した記録はないようです。
　源平時代に巴御前と匹敵する女性戦士は越後の板額（ばんがく）か、平治の乱に語られている鈴鹿の立烏帽子御前くらいだと思いますが。
　薙刀は刀のうちの女形　と川柳によまれた江戸時代に婦人の武術になったみたいです。

[718 へのレス] Re: 静型と巴型

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/09(Mon) 22:33

そうですね(^_^)　静御前が戦闘に参加するのは、イメージしにくいですね。
静型の薙刀二振りが、徳川将軍家に伝えられていたとの記録があるそうです。
その内の一振りは、二代将軍秀忠が息女の珠姫を前田家に嫁がせる際に持参させ、静御前の霊験あらたかな宝刀として珍重されたそうです。

「静御前の霊験」とは、いったいなんなのでしょうね？(^_^)

---

[719] 奇峰とは・・・

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/08(Sun) 17:21

どなたか井上奇峰という刀工について詳しい方居りませんか？井上真改の子とも門人とも言われる人の様ですが・・・資料が少なく困っております。出来たら押形が載っている本を教えて欲しいです。

[719 へのレス] Re: 奇峰とは・・・

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/08(Sun) 18:40

得能一男　日本刀辞典
「摂津－天和　井上良忠　奇峰と号す　真改の子　のち日州住　直刃　湾れ」
刀剣要覧
「摂津－天和　真改子、又は門。良忠の道号。井上奇峰。大直刃調、湾れ沸つく。」
日本刀鑑定必携　福永酔剣（押し型付き）

「井上真改の長男、団右衛門、初銘良忠。銘　井上良忠、（菊紋）井上奇峰」

[719 へのレス] Re: 奇峰とは・・・

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/08(Sun) 18:53

奇峰は、井上良忠の号で姓門兵衛と称す、井上真改子
（出典：新刀大鑑巻乃一：飯村嘉章著、第１３８項に押形と共に所載）

上記の他は、花散里氏のレスに同じです。

[719 へのレス] Re: 奇峰とは・・・

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/08(Sun) 20:34

花散里さん鬼丸さん有難うございます！これで詳しく調べることが出来ます。またよろしくお願いします！（しかしこちらの掲示板は反応が早いので驚いております。ぜひこれからも利用していきたいです（＾＿＾）。

---

[703] これはどこの刀工？

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/06(Fri) 23:40

はじめて書き込みます。最近手に入れた脇差なのですが銘に”藤原宗治”と有ります。藤代鑑定では、時代　寛文新刀　地鉄　小板目　刃紋　直小互の目錵匂交じり　とあり九州の刀工ではと鑑定されました。しかし、どれだけ調べても出てこないんですこの刀工。おそらく豊後藤原高田の鍛治かなと思うのですが、どなたか詳しい方いらっしゃいませんか？もしかして銘鑑漏れ？

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/06(Fri) 23:58

ようおこしなさいました。m(__)m。
はじめまして。真改 2001 と申します。

さて、日本刀銘鑑を見てみますと・・・。
ありました！!(^^)!。
『肥前国宗治』伊予掾宗次門。寛文頃。肥前。（出典＝刀工総覧）
『肥前国宗治』伊予掾宗次系。天明頃。肥前。（出典＝刀剣と歴史）
と、でました。

大抵は、刀匠全集に載っていますが、この刀工は刀匠全集には載っていませんでした。(>_<)。

お役に立てましたでしょうか？!(^^)!。

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/07(Sat) 09:50

真改２００１さん、有難うございます！

もしこの肥前国宗治が藤原宗治銘で切っている押形があれば銘を比較できるんですが・・・。宗次銘ってけっこうつたない切銘なんですよねー。その門人とすればこれまたつたない切り方なのでしょうが、藤原宗治はけっこうしっかりと太鏨で切ってるんです。
やはり豊後高田鍛治かな・・・、ほんとは肥前刀の方がうれしいんですけど。
まだまだ情報御待ちしております。

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/07(Sat) 21:53

藤原宗治という切り銘は初めてということでしょう。
銘鑑漏れの方が確立が高いかな～。

九州の日刀保支部で、高田物の既刊誌が出ていればいいのですが。
そういえば、大分の刀工ばかりを集めた『大鑑』誌が、昨年にでたのではなかったでしょうか？
きっと、それには詳細に高田物のことも載っているのではないでしょうか？

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/08(Sun) 17:24

なんと！それは何という題名の本ですか？早速買い求めたいですが普通に購入できるのでしょうか。
その本に有れば熟睡出来ます（＾＿＾）。

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/08(Sun) 19:09

書名：大分県の刀　室町期からの
著者　発行者：　中原　信夫
発行年月日：　平成１３年７月 15 日
ページ数：　443P
状態：　未使用品　手擦無し

刀剣研究会講師・刀剣研究家である著者が、長年にわたって収集した豊富な押形をもとに出版。豊後刀の真の価値を世に問う情熱と愛情に満ちた著作。豊後、豊前それぞれの刀工銘の上の一文字から検索出来、資料としても使いやすい一冊。

30,000 円

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/10(Tue) 15:11

中原信夫先生の勉強会は、とっても楽しいんですよ。
ちょっと辛口なんですけど、そこが刺激的でして
私もサイン入り「大分県の刀　室町期からの」を
愛蔵してま～す。

＊中原先生の勉強会大阪場所に参加希望の方いらっしゃるのかな？
次の日程いつだったかな、気になる方はメール下さいませ。

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/10(Tue) 20:20

みなさま､情報有難うございます！ところで鎬さんは｢大分県の刀･･･｣の本をお持ちだそうで･･･。そこでお尋ねですがその本に「宗治」銘の刀工は出てきませんでしょうか？藤原を冠す刀工がいれば間違い無く高田鍛治という事になるんですが。砥師さんの話では肥前宗治と考えて良いのではとアドバイス頂きましたがまだしっくりこないのです。どうか教えてください。

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/12(Thu) 09:13

「宗治」銘の刀工は掲載されてなかったです。
まだまだ大分県の刀は、研究が必要と中原先生が
おっしゃってましたので、貴重な資料刀となるのではないでしょうか。
画像掲示板に「宗治」載せてくださいよ。
みなさんとても気になってると思いますよ～

[703 へのレス] Re: これはどこの刀工？

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/12(Thu) 13:18

鎬さん、調べてくださり有難うございます。･･･そうですか、載って無かったですか･･･残念ですがまだまだあきらめずに研究続けます！あと画像掲示板にＵＰしてみました。お暇なーら見てよねー（失礼しました･･･）。

---

[726] 刀剣の再登録

投稿者：太刀　投稿日：2002/09/09(Mon) 18:24

毎日楽しくＲＯＭらせていただいてます｡いろいろなご経験をお持ちのかたがたがいらっしゃるようなので、アドバイスをいただけないかと思ってカキコさせていただきます。昨年末に古青江とみられるうぶ中心の太刀を入手したのですが、登録証と現物の長さがあってません。多分、最初の登録者のところで交錯してしまったのだと思いますが、こんな場合、どのようにして再登録したらよろしいでしょうか？ご経験がある方がいらっしゃいましたらご教授ください。よろしくお願いいたします。

[726 へのレス] Re: 刀剣の再登録

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/09(Mon) 23:19

太刀さん、こんにちは。
その他の、反りや目釘穴の数は合っているのでしょうか？
登録証より刀の長さが短いのなら、研ぎの関係で短くなったのもありえますね。

刀の方が長ければ・・・刀と登録証が合っていないのでしょうね。
一度、刀屋さんに相談されると良いですよ。新規登録扱いになるのかな～？
新規登録扱いだと、地元の警察署で発見届けを出して、教育委員会の登録審査を受けて・・・ちょっと面倒ですが、不法所持にでもなれば大変ですものね(^_^;)

[726 へのレス] Re: 刀剣の再登録

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/09/10(Tue) 02:37<HOME>

プロからも一言。
花散里さんの仰るように反りや目釘穴の数を確認し、念のためその登録証を発行している教育委員会に問い合わせしてみて下さい。台帳に記載されている内容と照らし合わせる必要があると思います。中には悪質なブローカーがあまっている登録証を未登録の刀につけて売買するケースがあるのです。　その可能性がなければ、問い合わせた教育委員会に登録証にある記載事項に間違いがある旨を伝えて下さい。教育委員会の指示に従い、簡単に変更が出来るはずです。
　基本的には新規登録は認められません。刀に違う登録証がついていた場合の対処法については少々ややこしくなります。説明がかなり長くなってしまいますので、万が一そのような場合になったときにはまたご質問下さい。

[726 へのレス] Re: 刀剣の再登録

投稿者：太刀　投稿日：2002/09/10(Tue) 08:04

早速ためになる情報をありがとうございます。実は反りと目釘穴の数はあっています。問題は長さが 6cm ほど長いのですが…。私が悪質なブローカから購入したものではないので、どういう経緯でかはわかりません。ちなみに、各教育委員会では登録された刀剣の特徴等を長さなどのデータ以外でも管理しているものなのでしょうか？？

[726 へのレス] Re: 刀剣の再登録

投稿者：太刀　投稿日：2002/09/10(Tue) 18:07

本日、登録された県に聞いてみたところ、長さがおかしければ変更してくれるとのことでした。その他の特徴が台帳に記載されているかについて確認したら、刃文や鍛えは一致しましたので、単純に長さを間違えているようです。貴重なご指摘をありがとうございました！

[726 へのレス] Re: 刀剣の再登録

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/10(Tue) 18:18

良かったですね(^.^)
台帳には、刃文や鍛え肌などの特徴が記載されているんですね。知りませんでした。
登録証にあるように、銘や長さ・反り、中心穴の数ぐらいかと思っていました。
それはそれで、貴重な情報だと思います。(私が知らないだけ？)
ありがとうございました。

[728] 拭い用の布

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/09(Mon) 21:30

花散里氏の２ケ月前のレス
《材質も商品名もわかりませんが、刀屋さん仲間で流行中と言うのも頷ける使い心地でした》

判明しました。『製造・発売元：東レ株式会社（商品名：トレシ.ｋ）ポリエステル１００%』という商品ではないでしょうか。
もちろん、他社製品もあるとおもいますが・・・・
大抵のカメラ屋さんで入手可能とおもいます。
ネル布より古い油の拭き取り感が良いように感じます。

ご隠居さんに「このカブキ者！」なんて怒られるかもしれませんが・・・(^_^;)
（冗談です。怒らないでくださいね！！ご隠居さま）

でも、私『福井県無形文化財伝統工芸士（山崎吉左衛門謹製）の美術刀剣拭紙』を愛用しております。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/09(Mon) 22:03

メガネを使用している私も、「東レのトレシー」は以前使っていましたが、今回の商品はトレシーではないような気がします。
大きさは６０ｃｍ四方くらいありますので、４つに切って使っています。
手触りも、トレシーのように「いかにもポリエステル」といったものではなく、あまり光沢がなく、もう少し軟らかく、毛羽立っているように感じます。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/09(Mon) 22:40

ううう・・・・
ちがうんですか。２ケ月も探し回ったのに （T_T)
大きさも６０センチ四方あるからてっきりそうだと・・・

できれば、四分の一くださいませんか？　（冗談です。）

でも、なんとか追求したくなりました。

頑張ります。(￣ー￣) ニヤリッ

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/09(Mon) 23:13

まぁ、その手の商品は何十種類もあるようですので、その内のどれかは間違いなさそうですね。

私も奉書紙をよく揉んで、ごみや硬い部分を取り除き綿のような手触りになってから、油を拭っています。
しかし、樋や彫り物のある刀の場合は、打ち粉と奉書紙ではヒケをつけそうで怖いのも事実です。
そのような時、打ち粉を使わずに油を取れる「布」は、重宝してます。

お会いできたら、差し上げるんですけどね(^_^)
大刀剣市にでも、お会いできるといいですね(^_^)v

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/10(Tue) 03:00

油をよく取るということは、ほこりやゴミも付着しやすいので使用の際はお気をつけ下さい。
私は使い捨てのティシュをお勧めします。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/10(Tue) 06:05

花散里さん、鬼丸さん、仰っているのはマイクロ繊維布ですね。東レもテイジンもやっています。
紡績した繊維がごく細いので、集束された無数の間隙が吸着生を発揮し、よくゴミが取れるとして「メガネ拭き」「ガラス磨き布」として十数年前から普及しています。（私は繊維業界が長いです）
油の層を取るのにはよいかも知れませんが、力を入れて拭くのは良くないですよ。なぜならポリエステル繊維は表面がかなり硬いものだからです。まあお奨め出来ませんね。信じられなければ、工業試験所に行かれて顕微鏡で見たり、専門家の意見を聞いてください。
「さっと一度撫ぜたら油がきれいに取れる」という簡便さを求めるのは無理です。ゆっくり数回なぜてとるのがそんなに面倒でしょうか？
愛刀との「スキンシップ」がそんなにお嫌いですか？老生には考えられません。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/10(Tue) 06:30

花散里さん、早とちりでした。あなたの云われる布は、「マイクロ繊維布に起毛処理して、ソフトなセーム皮の風合いにした、レンズ拭き用布」ですね。それならレンズ磨きの最終工程で使うものなので、一概にわるいとは申せません。
まあしかし、日本の和紙を使ってふき取る方法を、プロに習われるといいのですがね。そんなに非科学的でも非能率でもありませんよ。ヒケのつくのは本当の手入れの方法をしないからです。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/10(Tue) 08:33

ご隠居さん
＞「マイクロ繊維布に起毛処理して、ソフトなセーム皮の風合いにした、レンズ拭き用布」
まさにそのような布です。

私も、今残っている方法は先人の試行錯誤のうえ、取捨選択されて優れた方法が残っているのだと思いますので、もちろん昔ながらの打ち粉と奉書紙を否定するわけではありません。
ご隠居さんの仰るとおり、私は自分のやり方や技術に自信が持てない、と言う事です。
樋の終端（変な言い方ですが）や彫り物の部分を、打ち粉と奉書紙で拭うとどうしてもヒケが付きそうな気がして・・・結果、力加減が中途半端になってしまいます。
そのような時、布で軽く拭うだけで油が取れるのは、ありがたいなぁ・・・と。
言い訳がましくなってしまいましたが、私も刀とコミニュケーションを取るのは大好きです。それがしたくて刀を購入したと言っても、過言ではありません。
決して、手抜きやお手軽さを求めての行動ではなかった積りだったのですが、仰るとおりプロにやり方を習うことにします。
ご教授ありがとうございました。
初心者ゆえの悩み、とお笑い下さい。ちゃんと手入れが出来なければ刀を持つな、とお叱りを受けそうですね(^_^;)

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/10(Tue) 09:12

花散里さん、早速ご理解くださって有難うございます。
それに第二の理由は、刀に関係する職方さんへの配慮です。この場合、鬼丸さんがお書きになっている越前和紙の職人さんですが、きちんと昔どおり寒の川水にさらした楮を炊き紙を漉いています。一生使ってもほんの二三度しか買ってあげられません。
こういう昔どうりの物を作っている刀剣関係の職人さんへの思いやりも必要です。
そして又、刀のような古い趣味には「形」が大切なんです。手入れするにしても、油を取ってきれいにしたらいい、という実用主義はおかしいのです。茶道や禅に通ずる「美しい形」の中でなされるべきものではないでしょうか。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/10(Tue) 14:47

＞ご隠居さん
大事なのは「鉄製品の手入れ」ではなく、刀の手入れを通じた自分自身の「心の手入れ」なのかも知れませんね。
先人・先達の知恵や作法には、素直に耳を傾けるべきだと思います。
これからも、私のような若輩者のため叱咤・ご教授よろしくお願いします。

話は変わりますが、「刀の愛好家です」と伝えると大概の人が「時代劇でよく目にする、丸いもので刀をポンポンと叩いているのは何をしているのか？」と聞きます。
なじみの無い人は、何か神秘的な「おまじない」でもしていると、思っているのでしょうか？(^.^)

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/10(Tue) 15:40

いやぁ、年寄の話はつい固くなり過ぎて・・・。
「美しい形」などと書きましたが、「安心して見ておれる所作」なんですよ。自然に振舞っていながら緊張感がみなぎり、見ている者が自ずと姿勢を正すような振る舞い、お分かり頂けますでしょうか。
日本刀の禅的鑑賞、手入れはその前提動作、と認識しております。これが私たちが先人から習った作法です。
まあ時代は変わりましたが、こういう世界は残しておきたいのですがね。

[728 へのレス] Re: 拭い用の布

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/10(Tue) 18:18

『大事なのは「鉄製品の手入れ」ではなく、刀の手入れを通じた自分自身の「心の手入れ」なのかも知れませんね。
先人・先達の知恵や作法には、素直に耳を傾けるべきだと思います。
これからも、私のような若輩者のため叱咤・ご教授よろしくお願いします。』

仕事から帰って早速レスしなければと、ホームページを訪ねたら、私の思っていたことを花散里さんがすで投稿済み。　m(._.)m　です。

『日本刀の禅的鑑賞、手入れはその前提動作』いい言葉です。
これを肝に銘じ、掟どおりの作法を慣行し、刀との対話を楽しむことにします。

[729] 白鞘について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/09(Mon) 21:40

現在白鞘に収めてある刀ですが持ち運ぶとき鞘の中でカタカタと刀身が鞘に当たる音がします。
刀身に傷が出来るのでどうにかしたいのですが何故鞘に当たるのでしょうか。
自分で直せると良いですが白鞘かどこか修理しなくてはなりませんか。
御教え下さい。

[729 へのレス] Re: 白鞘について

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/09(Mon) 22:28

白鞘は、朴の木を伐採後１０年以上は、自然乾燥のため寝かせます。
それは、鞘として加工された後に狂いがこないためです。
十分に乾燥されたものは、白鞘になった後も湿気を呼ぶことなく、逆に乾燥機などで強制乾燥したものは一時的に乾燥してもあとになって湿気を呼ぶことになります。

刀剣にまつわるコトワザで「そりが合わない」「元の鞘に戻る」などの表現がありますが、ごく一部

の利潤追求の刀剣商では、新しく白鞘を新調せず、あり合わせの古い白鞘に、本身を入れ何食わぬ顔で販売することもあります。
「元の鞘に収まるどころか、他人の嫁さんを娶るようなものです。」

薩州さんのお刀はそのようなことはないとおもいますが、お刀の寸尺の長いものであれば多少のカタカタする音は素人考えですが仕方がないかもしれません。

それでも気になるようでしたら、白鞘の入り口「これを（ハバキ袋）といいますが）ハバキとハバキ袋の密着度を観察してみてください。
密着度が緩いとカタカタと音がしますし、鞘走りをして危険度が増します。
密着度が高いと鞘を払い難く、指を怪我するなどの危険度を増しますがカタカタする音は減少するものと思います。
また、錆びなどを生ずるようであれば、割り鞘をして掃除することをおすすめします。

何分素人の考えですので、できれば本職の鞘師さんにご相談するの一番の良策だと思います。

[729 へのレス] Re: 白鞘について

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/10(Tue) 02:49

はばきの高さを３０mm とするとはばきで０．１mm 狂うと
常寸(６６cm)の場合、切っ先で２.２mm もふれることになります。

前から思っていたのですが刀身はどうやったって鞘の中で鞘とあたるんじゃないでしょうか？

私ははばきと刀身の先のほうの棟で刀身を保持するのが
合理的じゃないかと思っているのですがいかがでしょう？

蛇足ですが私が刀を送ってもらう場合は特にお願いして鞘から出した状態で梱包してもらってます。
鞘に入れたまま送ると鞘あたりは必至だと思うからなんですが一般的には
鞘に入れた状態で送られているようです。
ということは実際には鞘あたりで傷がつくことはほとんどないのでしょうか？

[729 へのレス] Re: 白鞘について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/10(Tue) 20:07

鬼丸さん、一鶴さん有難うございます。本で読んだのですがはばきの役割とは鞘から抜け落ちないためと鞘の中で刀身を浮かせるためとありました。古い刀を良く見ると刀身にありあわせのはばきをあとから合わせたようなカタカタしてしっかり刀身を保持しないようなものもあります。下手に自分でいじるよりも本職さんにお任せする方が良いかもしれませんね。

---

[731] 小刀ですが

投稿者：萬蒐集癖　投稿日：2002/09/09(Mon) 21:58

実用に供してもいいもでしょうか？

やっぱり美術品として保管すべきものでしょか？
銘は【黒田山城守信利】と入った、重ね 2.5mm もあるものです。
ご教授をお願いします。

[731 へのレス] Re: 小刀ですが

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/09(Mon) 22:53

『山城守藤原信利』又は、『黒田清右衛大和守信利』天和頃・播磨国
刃文は、中直刃を主体に茎に菊花紋を彫る。

りっぱなお刀です。大事にして下さい。

[731 へのレス] 無題

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/13(Fri) 23:55

9 月１３日金曜日です。・・・・・・・・・・・・

ま・・・・いっか。

---

[743] 渡辺登幾雄氏

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/10(Tue) 06:27

ジャズサックス奏者渡辺貞夫の兄であり、刀剣研究家である渡辺登幾雄氏が
お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します。

[743 へのレス] Re: 渡辺登幾雄氏

投稿者：守重　投稿日：2002/09/10(Tue) 10:40

私は以前、ナベサダを好んで聞いておりました。栃木県の刀剣審査委員だったとは驚きです。元栃木県民として心よりご冥福をお祈り申し上げます。

[743 へのレス] Re: 渡辺登幾雄氏

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/10(Tue) 13:57

毎日新聞の記事では、
「県によると、渡辺さんは約６０年間にわたり美術刀剣や古式銃を研究した専門家。自宅に県指定文化財の刀剣類の「群仙人図二所物・銘菊池政長」などを所蔵していた。」
とあり、刀剣類が奪われた可能性もあるそうです。
お名前は存じ上げませんでしたが、ご冥福と早期解決をお祈りします。

[743 へのレス] Re: 渡辺登幾雄氏

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/11(Wed) 17:22

「オレンジ・エクスプレス」頃は聴いていました。
しかし…刀剣を狙っての犯行だとすると…今年に入ってからも確か富山県の方で立派な刀が盗まれ

た事件がありましたよね。
昨年も関西と関で同様の盗難事件がありました。
刀剣を狙ってとうとう殺人まで…と決め付けるのは早計かも知れませんが、一日も早く解決して欲しいです。ご冥福を祈ります。

---

[763] 刀剣の本について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/12(Thu) 17:37

どなたか「新刀大鑑」という本をお持ちの方おりませんか？２冊組みで飯村嘉章さん著の本です。購入したいのですが内容がわかりません。かなり高価な本なので・・・(５－６万円程)。お持ちの方詳細をお教え下さい！

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/12(Thu) 18:41

新刀大鑑上下巻セットで定価７万円送料１２００円

刀剣美術工芸社
〒１７３－０００４　東京都板橋区板橋４－１０－２

内容は、私の拙い文章ではご理解し難いと思いますので本書の序文を抜粋しましたのでご参照下さい。

本書、新刀大鑑を以って茲に刊行、本文の内容は我が国に現存する刀剣の中から年代的に区画して新刀事態を基本とした其の製作年代は桃山期を含めて慶長を初期とした其の末期を宝暦、明和迄とするこの期間に存在した著名工の製作した有銘刀剣を基準に実物大、自筆押形を製版に納めた。
この掲載刀数は大鑑巻乃一・二として千七百二十余刀を掲げた。・・・・・・・中略・・
新刀研究に最も注目すべき茎やすり刀工銘、個性的刃文等に特に重点を置いて又、有銘の数ある作は年代順に掲げ製作時代を判り易くした。・・・・・中略・・・・・・・
終編に刀工銘字、系統年代等も明記して「新刀名鑑全集編」を掲げ愛刀家各位の必要に備え常に座右にあってご利用あらん事を切望するものであります。

ということですが、とにかく大著であることは間違いありません。
購入されても御納得されるものと思います。

追伸　肥前の宗治も押形にはありませんが、銘鑑の項には出ていました。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/12(Thu) 20:31

鬼丸さん、早速のレス有難うございます。なかなかすごい本の様ですね。価格に見合った内容の様です。なんとか欲しいですが高いですね・・・。何か売って資金を作らねば。あと「宗治」ですが画像掲示板にＵＰしましたので見てやってください。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/12(Thu) 21:19

「何か売って資金を作らねば。」

『宗治』拝見いたしました。踏ん張りがあり、加えて反りも申し分なく、姿の良いお刀ですね。加えて闊達な銘振りがなんともいえませんね。

『新刀大鑑』ほんとにいい本ですが、『宗治』はお売りにならないでください。（暴）　大事にしてください。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：オオタ大鑑　投稿日：2002/09/12(Thu) 23:12

新刀大鑑は、あいうえお順に載っていたのではなかったでしょうか。
国別に掲載されていない場合、案外と使い辛いかもしれません。
私は先輩から勧められた「日本刀随感」を愛用しております。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/12(Thu) 23:17

「新刀大鑑」実は僕も捜してるんです。
古本屋さんのサイトで調べたところ安くても５５０００円。
なかなか…。状態の良い物は６００００円以上しそうです。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/13(Fri) 22:21

オオタ大鑑さん、「日本刀随感」という本の内容はどのようなものですか？なるべく有名ではない刀工まで押形や作品の特徴とか網羅してある詳しく載った本が良いのですが。価格も高いんでしょうね。やはり高い本ほど内容が濃いのでしょうか・・・。お教え下さい。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/14(Sat) 16:35

「刀」一振り分は、図書に投資するように
仙人様よりご指導賜った事があります。
刀剣は一生の趣味。私は、あせらず一歩一歩前進する方針です。
薩州住人士学さん、楽しくやりましょう。
「日本刀随感」は、古刀編と新刀編の二冊あり
内容はすばらしいと思いますよ。

[763 へのレス] Re: 刀剣の本について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/14(Sat) 19:19

鎬さんご忠告有難うございます。熱しやすく冷めやすい性格が私の悪いところで・・・。ほんとに一生の趣味にする様にあせらずじっくりとやらねばなりませんね。注意します！「日本刀随感」購入してみようと思います。先ずはじっくり勉強勉強・・・。ひとつきに五振りも刀剣を買う馬鹿な私に天罰を・・・。

[778] 鍔の手入れについて

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/14(Sat) 18:29

若芝在銘の鍔を持っていますが少し赤錆が出ています。どの様に手入れすれば良いのでしょうか？偶然手に入れた拵に付いていたのですがあまり状態が良くありません。刀装具については今まで興味が無く、全くの無知に近いです。お教え下さい。

[778 へのレス] Re: 鍔の手入れについて

投稿者：hyouchan　投稿日：2002/09/15(Sun) 16:58

う～む私の様な知識の乏しい者の出番ではないでしょうけど
少し赤錆が出てる程度なら鼻の脂もしくは刀剣油を気長に塗
るのが良いと聞きます。自然に出た赤錆が黒錆に変わったのが
一番とれにくいと聞きますが・・・・・

[778 へのレス] Re: 鍔の手入れについて

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/15(Sun) 17:38

私もうぶ出しの外装に『若芝』の象嵌鍔が付いていて、赤錆でどうしよう～と思ったことがありました。

象嵌は油をつけて擦っても大丈夫かな～。でも錆が恐ろしくひどい状態だしな～と色々思いました。
最終的には冒険的に刀剣油を付けて、裁縫道具のヘラでごしごしと擦りました。
幸いに象嵌も全く傷まずに、錆もほとんど気にならないくらいになりました。

象嵌の外力に対する強度や耐久性が全くわからなかったので、本当の冒険でした。
このようなことは二度と経験したくないし、もう損傷の可能性が恐ろしくてできないでしょう。
逆に居合刀に使用した鉄鍔のなんの意匠もない、本当の鉄鍔の時は、CRC-556 に浸けてほうっておいたところ、赤錆だけが見事に落ちました。擦る必要もありませんでした。
しかし、これも象嵌や高価な鍔、価格に限らず大切・貴重な鍔にはお勧め致しません。

錆の部分を根気よく、刀剣油を付けて象牙のヘラや鹿の角で擦ると『悪い錆』が出て行くよ。と、京都の刀剣商が教えてくれたことがあります。
象牙のヘラも、プラスチックのヘラも結構な勢いで減ったことを記憶しております。

ちゃんとした管理方法を支部の刀装具担当者さんや日刀保本部へ手紙等でご質問なされると最も良い方法をご指導していただけるのではないかと思います。

刀装具美術館があった頃は電話でも職員さんが丁寧にいろんなことを教えてくれたことがありますが、気軽に質問できるところを見つけるというのは結構、大変ですよね。

以上、体験談でした。m(__)m。

[778 へのレス] Re: 鍔の手入れについて

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/15(Sun) 20:01

hyouchan さん真改 2001 さん有難うございます。部分的にというよりは全体的に粉が吹いたような状態ですので丁子油で掃除して様子を見てみようと思います。しかし今まで全く興味の無かった刀装具ですがこの鍔が縁で勉強してみようかなと思い始めております。全く持って刀剣の世界は奥が深いですね・・・。出口の見つからないジャングルの様です。(笑)

---

[759] 鉄の展示館

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/11(Wed) 21:54

長野東急で開かれている「選抜現代名刀展」と坂城町に出来ました「鉄の展示館」(「宮入記念館」ではありませんでした、失礼しました）に行ってきました。
現代名刀展の方は最終日前日に行ったんですが、あまり賑わっている様子も無く、刀の展示もガラス越しのため気軽に手にとって拝見出来る雰囲気も無く、また価格も２～３割高いデパート価格。店員さんも熱心に売っている様子も無く…ハッキリ言ってどの方が店員なのかも分からないという…こういうデパートでの展示即売ってのはもう考え直していい時期なのかも知れませんね。値段は高いし充分説明してくれる店員さんもいない…では誰も買わないのでは…と考えてしまいました。
実際はけっこう「売約」が付いていましたが…。

お勧めはその後行った「鉄の展示館」。坂城町というのは金属加工を中心とした企業３２０余を抱えた工業の町だったんですね。信州人のくせに全く知りませんでした…。お恥ずかしい限り…。
今回はそのオープンに合わせて「開館記念特別企画展」として「宮入行平とその一門」の作品が展示されています。
一階展示室では、親方・宮入昭平（行平）の初期作から遺作まで短刀・脇差・刀・太刀・刀子、計１７口が鑑賞できます。
（おまけに「山浦環」の脇差も！）
二階では一門展を開催中。
１５００円で売られている図録では、展示されていない作品を含めて３２口の写真が載っています。なかなか良いですよ。

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：菊久　投稿日：2002/09/12(Thu) 12:46

こてつさん、ご無沙汰してます。
そうですか、里帰りだったんですネ(^_^)

「鉄の展示館」の案内葉書が私のところにも入っていましたが、やはり「信州」までだと、ちょっと遠いですから軽いドライブ気分では出て行けません。しかし、スキーでたまに行くので、次回滑りに行った帰りにでも寄ろうと思っています。
でも、「宮入行平とその一門」の展示は開館記念特別企画展だから、私が見学に行く頃には違う展示になっているでしょうね。

何はともあれ、「新名所誕生」！　うれしいことです。

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/12(Thu) 23:24

こんばんは、菊久さん。
確認していませんが一階の宮入昭平展は常設ではないでしょうか。
二階は違うようですが。
ところで今年の大刀剣市と銀座Ｔ州屋さんの展示会は同じ日程
のはず…。忙しくなりそうですね～♪

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/12(Thu) 23:29

大刀剣市の日程は１１月２日から４日まで。

これは、またまた刀剣市のはしごですね！
(@_@;)

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/13(Fri) 16:16

＞大刀剣市の日程は１１月２日から４日まで

では、ＯＦＦ会刀剣三昧の後は、また食事会ですね(^.^)
前回の食事会は参加できませんでしたので、今回はぜひとも(^^ゞ
ドキドキしながら、楽しみにしてます(^_^)v

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：菊久　投稿日：2002/09/13(Fri) 18:28

＞大刀剣市の日程は１１月２日から４日まで

余程のことがない限り、私も行く予定を立てています。
また皆さんと、お会いできるのを楽しみにしているところです。(^^)/
その時は皆様、よろしくご教授の程お願い致します。

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：久　投稿日：2002/09/13(Fri) 22:55

今回も参加させて頂きます。これ程刀剣を手にとって多く見れるチャンスは
まず無いです。ここで１年分見とかないと！

[759 へのレス] Re: 鉄の展示館

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/15(Sun) 17:49

長州屋さんの展示会は、『刀２００振り以上』『刀装具２００点以上』の数ものすごい事ながら、最近『夏雄』さんに興味が沸いてきた私にとって、刀装具のそうそうたるお名前のオンパレードには恐れ入りました。

信家、夏雄、一乗など、正宗や村正の如く刀剣を知らないものでも名前くらいは知っているような感じの『刀装具』版のお名前が窺えます。

さらに、林又七の鍔も出るようで、九曜紋透かし鍔愛好家の私(^_^;)にとりましては、どんな鍔だろうか・・・と、今からワクワクしておる次第です。

博物館だと手に取れない、距離がありすぎるなどの理由で今ひとつ鑑賞という感じには程遠い感を持っているだけに、この大刀剣市と長州屋展示即売会は今年最後で最大の見て触れることのできる刀剣展になることでしょう！！
＼(^o^)／。

---

[785] なんと！

投稿者：久　投稿日：2002/09/15(Sun) 22:40

さきほど知ったのですが明日１６日まで東京国立博物館で
名物『三日月宗近』が展示されているそうです。

私の一番の憧れる太刀、、、、。見たいけど地方在住にはほど遠い夢、、、、、。見たかった。

[785 へのレス] Re: なんと！

投稿者：神無月　投稿日：2002/09/16(Mon) 23:22

う～ん残念っす。
北海道に帰ってきていなければ見に行けたんですけど・・・。

[786] 長州屋展示会。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/16(Mon) 19:58

今年は２・３日の二日間のようですね。
ＨＰに展示品が紹介されていました。今年もすごい名品揃いです。
「菊一文字」も…。何年か前に拝見したアレかな？
兼元の短刀も出るようです。
小道具では後藤のオンパレードです。すげ…っ。

[786 へのレス] Re: 長州屋展示会。

投稿者：神無月　投稿日：2002/09/16(Mon) 23:31

「千子正真」もありましたね。
正真は少し前に載っていたやつでしょうか、見てみたいです。

[786 へのレス] Re: 長州屋展示会。

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/17(Tue) 23:36

ＨＰ拝見しましたが、いやーすごいすごい
私は青江の貞次、直次が気になります。

---

[790] 真昼の決闘

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/18(Wed) 08:47

昨日はすごい１日でした。「真昼の決闘」という感じです。国家が行う意志決定の生々しい光景が画像でまのあたりに見れるのですから、えらい時代ですね。
昨１７日は暦の上では赤口（しゃっこう)、「あらゆる事始めよろしからず忌むべし」とある日です。無残な結果が出たのも暦の上では不思議でありません。棒を呑んだような小泉総理の表情が胸中のすべてを語っています。文書交換の場面は、これで刀を差しておれば正に黒澤映画のひと駒、蒼白の横顔に武士を感じました。

[790 へのレス] Re: 真昼の決闘

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/18(Wed) 08:59

ほんとうに「真昼の決闘」ですよね。
相手陣営にての交渉ですから
もしも。。。もありますよね。
言葉一つが慎重になるでしょうし
難しい。「真昼の決闘」だったと思います。
小泉総理一行は、護身用具を携帯してたんでしょうか？
持ち物検査があったらしいので、丸裸かな？

[790 へのレス] Re: 真昼の決闘

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/18(Wed) 12:36

ここは趣味の場ですから、政治の話はいたしません。
ただ、「正念場」といいますか、限られた時間での決着の場面、こんな場面では刀を指して向き合った決闘の場面に、通じるところがあるなと思い、投稿しました。小泉さんも自分の生命は眼中にないでしょう。しかし「云いたくて云えない」何かがあるような、気配とみました。

[790 へのレス] Re: 真昼の決闘

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/20(Fri) 00:23

私の住む神奈川では、今夜は月がとてもきれいです。
彼の地の方々にも、この美しさを共有できているのでしょうか。

天の原 ふりさけ見れば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも　「望月望郷の歌　安倍仲麿」

[795] 鍔の本について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/20(Fri) 23:12

再度お世話になります。
鍔の銘鑑のような本をご存知でないでしょうか？
刀剣要覧では心もとなくて・・・。
どなたかお教え下さい。

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/21(Sat) 09:25

「鐔小道具鑑定入門」まだこの本が読破できておりません。。。
と言う事は、赤子なんです。。。

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：久　投稿日：2002/09/21(Sat) 13:31

　刀剣に大鑑があるように「鍔大鑑」川口陟著／刀剣春秋社／があります。
今は古本屋で３０,０００円～５０,０００円位で見かけます。

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：出島屋　投稿日：2002/09/21(Sat) 15:25

「金工事典」雄山閣出版（昭和４７年発行、５５００円）
鍔工だけでなく、金工作者ほとんど全て載っています。銘鑑ではないので、銘などの写真はありませんが、作者を調べる時には大変役立ちます。

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：薩州住人士学　投稿日：2002/09/21(Sat) 22:07

鎬さん久さん出島屋さん有難うございます。早速探してみます。最近鍔の深みにはまりかけていて、もがいている所です。（＞＿＜）

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/22(Sun) 19:06

この掲示板の過去ログにも、正弘さんから鐔や小道具の本についての投稿があったようですが。

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：hyouchan　投稿日：2002/09/23(Mon) 08:54

鐔小道具鑑定入門は私も持ってますが・・・・わからん（泣）
鍔は難しいですね。私にとって非常に難解です。

[795 へのレス] Re: 鍔の本について

投稿者：正弘　投稿日：2002/09/23(Mon) 12:12

私も最初は鍔はさっぱりわかりませんでしたヨ。刀剣趣味を 10 年くらい続けていると、小道具には興味のなかった愛好家でもだんだん鉄鍔に惹かれてくる人が多いようです。
「鉄が見える」ようになるんですかね。鉄質はなんと言っても日本刀は最高ですから、いろいろ見ておかれることです。刀も鍔も地鉄ですよ地鉄・・・。

[798] 国定忠治　赤城山

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/21(Sat) 09:18

国定忠治　赤城天神山不動の森　　行友李風
「忠治」赤城の山も今夜を限り、生れ故郷の国定の村や、
縄張りを捨て国を捨て、可愛い乾分の手前たちとも、
別れ別れになる首途だ。
「忠治」あいつもやっぱり、故郷の空が恋しいんだろう。
加賀の国の住人小松五郎義兼が鍛えた業物、
万年溜めの雪水に浄めて、
俺にゃあ生涯手前という強い味方があったのだ。

ところで、忠治の加賀の国の住人小松五郎義兼が鍛えた業物
ご存知の方お教えくださいませ。

[798 へのレス] Re: 国定忠治　赤城山

投稿者：野崎　投稿日：2002/09/22(Sun) 05:36

私の知っている台詞は「加賀の住人小松五郎が鍛えし業物。俺には生涯（しょうげえ）手前ェと言う強（つえ）え味方が・」「親分！」でした。
渡世無宿人が在銘刀を持っているはずは無いので親父さんの国定村庄屋の所から持ち逃げしたのでしょうか。
実際は忠治のころは縞の合羽に三度笠ではなく、無宿人はホームレス同様の生活で、清水次郎長の時代に移し変えて劇化しているそうです。
武士以外は帯刀を禁じられていても旅行中は護身用の脇指を許されていましたので「長脇差（ながどす）」と言って大刀を一本差ししていたのです。「霧に消え行く一本刀」で・・・。

[798 へのレス] Re: 国定忠治　赤城山

投稿者：守重　投稿日：2002/09/22(Sun) 09:40

関係ないけど、忠治の末裔が国定で刀鍛冶していますね。「正家」だったでしようか？　まだ 30 歳代だったと思います。

[798 へのレス] Re: 国定忠治　赤城山

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/22(Sun) 17:10

小松五郎義兼

「江州住雲龍子義兼作」又は「上毛於新田郡笠懸雲龍子義兼作之」
本国加賀国小松より江州に移住

一説には、国定忠治の妾「お玉」の招きにより上州にて鍛刀する。
講談などで知られる小松五郎とは、上記刀工と言われている。

作柄は、板目に柾まじりで、五ノ目の頭が尖りごころの乱れを焼く。

講談上の架空の刀工だと思っていましたが実在の刀工だったようです。

（参考文献：得能氏著の刀工大鑑）

[798 へのレス] Re: 国定忠治　赤城山

投稿者：野崎　投稿日：2002/09/22(Sun) 21:22

近代史の川村善四郎氏が昭和３２年藤　直幹編『歴史家の見た講談の主人公』という書に「国定忠治」を執筆され、真山青果や澤田正二郎の脚色する前の忠治について関八州代官所の記録などから復元しておられます。国定忠治は天保の飢饉で重代の名刀備前国定を売って貧民救済をしたというが、国定は丹波綾部の粟田口忠次郎国定で、名前が似てい

るからこじつけたフィクションだとしております。
　まあ、忠治伝説そのものが相当眉唾だと考えないといけないと思います
が・・・。

[798 へのレス] Re: 国定忠治　赤城山

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/23(Mon) 14:48

一般民衆が、お上や武士階級に思いっきり頭を押さえつけられていた頃の、ヒーローでしょうか？(^_^)
ねずみ小僧などと共に、いろいろと脚色されているんでしょうね。

[798 へのレス] Re: 国定忠治　赤城山

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/24(Tue) 16:04

たくさんの情報ありがとうございま～す。
皆さんさすがで御座います。
斉藤孝氏の日本語の本を読んでたら
親記事の台詞が載ってまして、気になってんですよ。
時間が脚色させたのか？時代が脚色させたのか？
面白いですよね。
お願いついでに、この記事にでてきた刀匠の作品画像などあれば
投稿お願いします。ちょっと無理言い過ぎですね。

---

[793] 展示即売会

投稿者：久　投稿日：2002/09/19(Thu) 23:11

　今日の朝刊で知ったのですが新潟県で紀ノ国屋さん主催の刀剣展示即売会が明日～２３日まで新潟市の下越婦人会館で開催されるそうです。新潟県では展示即売会は殆ど聞いた事が無いので嬉しい限りです。

　明後日さっそく行ってみます。(^ __ ^)

[793 へのレス] Re: 展示即売会

投稿者：鎬　投稿日：2002/09/21(Sat) 09:20

そろそろ、この後にレポートを載せてくれるんでしょう？
久さん、待ってるよん。

[793 へのレス] Re: 展示即売会

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/21(Sat) 17:36

その「紀ノ国屋」さんとは、東京駅近くのあの「紀ノ国屋」さん
でしょうか？…僕もレポート期待してます～。

[793 へのレス] Re: 展示即売会

投稿者：久　投稿日：2002/09/21(Sat) 23:05

そうです。東京にある紀ノ国屋さんです。
しかし忙しくて最終日の月曜日に行ってきます、、、、。m（__）m

[793 へのレス] Re: 展示即売会

投稿者：久　投稿日：2002/09/23(Mon) 21:53

今日、早速展示即売会に行ってまいりました。が、東京駅近くの紀ノ国屋さんではありませんでした。東京都練馬区の（株）紀ノ国屋さんでした。紀ノ国屋さんってもう１店あったのでしょうか？

さて刀剣すが展示品の半数が拵え付きなのがびっくりいたしました。展示品の６割近くが新刀で古刀は短刀が多く展示されていました。その中でもまたまたびっくりするのが短刀の８割が拵え付きでした。
これいいな～っ！と手にとったのが菊紋近江守久道２尺４寸８分でした。４３０万円ナリ。

ここ新潟県で刀剣の展示会はそうそう無かったので久しぶりに沢山の刀剣が見れて嬉しく思います。あとはこのまま高ぶった気持ちを１１月大刀剣市まで待てるかどうか、、、。

[793 へのレス] Re: 展示即売会

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/23(Mon) 22:25

久さん、展示会レポートをありがとうございました。
刀剣に限らず、展示会はどうしても大都市優先ですから、なかなか見ることが出来ない方々も多いかと思います。
本物をたくさん見るのが、上達への早道なんでしょうけどね(^_^)

[793 へのレス] Re: 展示即売会

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/23(Mon) 23:23

お疲れ様でした。楽しんでこられたようですね。
それにしても練馬区の紀ノ国屋さんとは…初耳でした。
新しい刀屋さんでしょうかね？
いよいよ展示会のシーズンです！

[817] 土浦藩土屋家

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/24(Tue) 06:39

土浦市立博物館で土浦藩を１１代２００年にわたって治めた土屋家の刀剣類、
国宝、重文、重美含めて総数８３口が前後期２回にわけて展示されてます。
先週土曜日早速行ってきました。(遠かったっすー)

武家の刀とはこうあるべきというような渋いものばかりでなかなか面白かったです。

協会の田野辺道宏氏の講演があったので聴講しました。内容はさすがに勉強になるものでしたが.....

２時間ぶっとおし！参加者は約１００人ほどで盛況でしたがご多分に漏れず
平均年齢は上のほう、耐えられず退席する方が続出してました。

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/section.php?code=43

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：野崎　投稿日：2002/09/24(Tue) 06:56

あの藩は武田流の軍学だったと思いますが何か特色がございましたか？

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：沼六屋　投稿日：2002/09/24(Tue) 17:58

遠路お疲れ様でした。
隣町に住んでいますが全然気が付きませんでした。
何時もなら私の職場にポスター等の掲示依頼でパンフと一緒に送られて来るんですが今回は届きませんでした。
土浦市長は刀剣類に理解が有る方です。
確か今回展示の刀剣類は土屋家末裔の方から譲り受けたと以前地元の新聞で目にした記憶が有りました。
前回の刀剣展示会の時には図録を発刊したのですが、ちなみに今回は図録などは有りましたか？

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/25(Wed) 06:24

野崎先生
武田流軍学ですか、不勉強のため刀剣類との結びつきはわかりませんでした。
ただ出来に華やかなものはなく練れた地金にいかにも斬れそうな刃紋の刀ばかりでした。

沼六屋様
今回もすばらしい図録が発行されております。１８００円でした。
もう少し各刀に関して詳しい解説が欲しかったですが写真は見たいところを見せてくれる
すばらしい出来です。
あと「土浦藩の刀工ー包定、胤光ー」の図録１０００円も残っていたので買いました。

ちなみに
ここの学芸員さんは非常にまじめな方のようで刀の測定は長さは０．０１mm
まで計測し誤差は０．１mm以内、重量は１ｇ単位で測定するそうです。

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：沼六屋　投稿日：2002/09/25(Wed) 20:12

本日遅ればせながら行って来ました。
平日と言う事もありユックリ鑑賞する事が出来ましたが、展示の高さが私には少々低く、刃文等を確認するのには中腰の姿勢になり腰が痛く成りました。
もちろん図録も購入してきました。
何時も思いますが自治体発刊の図録は値段の割りに良い作りでお買い得に感じます。
展示の刀剣も普段目に出来ない物ばかりで（何れも素晴らしい刀剣でしたが特に行弘短刀には釘付けに成りまた）本当に行って来て良かったです。
一鶴さんの仰ったとおり前後２回の催しで、前回のチケットで２回目も入館出来、展示品も入れ替わりに成るそうなので次も是非観に行こうと思っています。

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/26(Thu) 16:34

土屋氏は武田二十四将の一人土屋昌次を祖とし後徳川家に仕えて軍功あり、譜代並に遇せられる、分家に旗本土屋温直あり、「土屋押形」「新刀弁惑録」「新刀論」「新刀名作集」で著名な幕末の武家目利きです。
土屋家の刀剣では、重文太刀信房、々々則宗、々々恒次、々々守家、々々景光、々短刀左行弘、重美刀国光、々太刀景安（土屋家寄贈)、々々国綱、々短刀則重、と昔の記録ではこうなっているのですが、この中で国宝にどれかが昇格しているのでしょう。
武家目利き好みの刀剣だけあって、相州物は目立たず、本筋の逸品ばかりとみえ、近くなら行きたいものです。お近くの方、絶好の機会ですよ。

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：純井　投稿日：2002/09/27(Fri) 20:34

土屋温直の押型は大名家に入って書いたものばかりが並んでいる為に、稀に刀剣雑誌等に出てくると思わず構えて見てしまいます。
しかし土浦ですか…行きたいですがちょっと遠くて見に行けないですね。嗚呼、近くでもやってくれないかなぁ…図録も取り寄せ可能か聞いてみよっと。

[817 へのレス] Re: 土浦藩土屋家

投稿者：一鶴(ikkak)　投稿日：2002/09/28(Sat) 04:37

国宝には昭和３２年に行弘の短刀が指定されました。

[823] 鑑刀日々抄

投稿者：千手院義弘　投稿日：2002/09/25(Wed) 22:20

私がよく読む本の中に鑑刀日々抄がありますが、その中に（清和会・〇〇氏のために鞘書する。）と書いてあ

るのをときどき見ます。
「清和会」とはどうゆう会なのでしょうか、今日も活動しているのでしょうか？
もし知っている方がいたら教えてください。よろしくおねがいします。

[823 へのレス] Re: 鑑刀日々抄

投稿者：千手院義弘　投稿日：2002/09/26(Thu) 23:41

返信は無いようですね。
実は鑑刀日々抄（本間薫山著）の中でとても気になる刀の所有者の方が所属している会だったので気になって皆さんに聞いてみた次第です。
多分愛刀家の会だとおもうんですけど。
皆さんありがとうございました。

[823 へのレス] Re: 鑑刀日々抄

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/27(Fri) 11:54

ご存知の方がいなくて、残念でしたね。
本に掲載されている会ですので、おそらく有名な会か大きな会なのでしょうけれど・・・

---

[827] 復活！「子連れ狼」その２

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/27(Fri) 20:21

北大路欣也主演で３０年ぶりにテレビドラマとして復活する「子連れ狼」、いよいよ１０月１４日（月）１９：００からテレビ朝日系列で放送されます。

第１話「子を貸し腕貸しつかまつる」１０月１４日
第２話「御定書第七十九条」１０月２１日
第３話「あんにゃとあねま」１０月２８日
と放送されていくわけですが、たったの全９話なんですね(T_T)
約２ヶ月間の放送となるわけで、短い・少ないと思うのは私だけなのでしょうか？
同じくテレビ朝日系列で、昭和４０年から放送された「新選組血風録」、昭和４５年から放送された「燃えよ剣」、何回か中断しながらも一昨年から毎月１～２巻づつビデオを購入して今月買い終わりましたが、両作品とも１巻に２話づつ収録されて全１３巻。２６話ですから、半年間に渡って放送されたわけです。
萬屋錦之介が主演した「子連れ狼」も３部構成で全７９話放送されましたし、あの長編の「子連れ狼」がたったの全９話とは・・・

予算の関係など作る側の問題もあるでしょうが、今の時代は見る側の問題もあるのでしょうね。
すぐに飽きてしまって、視聴率が上がらなくなるとか・・・

[827 へのレス] Re: 復活！「子連れ狼」その２

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/27(Fri) 22:59

むしろ、再放送を夕方５時くらいあるいは必殺シリーズの再放送をよくやっている午後２時くらい

の時間帯にやってもらえると、子供も喜ぶし、ビデオも活躍するというもの。

もちろん、楽しく拝見することは間違いなし。

あの強烈なイメージの萬屋錦之介が主演した「子連れ狼」を私の頭の中で凌駕する作品は出ないような気がするな～。

[827 へのレス] Re: 復活！「子連れ狼」その２

投稿者：守重　投稿日：2002/09/27(Fri) 23:04

うーーむ、たったの９話。。。。。あっという間に終わりですね。せめて 20 話位やってくれれば。。。
７年くらい前に NHK の BS で子連れ狼をやっていましたが、突然放映中止となり、また１年位してからまた続きをやり始めて最後「腕（かいな)」までやっていました。とても奇麗な画像でした。
今回の９話はやはり最終話の「腕」なのでしょうか？　でも楽しみ。

---

[829] 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/27(Fri) 22:54

ここ一月のうちに、阿波徳島出身の刀工としては有名な『山城守歳長』と『陸奥守歳長』の刀がネット上と通販誌で出ています。

阿波の刀工の作品自体見る機会が少なく、私自身も歳長の売品に出会ったのは初めてです。
その解説の中に、『やや梨子地がかった美しい地鉄で。所謂「歳長地鉄」と呼ばれる歳長独特の肌云々』という記載がありました。

そこで、この『歳長地鉄』とはどのようなものかをご存知の皆様、ぜひ、ご教示下さいませ。

また、最近の市場を見ておりますと、重要指定の脇差が随分と低価格に設定されるようになってきたように感じますがいかがでしょう？
特保との価格差は鑑定書の上からだけでは、あまりなくなってきたように感じます。
もっとも、一概には言えませんが・・・。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：ikkak　投稿日：2002/09/28(Sat) 08:11

東京は雨です。
そういえばこの間行った即売会では重要刀剣には値札がついていませんでしたね。
他の刀の価格も一時期に比べてえれー安くなっていて衝動買いを抑えるのに
苦労しました(笑)
またそこは現代刀にあまり力を入れてないとこで現代刀はトホホな値段でした。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/29(Sun) 09:39

「歳長地鉄」ですが、私は聞いたこともなく（書本などで）見たこともありません。この際、１０冊ばかり基本的な解説書を調べてみましたが、ありません。刀屋さんが使っておられたのですか？
歳長は作品が少ないのか、私は脳裏に残っているものは僅か１口です。これは好き者が持っていたもので歳長の中で出来のいいものだと思いますが、「小杢目が地底に沈んでやや肌立つ地鉄」だったと記憶します。
「歳長地鉄」がどういう特徴をとらえて云ったものか分からないので断定的には申せないのですが、「山城伝の小杢目に見えてしからず」という似て非なる点を言ったものではないでしょうか。
この歳長、江戸時代には大與五国重と同様位列は今よりうんと上で、村上孝介氏の雑誌で番付が紹介されていたと思います。
今日では同然表にすら載せていない解説書もあるくらいで、どちらかと云えば「忘れられた刀工」です。一般的に「所謂『歳長地鉄』」という慣用句で扱われていないと考えますが、どうなんでしょう・・・。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/29(Sun) 21:07

所謂『歳長地金』という表現が載っていた刀剣通販誌は、柴田和男氏の『日本刀柴田　刀和』に掲載の歳長です。

私も手近な刀剣鑑定書などを見てみましたが、歳長自体簡単な文章で載っているのが普通で、地金の特徴などを書いているものはありませんでした。

でも、刀剣商さんの間でこのような表現がなされているのですから、誌上鑑定では一つの特徴表現となり得ますでしょうし、併せて、歳長と鑑定する上での重要な特徴となりえるのでしょうね。

隠居様がおっしゃるように、出来は良いし時代の評価も高かった。しかし、なぜか今では表にあまり登場しない『忘れられた刀工』なのでしょう。
私も、阿波の出身刀工ということで知っていただけで、それ以上のことは何も知らなかったですし、刀自体も拝見したことがありませんでした。

位列も高く、出来も時代の評価も高いのに、『今では表に出てくることの少ない、忘れられた刀工』は他にも多くいるのでしょうね。

歳長地金については、１１月の大刀剣市に行ったときに柴田さんに直接、ご教示をお願いして参ります。

また、何か他に情報がありましたら、よろしくお願い致します。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/09/29(Sun) 21:53

真改さん、ご隠居さんお久しぶりにおじゃまします。
ikkak さん　はじめまして

さて、２口目　早くも？ヤット？購入しました！！！
忠綱からアガルこと４５０年（らしい）。
鎌倉中期の「福岡一文字」です。
重要刀剣になってます。指定の説明を頼りに波紋と二ラメッコです。
そうそう老眼鏡とルーペもかかせません。
ご隠居さんのように「小木目が地底に沈んで・・・」なんて
カッコよく愛刀を解説できたら最高なのですが、タイピングとともに
目筋も一向にあがりません。

私のような初心者が２口目で重要なんてチョットはやすぎる！
なんて、どなたかに叱られそうですが遅まきながら出だしが肝心と
真改さんのお言葉を思い起こし、踏み切りました。

そんな加減なので　本当の刀剣の相場はサッパリ解りませんが
結局、刀屋さんの　人を信じて　購入いたしました。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：花散里　投稿日：2002/09/29(Sun) 23:37

刀士郎さん、ご無沙汰してます m(__)m

な、なんと「福岡一文字」？＼(^o^)／
それって、私が手にとって涎を垂らしながら見ていた、金象嵌入りのものでは？
そうか～、刀士郎さんの元にお嫁に行ったのか～(^_^)v
羨ましいですね。いつまでも、お大事に(^_^)/~

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/09/29(Sun) 23:52

私は自分の恥ずかしい多くの経験から、『こんなことなら、何口も求めずに重要刀剣の逸品を求めておけばよかった。』と思いました。

投資したお金が全部あって、コレクションの再チャレンジができるなら、『なんでも欲しいという衝動』に駆られた過去を反省し、充分に吟味した物、たとえばそれは鑑定書でいうならば『重要刀剣指定』以上のものを、求めるでしょう。

刀士郎様がお求めになったのは、まさに刀を学ぶに一番良いといわれる『備前刀の逸品』なのです

から、素晴らしい選択であったと思います。
私のように無駄にお金を使う必要がないのがうらやましい。(^_^;)。

私は一番最初に買った美術刀剣が『近江大掾忠広』で、買ってからこの刀を真剣に見つめ学びました。おかげで？(^^ゞ、生まれて初めての入札鑑定で一口しか当てることのできなかったのが、これでした。
他はまったく入札自体ができませんでしたけれど・・・。(>_<)。

なかなか、鎌倉の福岡一文字なんてお目にもかかったことがありません。
満足度も１２０%でしょうし、それから学ぶことも興味も尽きることがないと推察致します。

偉そうな言い方で恐縮ですが、刀を所有する喜びと学ぶ楽しさ、そして、そこから広がる探究心で素晴らしい刀剣ライフをお過ごし下さいませ。
m(__)m。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/09/30(Mon) 00:08

こんにちは、刀士郎さん。
「福岡一文字」…いいですね、羨ましい。二口目で重刀とは…！
しかも二口とも良い御刀を選んでます。すごい大小が出来ますね。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：ikkak　投稿日：2002/09/30(Mon) 05:07

刀士郎様
ハウアー！
あれお買いになったんですね...
おめでとうございます。
私多分お会いしていると思います。

ところで私こと一鶴(ikkak)は
「本当は葵美術の店長さんでしょ！」とか「葵美術の関係者の方ですか？」
とかよく聞かれます。
確かに似たような字面ですがまったく関係ありません。
ただあまりにも誤解している方が多いのでこれからは"ikkak"
とさせていただきます。

[829 へのレス] Re: 羨ましいかぎり

投稿者：菊久　投稿日：2002/09/30(Mon) 06:52

刀士郎様、「お初です m(_ _)m」

そうだったんですかぁ～。

皆さんのお話を総合すると、刀士郎様が今回お手になさった一口とは、私も一度この手にとって拝見したいものと、画像ばかり眺めていた「一口」のようですネ。
「おめでとうございます」と最初に出てこなければいけないものが、「羨ましい」とう言葉の方が先に出てきました。^^;

察するに刀士郎様は、小生居住地より程遠くない距離にお住まいのものと存じるあまり、もし機会があるなら「一度、生で拝ませて頂きたいもの」などと厚かましくも思わずにはいられないのが正直な気持ちです。

兎にも角にも「素晴らしい一口入手、おめでとうございます」

[829 へのレス] Re: 初めて買った刀

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/30(Mon) 09:11

真改さん、初めて買った刀が近江大掾、これは優等生コースではありませんか。二代忠広は作品が多いですから出来のわりに値段が安く、また駄作がありませんから尋常作という「お値ごろ品」でも永年もっていて「嫌になる欠点」が少ないものです。
「重要刀剣なら間違いない」というのは、刀を求める指針として果たして如何でしょうか。老生はよしと致しません。何故かと申しますと、①刀で損をする率の大きいのは重要刀剣だからです。重要もピンキリありますが、「無銘極め物の安い重要」は損の大きいケースではないでしょうか。②刀の買い方の是非は、売ってみて直ちに分かることです。
もちろん、そのお方の財産状態にも大きく関係するでしょうね。一般人にはとてもお奨めできないと思います。ただし、これは一般論で、一文字ご購入に対する所感ではありません。一文字の場合は、たとえ無銘であっても地刃が福岡一文字然としたまぎれのない特徴を示しますから、例外です。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/09/30(Mon) 19:25

皆様の入札、成績優秀「あたり」です。
私のもとへ嫁いできたときには、花散里さんの涎がまだ刃紋に残ってました。
（良く見たら丁子油でした。）
みなさん、いつもながらいろいろとありがとうございます。

刀を買うということは難しいものですね。
重要指定にかぎらず、需要と供給のバランスですからきっと価格は
下がってきているのでしょうね。
私は刀を投資の対象とは元より考えませんが、やはり購入価格は
適正価格であってほしいのはとうぜんです。それでは
、適正価格は何を持ってはかればいいのでしょうか？
自分の満足度だけでは、心もとないですね。
一文字は手放すつもりはありませんが、売ってみてどのくらいになれば
よいのでしょう。

そもそも刀屋さんの利潤はアベレージでどの位なんでしょうか？
５０％ぐらいでしょうか？つまり、仕入れの倍ぐらいが販売価格ではないでしょうか。
もちろん価格帯もピンからキリまであるのですから、一概にはいえないでしょうが・・・。
つまり、そうすると購入価格の半分で売れれば（下取り等関係なく）適正な取引
であったと言えるでしょうか。
もちろん気持ちの上では、もっと高い価格で売れればと思うでしょうが・・・。
私はまだ刀を売ってみた経験がありませんので何ともいえませんが。

菊久さん　はじめまして
機会があれば是非ごらんください。
お近くのようなのでお会いできそうですね。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/09/30(Mon) 20:19

初代歳長、本国阿波徳島、後に山城堀川に住する。
始め、広次とも銘ずる。陸奥守歳長の兄

陸奥守歳長、洛陽及び坂陽に住して後に伊勢に移住、地鉄は、小板目約み
美しく潤いがある鍛え。

特記事項として、山田浅右衛門正景の裁断銘のあるものや仙台伊達綱宗公
との合作銘のあるもが現存している。
陸奥守は、延宝年間に活躍した刀工で、当時は井上真改よりも売れっ子
だったかも？

以上鬼丸談

[829 へのレス] Re:刀は投資ではない

投稿者：隠居　投稿日：2002/09/30(Mon) 20:52

刀士郎さん、「刀を投資の対象とは考えません」ご尤も、当然です。私も若い頃に求めました刀をいまだに手放さず大事にしております。売ることを前提に刀を求めるものでないことは同感です。
しかし、好きで買った刀ながら持っている間にその欠点が段々拡大されてきた時に新しく別の刀が無性に欲しくなり、予算のせいで前の刀を売却しその費用にあてる、こういう場合があるのです。
これは刀の研究をし、様々なものを知っていく過程で、１０年ごとくらいに心中むらむらと起こって参ることで、老生も過去に何度かありました。
その度に数口の刀に金額を足して１口にしてしまい、これ１本あれば一生何も要らない、などと誓うのですが・・・。
刀士郎さんの場合は、まったく別で、こういう無駄のないコースだと存じます。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/09/30(Mon) 23:17

尊敬する　ご隠居さん
私じつは、齢五十を迎えまして始めて刀剣とであいました。
これまでさしたる趣味も無く道楽者でもありませんでしたので、
それだけに「ハマッテしまいました」
私の「コース」はとても「エリート」とは程遠く
出遅れたトウシロウです。
ほんとは「刀士郎」あらため「一文字」なんて立派な名前に変えようと思ってましたが　まだまだ「今一文字」程度ですね。
今後とも宜しくご指導お願いします。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/01(Tue) 06:55

皆様。
歳長にかんするご教示をありがとうございました。

また、刀を買うために使ったお金という意味で、『投資』と書いたことがちょっといけなかったと反省しております。
言葉の意味を考えながら投稿に気をつけたいと思います。
私の思っていたことは、隠居様の No.848 の内容がまさにその通りで、重要刀剣水準のものを勧めた理由も、無駄のないコースを・・・、という意味からでございました。
無駄のないとは？と言われると私の場合、他の人の場合、あるいは結果からみてそう判断できるとか、客観的にみてそう判断できるとか、いろいろな見方があるので一概には申せないとは思いますが、私個人のとってきたコースは今から判断すると、『おしいことをしたな～。』と思うのです。おしいこととは、『儲け』のことではないですよ！(^^ゞ。

最近、肩こりと腰痛がひどくて一昨日整体に参りました。
その結果、昨日は反動で全身が痛くて大変でした。２１時には寝て５時半に起きるという次第でした。
で、今晩辺りに隠居様から褒めていただた『近江大掾忠広』を求めた理由というか感想といいますか、それを書いてみたいと存じます。
なにせ、一番最初に買った美術刀剣ですから、『な～んだ。そんな理由か。』と思われるかもしれませんが、超初心者のころそう感じて買っていたのだなぁと、思い出を話す形でお願いできればと存じます。m(__)m。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/01(Tue) 13:39

刀士郎さん、やりましたね！

お手入れは、毎日三回以上してくださいよ～（冗談）

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/10/01(Tue) 15:25

鎬さん、ありがとう。
毎日三回以下にするよう努力してます。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：純井　投稿日：2002/10/01(Tue) 18:48

おお・・・早い。しかも二振り目が福岡一文字ですか・・・素晴らしいですね、是非一度拝見してみたいものです。ナンに致しましても、念願の古刀、二振り目の福岡一文字、大事に手入れをして下さいね。＾＾

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：代表監督　投稿日：2002/10/01(Tue) 20:24

刀士郎さん、おめでとうございます。しかし・・・　二振り目で・・・　福岡一文字!!!　すごいですね！　私なんかまだ一振りも持ってませんよ。かなり数は見ているんですが、なかなか手が出るまでいかなくて。どこかに素敵な刀が無いかなぁ。良い出会いがあった刀士郎さんが羨ましいです。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/10/02(Wed) 18:32

純井さん、その後いかがですか。風の便りに新しい門出をされたと・・。
おめでとうございます。頑張ってください。
今回もご覧いただいていろいろとご教授ください。楽しみにしております。

代表監督さん
どうぞ、末永く宜しくお願いします。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：純井　投稿日：2002/10/02(Wed) 21:42

刀志郎様>
はい幸いに新しい門出をする事が出来ました。暖かい励ましのお言葉ありがたく頂戴させていただきます。
私如きでは余りお教えする事は無いかとは存じますが、今後とも宜しくお付き合いの程をお願い申し上げます。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：氷心子　投稿日：2002/10/03(Thu) 21:37

いつも楽しく拝見しています。

さっそくですが、歳長地鉄について、たまたま最近入手した故村上孝介氏が主宰をしておられた雑誌「刀苑」（昭和５２年７月号）を読んでいたら、鑑定会の鑑定刀の解説のページにその説明が出ていましたので、抜粋してみます。

鑑定刀は、「山城国二村歳長」

「・・・・・彫物は少し変わった意匠で梵字も異風であります。之が二村歳長の自身彫かどうかは判りません。平常あまり彫物の少ない工でありますから、此の彫りについてはどうとも申しようがありません。併し埋忠彫や一竿子、記内彫とは全く違って居ります。切っ先は延びて居りますが、ふくらが豊かにつき反りは浅い方でありまするし重ねの厚さで頑丈な感じを与えた姿であります。之は新刀としては二村歳長によく見るもので之が無銘極めの場合などは極め手の一になります。地肌は板目肌で地沸がついて居りますが、不規則ですが樹林肌ともいってもよい丸い肌がありますが勿論下原の渦巻肌とは違って居ります。物打あたりの棟寄りに大肌が流れて居りますが、総体に柾心は余りありません。従って美濃伝系の地肌と見ることの出来ないものでありますが、総体よく練れた感じは少く肌立つ心も少ないもので地鉄に冴えた感じはありません。之が二村歳長系や出雲大じょう吉武系にままある地肌でございます。
　従って此の頑丈な造り丈夫な姿ではありますがいかにも重いところとこの特殊な地肌で二村歳長ではないかと充分に感じさせるものであります。・・・・・沸が刃縁に凝っており直刃であることで山城伝、小丸上りは山城新刀の特徴でありますから山城物と見ることが出来ますから地肌と合わせて結論は二村歳長となりますが、姿に踏張りの少ないところ等から桃山期のものではないかと感じもありますが先細りの感じが矢張り寛文頃の時代を考えたくなります。・・・・・樹林肌がありますので下原物の新刀康重、照重にもありました。下原の樹林肌はこんな不規則ではなく大きさも一定し、中央に出ます。之は大きさも不定で而もその位置も定まっておりません。・・・・・」

とあります。銘は、阿州徳島住人二村左近藤原歳長於洛陽作、と思わずシビれてしまう長銘のある、傑作刀のようです。それにしても、この回ではこの二村歳長や城慶子正明が鑑定刀になるなど、そのレベルの高さはすごいと思います。さすがに二村歳長は一本当たりは少なかったようですが、正明は一本がかなりあったようです。
村上先生は、本阿弥光遜先生の高弟で、戦前からの愛刀家でした。戦後は、日刀保から常に一歩離れたところにいて、刀苑社刀剣会を主宰し、独自の道を歩まれました（同志に福永酔剣先生や、先日亡くなられた得能一男先生などもおられました）。
村上先生の鑑定刀の解説を読んでいると、これが、刀の見方はこうするものだ、こういう順序で極めをつけていくのだ、よいうことがよくわかるのです。本阿弥流の鑑定法もでてきて、たとえば、糸直刃は第一感では脇物とみるべし、とか、応永以後の末備前の名刀（俗名入りや所持銘入りの注文打ち）には渡来鉄（南蛮鉄？）を用いているものが多いので、新刀とみまがう硬くて光の反射が強い地鉄がある、故に備前独特の匂出来がこの頃には沸崩れが多くなる（これには、思わず納得！）など、です。刀の見方の勉強になります。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/04(Fri) 21:01

氷心子さん、はじめまして。長文のレポートを、ありがとうございます。
この「樹木肌」が、真改 2001 さんお尋ねの「歳長地鉄」になるわけですね。
勉強になりました m(__)m　これからも、よろしくお願いします。

[829 へのレス] Re: 所謂『歳長地鉄』とは？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/04(Fri) 22:54

氷心子様。
貴重なレポートをありがとうございました。

もし、歳長を拝見する機会がありましたら、この特徴を頭に入れてじっくりと鑑賞して参ります。

[856] なぜ、近江大掾忠広だったのか。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/02(Wed) 18:48

隠居様に褒められた近江大掾忠広ですが、なぜ求めることになったのかを思い出しながら書いてみたいと思います。

そもそも刀剣を見たい勉強したいと思い、『柴田光男の刀剣ハンドブック』を読んだ後、たくさんの刀剣が通販されていることを知った私は、多くの通販誌を購読することにしました。
たまたま、見た読売新聞に小さな広告が出ていました。
通販誌の見本誌を進呈するというもので、早々申し込みました。

やってきた通販誌は写真も見事な美しい本でした。
中に『長船忠光』だったと思いますが、忠光のその太刀が糸巻き太刀拵えと一緒に売りに出ていました。
直刃の綺麗な太刀でした。
『あー、なんて美しいのだろう。』と感動しました。
しかし、当然ながら買うことのできる金額ではありませんでした。

月日は流れ、同じ刀剣商の通販誌に後日私の手元に来ることになった『近江大掾忠広』が掲載されていました。
忠光と時代は違えど同じ直刃の中に品の良さが写真からも漂ってくるようで、両区深く健体を保ったその姿は、刀の中の刀と私に感じさせるに充分なものでした。
悶々とした日々を送りましたが、当然買うことなど適うはずもなく、毎日その通販誌を眺めておりました。

日刀保に入会して刀剣美術を購読するようになると、後ろにたくさんの刀剣商の広告が出ていました。
その中から、通販誌をさらに求めていったのは、たくさん見たいという気持ちが溢れ出ている私にとっては当然の行動でした。

そして、とある通販誌を見たときにドキッとしました。

これは、あの時違う通販誌で見た忠広ではないか！と。
これは縁かもしれないと信じた私は早速連絡し、他社の通販誌で見たものではないか？と今思えば失礼な質問をぶつけました。
同じ刀と確信した時、写真で見る美しさは扱う刀剣商が異なれど輝きは真に同じものを放っていると感じました。

また、価格も８０万円近く安くなっており、貯蓄をはたいて買いました。

やってきた近江大掾忠広は、約二尺四寸。健全さに手が重さで震えるほどで、なんらの欠点もないものでした。（と思っております。）

ということで、忠光の直刃の太刀姿を見て感動し、忠広の刀の直刃をみて感動したわけです。
凛とした気品ある姿に感動したのです。

匂いがどうの沸がどうの、ということも分からないころでしたので、刀の全体からくる気品にただただ感動して求めた次第です。

うったえてくる何かがあるから、感じるのだと思いました。
今、思いだしてくるのはそのことばかりです。

素直に感じること。
それを最近は忘れていたように思います。

近江大掾忠広だった理由はこんな他愛もない理由からですが、それも今では良い思い出の一つとなりました。

また、機会がありましたら刀にまつわるお話を書いてみたいと思います。

楽しい思い出がいいですよね！(^0_0^)。

[856 へのレス] Re: なぜ、近江大掾忠広だったのか。

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/03(Thu) 04:57

「素直に感じること」
いいですねー、私も近頃は大光量の電球で目を傷めながら傷探しに精を出し、
ごたくを並べるような鑑賞に流れていたような気がします。
刀を手に取りただただ感じるままを素直に受け入れる、それが一番なのだと思います。

[856 へのレス] Re: なぜ、近江大掾忠広だったのか。

投稿者：菊久　投稿日：2002/10/03(Thu) 07:27

小生。
日本刀剣が好きになったのは、保育所へ行っている時分のことだったと思いますから、かれこれ４０年近く前のこと、父から一口を見せられたのが始まりでした。
今思い出すに、ボタンを押して鞘をはらったところから、軍刀拵に入っていたものです。勿論、善し悪しの判るものではありませんので、姿がどうの肌がどうのといういぜんの問題で、ただ、「日本

刀ってイイなぁー」一著前に「俺も欲しい！」と子どもながら思ったものです。
その後、ずっとその想いは小学生・中学生になっても消えることはありませんでしたが、子どもの自分には買えるものではないのは当然です。
それが、今。
やっと手にすることの時期が来て、最初に手にした一口をうれしいものですから、刀を知っている人に「やっと買いました」と見せると、散々に言われました。真改代表のように、購入前に刀剣本を読んだこともなく、日本刀に対する勉強」など一切していない私は、ただ日本刀の形をしていれば刀だと思っていたものですから、当然のことですネ。^^;
二口目も詳しくは書きませんが、よく似たものでした。

現在も、未だ勉強不足の上、資金不足もあり、価格的にはたいしたものを買えませんが、自分で「気になる」「なぜか心に引っかかって、後も頭の片隅から離れてくれない」そのようなものを求めています。
幸いに、今、所持しているものは人から見れば、たいしたものでは無いにしても、自分では『あばたもえくぼ』に見え、かわいいもので「お気に入り」です。

[856 へのレス] Re: なぜ、近江大掾忠広だったのか。

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/03(Thu) 12:48

真改さん、欲しいものをぐっとこらえて一度待ったのが好かったかも知れませんね。
刀はまず姿です。凛とした辺りをはらう気迫、神々しいまでの気品、これが日本刀の良さだと思います。
近江大掾の健全なものは鎬が少し高い造り込みだけに、実に堂々とした太刀姿です。さぞや、ご満足でしょう。
近江大掾は直刃よし、足長丁子よし、初代につぐ上手で、初代をしのぐものも数少なくありません。
刀剣を学ぶ者の必須コース肥前刀、この良さを満喫されたことでしょう。

---

[862] 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：虎の子　投稿日：2002/10/03(Thu) 23:49

はじめまして、「虎の子」と申します。
皆さんのコメントを参考に今後、日本刀について勉強したいと思いますので、
宜しくお願いします。

今朝新聞を見ますと「慶喜の太刀発見」という見出しが飛び込んできました。
新聞の内容を簡単に書きますと、

徳川十五代将軍、慶喜が大政奉還の際に所持し、
これまで所在不明とされていた太刀が見つかる。
鎌倉時代に作られ、足利家を経て徳川家にわたったとみられる。

長さ約七十センチ。中心に「國定」と銘が打ってあり、

鎌倉時代の京都の名工、粟田口國定が足利尊氏に依頼されて製作。
現存する國定の太刀は二振りしかなく、そのうち一振りは宮内庁が所蔵している。

柄に徳川の葵の紋が施されていることなどから、
慶喜が二条城で大政奉還のときに所持していた刀とわかった。

昭和 11 年に国の重要美術品に指定されたが、その後所在がわからなくなっていた。

十月二十四日から京都東山区の霊山歴史観で公開。

時間があれば一度は拝見し、時代を感じてみたいものです。

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/04(Fri) 20:36

はじめまして、虎の子さん。
これからも、よろしくお願いします。
粟田口國定について調べてみましたが、私の持っている本にはほとんど載っていませんでした。
ただ一つ、福永酔剣氏の「日本刀鑑定必携」に記述がありましたので、短い文ですがご紹介します。

國定　丹波　粟田口國延門　中次郎　丹波綾部に移住　文永

しかし、文永と言えば確かに鎌倉中期の 1264～1274 ですが、足利尊氏が征夷大将軍になったのが暦応元年(1336)ですから、晩年作と考えてよさそうですね。
京都まで行けば拝見できるんですか・・・見たいのはやまやまですが遠いですね(^_^;)

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/04(Fri) 22:52

いらっしゃいませ。m(__)m。

京都も良い所ですよね。
歩いても歩いても楽しい散策ができますし。

京都東山区の霊山歴史観では、確か『龍馬の暗殺に使用した刀』も所蔵していませんでしたか？
間違っていたら済みません。m(__)m。

徳島から京都へは、高速バスが大阪まで出ているので、比較的近くなりました。
が・・・、私は高速バスを利用して行った事がありません。
一度はバスで行ってみたい。

もし、御覧になったら感想などをお聞かせ下さいませ。m(__)m。

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：鈴ちゃん　投稿日：2002/10/05(Sat) 00:56

こんばんは。
少し前にこの「国定」を拝見する機会がありました。
二尺一～二寸ほどですが、反りはかなり深く、切っ先に行ってもなおも反る京反りです。
丸留めの棒樋を掻いていました。
丁子や小乱れをだいたい頭を揃えて焼いていて、さほど小さくならない切っ先に帽子は
乱れこんで、先は判然としなかったのですが、おそらく尖って返っていると思われます。
佩表中ほどに荒い沸の砂流しが二つあったのが印象的でした。。
地肌は全体には詰んでいて、所々に指の爪ほどの大きさの大肌が混じっている感じで
映りは全く有りませんでした。
　見た瞬間は福岡一文字を連想させる出来です。しかし少し見ると山城に見えてくる。
ですがなかなか粟田口を連想するのは難しい太刀だと思います。
どうしても来の最初の方や綾小路に行ってしまうと思います。
柄を抜いて　「は？」　と思いました。　スリアゲて茎尻近く棟寄りに「国定」と。
なにやら見慣れぬ「国」の文字。　何じゃろか？と思いましたが粟田口でした。
しかし"さすが・・・"とうなる出来でした。。
　鞘書に重要美術品・・・と書いていましたが、元々の鞘書は消され、その上に書かれている
状態でした。元は「珍刀」とか色々書いてあったようです。

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：太刀　投稿日：2002/10/05(Sat) 17:25

国定の太刀ですが、東京の静嘉堂美術館にも一振り収蔵されています。同美術館の刀剣図版に掲載されていますが、見事に詰んだ鍛え肌に備前刀と髣髴とさせる丁子刃を焼いています。これが原因してか、江戸時代には「定」の字を「宗」に見えるようにぼやかして「備前三郎」として通用させてたそうです。笠木反りが優美で、樋が掻き流されているそれは見事な太刀です。今回発見されたものもこれに似ているのかなと思っています。

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：虎の子　投稿日：2002/10/05(Sat) 22:39

花散里さん、真改 2001 さん、鈴ちゃんさん、太刀さん、はじめまして。

皆さんの意見、たいへん参考になりました。

新聞に「慶喜の太刀」の写真が載ってましたので、素人鑑定ですが紹介します。
鈴ちゃんさん、太刀さんが見た太刀と同じように棒樋を掻いてあります。
茎尻に目釘穴の跡があり 3 寸ほどすり上げ、京反りのとても綺麗な姿です。
刃文は焼き幅の広い直刃？湾れ？です。
刃文は、自信がないのであまり追求しないでください。

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：鈴ちゃん　投稿日：2002/10/06(Sun) 00:16

虎の子さんこんばんは。　私が見た太刀は、今展示されている国定それそのものです。　大変良い出来の太刀でした！

[862 へのレス] Re: 所在不明・・・慶喜の太刀発見

投稿者：太刀　投稿日：2002/10/06(Sun) 10:23

国定の太刀はもともとが長寸のものが多かったのかもしれません。静嘉堂のものもかなり磨上げて、銘が中心尻に残っているのですが、それでも刃長が 77cm もあるそうです。刃紋は一見備前刀に見える丁子刃ですが、刃縁が沸えづいて、砂流がかかっているとのことですので、かなり遺風なものなのでしょう。ちなみにかなり前のことですが、在銘の国定の太刀が都内の某刀剣商で売りに出たこともあるようなので、いくらかは現存しているはずです。京都のものもそのうち機会があるといいなーと思ってます。

[863] 誰の作品？

投稿者：P ちゃん　投稿日：2002/10/04(Fri) 11:20

はじめまして…
昨夜　ダウンタウン DXDX という TV 番組を見てたら、
タレントの志村けんさんが　日本刀を 1000 万円で購入したとおっしゃってました。
何枚かの写真では立派な拵えと太刀（刀？）と志村さんが写ってました。何年か前に　鍛冶屋さんの所へロケに行き、その時　お願いして作って貰った　と。
拵えも高価な物だそうで、「お守り」として持ってる　との事でした。
現代刀匠の作品で 1000 万…　誰の作品か　ちょっと
気になったので、ここにいらしてる方で　誰かご存知の方がいらしたら　　と　質問させて頂ました。
新参者ですが　よろしくお願いします。

[863 へのレス] Re: 誰の作品？

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/04(Fri) 20:44

はじめまして、Ｐちゃんさん。ようこそ m(__)m
「刀剣要覧」によれば、現代刀工でも一千万円クラスの刀工は何人かいらっしゃるようですし、拵が太刀拵えならば金具の良いものを揃え手間暇掛ければ、すぐに数百万円になってしまうでしょうから、値段だけではなんともいえませんね(^^ゞ
どなたか、番組をご覧になっていた方がいれば良いのですが・・・

[863 へのレス] Re: 誰の作品？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/04(Fri) 22:47

私もテレビを見ていないので、なんとも言えません。(>_<)。

参考までに､昨年のそごうでの新作刀展示会で１千万を超えて売価が付いていた刀匠は一人でした。

花散里さんのおっしゃるとおり、外装の値段もあるでしょうから、５００万の刀に５００万の外装も充分に考えれられます。
素晴らしい作品に高い評価が付きますと、鍔一枚が５００万しますからね～。

[863 へのレス] Re: 誰の作品？

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/04(Fri) 23:51

しまった～！！見逃した～！！けっこう気になる～！！
額からして…やはり人間国宝…？

[863 へのレス] Re: 誰の作品？

投稿者：P ちゃん　投稿日：2002/10/05(Sat) 00:07

　早速のご意見　有難うございます。
TV の写真では　はっきりとは見えなかったのですが、逆丁子刃の様に見えました。　何分　刀に関しては素人なので　間違ってたら
ごめんなさい！

---

[874] 刀＝剣？

投稿者：神無月　投稿日：2002/10/05(Sat) 17:44

ずっと前から疑問に思っていたことがあります。
あまりに基本的過ぎて、そんなあたりまえのことをいちいち聞くな言われてしまいそうですが・・・、日本ではなぜ刀のことを剣と呼ぶことがあるのでしょうか？
基本的に剣と呼ばれる物は両刃の物を指し、刀は片刃の物を指しますよね。
それなのになぜ刀のことを剣と呼んだりしたんでしょう？
日本刀は当初、剣を半分に割った形をしているから太刀と呼ばれるようになったという話を聞いたことがありますが、昔は刀と剣を別々の物というふうに考えていなかったんでしょうか？
どなたかご存知の方お教え願います。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/05(Sat) 20:21

　埼玉県稲荷山古墳出土の金文字銘の剣は両刃なのに「この刀」と書かれていますし、奈良県石上神社の七支刀も両刃ですが「刀」です。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/06(Sun) 01:03

剣道も竹刀（形では真剣が本当ですが）を使用するのに、刀道とは言いませんし・・・。

剣の道は険しいとか剣術一筋とか剣術指南役とかいいまして・・・。

ツルギとケンとはまた違うのかも？
ツルギは両刃の刃物を指し、ケンは剣や刀を指す。
よくわかりません。m(__)m。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/06(Sun) 05:16

うーん
刀剣って言葉もあるし....

物としての事物をさす場合は「刀」
刀と人との関わりに関係する事象をさす場合「剣」じゃないかなー

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：斉藤電気坊　投稿日：2002/10/06(Sun) 09:37

斉藤電気坊といいます。刀を美術鑑賞よりは古武器の立場から研究するアマチュアです。
確かに一般には刀は片刃、剣は両刃の形状ですが、剣は古典中ではその構造よりは高貴性があるものに使われます。
公家の帯びる儀仗用の刀は剣と呼ばれます。戦闘用の大太刀ですら野剣といいます。
一方、武家の刀は、どんな名刀であっても剣とは呼ばれません。そんなわけで皇室に納めた新作の守り刀がなんと呼ばれているか興味のあるところです。
刀術が剣術といわれるのは、下卒技との差別化と、身を守る霊器としての高貴性を謳ったものではないかと思いますがいかがなものでしょうか。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/06(Sun) 15:40

天下五剣もすべて片刃ですし、丙子椒林剣や七星剣も片刃ですよね。
刀身に素剣や倶利伽羅の彫刻がある場合、刀の中に刀では変ですから、やはりこれは精神性や信仰の表れなんでしょうね。
物や行動を表すのが刀で、精神や神秘性を表すのが剣でしょうか？
刀術や抜刀道と言うと精神性よりも技術が優先されるような気がしますし、剣禅一如などと言うと精神性が強調されるような気がしますが・・・

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/06(Sun) 17:37

　東洋史の雑誌に「中国では剣は刺突する武器、北方で用いられる。刀は斬撃の武器で南方で用いられる。剣は力で、刀は技で相手を倒す」とありました。

面白い分類なので出典を探しているのですが、まだ見つかりません。
大和言葉では「つるぎ」が刀剣の総称で「かたな」が片刃の剣となっておりますが、万葉集には「つるぎ太刀いよよ研ぐべし・・・」という用例もあります。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/07(Mon) 10:35

面白い疑問ですね。改めて問われると迷いますね。しかし野崎さんの仰るとおり、「つるぎ」が古い言葉で刀剣の総称でしょう。それから「刀子」とか「刀」とかが出てきた、とたしか「古刀史」や「日本刀剣全史」にあったと思っています。
だから「刀を使っているのに剣道」でも、べつにおかしくはないわけです。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：神無月　投稿日：2002/10/07(Mon) 17:45

みなさんありがとうございます。
日本では剣と刀というのは道具としての区別はしていないとういうことでしょうか。
道具としての区別ではなくて、思想とか哲学などの精神的な面で使いわけているんでしょうかね。

日本人って物事を明確に分けるよりも、どこか曖昧にしておくことを好む傾向がありますよね。
剣と刀という言葉もそういうものの一つなんでしょうかね。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/07(Mon) 19:40

それは、木製漆塗りの飯椀でご飯を食べていたのが抹茶茶碗で食べるように変化した後も、「ご飯椀」でなく「お茶碗」で通して変に思わない国民ですから・・・。
「薬缶」だって金属製のヤカンは本来漢方薬を煎じる道具だし。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：神無月　投稿日：2002/10/08(Tue) 20:18

なるほど、そういえばそうですね。
これは深く考えてもしょうがないことなんでしょうね。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：酔仙　投稿日：2002/10/10(Thu) 11:36

現在、中国語の定義では、
片刃のカタナを刀
両刃で直刃の物を剣
とはっきりと分けています。
今でも、中国人にとっては、日本刀は
「倭刀」です。

ヨーロッパでは、両刃の直剣は「sword」,
片刃の湾刀は「sabre」ないし「saber」のはずですが、
伝統的に日本刀は「japaniese sword」と呼ばれているようです。
ただ、sword の方が格上の印象があり、習慣的にこう呼ばれているんじゃないでしょうか。

[874 へのレス] Re: 刀＝剣？

投稿者：神無月　投稿日：2002/10/11(Fri) 15:50

みなさん、ご意見ありがとうございます。

---

[888] 三笠砲鋼

投稿者：白龍斎　投稿日：2002/10/07(Mon) 21:18

私の知り合いが次のような短刀を所持しています。
長さ２２．７センチ　反り０．８センチ
銘：表三笠砲鋼　秀明　裏昭和六辛未春
彫刻：皇国興廃在比一戦
福永酔剣著「日本刀おもしろ話」によると戦艦三笠の残鉄にて、掘井秀明刀匠が記念品のために作刀したものとの事ですが、いったい何の記念の為に作った物なのか御存知の方ご教示願います。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：暗黒斉　投稿日：2002/10/07(Mon) 23:19

昭和 6 年は 1931 年。昭和 5 年にロンドン海軍軍縮条約が成立し、軍部に危機感が高まっていた時です。5 年 11 月、濱口「ライオン」首相暗殺。6 年 3 月には大川周明らの軍事クーデター計画発覚。秋に柳条溝(湖）事件で、いわゆる「満州事変」勃発。

憂国の国士なら名刀を入手したくなるでしょう。

戦艦三笠は旧式化し廃艦準備中、大正 12 年の関東大震災で横須賀に座礁、それをきっかけに現在の三笠公園の位置に移動し固定保存されていました。ワシントン軍縮条約で記念艦の場合でも武装は外すことになっており、大砲などはダミーでした。その廃材で作ったのでしょうか。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/07(Mon) 23:47

参考までに、同じく福永酔剣氏の「日本刀鑑定必携」には、

秀明　北海道　堀井胤明の養子　兼吉　初銘兼明　後銘俊秀　室蘭製鋼所所属　元帥刀の作者　昭和１８年没　５８歳

「大正(1912)の頃になると、刀で飯の食えたのは、大阪の月山貞勝と北海道の堀井俊秀くらいのものだった。両人とも元帥刀など宮内省の御用があった。特に俊秀は室蘭製鋼所の鍛刀場主任として、もっとも恵まれていた。軍艦三笠の砲身で造った刀は、当時話題になった。」
と、あります。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/08(Tue) 00:43

余談ですが、昭和三十年頃にも作られているようです。

宮入昭平著　「刀匠一代」には

「昔三笠に乗り組んでいた今村中将だの、その頃見習い士官だった、長谷川清元大将らが、三笠のものは何も残らないが、せめて三笠艦の舷側に使ってあった鋼を使って、刀にして残しておこうということになり、私のところに話を持ち込んできたんです」

というクダリがあります。出来上がったのが刀なのか短刀なのか、文脈からは明らかになりませんが、こんな一節も出てきます。

「実は地鉄の中へ三笠の洋鋼など混ぜられないから、茎の尻のところへ、その鋼を鍛え込んでおいたのですが。」

俊秀刀匠の短刀の写真は一度見たことがあります。
表に「三笠」、裏に「秀明」。刀身に「皇國興廃在此一戦」。
宮入刀匠のは…刀だったのか短刀だったのか…？

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/08(Tue) 11:40

堀井秀明師は海軍の将官に評判が良かったらしく、昭和の初期からかなり作っています。私の見たその一つは、元総理大臣海軍大将鈴木貫太郎の刀で、
刀銘、源秀明　昭和二年五月吉日　刃長二尺二寸三分、元巾一寸三厘先巾六分七厘。海軍正式長剣拵で藍鮫研出し鞘、柄は金色柄糸深刻巻、山桜花文高彫の鍔金具、金色糸編の手抜緒が付いており、手擦れなく保存状態優良。
というものでした。　因みに　鈴木貫太郎大将は海軍次官、兵学校長、連合艦隊司令長官、軍令部長という海軍の要職を経て昭和四年六十三才で侍従長就任に際し予備役となりましたから、この刀はその二年前の現役の海軍大将時代に別注されたものです
。
秀明はこのように海軍のトップに篤く信頼されていましたから、三笠主砲の鉄をもって刀剣を作る場合、一番に指名されたのもまことに当然の話です。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/10/08(Tue) 20:14

刀剣柴田ではしばしば軍刀の特集をやることがあります。
特集でなくても多くをその月刊誌『麗』で掲載することがあります。

かつて、銘：表三笠砲鋼　秀明　裏彫刻：皇国興廃在比一戦の短刀が掲載されていたことを記憶し

ておりますので、麗を探してみましょう。
ひょっとしたら説明が載っているかもしれません。

というのも、今夏の麗の『現存の優品』の発刊に併せて、現代刀特集が麗であったのですが、現代刀について詳細な解説があり、改めてその知識と情報の豊富さに感激致しました。
すぐに探し出すことはできないかもしれませんが、ちょっと倉庫をごそごそと探してみます。
期待に添えない場合はご容赦下さい。m(__)m。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/08(Tue) 23:30

白龍斎さんが見た短刀の年紀である昭和６年は、三笠艦や東郷平八郎にとって何らかの区切りの年では無いようです。
となると、こてつさんのおっしゃるように旧乗組員たちが乗艦記念として欲しがったか、海軍将校が日本海海戦のほぼパーフェクトな勝利にあやかって欲しがった、ということでしょうか？
主力艦の主砲クラスになると、通常２００発程度の弾丸を発射すると砲としての寿命が来るそうですから、当時であれば実戦や訓練などで砲身を消耗し短刀などの材料には事欠かないと思いましたが、確かに短刀などの主要材料としては無理がありますね(^^ゞ
野崎先生が、画像掲示板に三笠の写真をＵＰしてくださっていますが、私も中学生の頃に訪れたことがあり、懐かしかったです。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：白龍斎　投稿日：2002/10/08(Tue) 23:59

色々と情報有難うございます。
皆様の情報を聞いて、素人同然の私がこのような短刀にヒョンナことから出逢いた事がとても喜ばしいです。
知人の話では、親父が元特攻隊で現在はお亡くなりなっていて、自分も刀剣に興味を持っている訳ではない。形見としてある。親父からこの短刀について殆ど聞いていないとの事でした。皆様から頂いた情報を早速伝えます。きっと知人も今以上に大切に扱う事と思います。
・暗黒斎様　「大砲などはダミーでした。その廃材で作ったのでしょうか。」
　福永酔剣著によると、黄海海鮮の際敵の砲弾が三笠の後部３０ｃｍ砲の付け根に　命中使用不能になったので室蘭製鋼所に持ってきて刀剣類を作ったとの事です。
・隠居様　私の手元に室蘭製作所発行のパンフレット「瑞泉鍛刀所」があります。
　これによると、秀明刀匠は、元帥刀や天皇への献上刀等作刀している様です。
　また、現在も子孫の方が引き継いで作刀している。機会があれば一度見学して見　たいと思っています。
・真改様　麗の情報期待しています。できれば現在の価値（値段）が分かったら教え　て下さい。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：暗黒斉　投稿日：2002/10/09(Wed) 06:46

黄海海戦とは日本海海戦の前年、明治 37 年 8 月 10 日に旅順のロシア艦隊出撃を連合艦隊が阻止した海戦です。この時は乱打戦になり、三笠も艦橋に被弾、植田少佐以下 8 人戦死、伊地知艦長も負傷するほどの激戦でした。

この時穴だらけになった鋼鈑で作った雪見灯篭が今も三笠に展示されｔいます。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/09(Wed) 14:26

白龍斎さん、ご友人の昭和六年紀短刀は７寸５分６厘で反りがありますから、海軍短剣拵には一寸不向きなようですが、６寸くらいで反りのないものは短剣拵に入るものです。（この寸の短い短刀は月山貞一、貞勝がお得意です。しかしこの三笠は貞一にはないでしょう。）

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/09(Wed) 22:23

夕方に倉庫をごそごそと探しておりました。
ちょうど麗と刀和が平成８年から１２年くらいまで行方不明となり、どうしようかと思って、麗をめくっておりましたところ・・・！

短刀ではありませんが、ありましたよ！
『銘　軍艦三笠砲鋼　秀明　裏　昭和五庚午歳九月日　彫　皇国興廃在此一戦』
鎬造り　二尺二寸二分　反り五分　元幅九分二厘　重ね二分二厘

解説では『戦艦三笠の大砲の余鉄をもって鍛えた作品である。』とあります。

『敵艦見ユトノ警報ニ接シ連合艦隊ハ直チニ出勤、之ヲ撃沈滅セントス、本日天気晴朗ナレ共波高シ』
『皇国ノ興廃此ノ一戦ニアリ各員一層奮励努力セヨ』
言葉にするだけで、気持ちが奮い立つような響きです。

私が記憶しているのは短刀で、海軍短剣外装に入っていたと思いますから、これはこれで参考にしてくだされればありがたいと思います。

隷書体の秀明銘とともに藍鮫鞘海軍軍刀拵も付いた逸品で、平成７年９月の麗書載品で価格は１３０万円です。
解説に内外どちらが価値があるか分からぬほど、内外ともに素晴らしいと評価されております。
外装も昭和初期の海軍士官用軍刀拵で、よく見かける柄巻きのある外装とは違い、サーベル拵えになっており、なかなか売りに出てこない逸品です。

ちょうど、平成６年１１月１３日から同７年２月２６日まで靖国神社で靖国刀の展示会をやってい

ましたので、折りしも靖国刀が海外で高い評価を受け、国内でも見直していたようなことがあったと感じます。
本も出版され、賑わっておりました。

大体、このころの靖国刀の売価が６０万から７０万くらいでしたので、この刀なら８０万以上してもおかしくないのではないかと思います。
あくまで趣味の買い手の立場からの一参考までに。

それと、秀明銘で『靖国』と彫刻のある短刀もかつて売りに出ていました。
これら戦前の刀が歴史とともに注目を多く浴びるようになったのは、大変素晴らしいことだと思います。

私も最近、軍刀拵や戦前の刀に非常に興味を持って見ております。
実物の軍刀拵えを見たら、思っていた以上に良いので収集したくなりました。
柴田の麗はこれら軍刀の情報源としても優良です。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/10(Thu) 05:30

軍刀拵えには私も注目しております。

拝見させていただいたことがありますが
非常に合理的で、刀を持ち歩くという機能面で見ればほぼ完成形ではないでしょうか。

太刀拵えに対して打刀拵えがでたとき以来の革新だと思っておりますし
刀の拵えの一ジャンルとしてとしてちゃんと評価されてしかるべしだと思います。

いわゆる軍刀もちかごろ注目されてきておりますが最後の実戦刀として
でしょうかだんだん評価が上がってきているのを感じております。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/11(Fri) 04:30

ikkak さん、云われてみると軍刀は「刀を身につける」手段として大きな変更ですね。しかしこれは、西洋のサーベルを吊った形にならったように感じます。だから「突兵拵」が軍刀拵の先駆的なものではないですか。突兵拵は多分に刀の西洋化を試みた風に思いますが、皆さんどうでしょう。
それから、どなたか「手抜緒」の色の階級別についてお調べいただけないでしょうか。赤、紫、白などの将官佐官尉官用への分類です。

[888 へのレス] Re: 手抜緒

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/11(Fri) 10:31

陸軍軍刀の手抜緒は、階級別に以下の色だったと思います。
尉官　青をベースに茶の糸を織り交ぜたもの

佐官　赤をベースに茶の糸を織り交ぜたもの
将官　金をベースに赤の糸を織り交ぜたもの
海軍には、このような区別はなかったようですね。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/11(Fri) 10:56

花散里さん、おおきに。尉官は「青に茶の糸まじり」そうでしたか、忘れるものですね。
陸軍の軍刀拵の大部分が戦闘用であるに対し、海軍の軍刀は「礼装用」で大礼服着用時の佩剣ですから拵としては良いものが多いですね。鞘も染めつけ鮫皮の研ぎ出しになっているなどで、金具も良いです。

[888 へのレス] Re: 手抜緒

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/11(Fri) 12:18

申し訳ありません、訂正します。
尉官の場合、片側が青、片側が茶色です。（混ざって見えるのは房の部分です）

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：白龍斎　投稿日：2002/10/11(Fri) 21:32

・野崎様　戦艦三笠の写真ＵＰ有難うございます。
まだ、見学していませんが一度行って見たいと思っています。
・出島屋様　堀井秀明のパンフレットＵＰ有難うございました。
私の知人の短刀も説明書きにあったように、板目肌、帽子子丸に返る、細直ぐ刃、刃明るい、金着一重はばき、白鞘でした。ただおしむらくは、手入れがイマイチで錆びけがありました。
・真改様　麗情報有難うございます。値段的な価値もわかってきたような気がしますが、戦艦三笠、東郷元帥については、それなりに理解していたつもりですが、このような短刀に巡り合えたことがとても嬉しいです。知人にもこの情報を伝えたところ、堀井刀匠と三笠の関係についてとてもビックリしていました。
昭和の刀、私も最近購入しました。
刀匠銘「塚本信四郎正和作（福島県郷土刀）　昭和二十年一月吉日　長さ６５ｃｍ　反り１．５ｃｍ　拵え付き（３５万円で購入）
美術品的には、埋め金があり刃文の整えが今一のような気がしますが、重ねが厚く重いので試斬には適していてる。素人の私が孟宗竹（新竹）や畳表を斬っても（斬り損じても）刃こぼれがしない。きっと実戦的に作った物なのでしょう。鉄の一番無い時にこれだけのものがあると思うと。。。色々と考えさせられる一刀で気に入っています。

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：白龍斎　投稿日：2002/10/11(Fri) 21:39

改行がうまくいきませんでしたスミマセン

[888 へのレス] Re: 三笠砲鋼

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/13(Sun) 17:43

私が軍刀の拵えを評価したいのはそこに文明のにおいが感じられ、伝統的なものとは一線を画せるのではないかと思えるからです。
突兵拵えは日本の伝統的な拵えの文化の範疇に入るのではないかと愚考します。

大丸の刀剣柴田さんで陸軍拵えの美品が安く出ていました。ただ少々長すぎるような気がしました。
確か軍刀って２尺前後じゃなかったでしたっけ？

---

[907] 時代劇マガジン。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/11(Fri) 16:29

…という本が最近、辰巳出版（タツミムック）から出ました。１２００＋税。
内容はテレビや映画・漫画等の時代劇を紹介、出演者・監督インタビュー等です。
「子連れ狼」や「水戸黄門」、新年から始まる「剣客商売」新春ワイド時代劇
「忠臣蔵」他、けっこう沢山取り上げられています。
ちょっと息抜きに読むには良いかもしれません。
…僕は息抜きっぱなしですが。

[907 へのレス] Re: 時代劇マガジン。

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/12(Sat) 12:26

面白そうな内容なので、さっそく家に近くの書店に行ってみましたが、残念ながら売っていませんでした。
無いとなると、よけい欲しくなりますね(^_^;)
他の書店にも行って、捜してみます。

[907 へのレス] 子連れ狼

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/10/14(Mon) 12:46

さあ、今日の１９時からは子連れ狼ですね！

新聞の解説にもありましたが、子役の演技が３歳なのに素晴らしいそうで、物語の展開も良いようです。
剣客商売の出来が良くて楽しみで見ていたのですが、すぐに終わってしまうなど最近は退屈していたのですが、久しぶりの楽しめる時代劇の登場に期待は高まるばかりです。

同田貫の拵えはどんな拵えなのでしょうね。

そういえば、もう一つ。
トムクルーズ主演の幕末の映画ができるそうですね。
真田広之も出ているとか。

真田広之つながりでいえば、２０年ぶり？に『魔界転生』も再映画化されるようで、これはしばらく楽しめそうです。

---

[911] 研ぎ師さんの不思議

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/13(Sun) 17:37

今研ぎをお願いすると年内は無理なそうな。
そんなに刀が売れているようにも思えないし第一そんなに研ぎに出す人は多いのだろうか？
いままで暇な研ぎ師さんを見たことがないような気がするがいかがなものか？

今日も道路は渋滞だし、ディズニーランドは入場制限、渋谷の人ごみは
大河のようで華やかなキャンギャルがケータイの宣伝に余念がない

ほんとに不況なのか？

[911 へのレス] Re: 研ぎ師さんの不思議

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/10/14(Mon) 12:55

時代の刀だけではなく、新作刀展覧会用とか、あるいはしばらく前の時期ですと重要審査のための研磨依頼とか、時期によっては多忙な時もあるのではないかと推察致します。

私も一昨年に重要の審査に出したことがありますが、一年くらい前から次の重要審査に間に合うように研磨依頼していました。
ぎりぎりで間に合った記憶があります。
それから勘案すれば、年内に研磨が完成するのは無理というのも頷けます。

剣兄では、やはり一年くらいは待っている人もいるようで、研磨依頼も予約しておいて、順番がきたらそれから刀剣をおくるそうです。
すぐに送ってもなかなか順番がこないと、預けている期間の方が長くていやになるそうですから、一つの方法でしょうか。

[911 へのレス] Re: 研ぎ師さんの不思議

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/15(Tue) 18:09

１年ですかー
さっするに研ぎ自体よりどういう風に仕上げるかの
極めに時間をとられるのでしょうか？
いずれにしても皆さん待ってらっしゃるのですね。

---

[942] 八代目浅右衛門

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/18(Fri) 18:38

ここを見てください。

昭和の時代に『八代目浅右衛門』かもしれない人物の斬りつけ銘がある刀が出ています。

その解説とともに、非常に興味をそそられる刀です。

刀の美術的評価と共に、一方では刃物としての斬れ味と、刀身以外のこういった斬りつけ銘の存在などにも、その興味と価値を見出すことができるのではないと思います。

[942 へのレス] さらにここ！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/18(Fri) 18:44

さらにここを見てください！

金象嵌裁断銘で有名な『俵徹』の特別重要刀剣が出ています。
(@_@;)

こちらも無論のことですが、素晴らしい斬れ味と、美術的価値の非常に高いことで有名ですよね！

[942 へのレス] Re: 八代目浅右衛門

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/19(Sat) 01:31

山野加右衛門や山田浅右衛門の裁断銘のある刀を時々見ますが、この裁断銘というものは斬り手本人が銘を切るのでしょうか？

[942 へのレス] Re: 八代目浅右衛門

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/19(Sat) 05:04

俵徹の金象嵌銘などは、斬り手本人が入れたのではないでしょうか。
山野加右衛門に試斬を依頼するには、当時、相当な金額を要したと聞いたことがあります。

幕末にある切り付け銘に関しては、銘を切った刀匠が入れたものや斬り手自身が入れたものなど、両方あるように思います。
製作依頼時に入れた所持者銘が幕末の刀によく見られますが、これらも両者あるように思います。

截断銘があると試し銘があるということで、武士の間で非常に重宝されたのではないという推測ができると思います。

截断と裁断が間違えておりました。
よく間違えてしまいます。m(__)m。

---

[915] 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/15(Tue) 15:26

子連れ狼が始まりましたね。同田貫は反りが浅くて重ねの厚い頑丈な体配の刀で、わりとそれらしいものに見えました。北大路が二枚目なので、ちょっと絵がキレイすぎるかな？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/15(Tue) 18:11

見逃してしまいました(泣)。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/15(Tue) 19:24

確かに刀は、それらしく見えました(登場人物が、やたらと同田貫に感心してましたが･･･(^^ゞ　)。
気になったのは、「矢文」でしょうか・・・矢文って火矢にするんでしたっけ？
射込まれた方がすぐに消してましたから良いようなものの、燃え広がったら八百屋お七じゃありませんけど現住建造物放火になり、それだけでお尋ね者になってしまいそうですね。
原作や萬屋一刀のイメージが強く、粗捜しばかりしてしまいましたが、全体的には昨今貴重な時代劇ですし、楽しませていただきました m(__)m

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/15(Tue) 19:44

剣客商売でおなじみの『無外流』対『水鴎流　波斬りの太刀』。

大五郎は良かった～。
北大路さんは、退屈男のイメージが強くて。
萬屋さんは、個性が強くてやはりはまり役だったと思います。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/15(Tue) 19:50

ああ…雛ちゃんと混浴していた大五郎が羨ましかったです…。
柳生絡みのお話はこれからみたいですね。
しかし、あの「矢文」はたしかに変ですよ。
下手したら「文」も燃えちゃう。意～味無～いじゃ～ん？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/15(Tue) 20:14

「子連れ狼」見ることができました。
良く出来てましたね～おもしろかったですよ。
乳母車から取り外して槍風に使用してた武器ですけど
平造りの短刀に棒がついてる様に見えました。
あれも槍なんでしょうか。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/15(Tue) 20:22

ホント、あんな火矢ではまず文から燃えますなぁー。
それに昔のチャンバラは人を斬ったと、懐紙でぬぐっていましたが今頃はとんと血をぬぐいませんね。納刀のとき左の指先で絞っていましたか？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：守重　投稿日：2002/10/15(Tue) 20:56

私もじっくりと見ました。原作と結構違っているのには少々がっかり。原作では同田貫は短めの物だったはず（２尺２寸くらい？）でしたが、今回の作品では２尺４寸くらいに見えました。長すぎる。あざみが殺害されるシーンがありましたが、「何者かに殺された」としか言われず、柳生との確執も触れられなかった。何と言っても大五郎が鞠と同田貫のどちらかを選ぶシーンも欲しかった。でも短編なので仕方ないか。。。。。次回は「御定書 79 条」、どんなものか楽しみ。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/15(Tue) 21:19

鎬さん、槍の穂先が短刀の形なのはご存知「菊池槍」、これも九州ですから、ちょっと調べてますよ。
この菊池槍は今回がお初ですか？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/15(Tue) 22:51

原作では、乳母車に付いている武器は一振りは鑓、もう一振りは長巻でしたね。
血を拭うのはどうだったでしょうか？　納刀の前に、切っ先に向けて縦に（？）刀を突き出すようには振っていましたが・・・

ふと思いましたが、今回の子連れ狼では柳生は登場するのでしょうか？
元々原作の１４４話に対し、今回放送する全９話では柳生との確執は描き切れないと思いますし、放送される第３話までは原作では柳生が登場しないストーリーです。
パラレルワールドの子連れ狼に、なってしまうのかも知れませんね(^_^;)

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/16(Wed) 09:25

隠居さま　ありがとう御座います。「菊池槍」なんや～。
実物見てみたいです。
勉強せな「子連れ狼」に追いつけないようです。
「子連れ狼」で勉強できるかな？？？？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/16(Wed) 13:29

鎬さん、そうでっせ。そやから北大路の拝は突かずに槍の先でナント相手を斬っていましたよ。本当の菊池槍は、いくらなんでも突くのでしょう。
昔、鑑定会で茎の倍ほど長い短刀が出題されていて、菊池槍と気付かず不覚を取りました。茎がうんと長いのだから分かる筈のところ、思い出さないわけです。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/16(Wed) 14:38

菊池槍といえば、日露戦争の頃に広瀬中佐が茎を磨り上げて海軍の短刀拵えに仕込んでいた、という話を本で読んだことがあります。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/16(Wed) 15:28

花散里さん、菊池槍はたいていの場合、茎をつまんで短くし「短刀の茎」にしています。しかし中には菊地槍だったことを残すため､わざわざ茎を長くしたのもあります｡どちらにせよ無銘が多く、地刃とも九州地鉄らしく、冴えた感じはしないのですが､「渋い」ものでした。好事家は大事にしていますよ。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/16(Wed) 16:20

＞ご隠居さん
ということは、菊池槍は多くが短刀に仕立て直されていて、槍として残っているものは意外と少ない。
その理由は、上の形状が槍というよりは短刀に近かったため、無理なく仕立て直すことができたので、槍の需要が少なくなった時代に多くが短刀に姿を変えた、ということでよろしいでしょうか？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/16(Wed) 19:02

花散里さん、そうです。それに付け加えれば、もともとが菊池郷でごく一時期に流行ったものだけに絶対数が少なく、好き者が仕舞い込めばあとはおしまい、ということです。そう高いものではありませんから、もし売り物があれば即、買っておいて損はないでしょう。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/16(Wed) 19:54

＞ご隠居さん
良くわかりました、ありがとうございます。

以前に一度、槍として残っているものを手に取る機会があったのですが、その時はさほどとは思わず入手し損ないました。
詳しく説明いただき、今になって臍を噛んでいます。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/16(Wed) 22:38

私の記憶が正しければ…確か中央線、阿佐ヶ谷辺りの
ラーメン好きな刀屋さんにあったのでは…（笑）！？

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/16(Wed) 23:23

＞こてつさん
大当たり～～～～～～～～～～！(^_^)v

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/10/17(Thu) 04:41<HOME>

ありゃりゃ、ひっそりとログっていたのですが、ばれていましたか。(笑) 鎬さん！先日お越し頂いた時にもショーケースの中にありましたよ。見逃したようですね。また東京に来る口実が出来ましたね。大刀剣市の時に合わせてお越しいただくのは如何でしょうか？代表もお見えになるようですし。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/17(Thu) 09:35

ショーケース内にあったの？見逃してます。。。
まだまだ青いと実感しますね。
swordsmith さん画像ＵＰお願いしますね。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/17(Thu) 12:23

幕末からこちらになって菊池槍の人気を高からしめたのは、なんと云っても南北朝時代、不利と知りつつ足利尊氏と戦った菊地軍の滅私奉公の精神がその源ですが、これはご存じでしょう。大楠公の菊水といい、菊池といい、「忠臣の象徴」の一つがこの菊地槍です。
今回の子連れ狼は、槍と長巻の二つをやめて菊池槍にすると「斬る」スタイルがやれるから、一つで「兼ねられる」と考えたのでしょう。
そうだとすると、刀に詳しいのが後ろに控えておりまっせぇ。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/17(Thu) 17:51

菊池槍をどこかで見たことがあったと思いまして、刀和をめくって探しました。
今年の５月号に『菊池槍　無名（末延寿）』として掲載されています。

簡単にご紹介致します。
『刃長　七寸　内反り　元幅六分三厘　元重ね三分』
鵜の首造り　庵棟　片刃の槍である。　板目に杢目交じり　やや流れ　地沸付く。茎生ぶ(@_@;)
鑢目浅い勝手下がり　先一文字。
時代　室町末期（約４６０年前）　肥後。

『菊池槍は肥後の延寿鍛冶が造った片刃の槍で、棟は横手のない鵜の首造りで、身幅が狭く、重ねが厚く、茎は槍同様に長い。世に菊池千本槍といわれ、多くの士卒に持たせたものである。鎌倉時代からあったといわれるが、いつの時代から作り始めたか不明である。室町時代に肥後の菊池で数多く作られたが、江戸時代に短刀等に改造され、当時のままの物は少なく、貴重である。

と解説されております。
価格も藤代鑑定がついて２５万円！
買っときゃよかったな～。(>_<)。

余談ですが、菊池と聞きますと、菊池温泉と馬刺しを思い出します。
２０年位前に友人の故郷におじゃましたときに、両方を堪能致しました。
温泉は白い湯であったと思いますが、間違ってますか・・・。(^^ゞ。

現代刀では菊池住惟忠刀匠を思い出します。優秀賞受賞暦のある刀匠とうかがっております。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/10/18(Fri) 05:45<HOME>

鎬さん、画像を画像投稿掲示板にアップしておきました。
しかし刀和さんの 25 万円は破格ですね。ウチが買っておけば良かった・・・

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/18(Fri) 08:42

真改さん、おおきに、そうするとやはり同田貫とおなじ肥後で時代も同じか少し上。「菊地千本槍」とはどういういわれでしょう。これが「忠臣」と関係あったんですかねー。

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/20(Sun) 18:34

菊池千本槍は、やはり足利尊氏と戦った南朝の忠臣菊池武重一族に関係がありますよ。
太平記ご参照のほど

[915 へのレス] Re: 子連れ狼はじまる

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/20(Sun) 21:02

関連性のなぞが解けました。
ありがとうございます。

[952] 菊池千本槍

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/20(Sun) 19:18

南北朝時代、肥後の武将菊池武光が懐良親王を奉じて小弐氏と争った時、短刀を竿の先に付けて戦って勝利した。そこで武光は肥後の刀匠延寿に千本の「冠落造片刃」の槍を作らせ、勤皇に励んだ。
幕末の志士たちは武光の勤皇の志をめでてこの茎を切り詰めて短刀とし愛用した。
ただし南北朝時代の在銘はなく、まれに九州鍛冶の銘があるが、主として室町時代にはいってからのものである。片羽槍、片刃槍の別名もある。
と『日本の名槍』（沼田謙次・昭和 39 年）にありました。

[952 へのレス] Re: 菊池千本槍

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/20(Sun) 21:08

関連性のなぞが解けました。
ありがとうございます。

千という単位は『非常に多い』様を指す場合に、使用されることが多いようですので、この場合も、数え切れないほどの槍が作られたということでしょうか。

片刃の言葉から、実践的イメージが特に強いですが、片刃といいますと、同じ実践刀の海部刀を連想致します。
鎬造りよりも戦場での研磨が簡便にできるところから、片刃を選択したと聞いたことがあります。

[952 へのレス] Re: 菊池千本槍

投稿者：旅人　投稿日：2002/10/20(Sun) 22:52

こちらに菊地氏の情報があります
http://www.city.kikuchi.lg.jp/kankou/q/aview/148/945.html

[952 へのレス] Re: 菊池千本槍

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/21(Mon) 06:08

野崎さん、おおきに。そうでしょう。だから勤皇の志士たちが愛用したのでしょうね。

[946] 辛抱ができない！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/19(Sat) 17:25

大刀剣市まであとわずかとなりました。

開催までいつも辛抱ができない私は、例年、図録を先に注文致します。
今日も、2002 年の大刀剣市の図録がやって参りました。
表紙は『出羽大掾藤原国路』の重要美術品です。

目玉は清麿の二尺六寸四分五厘の重要刀剣。圧巻です。
虎徹興正、真改、助広もあり、固山宗次の刀も比較的多く出ています。

個人的には新作刀優品展出品作の『松田次泰刀匠』の太刀。
写真からも映りがはっきりとわかります。
拝見が楽しみな刀の一つです。

古刀では無名来国光の特別重要刀剣でしょうか・・・。

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/19(Sat) 18:00

今年は「興里虎徹」は出ていませんでしたね…。
「清麿」の重刀はすごいですね。二尺六寸ですか…。
だ、だ、誰が買うんでしょう！？いったい幾らなんでしょう！？
今年も目の保養をしに行って来ます。

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/19(Sat) 18:28

私のところへも今日、大刀剣市の案内ハガキが届きました。
特別企画の「加賀前田家の重宝と桃山期の名刀展」にも、期待しています。
ここ数年の恒例となっているＯＦＦ会も、今からとても楽しみです。
２日、３日は銀座長州屋さんの展示即売会もありますし、いつものように刀剣三昧になりそうですね(^_^)

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/10/20(Sun) 14:18

私も大刀剣市には上京したいと思ってます。
しかし、なにぶん大刀剣市は始めてです。
もうすこし詳しく知りたいのですが
図録はどちらに注文すれば宜しいのですか？

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/20(Sun) 18:04

刀士郎様。
図録の事ですが、来場に際し、3 日間の入場料と図録込みで２０００円が必要となります。
ですので、大刀剣市に行く人は全て図録ももれなく付いてくる仕組みなんです。

大刀剣市に行けないが、図録が欲しい人とか、私のように先に図録を見たい！と思う人には、送料込みの１５００円にて分けていただけます。
ただし、入場券は付いていません。
よって、私は３５００円がこのたびの大刀剣市に必要となるわけです。

ちなみに、図録の申し込み先は送料込みの１５００円を同封の上、下記の住所へ送りますと、迅速に送っていただけます。

〒１６９－００７２
東京都新宿区大久保２－１８－１０
新宿スカイプラザ１３０２

全国刀剣商業共同組合

℡０３－３２０５－０６０１

以上です。

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/20(Sun) 21:16

実際にやったことはありませんが、入場券込みの方法もあるのではないかと思います。
案内ハガキには、
「出品目録（Ｂ５版、１３０余点掲載）をご希望の方は、２，０００円（含入場券）を現金書留又は切手で、全国刀剣商業協同組合までお申し込み下さい。」
とあります。
一度、電話で問い合わせてみると良いかもしれませんね(^_^)

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/20(Sun) 22:18

うわっ！
本当だ！

案内状にはそう書いてあるっ！！
刀剣美術には書いていないのに～～～。
毎年、同じようなことを繰り返しておりました～。

何で刀剣美術と案内状と記載が違うの～？？？。

２０００円送料込みの入場券付を絶対に買ったほうが、お得ですよ！
しまった～。(>_<)。

[946 へのレス] Re: 辛抱ができない！

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/10/20(Sun) 22:52

ありゃりゃ～
なんと・・・。

私、セッカチにも今夜投函してしまいました。
ちょっといそぎ過ぎましたか

何れにしましても、真改さん、花散里さん
お手間取らせました。
ありがとうございました。

[946 へのレス] 無念

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/21(Mon) 04:36

私アメリカに出張となりまして
当日はサウスカロライナから悔し涙にくれておるでしょう。
あああー
年に１回なのに
長州屋さんの即売会にも行きたかったなー

---

[959] 刀剣鑑定について

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/20(Sun) 23:56

ご無沙汰しております。
手元に無銘の脇指があります。
鑑定に出したいのですが、どこかお勧めの鑑定家はいらっしゃいませんか？
作者が知りたいのです。
保存刀剣とか取りたいわけではないのですが。
あと費用も分かればお教えください。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/21(Mon) 12:58

士学さん、「鑑定家」と云われるとえらいことですね。日刀保の保存刀剣等の審査に出すよりずっと高額の鑑定料が要ります。どうしてそういう「鑑定」が必要なんです。目的を知りたいです。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：萬蒐集癖　投稿日：2002/10/21(Mon) 22:58

無銘なら日刀保でもいいかな…
鑑定料取るくせに「不合格」って鑑定はどうだろ？
偽銘○×△□の作と思われる、もしくは○×一派の作と思われるくらいあっても……
不親切極まりない団体だと思うけど、いや愚痴です。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/21(Mon) 23:38

そんなに鑑定料は高いのですか。私としては自分の目で極めができないのでプロの方に鑑定してもらい、その鑑定を参考に勉強をしたいと思っただけなのですが・・・。藤代さんとか得能さんとか個人でされている方や刀剣店でされているのも聞きますが、いくつか出さないとはっきりと分からないと聞いたものですから、どこか良いところを知りたいと思ったのです。日刀保の方が確実なのでしょうか？

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/22(Tue) 00:31

＞士学さん
日刀保の保存刀剣審査で、２５，２００円でしたでしょうか。（非会員の場合は、さらに２，１００円を加算）
大手の刀剣店でも独自の鑑定書を発行しており、１０，０００円程度（鑑定書を必要とせず口頭の場合は、５，０００円程度）だと思いますので、一度お問い合わせになってはいかがでしょうか？
無銘極めは、おっしゃるとおり意見が分かれることもあるかと思いますし、流派の極めに留まり個銘までは断定できない場合も多くあります。
いずれにしても、上位刀工の作品は研究が進んでおり、また特徴が明確ですので比較的に鑑定が容易ですが、それ以下の刀工の作品や脇物などは比較的に難しいと聞いています。
士学さんの場合、鑑定を参考にして勉強したいと言うことなので、刀剣店で口頭鑑定を受けてはいかがでしょうか？
２箇所の刀剣店で口頭鑑定を受けても、１０，０００円ほどですし。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/22(Tue) 06:13

今、日刀保の最低の鑑定で２５０００円もするとは知りませんでした。
花散里さんが仰るように、ある程度鑑定のできる人の口頭鑑定を二三聞けば、ほぼ作者ないし作者の一派が判明するとて思います。
無銘といっても、磨上無銘なら古刀ですから、時代と国別は判別しやすいのですが、新刀、とくに新々刀の三流どころは、系統が区別しにくいものです。
尚、刀剣店ならどこでも正しい鑑定が出来るわけでなく、鑑定はあくまでも一個人の鑑定キャリィ

アによります。（プロでもアマ以下の人もおり、その逆もあります）その地方の研究会に所属し、ご自分が鑑定を学んでいけば、まず月を追い、年を追って目が上がっていきます。若い人なら、その支部ナンバー１を目指して勉強してください。楽しいものですよ。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/22(Tue) 09:03

今年はどうか知りませんが
大刀剣市でただで見てもらったことがあります。
商売っけがまったく入らないということで傾聴に値するんではないかなと思っております。
結果も専門家(故得能氏)と同じでした。

無銘であればやはりいくつかのところで見てもらって最終的には自分で考えて
納得できればいいなあと思います。

よくどこそこの鑑定はだめだとか信用できんという方もいらっしゃいますが
鑑定する側にも得手不得手があるでしょうし、第一何千といる刀工のすべての
特徴を一人の方がすべて覚えているとは思えません。
また刀を見るときには大光量のライトを使うことが多いので長年の間には目も弱るでしょうし
仙人ならぬ身には浮世のしがらみからは逃れられないでしょう。
どこかひとつの鑑定を盲信するのは避けたほうが良いのではないでしょうか。

鑑定に出されるのでしたら直接持っていけるところが良いと思います。

協会(日本美術刀剣保存協会)も、直接受け取りにいって、いつの頃のどこの刀なんだと
質問すればていねいに答えてくれました。ただしあくまでも口頭ですが。

鑑定を参考にご自身御勉強なさるとのお考えは御賢明と拝察致します。
ただ国(系統)と時代が見る人によってバラバラな場合はあまり勉強にはならないかもしれません

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/22(Tue) 10:02

皆様ご親切にお答えいただき有難う御座います。実は観ていただきたいものは新刀なのです。やはり難しい分類に入るのでしょうね。私見では元身と先身の幅の差が１ｃｍ程あり反りが 1.2ｃｍ、生茎の形に特徴があるようなので寛文頃の作品だと思うのです。地元の刀剣店では大阪物か越前物かはっきり分からないと言われました。地方では刀剣市など有ろうはずも無くやはり都市部の店など頼るしかないのです（涙）。アドバイス通りいくつかの鑑定を受けてみたいと思います。現状、地刃共に見えているのですが差し込み研ぎのようになっておりますが鑑定には問題無いでしょうか。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/22(Tue) 10:33

「差込み研ぎ」を施した新刀、と云えば、新刀備前伝か、美濃伝の三本杉の匂い主調、いずれにし

ても刃の締まったものでしょうね。
新刀備前伝としても国助長幸系から各地の石堂系、体配が不恰好なら江戸石堂も有力ですね。
このように、一つの「手掛かり」から「可能性」を探っていき、そのタテ糸とヨコ糸の交差点から、「より高い可能性」へと絞っていく、それが鑑定です。一種の推理ゲームですよ。
無銘では当否が分かりませんが、在銘のもので修業をつんでいくと、１０中９ないし１０の確率も夢でありません。通信鑑定もありますから、どんな僻地でも勉強はできますが、ただし、指導者のレベルが最大の問題です。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/22(Tue) 11:16

差し込み研ぎをしてある事にも意味があるのですか、驚きました。その刀の特徴を生かす為の研ぎだったのですね！。確かに匂い出来の刃紋です。ヒントを頂いたことで自分でも調べる参考になります。有難う御座います！。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/22(Tue) 12:37

士学さん、そうですよ。差込み研ぎ（差込み拭い）は刃ぶちを「刃づや」で拾って仕上げられない刃、つまり丁子などの細かく複雑に乱れた刃であって、尚かつ匂口の締まったものに施されます。
反りの深浅など姿体配や造り込みで時代というタテ糸をきめ、鍛え肌、地景の有無などの鉄質感、そして刃文や帽子の特徴で国や系流というヨコ糸をさぐります。
ですから、その刀のもつ「特徴」を仔細にピックアップすることが出来れば、鑑定は半分出来たようなものです。むつかしいものでは、決してありません。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/22(Tue) 15:10

いくつか鑑定に出してみようと思います。そして自分でも調べて比較してみようと思います。鑑定結果が出ましたら報告いたします。鑑定結果が楽しみです。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/22(Tue) 17:08

是非画像もアップしてくだされ。

[959 へのレス] Re: 刀剣鑑定について

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/22(Tue) 19:08

画像アップによる「公開鑑定」ですね。
かなり楽しみです！
。。。画像アップ決定してるわけじゃないんですね。

[975] またまた士学です・・・

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/22(Tue) 21:51

画像はうまく写真取れたらアップします。刀の写真撮るの難しいんですよね・・・。ところで無銘新刀の件で思い出したのですが地元の刀剣商に観てもらったとき気になる事を言われました。現在、差し込み研ぎの状態で地肌がくっきり出ているのですが肌が立っているといわれ、良い研ぎをかければこんなに良くなるとショーウインドウから「波平安吉」を取り出してきました。地は黒く刃は白く、これが良い研ぎをかけた刀で研ぎで肌を抑えることが出来る、と言っておりました。そこで私は、？と思ったのです。地肌が立った状態とは地肌がはっきりしてると立っていると言う事なのでしょうか？地肌がはっきりしているほうが見所もあるし鑑定もしやすいと思うのですが。さて良い研ぎとはどういうものを言うのでしょうか。皆様の意見をお教えください。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/23(Wed) 06:16

士学さん、「肌立つ」という表現は、一般的によく使われる用語で、地肌が落ち着かずかさついている状態を指します。反対は「うるおいのある地鉄」とか「地肌麗質」とか云われます。
刀屋さんがいうのですから、やや肌立つ感じに仕上がっているのでしょう。しかし普通は、研ぎだけのせいで肌立っているのでなく、刀そのものの鍛錬が「麗質に詰んでいない」場合もあります。この場合は研ぎ直したからといって様がわりするわけはありません。
その刀屋さんのキャリア、人格が分かりかねますが、初心者が持っている無銘新刀に対して再研磨を薦めるのは、たいへん疑問に思います。
差込み研ぎの上研ぎなら、脇差で１５万円は最低かかります。それだけかける値打ちがその脇差にあるのかどうか、市場価値と合わせてご自身で判断してください。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/23(Wed) 09:58

刀剣商の方は再研磨を薦めたわけではなく上研ぎをかければ肌立ちを抑えることが出来ますよ、と言って波平を見せてくれました。私は肌が良く見えている状態が好きなので研ぎ直す気は全くありませんが、しきりに波平を光にかざし写りが見えるでしょうと私に勧めて見せるのです。しかし私には写りと言う物が良く確認できませんでした。上研ぎをかければその刀の良いところがさらに引き出せると言うことを私に教えたかったのだろうと思います。しかし肌立つ状態が悪いのかどうかは私にははっきり言ってまだ疑問です。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/23(Wed) 11:21

士学さん、
＞刀剣商の方は再研磨を薦めたわけではなく上研ぎをかければ肌立・・・
ということが「再研磨」を奨めているのです。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/23(Wed) 12:02

すみません、言葉が足りませんでした。刀剣商の方は研磨はしないほうが良いと言われました。手をかけるなら価値の上がるものに掛けなさい、そうしないと手を掛けた分お金を捨てることになると。あまり良い刀だと思わなかったのでしょう。私が疑問に思うのは研磨をかけるかけないではなく、肌がはっきり見える状態が良いか悪いかの是非をお伺いしているのです。言葉足らずで申し訳ありません。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/23(Wed) 12:23

肌がはっきり見える状態が良いのか悪いのか、ということですが、抽象的といいますか一般的には、肌の見えるほうが見え難いものより良いに決まっています。
しかし、あなたの刀の場合は、あなたが「肌がよく見えて良い状態だ」と思っていても、別の人（刀屋さん）は「良くない」と力説するのでしょう。ですから、どちらの言い分が正しいのか、よく分かりません。
皆さんはどう判断されますか？

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：鈴ちゃん　投稿日：2002/10/23(Wed) 13:35

　こんにちは。
地肌の状態についてですが、表現にも色々あるので文章だけでは難しいところです。
「肌立つ」と書かれていますが、刀屋さんが良くない状態と判断したのでしたら「肌荒れ」とか「肌が荒れた様な状態」になっているのかも知れません。
　「肌荒れ」の場合は研磨により抑える事が出来る場合と出来ない場合がありますが、「肌が荒れた様な状態」になっている場合は、原因は研磨にありますので上手な研師さんの手にかかればおさまります。
　”「肌立つ状態」が悪いのかどうか？”と言う事ですが、やはり悪いのではないでしょうか。
”肌がよく見える”と言う事と”肌立つ”と言う事は全く別の状態です。　一切肌立たず、非常に地肌や、地の働きなどが鮮明に見える研磨は存在します。　しかし、そう言う研磨が嫌いで、もっと地肌、
働きなどを伏せた研ぎが好きと言う人もいます。　　また、新刀、新々刀ははっきり地を出し、古刀は
抑えると言うのが一般的ではないでしょうか。（流派や刀の状態にもよるので一概には言えない）
　因みに私は新刀であれ古刀であれ地肌をはっきり出した研ぎが好きです。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/23(Wed) 14:19

皆様、有難う御座います。また個人的にメールを頂いた方にもお礼を申し上げます。やはり好みに

よる部分があるようですね。またその刀の出来によっても仕上がりが悪くなることもあるようです。刀剣店で比較に出された刀は備前伝の古刀でしたので鈴ちゃん様のご意見が合致します。刀剣店の主人は大変な古刀好きな方らしく仕入れるのも殆ど古刀だそうです。結局その研ぎの状態が自分自身気に入るか否かということなのでしょう。ちなみに私も地肌がはっきりしているのが好きなので無銘新刀は今の状態が好きです。

[975 へのレス] Re: またまた士学です・・・

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/23(Wed) 18:15

私は、研磨の状態の事はよくわかりませんが、
"肌がよく見える"と言う事と"肌立つ"と言う事は全く別の状態です。
と、おっしゃる『鈴ちゃん 』さんのご意見と同じ考えです。

---

[983] 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/23(Wed) 17:15

うまく撮れませんでしたが一応ＵＰしてみました。ご意見お聞かせください。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/23(Wed) 19:41

刃紋は指表、指裏は、焼き幅、形共に若干違います。全般的に湾れに箱乱れが一部あり穏やかな刃紋で尖り刃や三本杉の様な険しい部分は無いようです。焼き出しは小湾れで穏やかに始まります。切先は返りが無いように見え焼詰帽子のようです。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/23(Wed) 19:47

購入したときの説明は、「直焼出し心に五の目乱、足入りもあり小鋩出来」との説明でした。皆様のご意見をお聞かせください。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/23(Wed) 20:36

一体何に極まるのでしょうか？

新刀なのでしょう？
う～ん。
有名ところの『二代包貞』と『水心子正秀』の濤乱刃の刀をまったく逆に見たくらいの私にとって、未知の世界と言わざるを得ません。

茎の形状からぱっと見は、肥前刀のようにも感じました。
高田刀にも肥前刀のように綺麗な上作もあるようですし。

大きく間違ってますぅ？

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/24(Thu) 15:12

画像を見ましたが、錆びの初期状態である「白錆び」状に見受けられる箇所がはばき元から少し上がった鎬地に大きくみられ、又、平地には「カス立った」ところがあるように見えます。ほんとに研いだものなのか？　疑わしく思います。
そしてあなたは「地肌がよく見える」と仰るのですが、一般的には差込み研ぎを施すものは匂い口の締まったものですから、当然地肌も「小板目」か「小杢目」が無地風に詰んだものが多いわけで、そういう肌は初心者が見れば「無地肌」としか見えないのが普通です。ほんとに「地肌」が見えるとして、どんな「肌」ですか？
次に、あなたが説明するような「箱乱れが一部あるおだやかな湾れ刃」であるとすると、刃を拾う研ぎにするのが普通であり「差込み」にはしません。ここにも矛盾があります。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/24(Thu) 15:36

隠居さま、ご意見有難う御座います。やはり「肌立つ」状態なのですね。研ぎが完璧でなく中途で止めたのでしょうか。地肌はとても詰んだ肌とはいえません。板目が流れたようで、なぜこの様な研ぎなのかよく分かりません。今日鑑定に出しましたので鑑定先から連絡あり次第、再度くわしく訊ねてみようと思います。くわしい情報が入ったらＵＰします。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/24(Thu) 16:03

むむむっ。。。
拙者には、荷が重過ぎました。。。
皆様からの応援鑑定を待ちましょう。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/24(Thu) 20:15

真改さん、肥前刀ではないでしょう。第一に姿が「先落ちした」つまり元巾に対して先巾がぐっと細くなった、いわゆる「寛文新刀姿」です。その姿がもっとも顕著に出た「江戸物の寛文新刀姿」と云ってよいくらいです。
しかしその頃の江戸物は虎徹、法城寺の二代または弟子筋の鍛冶は「互の目足」が定番ですよね。そうすると江戸在住の越前、康継の三代かその弟子筋継平なども候補になるでしょう。もちろん越前関もあります。何にしても肥前でこの姿はありません。
次に地金ですが、これも肥前刀ではこのように「カス立つ」ことはあり得ません。帽子も肥前は美しく小丸に返る「山城伝正統派」の挌をもっていて、決して「崩れた形」を焼きません。大阪新刀も地鉄が細かく詰みカス立ったものは寛文期くらいまでのものでは、まずありませんし、大阪帽子も挌があります。

この刀は全体に「かねが黒い」ようですから、越前関と見たくなりますね。
さあ、プロの鑑定はどうでしょう？

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/24(Thu) 22:29

隠居さんの助言を元に越前の刀工を色々調べてみました。三代康継門人の下坂継広と言う刀工が居るのですが、なんとなく作風が似ているような気がするのですが・・・。あまり資料が無くはっきりは分かりませんでした。どなたか詳しい方居りましたらぜひご教授を・・・。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/24(Thu) 23:11

あと武州下原鍛冶あたりはどうでしょう？

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/25(Fri) 01:49

士学さん、武州下原鍛冶は古刀で、新刀期にはいない筈です。（もし居たとしても作風が違う）古刀の下原物には「如りん肌」と云われる「渦巻き形」の肌が必ずあるもので、独特の地肌です。（末相州と同然の扱い）
越前の下坂鍛冶継広は渋い直刃が得意な鍛冶ですが、のたれもあるかも分かりませんね。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/10/25(Fri) 10:05

隠居さま、ご意見有難う御座います。私の名も無い無銘刀の為に色々なご意見が聞けてうれしいです。益々この刀に興味がわいてきました。どのような結果が出るか分かりませんが、鑑定から戻ってきたら今よりもっと良い状態にしてあげたいです。

[983 へのレス] Re: 無銘新刀画像ＵＰ！

投稿者：好者　投稿日：2002/10/25(Fri) 15:36

こんにちは、はじめまして。
武州下原には広重を新刀初代として刀工は多数おります。島田にも新刀期の刀工も多数おります。今回の画像を拝見して非常に肌荒れが有り研ぎの状態も古く研ぎがかかっているとは云えない程の悪いコンディションです。この画像でとても判断は出来ませんが、中心の形に少しタナゴ風が感じられ、それだけを取り上げれば武州新刀の下原・島田辺りを感じる所は有ります。下原物も新刀期になりますと古刀期とは違い沸付きの湾・互の目等の全国と共通する様な、一般的な作風が多くなります。新刀相伝の流行に影響されているのでしょう。
大坂新刀・肥前刀・江戸新刀等の様にきっちりとした特色を備えない作は、新刀の脇物と考えるのが、一般的でしょう。
何れにしても、この画像で正確な鑑定は不可能でしょう。

画像イメージですので、現物とは違うかもわかりませんね。
鑑定結果を楽しみにしております。

---

[997] 刀剣界の巨匠逝く（続）

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/10/25(Fri) 19:43

日本鋼管室蘭製作所瑞泉鍛刀所の「堀井胤次」刀匠がさる１０月３日午後３時頃
肺がんの為亡くなられました。７９歳
生前の名刀匠としてのご活躍と日本刀に対する研究と情熱を深く敬意を表するとともにご冥福をお祈りします。

合掌

[997 へのレス] Re: 刀剣界の巨匠逝く（続）

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/27(Sun) 01:29

少し前に、この掲示板で「三笠砲鋼」として話題になった、堀井秀明師を初代とする瑞泉鍛刀所の三代目の刀匠ですね。
現在は、四代目の胤匡（たねただ）師が活躍されているようです。
大正七年の開設以来、堀井家の方々が作刀にあたっておられるようで、これからも永く伝統の技術を伝えていっていただきたいものです。

胤次師の、ご冥福をお祈りいたします。

[997 へのレス] Re: 刀剣界の巨匠逝く（続）

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/27(Sun) 20:55

ちょうど、今月の麗に堀井俊秀刀匠の昭和十八年期の刀が出ている。
昭和十八年という年は､俊秀刀匠の没年で､その年の元帥刀の製作途中に亡くなったと解説にある。

五口の元帥刀の製作依頼を受けたが、二回目のときには銘を切ることなく脳腫瘍で入院となり、許可を得て次男の堀井胤次刀匠が代銘したという。

堀井胤次刀匠のお亡くなりなった月に、こうした縁のある刀が出てくるというのも、なんらかの力を感じるというのは私だけであろうか・・・。

---

[999] 埼玉県伝統武術演舞大会

投稿者：ikkak　投稿日：2002/10/27(Sun) 19:57

埼玉武道館でおこなわれた埼玉伝統武術演舞大会にいってきました。
埼京線できたんで助かってまっす。
埼玉県で発祥、伝承されてきた武術が途絶えるのを憂慮した
埼玉県伝統武術連盟が２年に１回ひらいているもので今年で３回目です。

遠くは北海道からいろいろな武術が披露されましたが
やはり刀は美しい！人体の形状とあの反りのついた刀の体配が見事に相まり
かまえ、進退、斬激、残身すべてが一連の調和の下に行われる様は
鳥肌が立つほど美しく、日本人のＤＮＡをビンビンと刺激してくれました。

一番すげーと思ったのは万力鎖！　持ってることがわかりません。銃刀法にもひっかからないし
ぶんぶん振り回してましたが、あんなん当たったら顔面陥没しちゃいます。

最強かなっと思ったのは棒術、「今なにやったの？」というほど
攻防一体の変幻自在な動きは目が付いて行きまっしぇーん。
でも持ち運びが不便だからなー

バガボンドでおなじみ二天一流、無刀使いもありました。

http://www.geocities.co.jp/Bookend-Shikibu/2656/python.htm

[1001] 朧月夜

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/28(Mon) 01:32

菜の花畑に　入日薄れ　見わたす山の端　霞ふかし　春風そよ吹く　空を見れば　夕月かかりて　匂い淡し
里わの火影も　森の色も　田中の小径を　たどる人も　蛙の鳴くねも　鐘の音も　さながら霞める　朧月夜
　大正３年(1914 年)『尋常小学唱歌（六)』　作詞 高野辰之　作曲 岡野貞一

福永酔剣氏の日本刀鑑定必携から、言葉を拾ってみました。
板目肌・杢目肌・梨地肌・柾目肌・綾杉肌・松皮肌・鹿尾菜（ひじき）肌・丁子・乱れ・三本杉・稲妻・牡丹映り・芋蔓・翁の髭・瓢箪刃・玉垣刃・蟹の爪・半月・千鳥・寄せ波刃・蕨手・茶花の乱れなど、日本の自然や日本人の感性がいっぱいです。

冒頭の「朧月夜」。小学生が歌う唱歌にして、この格調の高さ・言葉の美しさ。私は小学生の時に歌いましたが、私の子供はこの歌を知りません。
日本刀というからには、日本の自然や、日本人の感性・叙情などと切り離せるはずなどないのですが、身の回りや教育からは失われつつあります。
これから刀を学ばれる若い方々は、これらの言葉から情景を思い描けず、単なる「用語」として覚えていくのでしょうか・・・

数十年ぶりに帰国された方々を見て、年月の長さや周囲の変化など、いろいろと感じることがあったのですが「意あまって力足りず」、訳の分からない投稿になってしまいました m(__)m

---

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/28(Mon) 14:25

いえいえ、仰らんとするところは充分伝わってきます。
僕も「美しい日本」「美しい日本人の感性」は大好きです。
…醜い日本人が多くなりました。自分もそうならないよう自戒して生きているつもりですが、どう

も…。
あの方達の抱いているであろう「戸惑い」は想像しきれるものではありません。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/28(Mon) 21:55

＞こてつさん
私の言葉足らずを察していただき、ありがとうございます。
今改めて唱歌の歌詞を読んで思うことは、小学生向けにしては難しい言葉を使っていることでしょうか？
その姿勢には、手を抜くことも、迎合することも感じられません。
しかし、大人になった今改めて歌詞を目にすると、平易な言葉を使うよりも遥かに鮮やかに情景が目に浮かびます。
円周率を３とすることや、ゆとり教育とは正反対ですが、こちらの方がよい気がしますね。
刀の中の豊かな情景を見出せるまでには、私の場合は一生掛かりそうですが・・・(^^ゞ

また、「ふるさとは遠くにありて思ふもの」などというのも、寂しいですしね。

[1001 へのレス] Re: 儒教の名残り

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/29(Tue) 05:47

　現在でもやっている所がありますが、明治から昭和初期の知識人は子女に漢文の素読をさせていました。
　「生死巌頭に立ったとき、その判断を決めるのは古人が後世に『優れた判断であった』と評価される行動が基準になる」と、そういう逸話を集めた『小学』などが読まれたのだそうです。
　昔の子供向けの歌に格調高い古語や漢文の名句が入っているのはその名残とか。「勇気凛々瑠璃の色（少年探偵団）」など、よく意味も分からず歌っていたものですが。
　ちなみに『小学』は「小学校」の語源になったくらいですから易しいと思っていたらとんでもない。「代返」の語源がこの本にあるとか、『魏志倭人伝』の陳寿が親不孝者の代表だったなどを昔の子供は最初にこの本で刷り込まれていたのです。
　漢詩や漢文が刷り込まれていないと刀の銘文や賛も理解できないことがあり、逆に所有者の学閥が分かったりします。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：鎬　投稿日：2002/10/29(Tue) 11:46

花散里さん、うまく表現できませんが、胸が熱いです。
私は、数年前、日本刀随感に大慶直胤の太刀に和歌が刻まれているのを見てなんともいえない感情になりました。

「野も山も照らさぬ月ハなけれども　海にやふかく陰やとるらん」
当時なにやら興奮して真改さんに、連絡し訳のわからぬ事を言って
しまいました。
その太刀は、刀和 11 月号に載ってますよ。
日本の自然や、日本人の感性・叙情にありがとう。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/29(Tue) 12:57

唱歌も、時代によって入れ替わりがあったようですが、あと一つ私が特に好きなのが「青葉の笛」です。

一の谷の軍破れ　討たれし平家の公達あわれ　暁寒き須磨の嵐に　聞えしはこれか青葉の笛
更くる夜半に門を敲き　わが師に託せし言の葉あわれ　今わの際まで持ちし箙に　残れるは花や今宵の歌

いったい誰のことを歌っているのか、青葉の笛とは何なのか、わが師とは誰か、花や今宵の歌とは何か、たったこれだけの短い歌詞に数多くの物語や情景が込められています。
また刀剣関係の言葉としては、「箙」も登場します。
朧月夜の作詞者 高野辰之氏、青葉の笛の作詞者 大和田建樹氏はともに国文学者であり、ここからも手抜きをしない姿勢が見て取れます。
「だ○ご三兄弟」とは、レベルが違いますね(^.^)

歌詞とメロディーは、「なつかしい童謡・唱歌・わらべ歌・寮歌・民謡・歌謡」で m(__)m

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/30(Wed) 04:43

　青葉の笛は平敦盛（たいらのあつもり）が熊谷次郎直実に
打たれた時の逸話です。享年 16 歳。
　「花や今宵」も平家物語で平　薩摩守忠度（さつまのかみ
ただのり）が
「行き暮れて木の下影を宿とせば花や今宵のあるじなるべし」
という和歌を残して岡部忠澄の家来六弥太に打たれた時の
故事です。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：野崎　投稿日：2002/10/30(Wed) 04:53

　追加：薩摩守忠度が都を落ち延びる時、歌の師匠藤原俊成（ふじわら
としなり・しゅんぜい）の館に立ち寄り
　さざなみや志賀の都は荒れにしを　昔ながらの山桜かな

の句を託した。平家は逆賊にされたので「読み人しらず」の名で
勅撰集に加えたと言う故事です。
　昔の武人は平家物語が必読書でしたから。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/30(Wed) 10:11

尋常小学校、懐かしいです。ついでに当時の国語の教科書にあった「日本刀」の一部をご披露いたします。この私も学びました。尋常小学読本巻十一、「日本刀」より

「かうした實用上の價値の外に、美観は、日本刀の持つ一大特色である。長さ、幅、厚さの釣合のとれた形、気持ちよくぐつとはいつた反、物打から切先へかけての輕やかな線、それらをひつくるめた全体の美しさに先ず心は打たれるが、更に其のしつとりと滑かで底光りする鐵の色、直刃、亂刃の刃文の美しさ等に至つては、筆舌のよくするところではない。世界何れの國に、かくの如き美しい刀剣があらうぞ。
しかも、日本刀の貴さは單に美のみでなくて、其のをかすべからざる気品にある。鞘を拂つて、じつと眺めてゐると、どこから来るか、どこから湧くか、一脈の気魄がりんとして身に迫るのを覺える。一度起ってこれを振るへば、惰気も邪気も一瞬にして霧散して、心気は自ら清明となる。しかも此の気魄は決して荒々しいものではない。そこには鐵壁をも貫くべき鋭さを、かすみの如く包んだ一道の和気がたゞよふ。此の気品、此の気魄こそ、日本刀の至寶であらねばならぬ。
刀工が刀を鍛へるに當つては、仕事場を清浄にし、しめなわを張り、神を祭り、精進潔齊、ひたすら清らかな心を以て、一槌々々精魂を打込むのである。若し邪悪な心があれば、如何に切味がよくとも捨てゝかへりみられない。日本刀の精神的意義は實にこゝにある。武士が刀剣を帶する意義もこゝに存する。刀は、決して敵を斬るのを目的とするのでなく、身を守り、抜かざるに既に敵を威服するに足るものでなければならぬ。
平和を愛し、美を喜ぶ我が國民の優美な性情と、善にくみし、邪をにくむ正義感とは、まことに日本刀の精神其のものといふべきである。」

　戦前は「軍国主義」で侵略主義だったという「反日教育」を受けられたお方も多いことと存じますが、「普通の国」の一人の人間としてこの文章を読んで頂きたいのです。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/30(Wed) 12:57

＞野崎先生
青葉の笛について、ご丁寧な解説をありがとうございます。
また、「生死巌頭に立ったとき、その判断を決めるのは古人が後世に『優れた
判断であった』と評価される行動が基準になる」
そのとおりかと思います。
「知識」を身につけているだけでは未経験の事態に対処できませんが、「教養」が身についていれば、少なくとも後で取り返しのつかなくなるような「取り乱し方」はしないですむようになるのでしょうね。

＞ご隠居さん
北野武（ビートたけし）氏が言うところの、「駅前民主主義」を享受している私が読んでも、素直に読める名文だと思います。
「反日教育」、私も受けていたのかも知れませんが、実はよく覚えていません(^^ゞ
偏った一方的な情報は適当に聞き流し、自分で「右を見て左を見て」現在に至っているつもりでいます。
その結果としては、少なくとも「ちょうにち新聞」は嫌いです。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/31(Thu) 06:12

花散里さん、反日教育はわすれましたか。はっはっは。そうでしょうね。
昔の児童教育は「噛んで与える」のでなく「そのまま」を与えましたから、子供のほうが背伸びして分かるように努めるほかなく、分からなければそのままにしておいて「いつか思い出して分かればよい」というものでした。この「日本刀」がまさにそうで、私は小六の当時、「日本刀は格好いいなあ」と思ったくらいで、用語などは分かりませんでした。あなたが紹介された「唱歌」と同じです。それでも「文外に」というか「分からぬなりに」といいますか、何かの強烈なものが伝わってくるわけで、口に出して云えなくても、それでいいのでしょう。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/31(Thu) 07:58

＞ご隠居さん
不思議なことに唱歌の中の言葉は、噛んで含めるように教わったことよりも強く記憶しています。
子供の頃はよく分からぬまま、ただ歌っているだけだったのですが、大人になってから改めて歌詞を目にしたとき、情景や色までもが鮮やかに浮かんできます。
私と唱歌の再会は、ある意味で開眼と言ってよいほどの心地よいものでした。

個人の歴史であろうが国の歴史であろうが、光もあれば影もあるでしょう。
これでもかとばかり、一方的な価値観を押し付ける一部政党や「ちょうにち新聞」の論調は、私には受け入れることができません。
「ちょうにち新聞」だって、戦時中は今とまったく逆のことを主張していましたしね。
善か悪かで片付く簡単な問題ではありませんし、私の中で開眼までにはまだまだ時間が掛かりそうですが、少なくとも「祖父」を否定する気持ちはありません。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：隠居　投稿日：2002/10/31(Thu) 11:02

花散里さん、あなたの云われている「伝来の言葉」の大切さなんですが、刀剣用語では挙げられているものの外に、チケイ、チフ、砂流しなど「奥深い言葉」がまだまだありますね。また「沈みぎみ」でなく「沈み心」というような表現に、刀の道が独特の好き者によって受け継がれてきたものであることがうかがえます。お互い、これらの言葉を次の世代に正しく伝えて行きましょう。

[1001 へのレス] Re: 朧月夜

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/31(Thu) 12:12

＞ご隠居さん
奥深く、鋭い感性を持ち、詩心があり、教養を備えている。
私には、そのような基盤・素養が無いので苦労しそうですが、仰るとおり単なる言葉の伝達では意味がありません。
精進いたします m(__)m

[1002] 点呼

投稿者：電脳倶楽部宴会部長代行　投稿日：2002/10/28(Mon) 11:26

みなさ～ん！　いよいよ今週末は大刀剣市です。今年も例年通り電脳倶楽部主宰の大刀剣市ツアーを行います。みんなで楽しくあーだこーだ言いながら刀三昧の一日を送りましょう！　夜は夜でこれまた例年通りささやかな酒席をご用意しております。会場の準備もありますで参加ご希望の方はご連絡いただけないでしょうか？メールでもここにレス入れていただいても結構です。(なるべく今日明日中にお願い致します) 宜しくお願い致します。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/28(Mon) 12:04

初日の、朝一から参加です。もちろん、酒席も参加させていただきます m(__)m

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：真改２００１　宴会部長代行依頼者 m(__)m　投稿日：2002/10/28(Mon) 12:33

午後から突入予定です。(^○^)。

よろしくお願い致します。m(__)m。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/28(Mon) 14:18

今回も参加させていただきます～。
いつものように午後からの参加になりそうです。下手すると夕方以降…になるかもしれませんが。
…酒席は必ず、絶対、命がけで行きます。
短刀を持参する予定です。よろしくお願いします。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/10/28(Mon) 18:42

家内の笹丸とともに初日に参加します。
でも、みなさんのお顔が分からないので何か目印を

着けて下さればよいのですが・・・・
例えば、日の丸の鉢巻を締めてくるとか？？？？？

とにかく当日はよろしくお願いします。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：純井　投稿日：2002/10/28(Mon) 23:39

初めてと相成りますが、参加させて頂きます。特に仕事が入らなければと言う条件と相成りますが…。
皆々様、宜しゅうお願い申し上げます。御酒は飲めないですが・・・。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：菊久　投稿日：2002/10/29(Tue) 06:28

久しぶりの上京と相成ります。
たぶん、お昼前ぐらいに東京着となるはずだから、簡単な昼食をすませてからの参加させて頂こうと思っています。
もちろん、酒席もお願い致したく存じます。

ご参加の皆様、よろしくお願いいたします。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/10/29(Tue) 14:44

私も是非加えてください。
皆様、よろしくおねがいします。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：神無月　投稿日：2002/10/29(Tue) 19:25

大刀剣市には行ったことがありませんので、僕も是非参加させていただきたいと思います。
皆様、宜しくお願い申し上げます。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：守重　投稿日：2002/10/29(Tue) 21:13

私も参加希望です。私は午後から参上いたしますが、３日は仕事なので、酒席はほどほどで行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：電脳倶楽部宴会部長代行　投稿日：2002/10/29(Tue) 23:35

みなさ～ん！酒席の方にご参加でよろしいですね？　鬼丸さんもご参加ですか！宜しくお願い致します。そうですね、鬼丸さんも笹丸さんも初めてお会いするので目印をと言うのはごもっともです。

ですがどうぞご心配なく。広い会場内、どんなに多くの来場者に溢れかえろうとも電脳倶楽部代表真改 2001 に勝る男前はおりません。当日は代表を目印と致しましょう。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/29(Tue) 23:55

と言っても、代表のお顔をご存じない方も多いかと思います。
でもって、代表のご尊顔は「こちら」をご覧下さい(^_^)v

特に、３・４・５あたりですかね(^^ゞ

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：電脳倶楽部宴会部長代行　投稿日：2002/10/30(Wed) 01:57

画像掲示板に代表をアップしておきました。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/10/30(Wed) 17:53

いずれの画像もとても精悍そうですね。

要するに同田貫正国のような御仁を探せば良いのですね　（爆）

それにしても皆さんにお会いするのがとても楽しみです。

因みに私は、「島田義助」のような顔です。（田舎くさい顔かも？）

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：神無月　投稿日：2002/10/31(Thu) 19:58

大刀剣市はどこで開かれるんでしょうか？
住所と、できれば簡単な地図を教えていただきたいのですが・・・。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/10/31(Thu) 20:20

浜松町駅から、東京美術倶楽部までタクシーがいいのではないでしょうか？

愛宕警察署の横。日本赤十字社の前です。

三田線『御成門駅』Ａ４から徒歩二分っていうのが、一番近いようです。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：花散里　投稿日：2002/10/31(Thu) 21:26

「東京美術倶楽部」のホームページです。

ご参考までに。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：神無月　投稿日：2002/11/01(Fri) 17:45

分かりました、ありがとうございます。
けっこう遠いんですね。

[1002 へのレス] Re: 点呼

投稿者：電脳倶楽部宴会部長代行　投稿日：2002/11/01(Fri) 19:32

明日はとりあえずは自由行動で会場内を鑑賞いただき、15 時に 1 階ロビー奥の椅子のある辺りへいったん集合することに致しましょう。そんな所で暇潰している集団はまずい無いはずですのですぐにお分りいただけると思います。真改代表、花散里さん、若しくは私の携帯番号いずれもご存知無い方がおられましたら、私へメールにてご連絡下さい。宜しくお願い致します。

[1029] 東京時代祭り。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/31(Thu) 13:54

１１月３日、浅草で「東京時代祭り」ってのがあるそうです。
あいにく詳細は分からないんですが、パレードがあるみたいです。

[1029 へのレス] Re: 東京時代祭り。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/10/31(Thu) 14:17

もう一つ、明治神宮奉納古武道大会ってのもあるそうです。
日本古武道振興会の演武会のようです。

[1029 へのレス] Re: 東京時代祭り。

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/01(Fri) 12:19

コンセプトは京都の時代祭りと同じで、江戸（東京）の歴史や風俗を再現したパレードが主体のようですね。
詳しいことは、「こちら」をどうぞ m(__)m

[1029 へのレス] Re: 東京時代祭り。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/11/01(Fri) 23:37

＞花散里さん
毎度中途半端な親記事に見事なフォローを入れていただきありがとうございます。古武道演武会も調べたんですが結局よく分かりませんでした。

[1029 へのレス] Re: 東京時代祭り。

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/02(Sat) 00:08

＞こてつさん
自らの知識は無いんですが、私検索は得意ですので(^^ゞ

明治神宮奉納古武道大会は、１１月３日の明治天皇生誕１５０年大祭で行われるようです。
「文化の日に行われる今年の明治神宮大祭の奉納演武では、日本古武道振興会（昨年度 68 団体所属）から招請された各流派が奥義を披露する。」
ということです m(__)m

[1029 へのレス] Re: 東京時代祭り。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/11/02(Sat) 00:24

お～、ありがとうございます。
明日（もう今日ですが）は「時代劇マガジン」も持参しますね。
銀座だ銀座だ～！！…その前に展示会見なくては。

[1040] 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/03(Sun) 23:40

大刀剣市にご参加の、真改 2001 さん・swordsmith さん・久さん・こてつさん・菊久さん・守重さん・鬼丸さん＆笹丸さん・刀士郎さん・神無月さん・純井さん、大変お疲れ様でした。
おかげさまで、今年も楽しい刀三昧の２日間を送らせていただきました m(__)m

初日の大刀剣市では、昨年よりも来場者が多く活気があるように感じられました。
改めて、清麿と夏雄のお値段にはびっくり仰天(+_+)　その他の感想は別の方に譲るとして、鬼丸さんのご紹介で岡村製の刀剣油と打ち粉を購入できたのは、以前から欲しかったものだけに嬉しかったです(^_^)
食事会も楽しく、皆さん食事もそっちのけで、こてつさんや鬼丸さんが持参してくれた短刀の鑑賞会となりました。
ここで、ホテルが確保できなかった鬼丸さん＆笹丸さんご夫妻は、残念ながら帰宅となりましたが、続く２次会ではカラオケＢＯＸに陣取ったものの、最初の１時間は誰も歌わず刀の話ばかりしている、異様な集団と化しました(^^ゞ

続いて２日目は、長州屋さんの展示即売会に始まり、日刀保の重要刀剣等新指定展、葵美術さん、成蹊堂さんと、またしても刀以外にものを考えられない異様な集団に(^^ゞ
長州屋さんでは、ロザリオ透かしの信家の鐔に皆の視線が釘付け。スクラッチ宝くじへの期待も空しく、残念ながら購入には至りませんでした。
日刀保では、中央に堂々と展示された延文兼光。後藤光守の鎚も美しく、別格扱いも頷ける出来でした。
小道具では、やはり野晒しの信家鐔でしょうか・・・究極の野晒しと言えるかも知れませんね(^_^)
成蹊堂さんでは、例によって名刀の数々を手にとって拝見できたのに加え、なんと海鼠透かしの武蔵鐔＼(^o^)／　世に写し物は数々あれど、本歌は私の一生で最初で最後でしょう!(^^)!　箱に入れたまま手に取ら

せていただきましたが、思わず手が震えましたね。

その後皆さんとお別れし、真改 2001 さんを見送りに羽田空港に向かいましたが、楽しく充実した２日間が無事終わると思いきや、最後に大事件が(+_+)
真改 2001 さんが予約した最終１９：００の飛行機に対し、羽田空港駅に到着したのは１３分前(^^ゞ
地下２階の到着ホームから航空会社のカウンターを目指し、炎のランナーとなりエスカレーターを駆け上る真改 2001 さん(^_^;)
私が乗り越し清算を終え、老体に鞭打ちカウンターに到着したのが５分前(>_<)
そのとき、既に真改 2001 さんの姿はどこにも無く、別の帰宅手段を考えながら焦りまくる私・・・(^_^;)
しかし、真改 2001 さんの新型ターミネーターを彷彿させる強靭な肉体と、鬼神も避ける必死の勢いで、無事（？）最終便に搭乗されました＼(^o^)／

お疲れ様でした、皆さん（特に真改 2001 さん）m(__)m
これに懲りず、またお付き合いをよろしくお願いします(^_^)/~

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/11/04(Mon) 02:32

お疲れ様でした、皆さん。
大変楽しい時間を過ごさせていただきました。
焼肉も大変美味しかったです。久さんが色々頼むんでドキドキしてしまいました。こんなに食えるだろうか…。しかしキレイに胃袋に収まってしまいました。銀座で焼肉…東京の良い記念になりました～（笑）。
二次会では僕は少々騒ぎすぎたかもしれません。大変失礼しました。…だって誰も歌わないんだも～ん！…今後はもう少し控えたいと思います。
…「今後」はあるのか…！？

花散里さんの記事によると翌日も忙しく回られた御様子。
長州屋さんの「ロザリオ透かし」！やはり目に留まりましたか！
いいっすね、あれ…。御刀では「長義（在銘！）」が印象に残っています。僕は初日に伺ったのですが、やはり二日目も大入りだったのでしょうか？あれだけ名品が揃うと、目移りばかりして…なかなか手に取る機会も無いのに。一口だけでも拝見しとくんだった～。
博物館の方は僕はこれから行く予定です。
「兼光」…要チェックのようですね。

真改代表、他の皆さんも無事に帰られたでしょうか？
また会える日を楽しみに待ちたいと思います。
ありがとうございました。

[1040 へのレス] 猛ダ～～～～ッシュ！

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/04(Mon) 07:54

まずは、二日間の刀剣三昧にお付き合いいただきました皆様に感謝致します。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

さて、四国から年に一度の刀剣のお祭りに参加するべく、２日の午後に都心に入ったわけです。空港では菊久さんと合流し、浜松町の駅では花散里さん、久さんのお出迎えを受けつつ東京美術倶楽部を目指しました。

初日ではありましたが、昨年よりも多くの人出を感じました。
また、もっとも感じたのが、一段と価格がこなれてきていること。それに伴って初日から売約済みの札がたくさん掛かっていたことです。
軍刀の外装がよく売れてたのも特徴でした。

１５時までの電脳倶楽部の皆様との集合を前に、自由に鑑賞をしましたが、価格的に目を惹くのは３００万円以上の刀達。
これが一応の目安になるような気がしました。
現代刀の評価も高く、現代刀を支持する私としては大変嬉しかったような次第です。
現代刀については初対面の(^^ゞ旅人さんと熱心に会話を交わし､非常に収穫になることがおおくあり、色々な知識を取り入れることができました。お世話になりました。

刀のねらい目としては、長い刀で高名で出来の良いものとなるとお値段も張るわけですから、脇差の良いところを狙うのも一つの収集方法であろうと特に感じました。
実例では、真改銘の脇差（いずれも延宝年期）が３００万円から４００万円までと、一時に比べて非常に身近になったと感じます。この真改の脇差の値段から他を推測することが、私はなんとなくできそうだったので、大きな収穫でした。

初日の戦利品は(^o^)丿、岡村平兵衛製の丁子油と制定居合のビデオです。
丁子油はこのホームページでも話題になったもので、ぜひとも欲しい逸品でしたので、最後の一個だと知った時は、本当に『良かった～』と声に出しました。
ビデオも制定居合が１０本から１２本に変更になった後のものですから、これもあれば欲しいと思っていたものでしたたので、良かったです。

１８時からは食事会でしたが、焼肉とカニをたっぷりと食べ、こてつさんと鬼丸御夫妻の短刀に目を丸くし、大勢で楽しいひと時を過ごせることができました。
二次会ではカラオケボックスで、刀剣の話と純井さんの真改国貞の名品を拝見すつことができました。
横で、こてつさんの『しとしとピッチャン』を聞きながら・・・。(^0_0^)。

おっと、そろそろ、私は出勤の時間です。
二日目のことは今夜にでも投稿したいと思います。

表題の『猛ダ～～～～ッシュ！』とは？
花散里さんのお話にあることなのですが、これも併せて書くことにしましょう。

では、引き続き皆様、投稿をよろしくお願い致します。m(__)m。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：菊久　投稿日：2002/11/04(Mon) 09:32

飛行機と宿を予約してから、１１月２日までの日々の長かったことといったら有りませんでした。
未だか々々と待った日も、迎えてみれば「あっ！」という間に２日間が過ぎてしまいました。
久しぶりにお会いする方々、また、今回初めてお会いする方々も、不思議と初めて顔を合わすとは思えない、そんな感覚で全く旧知の友人のごとく、冗談を交えた会話も飛び、私として失礼なことも有ったとは思いますが、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。
みな様、「ありがとうございました」

今回、気になった刀剣といえば、長州屋さんに有った、映りが顕著に顕れていた「古青江」と「源正雄」。
欲しいなぁーと思いつつ会場を出た後に、例の一千万円スクラッチ宝くじが有った訳なんですネ。
私も思わず買っちゃいました。皆さんそれぞれ思惑があるらしく、集団でゴシゴシやらかしましたが、傍目からみると異様に見えたことと思います。
でも、当たっていたら本当に私は（たぶん他の皆さんも同様だと思いますが）踵を返して、二口とも買って帰るつもりだったんですが・・・。しかし、もし当たっていたなら、その前に久さんの太っい腕が後頭部に飛んで来そうだったけど^^;

それから、某店の同田貫二口。
一口は、無理をしたら買えないこともないかもしれないけれど、そうなると今度は、『連れ合い』から五寸釘が後頭部かワラ人形に打たれそうなんですが・・・。

みな様、しばらくはお会いできないでしょうけれど、こてつさんと同様に、また会える日を楽しみにしています。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/11/04(Mon) 16:41

みなさん、お疲れ様でした。
今年で４年連続大刀剣市の見学となりましたが、今年は電脳倶楽部の諸氏にお会い出来、今までで一番有意義な刀剣市見学となりました。

今年の大刀剣市の私的感想として、市場にはあまり顔を出さない名品が多数出品されていたことと価格がかなり安くなっておりサラリーマンでもちょっと無理をすれば、かなりの名品が入手できそうな感じがしました。

また、会場に外人さんが多く見受けられたのも今年の特色ではないでしょうか？
私個人の収穫としては、「鍛冶平押形上下２巻」定価３万円を２万５千円で入手できたことです。それと電脳倶楽部の皆さんにお会い出来たことです。

今年は、１泊する予定で上京して来ましたが東京の街は甘くはありませんでした。

連休ということもありまして、どこのホテルもいっぱいで已む無く新幹線での帰宅ということになりました。
来年は先ず、チケットより宿の確保を優先します。
家内の笹丸からチクチクと「長州屋さん」いきたかったなあと言われて少しだけ反省

最後に色々お世話くださった花散里氏と銀座の焼肉大会を段取りして頂いた
宴会部長代行さんに厚く御礼申し上げます。
そして、電脳倶楽部参加の皆さんとまたいつか会える日を楽しみにしている鬼丸＆笹丸でした。

追伸：真改代表は写真より実物の方が　ス・テ・キ　（笹丸談）

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした
投稿者：神無月　投稿日：2002/11/04(Mon) 19:09

今回お会いした殆どの方々とは初対面で、メチャクチャ緊張しましたが、普通に生活をしていたらまず出会うことのない方々ばかりで、そういった方々と話しをしたり食事をしたりというのはとても楽しいひと時でした。
皆様、ありがとうございました。

二日目は長州屋さんの展示即売会だけでもご一緒したかったのですが・・・、起きれませんでした・・・・・(-_-;)。
「千子正真」だけでも見たいなぁと思い、正午過ぎに行ったんですが、展示会場は人が多くて見つけられないまま帰る始末・・・。

また皆様とお会いできる機会を楽しみにしております。
ありがとうございました m(__)m

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした
投稿者：純井　投稿日：2002/11/04(Mon) 19:41

先日のオフ会、大変楽しゅう御座いました。真改代表や久さん、菊久さん等初めてお会いする方々ばかりでしたが、皆様良い方ばかりで大変楽しい一時を過ごさせていただきました。篤く御礼申し上げます。
実は二日目も皆様と御一緒しようと思っておりましたが、私も朝に弱いところを発揮して初日のみの参加と心ならずもなってしまいましたが、またこのような機会が御座いましたならば、ぜひ参加させていただこうかと思います。
また皆様とお会いする日が来る事を心待ちにさせて頂きまして、御礼の言葉で締めさせていただきます。真改 2001 さん・swordsmith さん・久さん・こてつさん・菊久さん・守重さん・鬼丸さん＆笹丸さん・刀士郎さん・神無月さん、どうも有難う御座いました。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：守重　投稿日：2002/11/04(Mon) 21:26

お晩です。守重です。２日は大変にお世話になりました。半日のお付き合いでしたが、とても楽しく過ごさせていただきました。当方、他の趣味のために午前中は池袋にいましたが、午後からは先ず長州屋へ、凄い品ぞろえ、鍔も凄い。私にとっては郷土の最高峰の刀匠の刀が気に入りましたが、250 万円でした。さすがですねえ。長州屋は。目の前で偉そうな御仁が 300 万円の盛光を「よし、買おう!!」といって衝動買いしたのを見て、日本の不景気は１体、、、と思ってしまいました。更には入口にあった鎧があっさりと買われてしまったのもビックリでした。更に、、、長州屋の店員の女の子達、美人が多いですね。
大刀剣市の 150000000（いちおくごせんまん）円の清麿、そのたたまらんでした。
飲み会は生まれて始めての銀座での食事、高級肉をタダひたすら食いまくってしまいました。でも店員に警察に通報されないかと一寸びびりましたが、あっという間に３時間がたってしまいました。私は当日限りで帰宅しましたが、来年は是非とも泊で、、、、行きたいと思います。翌日３日は wife の誕生日と仕事でして、どうにもなりませんでした。
いろいろと段取りをしていただいた swordsmith さんや皆様には深々と感謝いたします。また来年お会いしましょう。
それで以下は食事会での写真です。頭に「h」を付ければご覧になれます。しかし一週間程度で削除しますので、保存したい方は早めにダウンロードして下さい。

ttp://www.bestlot.com/members/momonga/P1010032.JPG
ttp://www.bestlot.com/members/momonga/P1010033.JPG

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：久　投稿日：2002/11/04(Mon) 22:53

お疲れ様でした。年に一度の刀剣を満腹するまで見る事ができる日をどんなに待っていた事やら、、、。

今回のは皆様の書き込みにもあるように究極の名品が数点見れた事がびっくりいたしました。その上、値段も天空の彼方にあるような値段では無く買えてしまう値段でした。（とは言え私には絶対買えませんけど。）
私の中で今だ衝撃の余韻が残っているのは大好きな長義が３振りも見れた事、私の郷土刀にあたる栗原信秀の短刀、とあるお店で見た相伝です。
これらの刀を手に取って見れた事はあまりの衝撃で今だその時の興奮状態が消火出来ないでいます。このまま１年興奮状態を保ち続けたいと思います。

また皆様と会うのが楽しみです。また来年宜敷くお願いいたします。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/11/05(Tue) 00:45

本当に楽しい二日間をすごさせていただきました。

初対面の方がほとんどなのに、菊久さんのおっしゃるように旧知のごとく不思議でした。
みなさん、なにからなにまでありがとうございました。

ところで真改さん、飛行機、まにあってよかったですね。
「猛ダ～～シュ！」目にうかぶようです。
ほんとうにお疲れ様でした。
私は、帰ってからが大変で二日分の仕事がやまずみでした。
でも仕事をしながらも、例の「相州伝」を思い出し
「第二婦人に迎えることになるのかしらん。」
などとニタニタしたりしてました。

おそくなりましたが
皆様お疲れ様でございました。
又の日を楽しみにしております。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした
投稿者：刀士郎　投稿日：2002/11/05(Tue) 12:06

追伸
私は今回の大刀剣市では一文字と忠綱にばかり目が行きました。
素晴らしい一文字を数口拝見させていただき、目の保養となりました。
その残像が残っているうちに、帰宅してすぐ我が家の一文字にただいまとアイサツしましたが、やはり「うちの一文字が一番いい。」と感じたしだいです。
なんども見るうちには、多少の欠点も見えてきましたが　そこはそれ「アバタもエクボ」ですめネ。
ヤッパリうちのが一番です。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした
投稿者：swordsmith　投稿日：2002/11/05(Tue) 12:29<HOME>

みなさん、お疲れさまでした。
今年もおかげさまで楽しいひと時を過ごさせていただきました。
やはり一人で刀を見に行くより、大勢でワイワイガヤガヤと観ると楽しいですよね。
さて、次は何しましょうか？

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした
投稿者：花散里　投稿日：2002/11/05(Tue) 23:37

やっぱり、勉強会でしょ(^_^)　＞swordsmith さん

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした
投稿者：久　投稿日：2002/11/05(Tue) 23:51

できれば１１月２３日か２４日に勉強会を！！（＾＾）

幼馴染みの悪友の結婚式があるので上京いたします。

[1040 へのレス] Re: 大刀剣市にご参加の皆様、お疲れ様でした

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/11/06(Wed) 23:11<HOME>

えっ、勉強会ですか！　前向きに検討したいと思います。でも刀が・・・

[1049] 鍔の材質について

投稿者：薩州住士学　投稿日：2002/11/04(Mon) 21:28

いくつか鍔を所有しておりますが材質が分からないものが有ります。特に銅、真鍮、銀など磁石につかないものが分かりません。どなたか鍔を傷付けずに材質を調べる方法をご存知では有りませんか？

[1049 へのレス] Re: 鍔の材質について

投稿者：野崎　投稿日：2002/11/05(Tue) 06:18

X 線を当てて飛び出してくる電子を解析すれば一発で分かりますが、分析企業に依頼するので費用がかかりますし、分析担当者が鍔の事を知らず着色をはがしてしまったりしたら困ります。

プロはハバキに隠れる部分などを指先に煙草の灰をつけてそっと磨いて着色を落とし、地金の色で判別するそうですが、確実なものを沢山見ていないと分からないそうです。銅の合金だけでも烏銅、赤銅、紫銅など沢山ありますから。

簡単には重さを測定し比重を出すことです。同一体積なら金・銀→銅→鉄の順に軽くなります。硫黄を含む消しゴムの切断面を長時間押し付け、硫化銀ができて紫になったら銀とか、裏技はいろいろあるようです。

[1049 へのレス] Re: 鍔の材質について

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/06(Wed) 01:26

傷を付けてしまう可能性があるならば、刀剣店や刀剣を趣味とする方にご相談されることをお勧めしますよ(^_^)
何事も独学だと、後から思えばつまらないところで引っかかってしまうものですから・・・

[1057] 猛ダ～～～ッシュ！２

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/05(Tue) 22:47

と、御題を変えまして、大刀剣市ツアー２日目のレポートに参ります。(^_^;)。

浜松町のホテルからタクシーを飛ばしまして、銀座のビルへ一目散に駆け込みましたが、１０時にあと２分も残していたのでしばらく待機することになり、ちょうど、刀士郎さんと合流することによってめでたく長州屋さんの刀剣展示即売会へ入場することが出来ました。

まあ、階段を上がったところにあった『水牛の角』をつけた甲冑の見事なこと。
刀よりも安いです。広いところでも十二分に威圧感がありましたから、床の間だと大変なもの。
入り口にはいったところにあった『龍の紋』が胴に付いていた甲冑はさらに見事でした。

《長州屋にみる展示即売会のありかた》
長州屋さんは中央に商談コーナーのテーブルを置き、周囲を刀装具や菊一文字のような超名品の入ったガラスケースで囲み、壁際に刀剣をケースに入れずに展示、通路がぐるっと周回できるようにしてあり、非常に見やすく、展示物をすぐに商談コーナーのテーブルに持ち込めるので、機能的でもありました。
刀も同じように展示しても、ケースに入れずに展示することによって、店員さんの機動力も増し、客も刃紋地鉄がよく見ることができました。
大刀剣市のような各ブースに仕切るのもよろしいが、壁際にブースを設置し、真ん中にテーブルを置いて、商談することによって、広さも機動力も増し、圧迫感がなくなって良いと思いますので、来年の大刀剣市は従来のスタイルから、長州屋スタイルに変更してはいかがかと感じました。
人出も、大刀剣市に勝るとも劣らぬ賑わいでしたね！

さて、やはり目に付いたのは『信家のロザリオ鍔』これは鍔にあまり興味のない私も知っているもので、見るからに神秘的な香りを漂わせていました。
菊一文字や長義もよろしかったですが、身近に感じて印象がより深かったのがこの信家でした。
大刀剣市でも信家の鍔の出展が多かったのが印象的です。

高額なガラスケースの中の重要刀剣でも１０００万クラスのものが、以外と売れているのが私には驚きでした。
頑張ってますね！ニッポン。

長州屋さんを２時間ほどで引き揚げて向かった先は『刀剣博物館』の重要刀剣新指定展。
お目当ては『延文兼光』。重要刀剣指定品は数え切れぬほど多くあれど、展示されるものは極わずか。
しかも、別格扱いで中央に展示されておりましたので、その注目度は非常に高いものなのでしょう。
まして、知人のお名前を拝見したので、またまた驚きましたよ！！
是非、実物を御覧あれ！

また、ここでも信家の鍔が指定品で展示されていましたが、その中でも『野晒し図の信家鍔』に目を惹かれました。
個人的な趣味ではロザリオ鍔よりも良かったですね。

と、ここではたくさんの書籍を購入。
いつ開くのかわかりませんが、買うことで満足の私でした。(^^ゞ。

そのあと、葵美術さんにも寄り、お話や刀を拝見させていただきました。ありがとうございました。

そして、旅の最後を締めくくるのはいつも成蹊堂。お世話になります。
本歌武蔵鍔、なまこ透かし。こんなん見てえ～～の！？(@_@;)
私の一生の間に見ることがあるかないかです。私はそう感じました。
私の居合刀の鍔も同じ武蔵鍔ですので、思わず『交換してくれ～～！』と叫んでしまいました。ハハハ。(^0_0^)。

《成蹊堂にていつも思うこと》
やはり、刀は見て触れて語ることですね！

いつもここに来るとそれを感じます。

次から次へと出てくる名品珍品？に、一同は度肝を抜かれっぱなし。
高名な刀を求めることは一つの道ですが、刀の出来で勝負と思ったのは最近あまりなかったことですが、この刀は違いました。
私は初めて見ましたね。
これぞ、相州伝。ひょっとしたら、正宗や志津はこんなのかな～と楽しく想像しました。
久々に持ってみたい刀に出会いましたね。
いまだに悩んでおります。
が、刀士郎さんのところの第二婦人になるなら、行き先は確かなので安心です・・・。!(^^)!。

《ところで、猛ダ～～～ッシュとは？》
ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんに『時間がなくて東京バナナが買えなかったら、送りますよ。』と言われて送り出され、
『そんなバナナ』と思い羽田へ向かいました。
ところが、なんですと～～～！！時間がない～～～～～～～～！！！(@_@;)
駅について猛烈な勢いで受付カウンターに向かいます！
減量しておいて良かった～などと思いつつ、自動チェックイン機へ５分前に入れるぅ～～～。
当然の如く、拒否ですわな～。(>_<)。

すぐ傍にいた係員に１９時発を告げ、なんとか一席を確保。
そのまま係員さんと二人で猛ダ～～～ッシュ！
間に合いましたよ～。なんとか。
しかし、ダッシュのおかげで酸欠になり、飛行機内のトイレでゲーゲーもどすは咳き込むはで、もう到着まで大変でした。
水分もコップに５杯は飲み、喉がからからでイガイガになっていたので、飴玉も１０個は到着までに舐めたでしょうか。

いや～、数年前にも同じようになって、こちらは完全にお手上げで、翌日一番で帰りました。

今回は、もう二度目はない！最悪の場合、大阪か高松まで飛行機あるいは新幹線で行き、そこからは
刀を買ったと思って『ヘイ！タクシー』で出血大サービスを覚悟しておりました。
ので、徳島に着いた時は『こんなところに今いるのが信じられない！神様ありがとうございます。』
という心境でした。

最後までお付き合いいただき、ご心配をお掛けいたしました『花散里』さんに厚く御礼を申し上げます。
m(__)m。本当にご心配をお掛け致しました。

最後の最後まで大波乱の大刀剣市ツアーでしたが、ハプニングも過ぎてしまえば、また思い出です。
人に話す話題に事欠かなくて済みますから、良い経験をしました。
でも、二回も良い経験はしなくてもいいかも。(^_^;)。

ということで、楽しい日々を過ごせましたことをここに報告申し上げます。

最後まで読んでいただきまして、ありがとうございました。

皆様、くれぐれも『猛ダ～～～ッシュ！』をすることのないよう、時間にゆとりをもってお過ごし下さいませ。

ただし、名品珍品があれば別ですよ！

それは当然『猛ダ～～～ッシュ！』で決まりです！！

(@^^)/~~~。

[1057 へのレス] Re: 猛ダ～～～ッシュ！ 2

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/05(Tue) 23:21

いや～(^_^;)　本当に、あの時は焦りまくりでした(^^ゞ
私が付いていながら、最終便に乗り遅れたのでは半分の責任は私にありますからね～(~_~;)
駅に着いて真改さんを走らせた後、電車の乗り越し清算をしてから後を追って走りながら、最悪の場合は私の車で徳島まで行くしかないな～、と覚悟してました(^_^;)
受付カウンターに着いて辺りを捜しまくってから、真改さんの携帯に電話して、真改さんの激しい息切れの合間に「間に合った」と聞いた時は、思わず力が抜ける思いでした(^_^)
次回お出でいただいた時は、私も充分に時間に気をつけますので、これに懲りずぜひまたお越し下さい m(__)m

swordsmith さん、「東京バナナ」ですよ、「東京バナナ」＼(^o^)／

[1057 へのレス] Re: 猛ダ～～～ッシュ！ 2

投稿者：久　投稿日：2002/11/05(Tue) 23:49

お疲れ様でした。
あの日に私の新宿経由が無ければダ～～～～～～ッシュ！！はなかったでしょう。代表を８マンのごとく走らせた張本人は私です。
本当に御迷惑をお掛けしました。m(_)m

[1057 へのレス] Re: 猛ダ～～～ッシュ！ 2

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/11/06(Wed) 00:16

なんと！！
品川でお別れするときはこんなに時間が切羽詰っていたとは思わず、
かるく「だいじょうぶでしょう」なんて言っててすいませんでした。
それにしても間に合ってよかったです。
じつは、私も東京駅とびのりで、おみやげ買いそびれました。

[1057 へのレス] Re: 猛ダ～～～ッシュ！２

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/11/06(Wed) 01:21

ら、来年から僕もそうなるんだろうか…。
足腰鍛えねば…。本当にお疲れ様でした。

[1057 へのレス] Re: 猛ダ～～～ッシュ！２

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/06(Wed) 01:28

その光景が目に見えるようです(^_^)
まず間違いなく、こてつさんも真改さんと同じ道を歩むことでしょう＼(^o^)／
今からトレーニング、トレーニング(^^ゞ

[1057 へのレス] Re: 猛ダ～～～ッシュ！２

投稿者：菊久　投稿日：2002/11/07(Thu) 06:59

真改さん、
来週も東京行きじゃなかったっけ？
二日目は、またもや逸品・名品・珍品をご覧になるとか。
くれぐれもご注意を・・・^^;

[1068] 教えてください

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/06(Wed) 12:31

「一陽来復」の語源ですが、この四字熟語、どこかで見たような、刀に関係あるような・・・と悩ましく思っています。ご解説ください。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/11/06(Wed) 13:17<HOME>

一陽来復とは冬至のことですよね。語源となると定かではないですが、“周易／王弼注”に陽気始剥盡至来復時とあり、これが語源ではないかと思われます。なーんてすまして言ってはいますが、南京大学留学時の友人の受け売りです。“陽気始めて剥を盡し、来復の時至る”とでも訳すのでしょうか。意味はですね・・・　えぇと、たしか周易の解説本が押入れの中に・・・　でも原書なので・・・(^^;　ご隠居さん、この辺でご勘弁を。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/06(Wed) 14:27

ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさん、おおきに。やっぱり原典はあちらですか。
しかし、南京大学とは格好いいですね。われわれの頃にも東亜書院とかがあって、憧れをよんでいました。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/06(Wed) 14:43

辞書で引いてみると、
〔「周易本義」。陰が極まって陽が生ずること〕
（1）冬が去り春がくること。新年がくること。
（2）悪いことが長く続いたあとで、ようやくよい方へ向かうこと。
（3）〔一年を易の十二卦（け）に配当すると、陰暦一〇月に陰が極まり、一一月の冬至に一陽がかえることから〕陰暦一一月または冬至のこと。
とありました。

東京　早稲田の穴八幡では、冬至から節分までの間「一陽来復」のお守りを授けていて、冬至・大晦日・節分、この三日間のうち都合の良い日の夜中の十二時に巳午の方に向け、反対側の高い所に祭ると金融融通のご利益があるそうで、商売をしている方で賑わうとのことです。

穴八幡については、
寛永十三年（1636）に松平左衛門尉直次という武士が射術の練習をするため、ここに的山を築き弓矢の守護神である八幡神の小祠を営んだのにはじまる。祭神は、応神天皇、仲哀天皇、神功天皇である。のち、社僧良晶が草庵を建てようとして、ほら穴を発見したところ、そこに金銅の阿弥陀如来像がたっていた。当時阿弥陀如来は八幡神の本地仏とされて、人々の崇敬を集めたことから穴八幡と呼ばれるようになった。
とのことです。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/06(Wed) 15:04

花散里さん、庶民は「一陽来復」の意味をもっと分かりやすい言葉で感じていたんでしょうね。
私は「一度ふらっと来たら（癖がついて）入りびたりに来るようになる」という感覚で理解していました。聞くはいっときの恥、知らぬは・・・ですなー。おおきに。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/06(Wed) 15:42

＞ご隠居さん
確かにそうですね。言葉の意味を、そのままに解釈しても面白みはありませんね(^.^)
穴八幡のお守りも、一陽来復→冬至→柚子→融通のように、庶民が変化させていったようです。（最後は、洒落ですね）
他にも、一陽来「福」の言い方もあるようですし。

＞「一度ふらっと来たら（癖がついて）入りびたりに来るようになる」
ご隠居さんの、この解釈は良いですね(^.^)
私もこれから、この解釈を取らせていただきます。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/11/06(Wed) 17:28<HOME>

東亜同文書院大学ですか。上海にあったと話には聞いています。私の場合は東亜書院に行くようなエリートではなくて、中華料理を毎日食べられるとそそのかされて行っただけですので・・・
　“陽気始めて剥を盡し、来復の時至る”の補足ですが剥は陰気が勢力を拡大し君子(陽気）危うきの象です。その陰気（剥）が盡されて陽気が戻って来たという状況が復の卦になるらしいです。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/06(Wed) 19:24

swordsmith さん、懐かしいなー、そうです、東亜同文書院（旧制専門学校）ですよ。親がうるさく言うと、「東亜へ行って大陸浪人になる」というのがドラ息子の捨て台詞でした。しかしこれも戦況ひっ迫となると夢の夢となりました。
ご解説から意訳しますと、陰気積もりつもって陽に転ず、大凶転じて大吉となる、みたいなことですか。
しかし、これをＨＰの公開掲示板に使ったところなんぞは、奥が深いですねー。感心しました。

[1068 へのレス] Re: 教えてください

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/11/06(Wed) 23:25<HOME>

「東亜へ行って大陸浪人になる」ですか。（笑）素敵な響きですね。まさに私はいい歳して南大に行って大陸浪人でした。余談ですが東亜の元教員が集まって設立したのが現在の愛知大学と聞いています。そう言えば愛知大学から中国に留学する学生は他大学に比べて圧倒的に多かったような気がします。東亜があった頃の上海は今以上に魅力的だったでしょう。願わくば当時の魔都にて大陸浪人してみたい。

[1079] 追加の心

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/11/08(Fri) 06:38

大刀剣市ツアーであとから色々こんなものもあったという記憶を頼りに少し書いてみます。

チラッと横を過ぎただけなのですが、『本阿弥光遜』の日本刀の掟と特徴の原本と言われる直筆の巻物数巻が出ていました。
巻の厚さもかなりあり、非常に珍しく思いました。

刀剣では、長義の刀が多く出ていたこと。それに虎徹の特別重要刀剣指定の刀があったこと。特重の虎徹は３口程度しか存在しないと伺いましたが、すでに二口をこの目で見たことになります。もちろん、触れることは適いませんでした。
(T_T)。

また、刀剣商さんの個々の実力により、無冠の名品が少しずつではありますが、身近に出てくるようになっ

たことを感じました。このことは勉強不足の私が感じていることですので、もっともっとたくさんの刀達が出ているのかもしれません。

また、『鑑定書の付いている刀については免責です。』なんていう方針はお断りの私にとっては、こうした無冠の名品を世に送り出す実力と信用を勝ち取っている刀剣商さんとじっくりお付き合いしたいと感じました。

[1079 へのレス] Re: 追加の心

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/11/10(Sun) 22:13

無冠の名品と言えば、前に一度投稿したことがありますが、「日本刀柴田」の
「刀和」に２年ほど前に掲載された「来国光（短刀）：１８５万円」これは忘れられません。
今は、どこに嫁入りしたかは解りませんが「幸多かれ」と思う次第です。

私自身は、特別保存や保存刀剣の鑑定書の付いてる刀はあまり興味がありません。
まだ、素人の域を脱しませんが自分で選び抜いた無冠の刀たちを買い求めて
それを審査に出して出世さることを喜びとしております。
言うまでもなく、家族には多少の迷惑をかけていることもありますが、家内が
理解を示してくれるので大変助かります。
しかしながら、自分自身にも自制心というものが必要で、刀を購入にあたり、
パチンコ・競輪・競馬などは一切やめて、現在は刀剣書を繰り返し読むこと
を日課としております。
そして、暇を見つけては刀屋に遊びに行くことが最良の刀剣ライフではないでしょうか？

[1079 へのレス] Re: 追加の心

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/11(Mon) 23:13

あの来国光はよかったですよね～。
私も記憶に強烈に残っております。

無冠の刀は最近では非常に興味の沸くところです。
でも、在銘は勉強不足で私には無理ですけど・・・。(>_<)。

大擦り上げの刀の出来の良さで勝負できるような刀をいつか手に入れて、自分の力で『一度は重要刀剣にしてみたい！』ですね。
(^0_0^)。

[1085] あれ？

投稿者：野崎　投稿日：2002/11/11(Mon) 21:24

さっき『市神社務所』を見ましたらカウンターバックで 00008 に戻っていました。初心に帰っておやりなさいと言う事でしょうか。

英語の質問はオランダの方だそうで、国文学の質問です。母子草は春の七草のうちゴギョウの異名で、ド

イツ語は父子草ですから誤訳です。
　冠の巾子（こじ）とは長靴型の冠で後ろの高くなっているところのことです。「刀以外の質問はよそでやってください」とは言わなくていいですよね。

[1085 へのレス] Re: あれ？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/11(Mon) 23:05

はい。何でも私たちで判断できることなら、協力していただけますと幸いです。

刀剣以外でも、市神社務所の名前が広く知られている証拠ではないでしょうか。
素晴らしいことです。

野崎先生。これからもよろしくお願い致します。

[1085 へのレス] よろしくお願い致します。

投稿者：那太郎　投稿日：2002/11/12(Tue) 00:52

野崎先生、
お世話になります。
自分に答えられない質問が多いもので、、、
彼は５０代後半で 30 年くらい勉強されているようです。
フランス人でドイツ刀剣会のメンバーです。
先日はハンガリーからお客さんが訪れました。ロシアでも日本刀の本が出版されているようです。
ベルリンにも日本刀を扱う骨董品店があり、砥ぎ師も居るそうです。
世界中で日本の文化は高い評価を受け、熱心に研究されている事は、誇らしく、又、不思議にも感じます。
欧州に暮らして一番の勉強になっていることは、自分が国際人として暮らす為には、まず日本人としての自覚と認識が何よりも大切であると言うことです。
自分自身、日本の良さ、素晴らしさを正確に伝える為にはまだまだ勉強不足でありますので、野崎先生をはじめ皆様方、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

[1085 へのレス] Re: 伯林の日本刀

投稿者：野崎　投稿日：2002/11/12(Tue) 06:26

　日本の近代陸軍はプロシャに学んでおりますのでお雇い軍人や相互交流に日本刀が相当贈られているはずです。
　思いがけない優品が現地にあると思います。
　最近は日本刀ブームに乗って外国製の模造品まで出ているという事ですから、「オリジナルは大陸だが秋水一閃は日本の伝統工芸だから・・・」等と言ってのんびりしてはいられないようです。

[1086] あ～～～！！

投稿者：野崎　投稿日：2002/11/11(Mon) 21:29

三つとも入っている！1083,1084 は書き間違えて削除した記事なのに。
　管理人さんすみません、うっかり手を付けたらまた何が起こるかわかりませんのでそちらで削除してください。お願いします。

[1086 へのレス] Re: あ～～～！！

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/11(Mon) 21:39

1083 および 1084 は、お申し出のとおり削除させていただきました。
以前のサーバーだと時々カウンタのクリアが発生していましたが、今のサーバに変えてからは安定していたんですが・・・(ーー;)
職場からですとファイヤーウォールの関係でサーバにアクセスできませんので、帰宅してからの調査になりますが、おそらく野崎先生にご記憶のカウンタ数を教えていただいて、そこから再スタートになるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

[1086 へのレス] Re: あ～～～！！

投稿者：野崎　投稿日：2002/11/11(Mon) 22:23

ありがとうございました。
　確か「もうじき 10500 になるな」と思っていましたから 10400 位かと・・・。

[1086 へのレス] Re: あ～～～！！

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/12(Tue) 00:06

帰宅後にサーバーに接続して調査しましたが、確かにカウンタファイルが何時の時点かでクリアされておりました。
ご覧のように、他の掲示板のカウンタに不審な点はありませんので、偶発的な理由によるものと思われます。
１０４００に、その後のアクセス数を加えた数からの再スタートで、ご勘弁ください。

[1081] 裁断銘への疑問

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/11(Mon) 12:41

以前から、疑問に思っていることがあります。それは裁断銘についてなのですが・・・
裁断銘のある刀は、愛好家であれば等しく欲しがるものだと思うのですが、裁断銘の真偽はどのように判定するのでしょうか？
刀匠銘については古くから銘鑑がありますが、裁断銘の銘鑑もあるのでしょうか？
裁断銘は、実際に試し斬りを行った斬り手が鑿で切りつけるのだと思うのですが、やはり偽銘などもあるのではないかと思います。
私は勉強不足で裁断銘の銘鑑の存在を知りませんが、どなたかご教授くださいませんか？

また、刀匠銘が偽名の場合は日刀保の審査に通りませんが、刀匠銘は良くても裁断銘が偽名の場合はどうなるのでしょうか？

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/11(Mon) 20:59

自己レスで恐縮ですが、裁断銘の銘鑑があったにしろ真偽の判定は難しいものがあるでしょうね。
刀匠銘の場合は、銘の良し悪しに加えて刀の特徴や出来なども真偽の判断材料にできますが、裁断銘の場合は銘そのものしか判断材料がありません。
新々刀の左行秀などは、刀の出来も銘も専門家が見ても真偽の判定に悩むほどのものもあると聞きますし、銘だけ見たら正真などという刀も多くあると思います。
斬れ味が刀の価値の多くを占めた時代は、裁断銘のある刀は現代よりもいっそう需要があったはずですし、古今東西を問わず需要のあるところに偽物の種は尽きまじ・・・

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/11(Mon) 23:10

截断銘の真偽についてはあまり考えたこともなかったですね。

しかし、どうでしょうか。
帋徹などの刀にある截断銘名では、ある程度の研究がなされていてもおかしくないような気がします。
きっと、その道の研究家もいらっしゃるのではないでしょうか？
いそうですよね～。

刀工自身が茎に銘を切った截断銘もあるでしょうから、作刀銘以外の切りつけ銘や截断象嵌銘に関しては、あまり真偽の判定はないかもしれませんね。

今度の特別鑑賞会で、日刀保の先生に伺ってみます。
いや～、いいネタが出来ました。
!(^^)!。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/12(Tue) 11:23

花散里さん、たしかに裁断銘についてまとめた名鑑は、私は知りません。裁断銘について斬り手の系統氏名を調べたものを刀剣雑誌の中で見た程度です。
私が３０年ほど前に離した「出雲大掾吉武」の脇差に、通常目にしない斬り手の裁断銘がありましたが、その氏名がどうしても思い出せず、一日考えて頭が痛くなりました。ナント情けない！！
名前は思い出せませんが、銘ぶりは出雲大掾の特色ある大ぶりで闊達な書体で、これなどは鍛冶が代筆（代彫り）したもののようです。
著名な斬り手で試刀の家元一つである山野加右衛門の銘は、ご存じのように整った楷書で金象嵌が

多く、これは多分きまった職方を抱えていたと思われます。
次に、こういう裁断銘の真贋ですが、今日まで問題になっていないところから考えると、偽物がたいへん作り難いことにあります。というのも、茎の表には鍛冶の銘があるので（無銘物への裁断銘は少ない）裏に新しく銘を切っても錆び色（銘の内部・底）が異なり、落ち着きません。銘字自体に偽物臭が伴うのはもちろん避けられず、とうてい業界に通用するものにならないでしょう。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/12(Tue) 15:34

そうですか、やはり裁断（截断？）銘の銘鑑は存在しないのですか。
私の知るところでは（間違いであれば、ご指摘お願いします）、裁断銘は江戸時代初期の寛文頃に流行したと聞いています。
もちろん、古刀の業物にも裁断銘はありますが、寛文新刀に当時の年紀の裁断銘が多いことから、それならば当時の現代刀に対して裁断銘を入れるので茎にさほど（錆などの）神経を使わなくとも済むのではないかと思ったわけです。
そのように比較的容易に裁断銘を入れられるなら、裁断銘の偽銘もあるだろうと考えていましたが、刀匠銘については古来から徹底的な研究が行われるのに対して、裁断銘の真贋については多くを語られないのが不思議でした。

高名な試刀家は数多くの刀を試したでしょうから、本人が鏨で銘を入れるのかと思っていましたが、鍛冶や職方が銘を入れるのであれば、ますます判定は難しいですね。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/11/12(Tue) 17:46

池田末松著、「鍛冶平押形」によれば、鍛冶平こと「細田直光」は、偽銘切りのほかに截断銘や所持銘を入れるのも手癖とありました。
所持銘で笑ってしまったのが忠臣蔵で有名は「片岡源五右門」の所持銘、珍しい物好きは古今を問わずいるもんですね。　(^O^)
そのほかに、本阿弥家が極めた金象嵌銘の偽銘まで作っているから驚きです。

明治の大鑑識家の故今村長賀翁もこの鍛冶平の偽物にまんまと騙されたそうな。
その一説に「長曽祢虎徹入道興里銘の刀に（寛文九年四月十一日二つ胴切落人見伝兵衛重次花押）」とあるのを今村翁が一見されて「この試銘金象嵌は確かだが
表の虎徹銘はいかがわしいように見える。」ところが鍛冶平の「虎徹銘集」明治
二十三年十月からの部二十四振目に出ていて、裏銘も表銘もすべて鍛冶平の仕業
であったことが判明した。
この事実を知った故杉原祥造氏の遺文に「古今の達人たる今村翁をかくいわしめた鍛冶平の腕前もまた偉いではありませんか。」と変な誉め方をしています。

　この他に、鍛冶平ではありませんが裏銘に「山野加右衛門永久花押（正真の金象嵌銘）」に表銘の「大和守安定銘」を潰し「長曽祢興久銘」に作り直したもの

もあります。
　また、鍛冶平より上手に偽作を作る名人が昭和十年頃から存在したこともこの本で明らかにされています。
昭和時代の偽作といえども時代が経つにつれ、サビ色が落ち着いてくれば、私たち素人はもちろん、先生と呼ばれる方々までも本物と偽物の区別がつかなくなってしまうのではないでしょうか？
鍛冶平はもちろんのこと、この昭和の名人も古刀から新刀・新々刀まで、加えて所持銘や截断銘入りなど、また銘鑑洩れの珍しい銘などゴロゴロ作っています。
これでは「偽物の総合商社」状態です。まったく怖い話しではありますが・・・

　偽銘を大別すると、似せた偽銘と似ていない偽銘とがあり、似ていない偽銘には、数打物・仕入物・奈良打・柳原物等といい。似ている偽銘には、時代偽・桑名打・鍛冶平偽・近代（現代）偽銘等があることをご承知ください。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：守重　投稿日：2002/11/12(Tue) 21:18

私も以前から裁断銘について如何なものか？　と考えていました。チャンとした名鑑や押形特集みたいな本がないかぎり、実際に斬り手が銘を切ったのか、誰かに頼んだ（代彫り）かとか、分からないし、以前から知りたかったこと多しです。偽名には面白いほど種類がありますけれど、下記のような鑑定書は困ります。私は「---とある」と言う表現は「駄目ですよ」と判断してしまっていますが、皆さんは如何ですか？

「鑑定書」

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/12(Tue) 23:13

＞守重さん
なるほどね～(^_^)
「二ツ胴落之山野勘十郎（と切付銘がある）」で、保存刀剣ですか。
在銘の場合、刀匠銘が正真なことは保存審査合格の条件ですが、裁断銘が「とある」でも影響はない、と言うことですね。
しかし裁断銘も良し悪しを判定できる、とも言えますね。

守重さんの投稿のうち、ＵＲＬ部分を修正させていただきました m(__)m

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：鈴ちゃん　投稿日：2002/11/13(Wed) 01:09

こんばんは。
話が本筋と離れてしまいますが、気になるので・・・。
「截断（せつだん）」と「裁断（さいだん）」同じように使われていますが、
どちらが正しいのでしょう？私は人を切るのだから「截断」だと思っていたのですが、刀屋さんや

諸先輩がたの多くは「裁断銘（さいだんめい）」と使っておられます。　「裁断」を辞書でひくと「布を切る事」となっています。どちらが正しいのでしょう？

[1081 へのレス]　「截断（せつだん）」と「裁断（さいだん）」

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/13(Wed) 06:26

「截断（せつだん）」と「裁断（さいだん）」か。
という問題は、私も鈴ちゃん と同じように思っておりました。

私の知るところの『刀屋さんや諸先輩がたの多くは』では、逆に『截断』をしようしていると感じています。

やはり、裁断は『布を切ること』を指すのであり、截断とは異なるものではないかと思いますが、いかがでしょうか。

また、截断名と同じ用語で『試し銘』という用語も同じ意味に用いられるようです。

[1081 へのレス]　「截断（せつだん）」と「裁断（さいだん）」

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/13(Wed) 06:27

刀剣鑑定読本や日本刀鑑定必携を見ても、やはり、『截断』と記載しているようです。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/13(Wed) 19:32

試刀家について書いている書本の一つに「首切り浅右衛門刀剣押形　福永酔剣著　雄山閣」があります。これによりますと、やはり「截断銘の偽銘」も結構あるようですね。しかしこれらの偽物は表銘自体がおかしいものが多く、大半は偽物臭をつよく感じるものが多いです。(もちろん巧妙なものもあります。)
金象嵌銘は、試刀家が朱書したものを銘切師が切り、それに象嵌の職方がたがね枕を鑢で平たく削って金や真鍮を叩き込んだようで、これも専門職でないとむつかしいとのことです。そしてこの金象嵌は明治以後のものでは色が違いますから、偽物つくりも相当レベルが高くないとすぐさま馬脚をあらわすことになります。
尚、試刀家の元祖谷出羽守衛友は丹波国何鹿郡山家を領する大名で、この弟子が中川左平太重良、その弟子が山野加右衛門永久（通称勘十郎）です。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/13(Wed) 19:53

余談ですが、この丹波山家藩谷氏一万六千石の大庄屋遠藤三郎兵衛が明治になって郡是製糸（グンゼ）をつくり、初代社長になりました。
「遠藤様には及びもないが　せめてなりたや大名に」と歌われた大名がこの試刀の家元谷家であることを再認識し、刀剣の裾野の広さに、なるほど成るほどと一人相槌を打っております。長生きは

するもんです。

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/13(Wed) 23:51

皆さん、いろいろとご教授ありがとうございました。
素人の疑問が発端で、歴史や用語にまで話が広がり勉強になりました。
お礼申し上げます m(__)m

[1081 へのレス] Re: 裁断銘への疑問

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/14(Thu) 01:10

こんにちは。

裁断ではだめで、、、、ううん、もう一つの方が入力できない！
そっちの方が正しいそうです。
理由は、鈴さんが書いた通りのようです。
私のは、戦前のものだったか、本間博士の岩波新書で得た知識ですが。

不二　龍

[1105] 真のダマスカス鋼とは

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/13(Wed) 23:01

１２月号のナイフマガジンに『真のダマスカス鋼とは』と題して、加藤俊男さんが、刃物随想という形で掲載されています。

スイスのベルン歴史博物館には、二千丁ものウーツ・ダマスカス鋼製の刀剣や中近東の美術品を集めた『イスラミック・ヘンリー・モーゼル・コレクション』というのがあるそうです。

回を追って『ウーツ鋼製ダマスカス刀剣の写真』も掲載されるようです。

[1105 へのレス] Re: 真のダマスカス鋼とは

投稿者：鎬　投稿日：2002/11/14(Thu) 13:17

最近読んでないんですよ。ナイフマガジン。
ダマスカス刀剣？？どんなのでしょう？？
スイスはちょっと遠いな～
今日の日経新聞の文化面に「たたら製鉄西欧を打つ」と文化記事が
載ってましたね。新刀期初期の情勢が良くわかりますね。

[1108] 大連の刀

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/14(Thu) 01:18

先日、さるところで、
日本刀を見ました。
なかごが長く、かつ、区の切り込みが大きくて、ちょっと違和感がありました。
銘もあったので見てみますと、
中国大連とあり、続けて作者の銘が三文字入り、
さらに制作の年が干支で書かれていました。
これぞ、日本刀ならぬ、中国刀の初見でございました。
鍛え肌はうっすらと見えるような感じでしたが、無地風でした。
刃は互の目だったと思います。
研ぎには、今や日本の研ぎ師さんのかなりの人も使っていると聞いて
驚いたのですが（本当ですか？）、
酸を使う研ぎだということで、刃縁の辺りが、下の鍛え肌と絡んで見えます。
忍者が持っていますよ！という雰囲気の、何だかきらきらとした、おみやげ風の
拵えに入っていました。これも、、、中国製でしょうね。

今や、中国は日本刀輸出国になっていたとは知りませんでした。

不二　龍

[1108 へのレス] Re: 大連の刀

投稿者：kumazaki　投稿日：2002/11/14(Thu) 16:01

はじめまして

出来ましたら、写真で見てみたいです。
画像のアップしていただけませんか？。

[1108 へのレス] Re: 大連の刀

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/18(Mon) 01:01

すみません。画像もなにも、カメラもデジカメも持っていかなかったんです！
あんな珍品に会えるとは、全然思っていませんでしたから。

でも、刀剣の登録制度のない国でのことですので、日本刀としての出自云々は
問われないのだと思いました。
日本には、、、ないのかもしれません。
だって、輸入しても、登録審査で審査員が見て、、、
「これは日本の刀ではないです」
というのでしょうし。

しかし、たしか、一部の刀工さんが、最近もアメリカで打ったと聞きましたが、、、
あれは、輸入できるのでしょうか。
分からなくなってきました。
外国で、外国人が鍛錬しても、やはり日本刀として登録できる、、、
のだろうか？

[1108 へのレス] Re: 大連の刀

投稿者：野崎　投稿日：2002/11/22(Fri) 21:28

　中国東北地方、大連や瀋陽（昔の奉天）では日本軍占領時代に軍刀が作られていたとフラー『日本の軍刀』にありましたから、その時代の機械製日本刀の技術でも残っているのでしょうか？
　そのうち技術が向上して、「美術品を武器輸入禁止法や凶器所持で取り締まるのは重大なる貿易障壁である」などと言って日本に入ってくるかも。

[1108 へのレス] Re: 大連の刀

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/23(Sat) 02:02

野崎様

お久しぶりです。
いやあ、伝統技法なんてことより、売れる物は何でも造る、ということかも
しれません。おそらく、日本で造るより安いでしょうし、輸出に伴う手続きは
おろか、まず、作刀の許可制度とか、造った刀の登録なんてないでしょうしね。

でも、それで美しく、かつ強靭な刀剣ができちゃうと、、、
日本でなくても、日本人でなくても、許可なんかなくても、、、となる
かもしれませんね。

[1118] カウンター

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/18(Mon) 01:05

あの、私が丁度、
８８８８８８
だったのでしょうか。。。
違うかも。

[1111] ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/15(Fri) 18:31

◆たそがれ清兵衛◆を見ましたか。

先週たまたま時間があって一人孤独に見て参りました。
一人でよかった。

ちょうど同じくらいの子供がいるので、感情移入してしまいました。
これは子連れ狼もおなじことなのですけどね。

闘いの場面もリアル感に満ちておりました。
刀ならではの非常に近い間合いが、見ていてドキドキします。
あんな近くでないと斬れない間合いの刀を用いての闘いは、精神的にどんな状況に追い込まれるのでしょうか。

子供を残して闘いにおもむく様は、なんとも言い難いシーンです。
同じ子供を持つ身なればこそ分かるような気がしました。

私にとっては良い映画でした。

子連れ狼も、原作をアレンジしているとはいえ、大吾郎の演技に毎回泣かされております。
平成子連れ狼も好きになりました。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆
投稿者：こてつ。　投稿日：2002/11/15(Fri) 21:27

「たそがれ清兵衛」評判良いようですね。
引越しの仕度でバタバタです…。見に行けませ～ん！

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆
投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/16(Sat) 06:50

お引越し、お疲れ様です。m(__)m。

私も、１０回以上の引越しを経験しましたが、その作業は大変ですよね～。
期限を切られると余計です。

こてつさんの忙しい時期に、私は明日にも上京し、またまた刀剣を少し拝見すべく巡回してまいります。
ごめんなさい。(^^ゞ。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆
投稿者：こてつ。　投稿日：2002/11/17(Sun) 01:53

今日、ｓｗｏｒｄｓｍｉｔｈさんに刀の梱包の仕方を教わってきました。
感謝感謝。次回からは僕も新幹線で勉強会に参加することになります。

僕の引越しは…これで７回位でしょうか？
そんなわけで１９日に故郷に帰ります。ＰＣも今日（日曜）には梱包してしまう予定です。
しばらく皆さんの前から姿を消しますが…。是非また現れたいと思います。こちらのサイトを知ってから刀の趣味にも色々と幅があるということ、楽しみ方を教わったような気がします。

今後もよろしくお願いします。
また遊んでやってください。一旦ここで失礼します。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：神無月　投稿日：2002/11/17(Sun) 20:33

「たそがれ清兵衛」は観たいとは思っていますがまだ観ていません。
でも今週か来週には観に行きたいと思っています。

子連れ狼はなかなか好調なようですね。
毎回の平均視聴率が１０%を超えているそうです。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/18(Mon) 12:34

たそがれ清兵衛、まだ見ていません。
家内と見に行く予定にしていましたが、私の腰痛が悪化してしまって(^^ゞ

主演の真田広之の殺陣は、「EAST MEETS WEST」という映画から好きになりました。（ストーリーはコメディでしたが）
古くからの殺陣と比べてどうかは知りませんが、スピード感のある彼の殺陣には魅力を感じます。
早く腰痛を治さなければ(^^ゞ

来年１月からは、藤田まこと主演の「剣客商売パート４」も始まります。
藤田まことは、来年の大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」でも柳生石舟斎を演じますね(^_^)
当分の間、テレビでも時代劇を楽しめそうですね＼(^o^)／

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：守重　投稿日：2002/11/19(Tue) 09:46

私もたそがれ清兵衛はまだみていませんが、先日妻が、これ見たいんじゃないの？見に行く？とか言っていました。まったくその通りです。
昨日の子連れ狼、ちょっとがっかり。私は大五郎が同田貫か手鞠のどちらかを選択するか、は子連れ狼の見せ場の１つと考えていますが、この場面が全くありませんでした。これを省かれたのは残念でした。
こてつさん、今日引っ越し完了ですか？　ご苦労様です。さすが信州は寒いですよね。私も引っ越しは職業柄７回位しています。今までは１人で出来ましたが、近頃は腰を痛めてしまって駄目ですね。また一度クロネコの「らくらくぱっく」を利用してしまうと、自力で引っ越しする気が無くなります。お疲れさまでした。

[1111 へのレス] Re:公儀介錯人のモデル谷氏のこと

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/20(Wed) 10:12

先日の子連れ狼では、拝一刀が柳生によって「公儀介錯人」の家禄を奪われる筋書きでしたが、この公儀介錯人のモデルを試刀家の元祖谷家とすると石高１万６千石で柳生の１万より格上になり、柳生がねらうのも当然と思えます。しかしこの公儀介錯人のモデルと思われる谷出羽守には柳生のような裏面史があまり語られてなく、幕府の大名廃絶工作にも耐えて明治までよく家禄を保っています。
たしか幕府の役職にも名がなかったようですし、この谷氏にまつわる何かの話が残っていませんかね。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/20(Wed) 12:42

＞ご隠居さん
今は職場からですので、「廃絶大名総覧の谷家のページ」くらいしか分かりませんでした。
と言っても、谷家が廃絶されたわけではなく、「廃絶大名総覧」というホームページの中の「史跡資料館」の中に、「丹波山家藩陣屋跡」として紹介されています。

帰宅してから、もう少し調べてみます。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/20(Wed) 22:04

帰宅してから調べてみましたが、それほど調べられませんでした。
「江戸三百藩ＨＴＭＬ便覧」というホームページに、「山家藩谷家」の歴代藩主のデータや陣屋跡（谷霊神社）の写真が掲載されています。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：隠居　投稿日：2002/11/23(Sat) 07:27

花散里さん、おおきに。
ですがこの子連れ狼の原作、モデルといい同田貫や菊池槍を主人公に持たせたことといい、中々のもんですね。残りを楽しみます。
”たそがれ清兵衛”も見たいんですが、外出がままならぬ身、ＴＶに出るまで待ちます。
ＮＨＫの”はんなり菊太郎”もいい時代劇ですし、このところ楽しみが増えました。

[1111 へのレス] Re: ◆たそがれ清兵衛◆と☆子連れ狼☆

投稿者：守重　投稿日：2002/11/24(Sun) 16:53

と言うわけで、私も昨日たそがれ清兵衛を妻と見てきました。妻は別に時代劇が好きだというわけではなく、宮沢りえと真田広之が出ているので、と言う事でした。映画館にいつてビックリ!!　凄い数の人がいる、と思ったら皆ハリポタを見に来た人ばかりでした。たそがれ清兵衛は空いていて、

年齢層もおじさんおばさんばかり、平均年齢は 50 歳くらいでしたでしょうか。
内容はなかなか良い!!　幕末とは言え、下級武士の貧乏生活がじっくりと描かれていました。華やかな生活を描きやすい日本の時代劇ですが、殆ど百姓と同様の生活ぶりでした。殺人も動きが速くまた、大刀対小太刀という変わった太刀回りが凄かったです。血だらけになって戦う、、、、、想像を超える内容でした。

[1137] 現代刀の旗手たち

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/24(Sun) 23:09

１１月２４日付けの、産経新聞の記事をご紹介します。

－　日本刀の昭和史　異色の英語出版　刀匠や米の学者ら執筆　－
【日本刀の昭和史や現在活躍中の刀鍛治の紹介に重点を置いた本が二十三日までに、講談社インターナショナルから出版された。「現代刀の旗手たち」と題され、全文英語で書かれた国際版。戦中戦後の秘話も発掘されている。日本刀への理解と評価は国内より欧米の方が高いため、異色の出版物となった。
著者は刀匠の吉原義人さんと米カリフォルニア在住の分子生物学者、レオン・カップさんと妻の啓子さんら。
日本刀は明治九年の廃刀令や、終戦直後に連合軍総司令部（ＧＨＱ）によって行われた接収など、近代以降は苦難の道を歩んできた。同書は、二十世紀を二分して、日本刀にまつわる歴史を詳述している。
例えば、第二次世界大戦中軍刀の需要が急増したため、岐阜県の関を中心に、「昭和刀」と呼ばれる擬似日本刀が量産された。明治初期にヨーロッパから輸入された鉄道レールが原料。古い製鉄技術で作られた錬鉄だったため、本物の日本刀に似た地肌模様が現れた。
後半は現代刀匠の紹介にあてられ、代表的な刀匠二十二人が作品の写真とともに登場。この部分は写真家のトム岸田さんが担当した。
英文のタイトルは MODERN JAPANESE SWORDS AND SWORDSMITH。四千八百円。
講談社インターナショナルでは、「海外の文化人の間では日本刀の評価は非常に高い」と話している。】

う～ん(-_-;)
日本刀の書籍が発売されるのは（英語と言えど）嬉しいのですが、赤字の部分が情けない・・・(^_^;)

[1137 へのレス] Re: 現代刀の旗手たち

投稿者：ikkak　投稿日：2002/11/25(Mon) 05:59

確かに日本刀に関する偏見や誤解はトホホなものがあります。
無知は罪だと思わされることもしばしばです。
刀剣商の方にも「現代刀はなー」などと
一段見下げてみる方もいらっっしゃいます。
今回の出版も現代刀作家のかたが生き残るために販路を開拓しようと
しているのかなあと感じました。

[1117] 東京新聞の記事

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/18(Mon) 01:04

みなさま

日刀保に関する記事が、先日、東京新聞に載ったのですが、
なんだか、ここでは話題になっていません。
日本レジンの会長の談話も載っていましたが。

それとも、ここではなく、別の場所で話す話題でしたでしょうか。
だとすれば、そっちを覗きますので教えて下さい。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：右行劣　投稿日：2002/11/22(Fri) 08:32

私も昨日読みました。地方なので東京新聞が配達されてませんので取り寄せて、読みました。いろいろと考えさせられる記事でした。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/23(Sat) 02:04

右様

そうでしょう？
考えさせられる記事でした。
しかも、日本レジンの会長よりもまず、最初に出ていたのが
河内刀匠のコメントでしたから。
ここに登場される刀剣が大好きなみなさんのご意見も伺いたいとは
思いますが。

[1117 へのレス] 他の人の意見の前に自分の意見

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/11/23(Sat) 06:21

いずれ、管理人合議体の『黒鞘組』からの投稿がありますので、多くは言いませんが。
『不二　龍』さん。
まず他の人の意見を伺う前にご自分の考えを述べるのが筋でしょう。

まったく、あなたの投稿を見ていると、ご自分の土俵がちゃんとあるのに他人の土俵で自分が相撲をとらずに他人にばかり相撲をとらせようとしているようにしか見受けられません。

また、私はある業者とある団体の争い問題に、日本刀電脳倶楽部が関与させられるようなことは、断固として拒否致します。
ご自分のホームページで堂々とご自分の意見を述べられるがよろしいでしょう。

まずは、筋を通されて、自己のホームページにてご自分の意見を述べることから始めて下さい。
自分は蚊帳の外で安全地帯にあって、他人の褌で相撲をとるような投稿は御免こうむります。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：越中国住人　投稿日：2002/11/23(Sat) 09:52

真改 2001 様の考えに賛同します。
この件に関しては、私も調査し、ある程度の証拠と、だれのどの行動に問題があるのかは分かりました。刀剣の良さや真贋を見極めることと同じで情報を集め、それを整理し見極めることはできると思います。真面目に日本刀とお付き合いしている人には、分かると思いますので結果は言いません。愛刀家どうしが楽しく語らう場に業者の金儲けのための宣伝に関する不毛な議論はふさわしくないと思います。
不二　龍様の行為は、面白半分のような感じがして刀剣界を盛上げ、後世の人たちに日本刀の素晴らしさを伝えていくと言う愛刀家の役割を逸脱しているように感じます。
刀剣に興味を持つ初心の方に、不信感を持たせるようなことをしてはいけないと思います。

[1117 へのレス] 不二　様

投稿者：黒鞘組　投稿日：2002/11/23(Sat) 10:05

「ある新聞記事の内容」そんなことをここで話題にする必要性がありますか？

まして、あなたは刀剣商なのでしょう？でしたら、日刀保や日本レジンへ直接お尋ねになり、その結果をご自分のホームページの掲示板やその他に
表示すればよろしいのではないですか？
なぜそうしないで、真改 2001 氏が言われるように、ここを利用しようとするのでしょうか？
ここを、混ぜ返されるのは御免被ります。

過去、何度か同じような無責任な投稿でトラブルがあり、その都度、無責任な投稿はご遠慮頂く様に広く問いかけてきたつもりです。
あなたが責任をもって対処するなら、あなたの氏名や住所連絡先などをいざというときの為に管理人までご連絡下さい。

また、このサイトで龍造寺とか刀剣好きとか不二　龍とか FUJI 刀剣とか様々お使いのようですが・・・。何か意味がおありなのでしょうか？
また、やたらと特定の貴兄と関係のある刀剣商の宣伝と思われることをお書きのようですが、それもお止めください。
これも、ご自分のホームページでされるとよろしいでしょう。

あなたの投稿に対し、かなり緩やかな対応を取ってきたつもりですが、あまりお考えでないようですのでストレートにものを言わせていただきます。

いかがでしょうか？
どうお考えでしょうか？

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/23(Sat) 22:20

まぁ、正直に申し上げて、この手の投稿は迷惑だと思います(^_^;)
少し前に、討論掲示板でも同じような投稿がありましたね。

今回の場合、日本レジンさんと日刀保のトラブル（と言っても良いでしょうね）が発端で、日本レジンさんは会報やホームページで日刀保への公開質問や意見募集をしています。
どちらに付くかは人によってさまざまだと思いますが、ここのように第三者のホームページを巻き込むのはフェアではないと思います。
意見があれば日本レジンさんや日刀保へ、メール・電話・手紙・掲示板への投稿など「当事者の土俵で」やるべきですね。
ましてや、ご自分のホームページを持っている不二龍さんが、ご自分のホームページではこの件について何も触れていませんので・・・(^^ゞ

電脳倶楽部を利用して煽らなくても、刀関係のホームページはそんなに数がありませんから、皆さん事情はある程度ご存知だと思いますよ(^_^)
刀に対する気持ちは同じだとしても、行動を共にするかどうかは別問題ですね。
第一、日本レジンさんと日刀保と電脳倶楽部が三者三つ巴になってしまったら、収集が付かなくなるでしょう？(^_^)

[1117 へのレス] お詫びを申し上げます。

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/24(Sun) 03:28

皆様

これはこれは、申し訳ございませんでした。
私は、以前、この倶楽部で、この問題が何度も取り上げられ、
いろいろと話されていたと記憶しておりました。
その流れで、ついに、新聞にも同じ話題が取り上げられたことを
お話しようと思ったまでです。掲載されたのが、あまり発行部数の
多くない東京新聞という媒体でしたから、
「皆様、ご覧になりましたか？
どんな感想をお持ちになりましたか？」
という意味で書き込みましたまでです。
どなたからも全くと言っていいほど感想もなく、
おや、これはもう、この話題は話さないことになったのかしらとも思い、
別の場に移動したのであれば、そこをお教え下さい、そちらで
可能であれば意見の交換をしたいと思い、お願いをしたものです。

ここしばらく、倶楽部を覗くこともなく来てしまいましたので、
そういった話題が、この場にそぐわなくなっていたとは

全く存じ上げませんでした。つまりは、この話は
もう、皆様の間では終わっていたということでしょうか。
私としては、何も、煽り立てるといった意図ではございませんでしたが、
前後の事情を知らないまま、各位に誤解を与えましたようです。
心から、お詫びを申し上げます。申し訳ございませんでした。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：不二　龍　投稿日：2002/11/24(Sun) 03:31

追伸いたします。

そのようなわけですので、
管理者の方々におかれましては、
この一連の発言の削除など、適切な処置を取られますよう、
最初の発言を致しました者として
お願いをいたします。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/24(Sun) 11:21

不二　龍さん。

貴兄のホームページにてのあなたのご意見を期待している方も多いはずです。

その展開を拝見してから、『この一連の発言の削除など、適切な処置』という貴兄のご意見を管理人合議体にて話し合いたいと存じます。

まずは、ご自分の土俵にて展開なされませ！

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：さー抜いてくれ！　投稿日：2002/11/25(Mon) 23:30

騒動、とか…何より、ここは IP 抜いて、発表までするんですね…
不二　龍さんも議題を出しただけと見受けましたが、IP 抜かれて叩かれるんですか。

日刀保の問題に関わりたくないんですね？素直に云ったら？
刀に関わる上で、日刀保を無視ってのも変ですね。

どこぞの団体みたいに訴えるの、捜すのはどうぞ御勝手に、がっかりしました。
健全でない刀剣界を、どうぞ暗躍させて下さい。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/26(Tue) 06:35

IP を抜く？

投稿者ネームが違うのに、メールアドレスが同じだから、同じ人だと判断したまでですけどね～。
また、その問いかけに反論しませんので、間違いないとおもいますけど。

日刀保問題ですか。
ホームページ製作も最近は比較的容易になったと伺っておりますので、どうぞ、ご自分のホームページをお持ちになって、展開なさって下さいませ。
または、不二　龍さんの掲示板にて、お話を展開されて下さい。
わざわざ、ここを混ぜ返すのは再三申し上げておりますが、迷惑以外なにものでもありません。

私が迷惑な投稿と思うものや私が不毛な議論と思うものは、管理人として処理させていただきます。

さー抜いてくれ！ さん。
よろしいでしょうか。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/26(Tue) 06:40

これ以上の、不毛・迷惑な投稿は無意味です。

さー抜いてくれ！さんのような記事は今後は削除致します。

今までの、投稿経緯を御覧になり、まだ情報やその他が不足と思われる方は、日刀保を始めとする関係諸機関に、堂々と実名を名乗った上で、お話されることをお勧めいたします。

以上、よろしくお願い致します。m(__)m。

[1117 へのレス] Re: 東京新聞の記事

投稿者：花散里　投稿日：2002/11/26(Tue) 08:41

＞さー抜いてくれ　さん
なんか、いちいち反論するまでも無いことですが、念のため(^^ゞ

＞日刀保の問題に関わりたくないんですね？素直に云ったら？
＞刀に関わる上で、日刀保を無視ってのも変ですね。
もう一度、真改 2001 さんや私の投稿を読んでいただければ（討論掲示板も）お分かりになると思いますが、「**日刀保に関わりたくない**」のではなく「**一業者と日刀保のトラブルに関わりたくない**」と言うことですね。
一業者と日刀保に限らず、ホームページを持っている者同士のトラブルなどに参加したければ、「当人たちの土俵」で参加するのが筋ですね。

[1143] 荒波拝見ドライブ

投稿者：菊久　投稿日：2002/11/29(Fri) 08:18

先日、休みが取れたので、刀士郎さん所有の『福岡一文字・荒波』を一度でいいから、実際に手に持ち拝見

したく思い、刀士郎さんにその旨を伝えると「いらっしゃてくださって結構ですよ」と快くご返事を頂き、我が愛車で刀士郎さん宅まで・・・。
刀士郎さんと、きれいな奥様が、ハンサムなM・ダックスとともに迎えて頂きました。
着いたのが昼過ぎだったのに、昼ご飯も食べずに待っててくれた刀士郎さんは、早速に荒波を・・・。
私は、刀を観るときは自分がその刀から受ける印象とイメージというのでしょうか？そういうところからみます。というか、勉強不足なのでそういう感じからしか観られないんですネ。
鞘を払って頂いた荒波は、画像で観るより一段と覇気のある逸品でした。そう表現しかできなくて、ここを読んで頂いている皆様には申し訳ないですが、ホント！背筋に氷を流されたようなゾクッとするそんな感じを受けました。
荒波拝見後、昼食をとりに近くの蕎麦屋さんへ・・・
ここの蕎麦もこしがあって逸品でしたヨ(^^)
昼食後は、「忠縄・脇差」拝見。
親忠縄でしょうか？観る感じはスッキリ・クッキリいかにも大阪新刀らしい感じです。大阪新刀が好きな真改代表が好みそうだなぁ～などと思って拝見していました。
しかし、荒波といい、忠縄といい、逸品ぞろいでお持ちの刀士郎さんが羨ましい。というか憧れてしまいます。
書き足りない所もあったと思いますが、そろそろ出勤ですので失礼いたします。

刀士郎さん、おみやげありがとうございました。
刀士郎さんの和菓子も逸品でしたヨ(*^_^*)

[1143 へのレス] Re: 荒波拝見ドライブ

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/29(Fri) 22:59

菊久さんのバイタリティー溢れる行動力には脱帽です。!(^^)!。

見たいものがあればどこまでも出かけるパワーこそ、趣味に生きる者の一つの共通性でしょうか。
私も、見たい行きたいと思った所へは飛んでいく性質ですので、お気持ちはよくわかりました。

素晴らしい、小旅行でしたね。
うらやましいかぎりです。

あれも欲しいこれも欲しい病が再発しております私にとっては毒のようですね。(@_@;)。

[1143 へのレス] Re: 荒波拝見ドライブ

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/11/30(Sat) 11:55

菊久さん
そんなに全ておほめいただいて恐縮です。
菊久さんの４口も素晴らしかったです。
なかでも薙刀ははじめて手にとらせていただいたので

感激でした。もちろん、例の小刀も。
それにしても刀剣の趣味は楽しいものですね。
先日の大刀剣市ツアーといい、皆さんと出会い
楽しい時間がふえました。

真改さん
あれも欲しいこれも欲しい病は私もいま
非常に困ってます。
東京で真改さんにうつされたのかも・・・。

[1143 へのレス] Re: 荒波拝見ドライブ

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/11/30(Sat) 17:29

踊る阿呆に見る阿呆・・・、同じ阿呆なら踊らなそんそん！
とは、阿波踊り。

買う阿呆に観る阿呆・・・、同じ阿呆なら買わなきゃそんそん！
とは、今のわ・た・く・し。(>_<)。

こんなマイ・ルールを作ってみました。
『買わなきゃソンソン♪なら、１００万以下で求める。』というラインを決めようと・・・。

そんなら、１０５万で名品が出たらどうします？
野暮なことは言いっこなし！(^^ゞ。

１００万を前払い。
５万は後々ということで、マイルールは遵守というわけです。(^0_0^)。
さあ、どんな名品がこのルールの中で探すことができるでしょうか。

[1148] 来年のおはなし

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/12/03(Tue) 10:55

来年１月５日（日）から２月３日（月）まで
静岡県三島市の佐野美術館で「特別展：草創期の日本刀展」が開催されます。

主な展示品をご紹介します。

蕨手刀（岩手県立博物館蔵）　蕨手刀（摺沢八幡神社蔵）
毛抜形蕨手刀（中尊寺大長寿院蔵）　毛抜形太刀（宝厳寺蔵）
打刀無銘「藤原清衡所用」（中尊寺金色院蔵）
太刀　銘舞草（一関博物館蔵）　太刀　銘宝寿（武蔵御嶽神社蔵）
太刀　銘月山（出羽三山歴史博物館蔵）　太刀　銘三条（雨宮大社蔵）
太刀　銘安綱（佐野美術館蔵）　太刀　銘安家（京都国立博物館蔵）

太刀　銘友成（日本美術刀剣保存協会蔵）
太刀　銘豊後国行平作（永青文庫蔵）　など約６０点が出品されるようです。

また、開催期間中の１月１１日（土）及び２月１日（土）何れも午後２時より
担当学芸員のギャラリートークが予定されております。

更に、公開講座として文科省文化審議会専門委員の「廣井雄一氏」のテーマ
「日本刀の成立と展開」と題する講演が予定されております。（聴講無料：定員８０名）日時は、１月１３日(月祝日）午後２時より要予約です。

おせち料理に飽きたら日本刀鑑賞
また、近くにある三島大社へ初詣、社内にある宝物館にも日本刀が多数展示されております。

少し気の早いおはなしでした。それではまた。

[1148 へのレス] Re: 来年のおはなし

投稿者：久　投稿日：2002/12/03(Tue) 21:35

　お正月には実家に帰りますので是非見たかったのですが残念な事に
１２月３１日に三島に帰り１月３日には三条に帰るのでまた見る事が
出来ません。

　そのかわり展示品数は減りますが三島大社へ初詣に行くついでに大社宝物館
へ刀剣を見に行こうと思います。
　いつもながら思うのですが帰郷する方達や三島大社へ初詣の方達の為に是非
お正月中も佐野美術館を開館してほしいと勝手に願っているのですが、、、。

　是非佐野美術館様よろしくお願いいたします。

[1148 へのレス] Re: 来年のおはなし

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/04(Wed) 21:30

いいですね！

神社奉納の太刀の健全さをみていると、本当にタイムスリップしたような感じを受けます。

私の方は、今度の日曜日に日刀保の年に一度の支部の特別鑑賞会があります。
従来なら２月でしたが、今年は一気に早まりました。

どんな名刀を拝見できるでしょうか。
おって、レポートを致します。

[1151] 復活しました。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/05(Thu) 20:04

こんばんは、こてつです。

長野に戻りまして早や半月…。やっとＰＣが復活。
地元のケーブルテレビに入ったんですが、なかなかＰＣの接続に来てくれず、結局自分でやってしまいました。やれば出来るのね。
ワシってけっこう…すごいじゃ～ん？
…ここにいらしている皆さんからすれば「普通」のことかも知れませんね。いや、何せ機械オンチなもので…つい自画自賛してしまいました。

また色々と勉強させていただきたいです。
改めまして、宜しくお願いします。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/05(Thu) 20:47

お久しぶりです。!(^^)!。

どうですか。
長野の刀剣事情は？例えば、刀剣店の数とか。
新幹線もあるし、中央と近いので名品も多いように思いますが、いかがでしょう？(^o^)丿。

ますますのご参加をお願い申しあげます。m(__)m。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：守重　投稿日：2002/12/05(Thu) 21:32

お久しぶりです。復活まで時間がかかりましたね。やっぱ長野は寒いですよね!!
長野方面は刀剣専門店は沢山ありましたっけ？　怪しい骨董品屋は道端に時々見かけたような。。。
新幹線でささっと東京まで２時間足らず、でも汽車賃が高いですよね。またここで語りましょう。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/05(Thu) 22:41

おお～っ(^_^)　こてつさん、お帰りなさい m(__)m
ＰＣの環境が変われば、それなりに時間が掛かりますよ。
でも、ご自分でされたのですから、よい経験になったのでは？
東京とは、かなり気温が違うと思いますので、風邪など引かれませんように(^_^)
これからも、よろしくお願いします m(__)m

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：菊久　投稿日：2002/12/06(Fri) 05:50

こてつさん、また改めてよろしくお願いします。
長野は、これからが冬本番ですネ。地元へ帰ったとはいえ、暫くは東京に慣れた体です。健康に気をつけてください。

私も、長野へはスキーでよくお邪魔します。機会が有れば刀剣店・骨董屋などをまわってみたい気持ちがてんこ盛りですので、長野刀剣情報、楽しみに待っています。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/06(Fri) 12:57

長野はこれからが冬本番、のようです。
新居に移るまで二日ほど実家に泊まったんですが…シッカリ風邪を引きました。花散里さんの御心配の通り…（笑）。
故郷も如何せん２４年も離れていると、地元であって地元でない…ような感覚になります。
町並みも変わり、新しい道路が通り、かつて自分が通った通学路でさえ見慣れぬ景色に途中で立ち止まってキョロキョロ…。自分の記憶とかなり風景が違っていて戸惑うことも少なくありません。
小諸も深刻な不景気で町も随分廃れた印象を受けます。駅前でも空きビル空きテナントが目に付きます。県知事のヤッシーが恩田木工さながら、長野経済の建て直しに頑張っています。勿論不景気は長野県だけの話では無いのですが…。

小諸には刀剣店は無いみたいです。長野市か上田市まで出ないと厳しいようです。ともかく情報が少ない…。
守重さんの仰る「怪しげな骨董屋さん」はかなりありそうですぞ（笑）。一体何を売ってるの～！？ってお店…。
代表の仰る通り東京には近いんですが、新幹線代を考えると…そう度々は行けませんね～。そう考えると、東京は刀剣趣味には恵まれた環境ですね。長野の刀剣情報、頑張ってお伝えしていきたいと思います。
菊久さん、お近くにお越しの際は遠慮なく仰ってくださいね、美味しい蕎麦など…如何でしょう？

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：菊久　投稿日：2002/12/06(Fri) 18:25

おっ！「蕎麦ですか、イイですねぇー」
「長野は蕎麦の本場ですからね」
「戸隠蕎麦なんか有名でしたよネ」
むか～しの話ですから、場所は忘れましたのですが、ホントに小さいお店のお蕎麦屋さんだったのですが、入ると有名人のサインがドッサリ張ってありました。
これは！と思い期待して食したのですが・・・(キタイシタホド-_-;)
こてつさん、「期待してますネ！」

私は、暖かい蕎麦より冷たい方が好きです(^o^)

でも、今年は職場セクションが変わったから・・・ナガノ行けるだろうか。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：守重　投稿日：2002/12/07(Sat) 10:30

おおっ、蕎麦!!　去年小諸市内で蕎麦食いました。おととしは布引温泉近くのイチゴ園でイチゴを 100 個くらい位食いました。
蕎麦といえば戸隠、戸隠といえば、、、、、戸隠忍者村。ここには戸隠忍者が使用していた（？）武具等が展示されています。戸隠神社の前の道端に「刀剣展示館？？？」とか書かれた看板を見つけて、その方へ車を走らせるも結局道に迷って鬼無里迄行ってしまったこともありました。ああっそういえば小諸懐古園の資料館にも銘は忘れたが、刀剣が幾つも展示されていましたね。
長野、、、楽しい所です。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/07(Sat) 14:59

小諸にも何件か有名な蕎麦屋があるようです。
でも地元の人は食べにいかないんですよね～。「名物に上手いもの…」ってことでしょうか？お隣の上田市には「刀屋」の屋号をつけた蕎麦屋があるそうです。ここもけっこう有名です。ここは一度食べに行ってみたいですね～。でも何故「刀屋」なのか…？
東京の鶯谷にも「錆刀…」という屋号の蕎麦屋がありましたっけ。
…メニューに書かれた値段を見て入るのを止めましたけど…。
けっこうなお値段だったような…。

＞守重さん。
小諸の懐古園に「徴古館（だったかな？）」という資料館があります。…すごい小さい資料館で内容もあまり…。そこのことでしょうね？
確かに数口展示されていました。「清麿」は…もちろん無いです～。
上田の資料館には「真雄」がありますが…。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/07(Sat) 18:44

＞こてつさん
やっぱり、風邪を引かれましたか(^_^;)　環境の変化は、こたえますからね。
お大事に m(__)m

菊久さん、守重さんも蕎麦好きとは(^_^)
私も、１週間に１度は蕎麦が必要な体質でございます(^^ゞ
成蹊堂さんから歩ける距離に有名な蕎麦屋さんがあって、行ってみたいと思っているんですが、いつも刀に夢中になって忘れてしまいます。

この次こそ・・・(^_^)

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：刀士郎　投稿日：2002/12/07(Sat) 23:17

こんばんは
こてつさん　長野ですか。いいですね。
わたしも蕎麦好きです。長野で蕎麦三昧。
刀剣三昧もいいですが蕎麦三昧もあこがれます。
蕎麦は風邪にもキクはずです！？
おだいじに。

花散里さん
阿佐ヶ谷の蕎麦屋さん
気になります。どこでしょう。
食べに行きたいですね。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：swordsmith　投稿日：2002/12/08(Sun) 00:05<HOME>

ん？ウチの近くですか？ひょっとして J 庵かな。有名だけどあそこは愛想が悪くて居心地が悪かったので一度しか行ったことがありません。その時たまたま虫の居所が悪かったのでしょうか。いや、ひょっとしたら M 野のことかな？はて、気になってきました。

[1151 へのレス] Re: 復活しました。

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/08(Sun) 10:27

＞swordsmith さん、刀士郎さん
漫画家で江戸風俗研究家の杉浦日向子さんによれば、中杉通りは「蕎麦街道」だそうです(^_^)
そんな中、新潮文庫の杉浦日向子とソ連（ソバ好き連）編著「もっとソバ屋で憩う」では、１店のみ紹介されています。
本天沼１丁目のお店です。

[1162] 徳島刀剣事情

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/07(Sat) 23:42

ちょっと、とある刀剣店を覗いてきましたよ。
あまりいいものはなかったけれど、地元人として気になる刀剣が一口。

約５５センチの剣。
現代刀匠の作品で、現県無形文化財刀匠の昭和５８年の作品。
縁と鍔、切羽、はばきが銀無垢で統一したもの。
目貫は仁王の図だったか。

はばきの透かしが、月と太陽を表していました。

剣なのに、銀無垢の鍔も付いていたりして、面白い外装でした。
刀身も保存状態はあまり良いとは言えないけれど、砂流し盛んに掛かる相州伝の出来口で、『おっ！上手いじゃん。』と感じました。
また、その身幅が広いので、長さの割りに重いのなんのって・・・。

地方の刀剣店にはその地方の刀剣事情の特色が現れていて、面白いものですね。
海部刀なんか、あっというまに売れてしまいましたとおっしゃってました。
地元志向が強いのも特徴でしょうか。

良い刀剣は中央に集まっているのでしょうが、たまにはこうして地方の刀剣店を見るのもいいかも。

帰りにナイフショーに寄ってきて、一つ買い求めました。
シース（鞘）を製作してくれるので、明日もらってくることになりました。
一応、カスタムナイフ。一点もので手造りということになります。

明日は、日刀保支部の特別鑑賞会です。
さあ、またレポート致します。
デジカメ持参で画像も載せましょう。
南北さん。よろしくお願い致します。
運がよければ、珍しいところでご意見番の『延寿国時の在銘重要刀剣』と『古備前正恒　大擦り上げ刀　重要刀剣』が拝見できるかもしれません。

そうそう、刀士郎さん。
こちらのご意見番も一文字をお持ちです。牧野備後守が将軍綱吉、御手自ら拝領したと言う記録が徳川実記だったか、それに記載がある名品です。
外装は葵紋が金具一作にちりばめられている、綺麗な打刀外装です。
徳島に来県されることがありましたら、是非！(^o^)丿。

[1165] 特別鑑賞会

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/08(Sun) 17:54

本日、徳島県郷土文化会館にて、日刀保徳島支部の特別鑑賞会が開催されました。
朝早くから役員の皆様のご尽力により整えられた会場は、非常に気持ちの良いもので、鑑賞の場も盛り上がりがいつもより一層感じられました。

本日の鑑定刀は次の通りでした。
一　南紀重国 刀
二　長谷部国信　短刀
三　藤原広實　刀
四　一文字　金象嵌銘助真　太刀
五　左行秀　刀　為嫡子幾馬

重国は大和伝の刀で、刃中の冴えが素晴らしく、古刀然とした感じと茎の穴が大きなことが印象的でした。
国信は重ね薄い短刀で、皆焼きが激しさを表している素晴らしいものでした。
広實は堀川一門だそうですが、大隈大掾正弘の藤原という銘の切り方と非常に良く似ており、それが特徴の一つだそうです。
出来は、出羽大掾国路の激しい出来を彷彿とさせるもので、ズバリ当たりはなかったようです。
一文字助真は、素晴らしすぎる太刀で、とても鎌倉期の太刀とは思えないほどの健全さで、身幅広い様は新々刀のようでした。
刃紋は大野義光師をよく見ていたせいでしょうか、よく似た感じを受けていましたので、地金が古刀のそれであることと、映りが綺麗に見事に立っていましたので、この派手な出来は一文字以外にないと思えるものでした。
さすがに、健全な姿を見るととても古刀に最初から考えを持っていくのは躊躇しましたが・・・。(^_^;)。
この太刀を見て大野刀匠の作品を顧みると、とてもよく写された作品であると改めてその力量に感動致しました。
最後の行秀は、刃先に長い足があるところと切っ先が伸び、いかにも新々刀然としたところから、多くの方が当たっておられました。
行秀の作品では、真改を狙ったものをイメージしそうですが、これはそうではなく、派手な部類の作品であったと思います。
為嫡子幾馬とある行秀最晩年の作品としてとても有名ですので、多くの刀剣書にも載っているでしょうから、御覧いただけるとよく分かると思います。

本日の目玉はこれ以外に会員の○○先生持参のある短刀。
それは、伊予西条松平家伝来　無名　粟田口久国短刀でした。
画像にも掲載しますが、特別重要刀剣の逸品で、研ぎ減りほとんどなく、鎧通しのような重ねの厚さ。(@_@;)。
はばきは金無垢台付き二重はばきで、葵のご紋が透かしてある目がつぶれそうな神々しい短刀でした。
鑑定刀よりもこちらに人が多く集まっていたような気がします！(^0_0^)。
外装も葵紋散らしの豪華な短刀拵えでした。
上手く撮れていないかもしれませんが、雰囲気だけでもお伝えしたいと存じます。m(__)m。

あと、会員があるネットオークションで手に入れた小道具の数々。
目が利くと本当にお安く求めることが出来るのだな～と、感じましたね。
譲ってちょう～～だいっ！(^^ゞ。
これも画像でご紹介致しましょう。

と、楽しい一日でした。
帰りに、ナイフショーに寄って、ナイフを買ってきました。
気軽に見ることができるナイフもいいもんです。
ナイフのデザインも日本刀から出し尽くしている感がありますね。

男子はなかなか刃物やチャンバラ、鉄砲がお好きなようで、世代を超えて盛り上がるようです。

では、時間をおいて画像をアップ致します。

(@^^)/~~~

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/12/08(Sun) 21:20

本日、私も日刀保東海地区大会に参加して参りました。
展示刀は６４振り余り、秀作揃いで眼福の境地でした。
なかでも、私の所属する支部の支部長さん出品の「長船景光：元亨二年八月日」
の重要美術品の短刀と協会本部出品刀の「来国俊：元亨元年十二月日」
同じく重要美術品の太刀が出色でした。
入札鑑定は一本入札方式で５振りで各２０点で１００点満点
天位は８０点を取られた方でした。地位・人位は７０点を取られた方々でした。
私は残念ながら３０点しか取れませんでした。
１号刀：短刀：初代仙台国包
２号刀：太刀：備前長船長光
３号刀：刀　：御勝山永貞
４号刀：短刀：則重
５号刀：刀　：親国貞
また、会場には、来賓として協会本部から鈴木専務理事、鑑定刀の講評
に小林資料課長さんがおいでになられました。小林課長さんの講評は
解りやすく、とても勉強になりました。こういう方が近くに居られれば
相当に実力がつくのですが本だけでは限界を感じました。
これからも鑑賞会には積極的に参加したいと思います。

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/09(Mon) 23:05

真改 2001 さん、鬼丸さん、詳細なレポートをありがとうございます m(__)m
お二方とも名刀を手にとって拝見でき、羨ましい限りです(^_^)
徳島支部・東海地区大会共に、かなり力の入った鑑賞会ですね。
やはり名品を数多く見て、目を肥やすのが目利きへの近道なのでしょうね。
私も、地元の支部へ入会を考えましょうか(^_^)
でも、今は鐔に目が向いているしな～(^^ゞ
小道具なども、鑑賞できるのでしょうか？

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/10(Tue) 20:10

真改さん鬼丸さんご両所、すばらしい支部研究会でしたね。とくに真改さんのレポートは力が入っていて臨場感が出ていました。又鬼丸さんはご自分の得点を明かされるなど、ご立派です。
花散里さん、一日も早いご入会をお勧めします。理由はお気づきの通りです。手にもってみる刀は、

博物館で拝見するのと違いますからね・・・。

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/10(Tue) 22:10

お褒め頂きまして、ありがとうございます。
良い刀を見ると興奮して、なんとかこの感じをお伝えしたいと思うのですが、刀はやはりガラス越しに見るのと同じように、聞いてもわかりません。
本当に百聞は一見に如かず。

日刀保の石井講師さんがおっしゃっていましたが､『ざんぐりとはどういうものを指すのかとよく聞かれますが、見ていただくのが一番で、難しいです｡』と。
もちろん、刀剣解説書にあるようにざんぐりについて模範解答を言葉でも解説していただけましたが、やはり、それを見るのが一番ということですね。

地方にいます私にとっては、大刀剣市は上京する際のメインイベントであり、特別鑑賞会は支部活動の中で唯一の楽しみであります。
支部活動も刀剣商さんの方に賛助していただける方がいればもっと楽しくなり、それからお付き合いもできてくるように思うのですが、都市部と異なり、そのような動きは全く見られません。

会費を別に取ってもらってもいいから、年に三回くらいはこのような特別鑑賞会のような企画をお願いできればと心から望んでおります。

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/11(Wed) 06:23

「年三回ぐらいは」と云われるのは当然です。東京はむろん、関西でも月一度の支部研究会は最低のほうですから、大都市に比べて地方の好き者は恵まれませんね。
刃文は押し形で勉強できてもお書きになっているように、地金の感じは手に取って観ないと分かりません。表現しにくい鉄質感がありますから。
せいぜい関西くらいまで、足を伸ばされるといいですね。

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/12/11(Wed) 21:18

年に３～４回の鑑賞会兼鑑定会は、本当に地方の愛刀家にとって大事な行事と
思います。日刀保各支部も最近では、色々な催し物を企画して嬉しく思う限りです。

東海地区大会終了後の帰路のバスの中で支部長から支部長会議の内容として
「若手会員の勧誘と女性会員の獲得及びその拡充施策」について話し合われた
そうです。
若い人で刀に興味のある人がいたらドシドシ参加をして貰い、実際に刀に触れて
刀剣の良さを知っていただき、興味があれば会員になっていただく。

女性には、刀というものは刃物の延長というか、刃物そのものなので小道具から
要するに鍔や、目抜き・小柄・笄などから鑑賞していただき、次第に刀剣自体
に興味を移せれば大変に喜ばしいことだと述べておられました。
なるほど、私も実物を見ての観刀能力はまだまだですが、愚妻に対しては一人前
に講釈をぶって夫としての威厳を振りかざしております。
やはり、刀剣というものはご隠居さんのおっしゃるとおり、鉄質感があり書物で
重さ何百グラムと書いてあっても実際に手に感じる重さが違うのです。
古刀でも新刀でも時代が少し違うだけで、古刀の中でも新刀のように重く感じる作品や逆に新刀でも古刀の関物のように軽く、手持ちの良く感じる作品等千差万別です。
他の美術品では触れて鑑賞するという習慣はあまりないのでは？
手に持ち、色んな角度から光線を通して、地鉄の肌合い・沸、匂いの織り成す銀河のような美しさを自分の目の前に現してくれる、これこそが刀剣鑑賞の醍醐味
だと思います。
来年は、出来れば本部鑑賞会などにも参加をしてみたいと思います。
できれば、電脳倶楽部鑑賞会などあればおもしろいんですけど。(^o^)ハハハ

[1165 へのレス] Re: 特別鑑賞会

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/12(Thu) 06:34

若い人と女性は地方支部ならずとも大歓迎されますよ。私たちの支部では冊子を作り、「指導係」という入札のアドバイスをする者まで用意して新入会員に対応していました。でも女性は中々続きませんね。ところが小道具の会では一割くらい女性会員がいます。
いずれにしても、若い人や女性の会員がないと刀の道も存続があやふいです。

[1173] ゼロ

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/12(Thu) 19:51

こんばんは
今週号のスーパージャンプ(だったと思う)の「ゼロ」が
沖田総司の菊一文字を題材にしています。
刀剣に関するうんちくもおかしなとこはなく
なかなか読ませてくれました。
これで刀に興味を持ってくれる人が増えるといいなあ。

ところでときどき総司の刀が大和守安定という話を聞きますがどなたか
出展をご存知ありませんか？

[1173 へのレス] Re: ゼロ

投稿者：虎の子　投稿日：2002/12/12(Thu) 21:29

ikkak さん、はじめまして

総司の刀が大和守安定という話についてですが、
雄山閣出版「幕末志士愛刀物語」に載っています。

沖田総司の佩刀は大和守安定二尺二寸、一文字則宗二尺四寸二分だそうです。

この本は幕末維新の動乱に活躍した人の愛刀、それに関係する物語が載っていて、なかなか面白いです。
古い本（昭和 46 年）なので探すのも大変と思いますが、
読む価値はあると思います。

[1173 へのレス] Re: ゼロ

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/12(Thu) 22:03

沖田の刀については、加賀清光という説を聞いたことがあります。
これは、池田屋事件の後に研ぎをおこなった研ぎ師の記録だそうです。
また、中心に菊紋と一の銘を切った刀が存在する島田助宗、丹後守兼道（初代）、山城守国清（二代）、横山祐永などが考えられる、ともあります。

[1173 へのレス] Re: ゼロ

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/13(Fri) 00:34

「ゼロ」（画＝里見桂先生・原作＝愛敬史先生）ですね。
里見先生は大島やすいち先生のアシ出身。師匠に劣らぬ達者な作品を描かれます。
要チェックですぞ～。

[1173 へのレス] Re: ゼロ

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/13(Fri) 05:22

ありがとうございます。幕末志士愛刀物語はノーチェックでした。
刀の本もいろいろあるものですね。
もしその本をお持ちならさらにもともとの出典がなにか教えて頂けないでしょうか？

源龍斎俊永の記録ですね。有名な近藤虎徹偽物説もここから出たと思います。
私はこじき清光に関しては池田屋事件の際、帽子が折れたとありますので
帽子が折れるというのは車で言えばタイヤがとれるようなものですから
その後は使わなかったんじゃないかと思ってます。

大島やすいち先生(テリーとバツなつかしいですね)の御門下とは知りませんでした。
そういわれてみれば作風が似ているような...
ゼロでは前にも女国重を題材にしたものがあったと思います。
広く PR する意味ではまじめに刀を描いてくれる限り漫画でとりあげられるのは大賛成です。
そうそう忘れてならないのが「鋼」同田貫から作った２本のナイフをあやつる
宮元武蔵の遺伝子を持った女子高生という度肝を抜くコンセプトで愉しませてくれます。

作中で
日本刀が折れないのは柔らかい部分があるからだ、人も優しい心を忘れない限り心がくじけることはない(意訳)
というくだりは良かったなー

[1173 へのレス] Re: ゼロ

投稿者：虎の子　投稿日：2002/12/13(Fri) 22:02

幕末志士愛刀物語は作者が戦前より志士の佩刀に興味を持ち
調査して執筆した本です。

総司の刀について記録や資料を調べたと思いますが
出典に関する記載はありませんでした。

[1173 へのレス] Re: ゼロ

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/15(Sun) 16:44

ありがとうございます。

[1179] 12 月 14 日

投稿者：野崎　投稿日：2002/12/14(Sat) 21:28

時に元禄 15 年 12 月 15 日の朝まだき、江戸本所松坂町(当時の町名は本所一つ目）の吉良上野介邸に播州赤穂の浪人　大石内蔵助、その子大石主税、原惣右衛門、片岡源五右衛門、堀部弥兵衛、その子堀部安兵衛、大高源五、神崎与五郎、矢頭右衛門七、赤埴源蔵、小野寺十内、不破数右衛門など総勢四十八人、火事装束にて討ち入ったり。

今年で三百年になるんですね。14 日の義士祭、あたかかいソバでも食べながら。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/15(Sun) 09:39

平和元禄の当時、国中を沸かせた大事件ですね。子供の頃から年末は忠臣蔵の絵本や物語、浪曲講談、芝居、映画で興奮するのが年の暮でした。そういえばこの２０年ほどは観られませんなー。年末は忠臣蔵なんですがねぇ。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/15(Sun) 12:06

毎年１２月になると、泉岳寺の周辺は観光バスと年配の方の姿が目立ちます。
例えばハトバスなどもバスツアーを行っていて、題して「講談師と行く花のお江戸義士コース」
皇居東御苑の松の廊下跡から始まり、回向院・吉良邸跡、深川飯の昼食を摂り江戸東京博物館を経て、泉岳寺へ。
講談ライブを聞きながら、師走の一日を楽しむことができるようです。

ツアー以外で泉岳寺に詣でる方々も多く、１２月１４日ともなると門前の蕎麦屋は丼物やアルコールは一切なく、まさに「蕎麦」屋となります。

私の職場は泉岳寺のすぐ近くにあるのですが、一度ハトバスにも乗ってみたいと思っています。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/15(Sun) 15:50

花散里さん、泉岳寺の近くですか、講釈師と行く江戸義士コースですか、いいですね。なにしろ刀を表道具にして大名屋敷に斬りこみ大将の首を取ったのですから、たいへんな事件です。刀も長寸のものを用意しており、寛文以降元禄にかけての（刀の）流行とは別の実戦的な選択をしていたと思います。これ一つみても講釈師が語るように、かなり周到な計画があったんでしょうね。すごい事です。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/15(Sun) 16:57

うーん
正直言って赤穂浪士ですがなんがそんなに立派なのでしょう？
浅野内匠頭も仕事上でいやなことがあったのなら仕事で見返すのがまっとうな男ではないでしょうか？
斬りかかったのも正々堂々とした立会いでもなんでもなく不意打ち食らわして
しかも仕損じるとはいかがなものか。
城中で抜けば切腹は当時のルールなんですから切腹は覚悟の上、そのことに関して吉良殿を恨むのはお門違いでしょう。
遺臣の敵討ちというが吉良義央がどんな悪いことをしたのでしょう？
４７人もの武装した侍になぶり殺しにされるほどのことをしたのでしょうか？

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/15(Sun) 17:59

やはり、「君辱めらるれば臣死す」という価値観が、武士階級のみならず一般階級にとっても受け入れられる価値観であった、のではないでしょうか？
元和偃武から８０年余り経過し、戦時体制から経済主導体制に世の中が変遷した天下泰平の時代に、事の成否や損得を問わず義に殉じた男達の生き様が共感を呼ぶのでしょうね。
仮名手本忠臣蔵の作者である武田出雲は芝居の座元の子ですし、歌舞伎の人気が衰えた時に興行すると必ず客足が戻ってくると言われるほどの当時からの大ヒット作です。
一般大衆の強い支持がなければ、とても３００年は持たなかったでしょう。
もちろん、その内容の多くはフィクションとして後から付け加えられたものでしょうが、武士の行動を庶民が賛同し美化洗練させていったところに特徴があると思います。

[1179 へのレス] Re: 12 月 15 日

投稿者：野崎　投稿日：2002/12/15(Sun) 19:28

皆様のレスありがとうございます。
江戸時代は赤穂義士は武士の鏡、神聖不可侵だったのですが、後になって「当時仇討を快挙として高給で召抱える大名がいた。堀部安兵衛などもその例、集団求職活動に失敗しただけ」という説も出ています。
でもまあ、「サムライはつらいよ」の江戸時代。大義に生きた男たちのさわやかな感動だけが残っているようです。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/16(Mon) 05:52

毎年１２月になると、泉岳寺の周辺は観光バスと年配の方の姿が目立ちます。
例えばハトバスなどもバスツアーを行っていて、題して「講談師と行く花のお江戸義士コース」

＞これこれ、ぜひ来年はこの企画を両親にプレゼントしたいと思います。
母が１２月１４日生まれなのですが、戦中忙しい時分のこと。よって戸籍上は１５日となっておりますが、どちらの日付にしても討ち入りには大いに関係する日。本人もそのことが自慢のようです。(^_^;)。
あいにく、高血圧がひどくて昨日は寝込んでいたようですが、来年の企画を提案して、気分転換を図ってもらいましょう。そうすれば、少しは血圧も下がるかな。

また、３０年ほど前に『日本の伝説』シリーズという本がありましたが、全国を分けて伝説をまとめているのですが、なぜか忠臣蔵だけは別冊となっておりました。
子供の頃、なぜこれだけが別扱いなのかとても不思議でしたが、映像を通して見たときに、納得がいきました。
バブルの頃の、日テレが放送した『年末時代劇』シリーズの里見浩太郎主演の忠臣蔵が一番好きです。

年明け早々にも東京テレビ系列で、数時間に亘る忠臣蔵があるようです。
これも楽しみです。

本当に１２月といえば忠臣蔵ですね。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/16(Mon) 08:36

ｉｋｋａｋさんの仰ることは今なら大半の意見でしょうね。とくに高学歴の人ほど、老若を問わずこの手の「浪花節」を軽蔑します。また実際、内匠頭は本当にボンボンというか頼りない主君です。カァッと興奮して家を潰し、家臣を路頭に迷わすのですから.実にバカ殿です。「にも係わらず」家臣たちが身を捨てて仇討ちをしたところに、庶民がしびれるのではないでしょうか。私なんかはそ

うです。
しかしこれも「昔の話」で忠臣蔵に興奮し涙する人間は、相当少なくなっているのでしょうね。私などは、いつまでも残して欲しい「日本の背骨」だと思うんですが。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/16(Mon) 15:57

上の方で書いたことと矛盾するかもしれませんが、よくよく考えてみると忠臣蔵の本当の主役（出演者・観客とも）は案外庶民達だったような気がします。
戯作者も、当然ながら観客の大多数を占める庶民たちの反応を見て、少しずつストーリーを膨らませていったのでしょう。
中でも一番人気の堀部安兵衛は、浪人時代に庶民とともに長屋に住み、高田の馬場での仇討ちを経て赤穂藩士となります。その後も堀部安兵衛の縁で、江戸中の畳職人による一夜の畳替えなどのシーンがあったように記憶しています。ストーリーを良く見ると、庶民とのエピソードが無いと完結しない内容ですね。
実際に史実の上でのストーリーはいざ知らず、仮名手本忠臣蔵は庶民たちが登場人物と同化しながら、泣き、笑い、３００年間練りに練って好みの人間像やストーリーを作り上げてきた訳ですから、現在でも人気があるのも頷けます。
私は、上の方の投稿で価値観を話題にしましたが、そうではなく日本人が未だに作り続けている未完の大河ドラマなのかも知れません。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/16(Mon) 16:27

花散里さん、庶民のための「未完の大河ドラマ」、ホントにそうです。仮名手本忠臣蔵で島原での豪華絢爛たるくだりや、お軽勘平などの手の込んだ筋書きもよろしいが、あとで作られたらしい畳替えの場面も拍手喝采、それに大石が遥泉院さまの邸に最後の挨拶にいくシーンもしびれます。このシーンでいつも妻に言って聞かせるのですが、「よう見とけよ、これが女の浅はかさやでぇ」と。
正月はたのしみにして観ます。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/16(Mon) 18:00

＞ご隠居さん
「忠臣蔵～決断の時」は、新春１月２日（木）１４：００から２３：５５分までの約１０時間にわたって、中村吉右衛門主演によりテレビ東京・テレビ大阪・テレビ愛知・テレビせとうち・テレビ北海道・ティーエックスエヌ九州で放送されます。
テレビ局によれば、「テレビ初の試みとして、古典である「仮名手本忠臣蔵」のエッセンスを大胆に取り入れ、親子の情愛・男の友情・男女の悲恋、夫婦の交情、派手なアクション等を時代劇ファンお馴染みの名シーンの数々と共に織り込み、大人から子供までが楽しめる“決定版・忠臣蔵”である。」、だそうです。
詳細は、「こちら」でご覧になれます。

時間的にかなり長いので、お身体に障らない様にお楽しみください m(__)m

[1179 へのレス] Re: 1 月 2 日

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/16(Mon) 19:12

おおきに、２日は妻の実家で恒例の新年宴会ですが、早めに引き揚げてこれを観ます。ほんまに、寝不足にならんように寝貯めして掛かります。ほんまに久しぶりの忠臣蔵ですわ。中村吉右衛門の大石、よろしな。おおきに。

[1179 へのレス] Re: 12 月 14 日

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/17(Tue) 00:01

＞真改 2001 さん
＞これこれ、ぜひ来年はこの企画を両親にプレゼントしたいと思います。
親孝行ですね(^_^)
講談を聞きながら縁の旧跡めぐりをして、かえって血圧が上がらないようにご注意を(^_^)

[1193] 浪士は何人？

投稿者：野崎　投稿日：2002/12/16(Mon) 23:02

『忠臣蔵』では義士を「いろは４７文字」に合わせて４７人としていますが、幕府に切腹を命じられたのは４６人です。寺坂吉衛門信行というのが途中でフケた、いや大石の命令で真実を語り残すために逃がしたのだと議論があります。

寺坂はその後切腹した義士の菩提を弔うため出家して諸国を歩いたとか。伝説は各地にありますが最後の地がどこかも分かりません。仙台をはじめ各地に「寺坂吉衛門隠棲の地」というのがありました。

またお軽との恋がもとで殺人、切腹する早野勘平（萱野三平）を入れて４８人とか、いや高田軍平というのも逃げているから切り込んだのも４８人だったとか論争があります。

吉良方は寝込みを襲われて用心棒の清水一覚以下死者１７人、負傷２４人、討ち入り側は刀傷３人、氷に滑って怪我をしたのが 2 人だけでした。

[1193 へのレス] Re: 浪士は何人？

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/17(Tue) 19:32

野崎さん、これは
　笛の音にちりぬるいろは　寄ってくる
の古川柳どおり、いろは四十七士と偶然にも仮名の数になったことが大河ドラマ忠臣蔵を一段と味の濃いものにしています。
四十七士にしておきましょう。

[1193 へのレス] Re: 浪士は何人？

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/17(Tue) 21:01

たしかに、４８番目の義士を題材にした映画もあったと思います。高倉健だったか・・・。
切腹時の記録やお墓はやはり４７人ということになっているのでしょうか。

大石内蔵助といえば、昔『トクダネ登場』『本物は誰だ』なんてよく似た番組があったのですが、そこに『私は誰の子孫でしょう？』なんてコーナーがありました。
そこで、登場した大石内蔵助の子孫はドラムに夢中で、さすが！先祖は陣太鼓で子孫はドラムで太鼓つながりですという落ちでした。

[1193 へのレス] Re: 浪士は何人？

投稿者：野崎　投稿日：2002/12/17(Tue) 22:38

　幕府の記録では切腹は４６人です。それを「いろは４７文字」にするために脚色者は苦労しているようです。
　討ち入りの服装は黒の小袖にタスキがけ、敵味方識別記号として名札を襟に付けただけで火事装束のダンダラ羽織は後世の脚色だとか。その模様は幕末の壬生の義士たちも採用しました。
　儒学者で軍学もやる山鹿素行から伝えられた山鹿流の陣太鼓は「一打ち、二打ち、三流れ」で、吉良邸の隣の旗本、土屋主税が「ぬ！あれは山鹿流の陣太鼓、オゥ、赤穂の浪人ども討ち入ったか」と布団から飛び出す映画もありました。ただし正確には山鹿流の陣太鼓は引き上げるときに打つのだそうです。

[1198] 今月号

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/22(Sun) 20:45

うーん
景則、秀光、長谷部、在銘雲重、虎徹大小などなど
ちかごろほんとにすげー刀が売りに出るようになりました。
しかも通信販売の紙面を飾るとは！
いーい時代になりました。
今晩はじっくり愉しみます。
陸奥守吉行ほしー

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：真改２００１　投稿日：2002/12/22(Sun) 21:42

今のところ、銀座情報だけしか来ていないんですよ。(T_T)。

あとは、両柴田さんのところを楽しみにしているんですけど。^^;。
たしかに、数年前までは見ることのできなかったような大銘の刀を拝見するようになりました。
そういう意味ではイイ時代ですね。

懐具合は悪い時代ですけど・・・。

ゼロを今夜じっくりと読みました。
初めて見ましたが、面白かったです。
シリーズが結構あるのですね。
今度、一巻を買ってみようと思います。
他の漫画では懐かしい《リングにかけろ》とかブラックエンジェルがあって、青春時代を懐かしく思い出しました。
小谷憲一氏の漫画も久しぶりに見ました。テニスボーイは全巻そろえるほど熱を入れていました。
スパースターとかダンクシュートスマッシュとか面白かったですよ。

不景気にギャラクティカ・マグナムをぶちかませっ！！(^o^)丿。

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/23(Mon) 00:16

「帋徹」の大小、拵えが良さそうですね。これで２７だったら…安いのかも知れません。展示会当日には既に売れた後かも…。
僕的には「薩州住平正良」が気になりました。

先週、原稿渡し兼打ち合わせで東京に行ってきました。
ついでに銀座に…。んで掲載されている「源正雄」を見せていただきました。山浦一門…にしてはお安いかも？出来も悪くないです。
お買い得かも知れませんね。
ところで「銀座情報」の「速報１０」の左ページの写真…裏焼きになってません？もったいないミスですね…。

ああ、正月も展示会行きてえ～っ。

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/23(Mon) 06:37

うーむ
宣伝にならぬよう誌名はふせたのですが意味なくなっちゃいましたね。ということで
長州屋さんはちかごろ攻勢をかけていて動向に注目しています。
HP は行くたびに良くなっていますし作りを見るとあちこちの HP を良く研究していて
いいとこどりしています。アンケート答えましたがネット販売に関心を寄せていることがわかりました。
ネットでの宣伝販売は戦後、旦那相手の商売だった刀剣商の世界に通信販売の手法を持ちこんだ以来の変革
だと思っていますが、さすが長州屋さん、安易にのりださないことがかえってしたたかさを感じさせます。

なんといっても経営者が若い！若いことは絶対的なアドバンテージですので
あと５年もしたら中心的な存在になるでしょう。

柴田さんも今回はリキはいってますよね。ちなみに通信販売は柴田さんが最初に始めましたと記憶しています。

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：菊久　投稿日：2002/12/23(Mon) 07:44

こてつさん、
私は『通販誌』を取っていないので分からないのですが、《掲載されている「源正雄」》って、ひょっとしたら、大刀剣市と同時期に展示会をしていましたよね、そのときに展示してあった一口かな？もし、それだったら、私も気になっていた一口なんです。（あそこでは、入って右奥のガラスケースに鎮座していた古青江と、入った正面奥２時方向にあった「源正雄」が気になっていた）
確かに、山浦一門…にしてはお安いかも・・・でしたネ。
スクラッチ宝くじが当たっていれば、速攻で展示会場へ戻ってましたヨ(^_-)

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/23(Mon) 13:15

＞菊久さん。
「源正雄」は「文久三年十一月日」の年紀が入ってます。
二尺三寸九分。重ねもけっこうありました。
肝心の１１月の展示会の記憶が…アヤフヤで自信ありません（笑）。
ひょっとしたらそうなのかも知れません～。
…年末ジャンボは…あきまへんか？

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：菊久　投稿日：2002/12/23(Mon) 19:01

うーム、年末ジャンボ・・・ねエ～。
如何相成りますことやら・・・。

もし、高額当選なら兄弟そろいで手元に・・・。（入れたいですネ(^_^)v）

[1198 へのレス] Re: 今月号

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/24(Tue) 06:51

麗と刀和が同じ日に来ました！(^o^)丿。

両方とも気合がいつもよりも凄いようです。(@_@;)。
私が気になるのは『笠間一貫斎繁継』の刀です。
おおよそ、この刀匠の評価額はどこの刀剣店を比較しても大差は出てこない、非常に現代の刀としては安定した評価が定まった刀と感じます。

刀によっては１００万単位で違うことがよくあるなかで、非常に稀のような気がします。

刀和では文句なく、『長義』大磨り上げながら『伝長義』ではなく、個銘の極めがなされているところが、素晴らしいと解説にもあります。
土佐山内家伝来品也。(^O^)／。

さてさて、各々、気になる刀が違うのはおもしろいですね～。
これがまたいいところなんですね～。(^0_0^)。

[1205] 刀剣

投稿者：高刀　投稿日：2002/12/24(Tue) 00:27

　自分が刀や剣が好きらしい・・ということに気づきました。
美術品として美しいデザインのものなど，素晴らしい！と
思います。神奈川県内で実際に見れる店ってないでしょうか？

　私は一応女性なので、自分が刀が好きということに
気づいたのが、つい最近です（日常会話でないでしょう？
女性で「あの刀いいよね～」とか・・）
　漫画でも、そういう剣や刀、槍などがでてくるものを
よく読んでいるし、オモチャの刀買ってるし（いつのまにか・・）
だけど、人を切るという意味での武器としては，嫌だし
人なんて切るものではない！と思ってます。

[1205 へのレス] Re: 刀剣

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/24(Tue) 06:40

ようこそいらっしゃいました。
はじめまして。
真改 2001 と申します。
よろしくお願い致します。m(__)m。

刀が好きということに気がつかれたのですか！
良かったですね。!(^^)!。
凛とした気品や美しい姿に感じることができるのは、素直になって見るという意味でも素晴らしいことと思います。
刀という人を斬る道具という先入観が今まで刀を好きであるというご自分の気持ちを隠されていたのかもしれませんね。
斬る道具という意味では、人だけではなく、精神的なものを含めて様々なものがあるでしょうから、そこにだけこだわる必要はないと思います。

感じるままに受け入れることも刀を知る大事な要素ではないかと思っております。
姿の美しさや気品を感じることは、最も感性が必要とされる部分ではないでしょうか。

さて、神奈川県での刀剣店ということですが・・・。
皆様。ご存知の刀剣商はございませんでしょうか。
よろしくお願い致します。

[1205 へのレス] Re: 刀剣

投稿者：Nishikawa　投稿日：2002/12/24(Tue) 09:15

東京の鶯谷に現代刀を主に扱っている刀剣店があります。
そこで働いている方が独立なさり、来年早々横浜でお店を開店なさるそうです。
長い間集めてこられた古いものから新しいものまで常設展示されるそうです。
鶯谷のお店は、こちらにリンクされている真鍋刀匠の刀なども実際手にとって見せていただけるようなお店です。
横浜のお店も、きっと気軽に見せていただけるような所になると思います。
場所は、山下公園通り前にある産業貿易センター内２Ｆだそうです。
関内駅を降り、横浜球場横（石川町駅側）の道を公園方面に 10 分ぐらい歩くとあります。
いつ開店なのか、案内葉書がまだ来ていないので、詳しいことはわかりませんが、
年明け後、早いうちだと思います。

[1205 へのレス] Re: 刀剣

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/24(Tue) 16:00

下の方でご隠居さんが仰っていますが、「女性と若者」に関心を持ってもらえないとどの世界でも裾野が広がらないので、基本的に高刀さんのご参加は歓迎されると思います。
お尋ねの「実際に見れる店」ですが、具体的に説明すると宣伝になってしまいますので、一般的なことを・・・(^^ゞ
高刀さんの、お心一つではないでしょうか？
検索エンジンなどで探せば店は見つかりますし、高刀さんが取り扱いの基本的なマナーを心得ていて、真摯な気持ちを伝えられればどこの店でも見せてくれると思いますよ。（いきなり、国宝クラスは無理でしょうが）
できれば、平日の午後など店がすいていそうな時間帯を選び、気軽に遊びに行くことから始めてはいかがでしょうか？

[1205 へのレス] Re: 刀剣

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/25(Wed) 05:20

神奈川では横浜にある新堀さんに行ったことあります。まあ道案内ってことで勘弁してください
http://www.d3.dion.ne.jp/~y_higasi/tenpo/tenpo-2.htm
研ぎ師さんのお店で在庫はすごいです。
職人気質の方ですので最初はとっつきにくいですがしゃべらなくても
けっして怒ってるわけではありませんので気にしないでいろいろ見せてもらいましょう。

やはり入りにくいでしょうから女性の場合、最初は知り合いの男性に一緒に行って

もらうのが良いかもしれません。

女性といえば池袋のお店で女優の水沢あきさんが来店されたときの写真
が飾ってあったのを思い出します。

[1205 へのレス] Re: 刀剣

投稿者：菊久　投稿日：2002/12/25(Wed) 06:16

はじめまして。

実際に手にとってというわけにはいきませんが、静岡・三島市にある「佐野美術館」では、１月５日～２月３日まで『草創期の日本刀 ～反りのルーツを探る～』という特別展を行うようです。
横浜を起点とすると約１時間半位の旅になりますが、名刀多数が展示されるようですのでいかがでしょうか。

詳しくは、佐野美術館の HP をご覧下さい。
http://www.sanobi.or.jp/

[1205 へのレス] 真改 2001

投稿者：高刀　投稿日：2002/12/28(Sat) 00:13

＞刀という人を斬る道具という先入観が今まで刀を好きであるというご自分の気＞持ちを隠されていたのかもしれませんね。
＞斬る道具という意味では、人だけではなく、精神的なものを含めて様々なもの＞があるでしょうから、そこにだけこだわる必要はないと思います。

返信ありがとうございます。
・・そうですね「刀が好き」と言ったら、大抵の人は「え？」と
・・どう反応するか恐い気もしますし、それに対して私はまだ
何が良いのか、をつきつめて考えていないので答えられそうにないので
あまり、知り合いにはまだ言ってないです。

精神的なものを含めて様々なものがあるって？どういう・・。

＞感じるままに受け入れることも刀を知る大事な要素ではないかと思っておりま＞す。
＞姿の美しさや気品を感じることは、最も感性が必要とされる部分ではないでし＞ょうか

・・・やはり人を斬るものを美しいと感じることに抵抗が、
いいのかな？って。

[1205 へのレス] ikkak さんへ

投稿者：高刀　投稿日：2002/12/28(Sat) 00:18

横浜にある新堀さん、ウチから近いです。

しかし・・確かに入りにくそうですね（＾＾）
　情報ありがとうございます。

[1205 へのレス] Nishikawa さんへ

投稿者：高刀　投稿日：2002/12/28(Sat) 00:24

　山下公園通り前にある産業貿易センター内２Ｆですか。
気軽に見れるような店だといいな。神奈川県内だと私の検索の仕方では
見つけられなくて、ないのかな？と思っていました。
聞いてみてよかったです。

[1205 へのレス] Re: 刀剣

投稿者：高刀　投稿日：2002/12/28(Sat) 00:27

返信いただいて、うれしいです。
ありがとうございました。
私は、小太刀，短剣がとくに好きみたいです。１００万の宝石より
１００万の刀剣が欲しいです。

[1212] 阿蘭陀情報通信

投稿者：阿蘭陀住出島屋那太郎　投稿日：2002/12/25(Wed) 10:07<HOME>

表紙の「阿蘭陀情報通信」のアムステルダム発信リンクがつながりました。
売品情報は乏しいですが（笑)、海外コレクターとの情報交換の場として、
BBS など、利用してください。
きな臭いニュースも多い今日この頃、個人的には、現在の日本の情勢等も知りたいと思っています。(売品でも営業でも政治でも荒氏以外は何でも可)
どうぞよろしくお願い致します。

[1213] 忠臣蔵３００年

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/26(Thu) 08:07

急な話で恐縮ですが、本日（２６日）１９：３０からＮＨＫで「忠臣蔵３００年　拝啓・大石内蔵助殿」という番組が放送されます。

新聞の番組欄には､「長谷川一夫から勘九郎まで､忠臣蔵名場面一挙公開」､「あの"赤穂浪士"テーマ曲が甦る」､「日本人の心の３００年」など忠臣蔵ファンにとって心をくすぐられる言葉が並んでいます。
新年２日にも中村吉右衛門主演の忠臣蔵が放送され、それはそれで楽しみですが往年の名作も捨てがたいですね。

忠臣蔵ファンの方々お見逃し無く(^_^)

[1213 へのレス] Re: 忠臣蔵３００年

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/26(Thu) 14:42

赤埴源蔵の「徳利の別れ」が好きです。
実際はどうだったんでしょうね？
兄ではなく妹の嫁ぎ先に挨拶に行った…みたいです。

[1213 へのレス] Re: 忠臣蔵３００年

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/26(Thu) 18:00

ここ近日のＴＶから時代劇が消えたので、待ちかねています。長谷川一夫、片岡千恵蔵などなど、大石役で記憶に残る俳優がいました。久方ぶりの観劇？気分です。

[1213 へのレス] Re: 忠臣蔵３００年

投稿者：影法師　投稿日：2002/12/27(Fri) 07:40

時代劇ファンです。
先日「開運！なんでも鑑定団」を見られた方もいらっしゃると思いますが
赤穂市出張鑑定で大石内蔵助を介錯した先祖の刀が
鑑定に出ました。介錯人の代々家宝としてきたもので
物打ち当たりにそれらしき跡が見受けられます。
研ぎに出さず油のみでこれまで保存してきたそうです。
例によって柴田光男氏が鑑定して５００万とのことで
刀は備前（州）長船忠光だそうです。

[1213 へのレス] Re: 忠臣蔵３００年

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/27(Fri) 09:02

備州長船忠光、初代ですか。見逃しました、残念！　柴田さんが当節５００ですからいいものでしょう。
昨夜の「拝啓・大石内蔵助殿」は忠臣蔵の歴史と名場面紹介で、まあまあよかったです。１時間ではかい摘まんだ感じを免れず、その点が不満でした。

[1213 へのレス] Re: 忠臣蔵３００年

投稿者：花散里　投稿日：2002/12/27(Fri) 12:23

「拝啓・大石内蔵助殿」、確かに細切れ状態で少し不満でしたね。

番組では紹介されなかったと思いますが、最初の仮名手本忠臣蔵は人形浄瑠璃ではなかったでしょうか？
その後に歌舞伎に移植され、大ヒットになったと記憶しています。
それにしても夕べ紹介されただけでも、歌舞伎・映画・舞台・浪曲・テレビドラマ・民族芸能から創作ダンスまで、ありとあらゆる媒体を使って日本全国に広まっていったのが良くわかりました。

（宝塚でも上演されていたんですねぇ）
その時代ごとの解釈により、情景や登場人物の創作が行われながら、大物俳優からアイドルまでもが演じ、庶民が作り続けている未完の大河ドラマ、という印象がいっそう強くなりました。（久しぶりに見た三波春夫の歌謡浪曲の俵星玄蕃、以前私は結構好きでした）

[1213 へのレス] Re: 忠臣蔵３００年

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/27(Fri) 12:57

宝塚が苦手なもので…少し驚いてしまいました。
また、沖縄でも演じられていたのは新鮮な驚きでした。
戦前・戦中・戦後に渡って「忠臣蔵」がそれぞれ違った立場から解釈・利用されていたのも不思議な感じを受けました。
あの登場人物の中に誰しも必ず一人は自分の感情移入できる対象がいる、というのは頷ける思いがします。

[1220] 平成１４年に思うこと。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/27(Fri) 23:41

世間様は今日から年末年始の休業に入るところが多いようですが、私の会社は新年を迎えての２日からやっとお休みを頂けます。(T_T)。

そこで？平成１４年を振り返りまして、電脳倶楽部だけに心に残った刀を振り返りたいと思いますが、皆様はどのような刀に心を動かされたでしょうか。

なんだかんだ言っても、結局は沢山刀を買っちゃいましたよ～。って方もいらっしゃるでしょうし、あの刀は惜しかったよ～。欲しかったな～とか、あの展示会の国宝○○は最高でした！などなど、思い出は尽きないと思います。

新年を迎えるともう２日からはあちこちで展示即売会の便りが聞こえてきます。
早いもんです。

あの刀はどこに行ったかな～、などと思いを馳せながら行く年を送りたいと思います。
よろしくお願い致します。m(__)m。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：こてつ。　投稿日：2002/12/28(Sat) 15:46

平成１４年、心に残った刀…。いざとなるとすぐには思い出せないのが悲しい…。何やってたんでしょ…。
１１月初旬、銀座の刀屋さんの展示会で見た「長義」の在銘の重刀が良かったです。しかし手にとって拝見出来なかったのは残念…。
阿佐ヶ谷の刀屋さんで拝見した特重の虎徹も素晴らしかった！
御値段もまた素晴らしかった…。

今秋、刀と短刀を売りました。(短刀はまだ委託中)
刀の買取値はやはり厳しかったです。
来年はネットオークションに挑戦してみたいです。まだネットオクでは買い物したことがありませんので…。ものは試しで(笑)。
しかし、こと刀剣に関しては「掘り出し物」ってのは存在しないんでしようか？オークションの出品者のコメントを読むと「本当かいな？」というのがかなり多いんですが…。
御経験者の方、ぜひ良きアドバイスを戴きたいです。

いよいよ年の瀬ですね…。
少し早いですが、皆さん良いお年をお迎え下さい。
来年も宜しく御指導くださいますよう。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/28(Sat) 19:28

一番強烈に印象に残っているのは、『夏雄』の鍔。
根津美術館の正宗展の後に拝見しました。
夏雄の鍔なんて本当に本でしか見たことがなくて・・・。同じ図柄の鍔を見て、
『これ、あれ、その、ほれ！あの鍔ですよ・・・。』というような感じで、興奮してしまいました。

さらに、同じくらい興奮したのが『海鼠透かし鍔』。
誰の作品かって？
もちろん、かの有名な『宮本武蔵』です！！
この鍔も生で見ることができるなんて、私にとっては一生に一度あるかないかのことではないかと思っております。
非常に美しい鍔でした。

刀は？って。(^^ゞ。
刀はね～。正宗展を見ましたから。
これもこれから後にあるかどうか。

こてつさんは、来年はネットオークションに挑戦とか。
ぜひ、出品の際はお教え下さいませ。m(__)m。
刀の掘り出し物も出品者の方しだいではないでしょうか。
最低落札価格設定なしで、お安くお願いします。(^^ゞ。

以上、私の今年の回顧録でした。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：神無月　投稿日：2002/12/28(Sat) 19:36

今年は鑑賞会に参加し、そこで初めて直に日本刀に触れて観れたのが思い出深いです。

今でもそうですが、日本刀には興味はあっても踏み込みにくい世界という印象があり、参加申し込みするまでにはずいぶん悩みました。
でも、憧れの「村正」を直に拝見できる機会は逃したくなかったので一時間くらい悩んだ末に申し込みました。
とにかく何も知らないド素人だったので、初歩的なことから教えていただいたいたのですが、緊張していたのもあって、今思い返すと何にも見れていなかったなぁと思い、ちょっともったいなかったなと、もっとしっかり網膜に焼き付けてくれば良かったなと後悔しています。
機会があればまた拝見したいですね。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：氷心子　投稿日：2002/12/28(Sat) 22:22

今年の刀剣関係の出来事をつれづれと思い出してみると

まず、年初の佐野美術館の正宗展
館長さんの熱烈な講演がいまだに印象に残る。根津美術館での東京都支部の定例会を含め、結局３回も観た

それとわたくし的には、日帰り鑑賞ツアーを敢行したこと
東博（平常展示　刀剣室）→土浦市立博（土屋家の刀剣）→江戸東京博（武州下原刀特集）
（１日に鑑賞した刀剣　約１００振）

コレクション関係では
売却２振、購入２振のうち１振りは念願の俗名入り末備前刀をゲット！
（長州屋の即売会や大刀剣市にもいくつも出ていたが、
今年はこういう刀がよくでてくるようになった）

このほか、坂城町鉄の展示館（宮入行平とその一門展）にもいきましたが、強く印象に残っているのは靖国神社の所蔵刀剣４０数振りすべてを手にとってじっくり鑑賞することができたこと（支部に入っていてよかった）。残念ながら播磨の名刀展にはいけませんでした。こうして振り返ってみると、今年の充実度はかなりのレベルでした。来年の抱負としては、鑑定のレベルアップを目指して鑑定会には積極的に参加すること、です。それにしても日本刀装具美術館が閉館し、いまだ開館のきざしがみられないのは、ショック！自宅から近くて、気軽に参加できる講座がよかったのに。私もここで鑑定の腕を少なからず磨かせてもらいましたが・・・。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：空爺　投稿日：2002/12/29(Sun) 09:53

十四年は、どうとう、こけたまま過ぎてしまいました(^^;
こけたまま、酔狂三昧、残務山積、事後処理徹夜・・・・・
気が付けば、もう新年がすぐそこに、あわてて周囲見渡せば

浦島太郎(爆)

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：ikkak　投稿日：2002/12/29(Sun) 18:06

空爺殿おひさしぶりです。
やっぱり正宗展はすごかったですね。
でもやっぱり一番心に残ってるのは刀剣博物館でみた
古備前友成の大太刀！　まさに神品でした。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：守重　投稿日：2002/12/29(Sun) 21:13

私の場合は今年の秋、銀座の刀剣商の展示会が凄い内容でした。重刀「国広」が印象的でした。正宗展もじっくり見れたし、なかなか良い一年でした。
コレクションでは、念願の龍眠齊兼友の軍刀を入手、また阿佐谷の刀剣商より信盧の鍔（鬼の蹲踞り図）を買ったことでしょうか。鍔は毎日のように鑑賞していました。
こてつさん、ネットオークションですか。。。ノークレーム、ノーリターン、なかなか辛いですよ。知識ある人が「素人ですので。。。」と書いて売っている場合も多いです。以前、素人とうたっている出品者にわざと「刃切、膨れ、再刃の可能性はありますか？」と質問したら 30 分後に「一切ありません、安心して下さい」という返事が返ってきたことがありました。買うほうも必死ですが、売るほうも必死です。慣れてくると素人か玄人か判別はつくようになりますが、掘り出し物というものは無いと思います。たびたび村正とか正宗は出てきます。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：隠居　投稿日：2002/12/30(Mon) 15:44

刀の道の現役を引退して２年目。
それまでは毎月の例会で５口はじっくり観ますから１年で６０口、それに全国大会で最低４、５０口は観ますから合計１００振は手にとってしっかり観ていました。それを思うと今は寂しいかぎりです。例会のあと知人に電話して出題刀のことなどをつい尋ねたくなるのも、未練のさせる仕儀でした。
こんな私を気遣って、２０年間欲しくてたまらなかった「ある刀」の持ち主が格安に譲ってくれることになり、この夏、手元にやって来ました。
ですから平成１４年は、１振の刀を穴があくほど眺めました。嬉しいですね、刀の道は。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：鬼丸　投稿日：2002/12/30(Mon) 17:42

今年は、新年早々、佐野美術館での「正宗展」に始まり、４月の日刀保支部で
小笠原信夫先生を招いての鑑定入札及び定例鑑賞会、９月は同じく日刀保支部
主催で徳川美術館へ日帰り鑑賞会ツアー、１１月は待望の大刀剣市、この時は
電脳倶楽部の真改代表を始めてとする沢山の仲間に出会え、特にオフ会での焼肉

大会は忘れらない思い出です。１２月は、日刀保東海地区大会に参加して普段
お眼に掛かれないような名品に涎が流れそうになりました。
そして、日頃お世話になっている刀剣店には毎月通い、重刀クラスの刀を直に手に取って拝見させていただき、大変勉強になりました。

蔵刀関係では、一振り下取りに出し、多少の金額を上乗せして新たに一振りを
購入しました。現在、来年の重刀審査に向け、保存審査を受けるために手元を
離れて寂しい思いをしておりますが。

来年早々、佐野美術館では、みなさんご承知のとおり日本刀に関する特別展が
開催されます。この催しも全国展開する予定なので、来年も話題沸騰かな？
私は、初日から一番乗りを目指して観覧する所存です。

それでは、みなさん「良いお年をお迎え下さい。」

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：蘭国住出島屋那太郎　投稿日：2002/12/30(Mon) 21:34<HOME>

空爺殿！お久しぶりでございますっ！
早く復帰してください。浦島空爺殿！
今年は、ドイツ（ゾリンゲン市）での「日本刀優品展（日刀保欧州支部大会）」で展示された５０数振りの刀剣類が一番印象的でした。個人的には備州長船景光短刀（片落ち互の目刃紋に太めの金筋が絡んで独特のもの）来国光短刀（はばきもとから先まで前面に沸映りが立ったすご過ぎる出来）新々刀のように健全で、新品の時の面影がある品。この２口が忘れられません。
私事では、所持刀の無銘短刀が重要刀剣に指定された事ですっ！
短刀に凝りまくっていましたが、刀も欲しいし、最近は外装にもとても興味があります。
まだこちらには無鑑の名品が眠っているようです。
今後、皆様に優品をご紹介できるよう一所懸命勉強中です。

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：一条　投稿日：2002/12/31(Tue) 00:23

おひさしぶりです！！
今年は、刀に心を傾けている余裕がありませんでした。
展示会などにも行けず・・・１回だけレジンさんの即売会に行ったきりかな・・・とっても無念。
ソードさんの講習会も行きたかったけど・・・
来年こそ、お刀を・・・。無理かな・・・
では、皆様、よいお年を！！

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：菊久　投稿日：2002/12/31(Tue) 09:00

今年は、正宗展をはじめ、いろんな展示会などをまわり、我ながら名品・逸品を数多くみさせて頂

いたように思います。
でも、今年の「この一口！」と言われると難しいですネ。
所有欲の強い私としては、正宗展や博物館にあるものは確かに名品・逸品ではありますが、ガラス越しの存在だし、かといって展示即売会で正面ケースに鎮座しているものは、私の手の出るような金額ではないし・・・。

だからといって、これは強がりではありませんが、今手持ちにあるM氏から譲って頂いた無銘・無鑑の伝・信国の太刀が今年も私のお気に入りの一口です。
我ながらですが、細身で小切先、迫力はありませんがどことなく気品があって、見飽きることがありません。（手持ちのものをここまで言うと、親バカ的なところがありますネ^^;でも、お気に入りなんです）m(_ _)m

あと、今年最大に幸せに感じることは、大刀剣市で、ここの皆様方とお会いできたことと、鎬さんの友人であるM君と知り合えたこと。
M君とは隣県ということもあり、今年は相当一緒に刀剣鑑賞ツアーを行いました。歳は若いですが、刀に詳しく教えられることばかりです。ホント！良い刀友と巡り会えたと思っています。

空爺さん・一条さん「お久しぶりです」m(_ _)m

こてつさん、短刀を委託なさったんですか？
私は今年、短刀に凝りました。
委託される前に一度拝ませて頂きたかった思いが「てんこ盛り」！

それでは、「来年も皆様方にとってよりよい年でありますよう、心からお祈り申し上げ失礼致します。」

[1220 へのレス] Re: 平成１４年に思うこと。

投稿者：純井　投稿日：2002/12/31(Tue) 18:57

今年も色々とありました。皆様が仰っておられるように正宗展が１番の良かったものでしたねぇ。
行ってみると、明かに始めて刀を見る方々がいらっしゃる。日本刀に御興味・御関心を持っていただけるきっかけの一つになった事と思います。
個人的にはあの脇差を手に入れたことですね。正直な所、分不相応だとは思ってはおりますが、大事にして行きたいと思っております。
最後に皆様どうぞ良い御年を御過ごしになられますよう、心より御祈り申し上げます。来年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

[1235] おー！新撰組

投稿者：真改 2001　投稿日：2002/12/30(Mon) 23:20

おもちゃ大好きの私は、毎月その手の雑誌を購入していますが、最近おもちゃの世界もあらゆる方面に深く進行しているようで、今回次のようなフィギュアを発見しました。

アルフレックスという会社から出される、その名も『新撰組』。

アルフレックスで新撰組を映画化したら、どの役者を配役するのか？というコンセプトで製作されたものらしいです。

ちなみに配役は、新撰組局長近藤勇に三船敏郎。副長土方歳三に栗塚旭。沖田総司に京本政樹という実現不可能なメンバーです。

見てみたかったですね。この配役での新撰組を！

[1238] 平成１４年に思うこと。

投稿者：右行劣　投稿日：2002/12/31(Tue) 10:29

今年はじめて参加させていただきました。いろいろと勉強になりました。私事で今年の一番の収穫は、備前長船博物館で、五大明王の刻銘入りの兼光太刀を見たことでせうか。世の中には物凄い物があると云うことをあらためて認識した次第であります。蔵刀関係では、一振ネットオークションで大磨上無銘　寒山鞘書　本阿弥長識極め　甲種丸特という物々しい太刀を手に入れました。ネットオークションでは以前ひどい目にあいましたが、今回はラッキーでした（と本人が思ってるだけかも）隠居様のようにその一振りを穴のあくほど眺めて過ごした一年でした。その他平戸と見える鍔　、小物類少々そんなところでした。鍔その他で拵えを来年は余裕があれば作成しようかと考えています。来年中にここでお披露目できたらよいのですが。それでは皆様よいお年を